

横浜市立大学附属病院

令和 6 年度

病院要覧



YOKOHAMA
CITY
UNIVERSITY
HOSPITAL



病 院 長 あ い さ つ



本年 4 月 1 日、附属病院長を拝命いたしました遠藤 格(えんどう いたる)と申します。本学が公立学校法人化以来、第 7 代目の病院長になります。1871 年に当院の前身である横浜仮病院の開院以来、150 有余年ずっと市民の皆様の命を守る使命を担ってきたこの病院の病院長の責務は重大ですが、全力で取り組む所存でございます。

さて、当院の理念は『「市民が心から頼れる大学病院」を目指し、医療、教育、研究、人材育成、イノベーションを通じて、私たちと私たちが関わる全ての人々の幸せに貢献すること』です。安全かつ安心な医療を皆様に提供することが大前提ですが、それだけではなく横浜市唯一の特定機能病院として高度な医療を実施する役割も担っております。先進的な臨床研究や治験に取り組み、産学連携を活性化し、イノベーションを生み出すことを目指しております。それがひいては地域の発展と市民の健康増進に繋がるものと考えております。さらには、次世代を担う優れた医療人の育成にも注力せねばなりません。そのためには、多職種がチームとして力を結集することが不可欠です。当院には素晴らしいハートを持ったエキスパートが多く在籍しております。今後もより良い医療を提供させていただけるよう日々精進いたす所存です。皆様におかれましては、引き続きご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

今日、大学病院に求められる医療は「高度、先進」であることはもとより、最大の責務は「安全、安心」な医療を皆様に受けていただくことといえます。さらに、横浜市立大学としての特色を出した医療、基礎研究と結びついた先進的な医療が重要と考えております。神奈川県にある唯一の公的医育機関附属病院として、今後とも地域の医療機関の皆様との連携を強化しながら、最良、最善の医療を目指し、なお一層の努力をしてまいります。

病院長 遠 藤 格



病 院 理 念

「市民が心から頼れる大学病院」を目指し、医療、教育、研究、人材育成、イノベーションを通じて、私たちと私たちが関わる全ての人々の幸せに貢献します。

基 本 方 針

- 1 生命の尊厳を深く認識した、安全で質の高い医療の実践
- 2 患者を中心とした多職種協働と地域連携
- 3 世界レベルの研究と変革の推進
- 4 質の高い人材の育成と生涯教育
- 5 健全な経営による病院と大学の持続的発展

目 次

1 病院沿革	
1 開設目的	1
2 名 称	1
3 位 置	1
4 建設の経緯	1
5 病院開院後の経緯	1
6 歴代病院長	2
2 許認可関係一覧表	
1 医療法等による許認可関係	3
2 各法令による医療機関の指定関係	5
3 基本診療料、特掲診療料等施設基準一覧	8
4 先進医療	17
5 学会認定研修施設等	17
3 施設概要	
用地および建物	21
4 診療体制	
1 診療科目	22
2 外来診療時間	22
3 病 床 数	22
5 組 織	
1 組 織 図	23
2 病院の管理職員	24
6 教 職 員	
1 現 員	28
2 診療科別医師・歯科医師数	29
3 看護体制・部署構成表	30
7 経 理	
予算決算比較	31
8 医事統計	
1 外来・入院患者数	32
2 病棟別入院患者数	33
3 紹介割合・逆紹介割合推移	34
4 新入院患者の診療圏別割合	35
5 初診患者の診療圏別割合	35
6 年齢階層別新入院患者数比較	35
7 年齢階層別初診患者数比較	35
8 年齢別・疾患別転科・退院患者数（死亡を含む）および割合	36
9 年齢別退院患者数の割合	37
10 疾患別転科・退院患者数の割合	37
11 疾患別男性転科・退院患者数の割合	38
12 疾患別女性転科・退院患者数の割合	38

13	月別・診療科別・入院患者数	39
14	月別・診療科別・死亡退院患者数	40
15	月別分娩件数	41
16	救急患者数	41
17	病歴貸出・閲覧件数	42
18	褥瘡対策チーム	43
19	諸法事務受付業務	45

9 患者サポートセンター

1	入院サポート	46
2	患者相談窓口	47
3	地域連携業務	47
4	ソーシャルワーク業務	48

10 医療の質向上・安全管理センター

1	安全管理研修の開催状況	51
2	インシデント報告数（ヒヤリハット報告数）	51
3	高難度新規医療技術・未承認新規医薬品等申請、承認状況	51
4	当院の組織横断的医療チーム	53

11 医療情報部

56

12 臨床検査部

部門別、月別検査件数	57
------------	----

13 放射線部

1	X線・CT・MR・核医学検査月別業務量	58
2	放射線治療月別業務量	59

14 薬剤部

1	処方箋統計	60
2	麻薬処方箋枚数	61
3	無菌製剤処理料算定件数	61
4	TDM実施件数	61
5	薬剤部取扱品目数	61
6	薬剤管理指導料算定件数	61
7	治験薬管理業務	61
8	院内製剤	62
9	実習生等受入実績	62
10	専門薬剤師等認定取得状況	62

15 リハビリテーション部

1	診療科別依頼件数	63
2	耳鼻いんこう科系検査・療法件数	63
3	診療報酬別実施患者数・単位数	64
4	実習受け入れ状況	64
5	認定、専門理学・作業療法士取得状況	64

16 栄養部

1	食種別給食数	65
2	調乳数	65

3 栄養相談業務	66
(1) 入院・外来別延べ人数	66
(2) 診療科別個別指導受講者延べ人数	66
(3) 月別NST介入件数	66
(4) 疾患別個別指導受講者延べ人数	67
(5) NST介入診療科別集計	67
17 手術部	
1 診療科別・月別手術件数	68
2 年度別手術件数	68
18 ICU（集中治療室）	
ICU 入室状況など	69
19 CCU（冠動脈疾患集中治療室）	
CCU 入室状況など	69
20 HCU（ハイケアユニット）	
HCU 入室状況など	70
21 ACU（急性期ケアユニット）	
ACU 入室状況など	70
22 輸血・細胞治療部	
1 各科別輸血用血液使用状況	71
2 稼働実績	72
3 時間外稼働実績	72
23 病理診断科・病理部	
月別検査件数および点数	73
24 遺伝子診療科／妊娠と薬外来	74
25 感染制御部	75
26 緩和ケアセンター	
1 緩和ケアセンター	76
2 組織と構成員	76
3 具体的な活動内容	76
4 診療および活動実績	76
5 緩和ケア診療加算の算定状況	77
6 緩和ケア外来診療件数状況	77
27 がん相談支援センター	
1 がん相談支援センター	78
2 がん相談支援センター構成員	78
3 具体的な活動内容	78
28 内視鏡センター	
1 内視鏡検査件数	80
2 内視鏡処置・手術内容	80

29 血液浄化センター	
科別取扱件数	81
30 化学療法センター	
1 化学療法業務	82
2 化学療法実施件数	82
31 中央無菌室	
月別入室件数	83
32 滅菌室	
滅菌室業務	84
33 シミュレーションセンター	
シミュレーションセンター利用状況	85
34 先進医療推進センター	
1 目的	85
2 学内先進支援事業審査会の開催状況	85
3 承認件数	85
4 厚生労働省の定める先進医療への申請および承認状況	85
35 臨床研修センター	86
36 次世代臨床研究センター	
1 組織体制	89
2 各室紹介	89
37 看護部	
1 看護外来・療養指導活動	94
(1) 活動報告	94
(2) 専門看護師の活動実績	96
(3) 認定看護師の活動実績	96
(4) 特定・認定看護師の活動実績	98
(5) 特定行為研修修了者の活動実績	98
(6) 患者サポートセンター担当看護師の活動実績	98
2 教育・研修実績	99
3 実習受け入れ実績	102
4 院内研究発表	103
5 講師派遣等	104
38 MEセンター	
1 臨床業務	113
2 機器貸出状況	113
3 機器点検業務	114
4 機器修理業務	114
5 実習・見学受け入れ実績	114
6 講師派遣等	114
7 ベッドセンター業務	114

39 業務目録

1 著 書	115
2 論 文	117
3 学会・研究会	130

40 そ の 他

1 年度別病院事業実績	152
2 各階配置図	153
3 施設配置図	154

1 病 院 沿 革

1 開設目的

大学附属病院として、優秀な医師の養成につとめるとともに、高度な医学研究をめざす。
併せて、先進医療設備の導入により、高度な医療サービスを提供し地域医療の向上を図るとともに、市民の健康の保持に寄与する。

2 名 称

公立大学法人 横浜市立大学附属病院

3 位 置

横浜市金沢区福浦三丁目9番地
TEL 045-787-2800(代表)

4 建設の経緯

昭和53年	4月	市立大学内に「医学部の移転拡充に関する特別委員会」が発足
昭和56年	10月	医学部移転先を金沢区の金沢埋立3号地に決定
昭和58年	1月	横浜市立大学キャンパス整備基本構想を策定
昭和59年	12月	医学部校舎移転新築工事着工
昭和61年	6月	医学部附属病院の建設規模確定
昭和61年	10月	医学部校舎移転新築工事竣工
昭和62年	4月	医学部校舎開校
昭和62年	6月	医学部附属病院新築工事(エネルギーセンター)着工
昭和63年	6月	医学部附属病院新築工事(本体工事)着工
平成 3年	3月	医学部附属病院新築工事竣工
平成 3年	7月	医学部附属病院開院
平成19年	12月	立体駐車場新築工事竣工
平成21年	7月	研修棟増築工事竣工
平成25年	3月	コンビニエンスストア増築工事竣工
平成26年	3月	災害・緊急時対応スペース整備工事竣工

5 病院開院後の経緯

昭和62年	3月16日	神奈川県知事から病院開設許可を得る(県指令医整3-62号)
平成 3年	7月 1日	医学部附属病院として開院 (医学部附属病院第28代病院長澤木修二が初代病院長に就任)
平成 3年	7月16日	暫定的に497床で入院を開始
平成 3年	8月 1日	外来を開始(外来患者数を1,000人と想定)
平成 4年	6月 1日	62床増床(病床数559床)
平成 4年	7月 1日	60床増床(病床数619床) (無菌室 2⇒4床、ICU 6⇒8床、NICU 3⇒6床、手術室 6⇒12室稼働、外来手術室 1⇒2室稼働)
平成 4年	7月23日	CCUを2床増床(病床数621床)
平成 5年	3月31日	神奈川県から老人痴呆疾患治療研究センターに指定される
平成 5年	10月 1日	CCUを増床稼働(6月 2⇒3床、10月 3⇒4床)(病床数623床、全床オープン)
平成 6年	4月 1日	院内学級を6-1病棟(カンファレンス等を利用)に開設
平成 6年	12月26日	エイズ患者増に対応するため9-1病棟を改修 (病室を3床増、デイルームを1か所増、従来の病室3室を観察室(2室)に転用)
平成 7年	11月16日	神奈川県エイズ患者中心的受入病院に指定される
平成 8年	4月 1日	特定機能病院に承認される
平成 9年	9月 1日	特定承認保険医療機関に承認される
平成10年	3月20日	神奈川県から災害拠点病院に承認される
平成11年	4月 1日	伝染病予防法の廃止(平成11年3月31日)、感染症の予防および感染症の患者に対する医療に関する法律の施行により伝染病床3床を減じ、620床となる
平成11年	8月 1日	特定機能病院の辞退

平成12年 3月 1日	一般病床3床増床(病床数623床)
平成13年 1月 1日	特定機能病院に承認される
平成14年 1月21日	日本医療機能評価機構から病院機能評価Ver.3.1にて認定を受ける
平成17年 1月18日	厚生労働省から地域周産期母子医療センターに認定される
平成17年 4月 1日	公立大学法人横浜市立大学附属病院として開院
平成19年1月21日	日本医療機能評価機構から病院機能評価Ver.5.0にて認定を受ける
平成19年1月31日	厚生労働省から地域がん診療連携拠点病院に指定される
平成19年5月 8日	神奈川県からエイズ治療の中核拠点病院に指定される
平成20年 8月 2日	WHOとユニセフから赤ちゃんにやさしい病院に認定される
平成22年 4月28日	一般病床増床(病床数631床)(HCU8床)
平成22年 1月18日	臨床検査部および輸血・細胞治療部がISO15189:2007基準認定施設に認定される
平成23年 1月13日	一般病床増床(病床数634床)(NICU3床)
平成23年 2月22日	一般病床4床増床(病床数638床)
平成24年 1月21日	日本医療機能評価機構から病院機能評価Ver.6.0にて認定を受ける
平成24年 6月 1日	精神病床4床減床(病床数634床)
平成24年10月 1日	一般病床14床増床(病床数648床)(6-3救急病床13床、無菌室1床)
平成25年 1月 1日	一般病床6床増床(病床数654床)(ACU6床)
平成25年 1月 1日	横浜市認知症疾患医療センターの設置
平成26年 1月17日	臨床検査部および輸血・細胞治療部がISO15189:2012基準認定施設に更新認定される
平成26年 3月27日	神奈川DMAT指定病院に指定される
平成27年 4月10日	横浜市小児がん連携病院に指定される
平成28年 3月 1日	IRUD拠点病院に指定される
平成28年 3月31日	神奈川DMAT-L指定病院に指定される
平成28年12月1日	一般病床20床(臨床試験専用病床)増床(病床数674床)
平成29年 1月21日	日本医療機能評価機構から病院機能評価3rdG:Ver1.1にて認定を受ける
平成30年 2月19日	横浜市乳がん連携病院に指定される
平成30年 4月 1日	神奈川県から肝疾患診療連携拠点病院に指定される
平成31年 4月 1日	神奈川県から難病医療連携拠点病院に指定される
令和2年 4月 1日	厚生労働省から地域がん診療連携拠点病院(高度型)に指定される
令和4年 1月21日	日本医療機能評価機構から病院機能評価3rdG:Ver2.0にて認定を受ける
令和4年 2月 1日	臨床検査部、輸血・細胞治療部、病理診断科・病理部がISO15189:2012基準認定施設に拡大更新認定される
令和5年 4月 1日	厚生労働省からがんゲノム医療拠点病院に指定される

6 歴代病院長

	氏 名	任 期
初 代	澤 木 修 二	平 成 3 年 7 月 1 日 ～ 平 成 4 年 3 月 31 日
2 代	松 山 秀 介	平 成 4 年 4 月 1 日 ～ 平 成 7 年 3 月 31 日
3 代	中 嶋 弘	平 成 7 年 4 月 1 日 ～ 平 成 9 年 3 月 31 日
4 代	腰 野 富 久	平 成 9 年 4 月 1 日 ～ 平 成 11 年 2 月 18 日
病院長職務代理者	松 原 升	平 成 11 年 2 月 19 日 ～ 平 成 11 年 3 月 31 日
5 代	松 原 升	平 成 11 年 4 月 1 日 ～ 平 成 14 年 3 月 31 日
6 代	原 正 道	平 成 14 年 4 月 1 日 ～ 平 成 17 年 3 月 31 日
公立大学法人初代	原 正 道	平 成 17 年 4 月 1 日 ～ 平 成 18 年 3 月 31 日
2 代	今 田 敏 夫	平 成 18 年 4 月 1 日 ～ 平 成 22 年 3 月 31 日
3 代	梅 村 敏	平 成 22 年 4 月 1 日 ～ 平 成 24 年 3 月 31 日
4 代	平 原 史 樹	平 成 24 年 4 月 1 日 ～ 平 成 28 年 3 月 31 日
5 代	相 原 道 子	平 成 28 年 4 月 1 日 ～ 令 和 2 年 3 月 31 日
6 代	後 藤 隆 久	令 和 2 年 4 月 1 日 ～ 令 和 6 年 3 月 31 日
7 代	遠 藤 格	令 和 6 年 4 月 1 日 ～

2 許認可関係一覧表

1 医療法等による許認可関係 (令和5年度)

件 名	申 請 先	関 係 法 規	許認可年月日 および番号	備 考
病院開設許可事項 変更許可	横浜市長	医療法第7条第2項	R5.4.20 横浜市医医安指 令第50048号	研修棟2階 アメニティルーム、診察室、面 談室1、面談室2、前室からスタッフルーム 1へ 研修棟2階 スタッフルームからスタッ フルーム2へ 研修棟2階 Nsステーション、検査室及び 医師控室からスタッフステーションへの構 造変更及び用途変更
病院構造設備 使用許可	横浜市長	医療法第27条	R5.5.11 横浜市医医安指 令第50104号	研修棟2階 スタッフステーションの使用
病院開設許可事項 変更許可	横浜市長	医療法第7条第2項	R5.5.23 横浜市医医安指 令第50121号	2階 検査予約センターの区画の設置及び 7階7-3病棟準備室の流し台の撤去
病院構造設備 使用許可	横浜市長	医療法第27条	R5.5.29 横浜市医医安指 令第50146号	7-3病棟 準備室の使用
病院開設許可事項 変更許可	横浜市長	医療法第7条第2項	R5.6.22 横浜市医医安指 令第50199号	乳房撮影用エックス線撮影装置の設置 (23X線撮影室)
病院構造設備 使用許可	横浜市長	医療法第27条	R5.8.9 横浜市医医安指 令第50308号	乳房撮影用エックス線撮影装置の使用 (FDR MS-4000(AMULET SOPHINITY): 23X線撮影室)
病院開設許可事項 変更許可	横浜市長	医療法第7条第2項	R5.11.7 横浜市医医安指 令第50513号	10階 倉庫を会議室、事務室に変更
病院開設許可事項 変更許可	横浜市長	医療法第7条第2項	R5.11.14 横浜市医医安指 令第50474号	核医学-CT複合装置の更新(PET-CT室 (2))
病院開設許可事項 変更許可	横浜市長	医療法第7条第2項	R5.11.14 横浜市医医安指 令第50539号	2階 洗髪室を洗浄室へ 2階 入院前特設検査を面談室6へ 2階 放射線部 処置室を洗浄室へ 3階 病理部 部長室を検鏡室へ 4階 研修室をシステム担当会議室へ 9階 9-2病棟 麻酔科・眼科・歯科口腔外 科処置室を器材室へ変更

件 名	申 請 先	関 係 法 規	許認可年月日 および 番 号	備 考
病院開設許可事項 変更許可	横浜市長	医療法第7条第2項	R5.11.17 横浜市医医安指 令第50547号	4階 看護師控室をデイルーム、面談室、輸 血更衣室等へ 4階 会議室2、3を看護控室へ 4階 会議室5を再生医療細胞凍結保存室 へ変更
病院開設許可事項 変更許可	横浜市長	医療法第7条第2項	R5.11.17 横浜市医医安指 令第50548号	6階 6-4病棟の精神病床減床に伴う構造 及び用途変更 デイルームをデイルーム、器材室へ 器材室を6412(1床室)へ 6410(4床室)を6410-1(1床室)、6410-2 (1床室)へ 6411(4床室)を6411-1(1床室)、6411-2 (1床室)へ
病院開設許可事項 変更許可	横浜市長	医療法第7条第2項	R5.11.29 横浜市医医安指 令第50571号	9階 9-1病棟 結核側デイルームを透析室 へ 感染症側デイルームを器材室へ、面談室 を器材室へ変更
病院構造設備 使用許可	横浜市長	医療法第27条	R5.12.26 横浜市医医安指 令第50649号	3階 検鏡室の使用 核医学-CT複合装置の使用 (PCD-1000A/1B:PET-CT室(2))
診療所開設許可	横浜市長	医療法第7条第1項	R5.12.27 横浜市医医安指 令第50631号	ランドマークタワー 公立大学法人横浜市 立大学附属病院 付属放射線診断 診療所
病院構造設備 使用許可	横浜市長	医療法第27条	R6.1.4 横浜市医医安指 令第50655号	9階 9-1病棟 透析室の使用
病院開設許可事項 変更許可	横浜市長	医療法第7条第2項	R6.1.30 横浜市医医安指 令第50716号	透視用エックス線装置の更新(31X線撮影 室) 31X線撮影室の構造変更及び用途変更
病院開設許可事項 変更許可	横浜市長	医療法第7条第2項	R6.2.13 横浜市医医安指 令第50754号	10階 食堂の一部を臨床試験管理室及び モニター室に変更
病院開設許可事項 変更許可	横浜市長	医療法第7条第2項	R6.2.22 横浜市医医安指 令第50789号	乳房撮影用エックス線装置の廃止(23X線 撮影室)
病院開設許可事項 変更許可	横浜市長	医療法第7条第2項	R6.2.27 横浜市医医安指 令第50791号	令和5年11月17日横浜市医医安指令第 50548号の一部変更 6階 6-4病棟 6401-1、6410-2、6411-1、 6411-2、6412の変更
病院開設許可事項 変更許可	横浜市長	医療法第7条第2項	R6.2.29 横浜市医医安指 令第50805号	9階 9-2病棟 器材室を看護師控室、看護 師控室を処置室へ変更

件 名	申 請 先	関 係 法 規	許認可年月日 および 番 号	備 考
病院開設許可事項 変更許可	横浜市長	医療法第7条第2項	R6.3.11 横浜市医医安指 令第50835号	令和5年11月17日横浜市医医安指令第 50547号の一部変更 4階 再生医療細胞凍結保存室の構造変 更
病院開設許可事項 変更許可	横浜市長	医療法第7条第2項	R6.3.14 横浜市医医安指 令第50846号	2階外科外来試着・相談室新設に伴う診察 室2及び診察室3の構造変更
病院構造設備 使用許可	横浜市長	医療法第27条	R6.3.27 横浜市医医安指 令第50893号	31X線撮影室の使用 透視用エックス線装置の使用 (INFFX-8000V/TM(XTP-8100XG):31X 線撮影室) 4階 再生医療細胞凍結保存室の使用 6階 6-4病棟 6410-1、6410-2、6411-1、 6411-2、6412(各1床室)の使用 9階 9-2病棟 処置室の使用
病院開設許可事項 変更許可	横浜市長	医療法第7条第2項	R6.3.27 横浜市医医安指 令第50904号	4階 CCU、救急病室及びHCUのレイアウト 変更に伴う変更 9階 9-3病棟から4階病室9、病室19、病室 20(各1床)への病床移動

2 各法令による医療機関の指定関係

件 名	申 請 先	関 係 法 規	許認可年月日 および 番 号	備 考
特定機能病院	厚生労働大臣	医療法第4条の2	H17.3.31 厚生労働省発医 政第0331017号 H17.4.1	
災害拠点病院	神奈川県知事		H8.5.10 健政発第451号 H10.3.20	災害時における初期救急医療体制の充実 強化について
救急病院の認定	神奈川県知事	救急病院等を定める省 令第1条	H19.2.8 指定期間 R4.2.8～R7.2.7	
第二種感染症指定医 療機関	横浜市長	結核予防法第36条第1 項	H17.11.16 横浜市衛感指令 第51001号 H17.4.1	
がんゲノム医療拠点病 院	厚生労働大臣		R5.3.28 厚生労働省発健 0328第4号 指定期間 R5.4.1～R9.3.31	
地域がん診療連携拠 点病院	厚生労働大臣		R.5.3.23 指定期間 R5.4.1～R9.3.31	

件 名	申 請 先	関 係 法 規	許認可年月日 および 番 号	備 考
神奈川県難病医療連 携拠点病院	神奈川県知事		R5.3.31 が疾対第5923号 指定期間 R5.4.1～R9.3.31	
横浜市認知症疾患医 療センター	横浜市長		H24.12.19 健高在第960号 指定期間 R6.4.1～R11.3.31	
赤ちゃんにやさしい病院	WHO ユニセフ		H20.8.2	
地域周産期母子医療 センター	厚生労働大臣		H17.1.18	
指定小児慢性特定疾 病医療機関	横浜市長	児童福祉法第19条の 10第1項	R2.12.24 健医援第1964号 指定期間 R3.1.1～R8.12.31	
横浜市小児がん連携 病院	横浜市長		H27.4.10	
横浜市乳がん連携病 院	横浜市長		H17.4.1	
神奈川県エイズ治療 中核病院	神奈川県知事		H19.5.8	H18.3.31 健発第0331001号 エイズ治療の中核拠点病院の整備につい て
肝炎治療医療費助成制 度肝臓専門医療機関	神奈川県知事		H20.4.1	
神奈川県肝疾患診療 連携拠点病院	神奈川県知事		H30.4.1	
基幹型臨床研修指定 病院	—	医師法第16条の2第1 項	—	
臨床修練指定病院	厚生大臣	外国医師又は外国歯 科医師が行う臨床修練 に係る医師法第17条 歯科医師法第17条の 特例等に関する法律第 2条第3号	H4.5.21	外国人医師に対して、日本で2年間の医 療行為を認める制度（「臨床修練制度」を 実施するための施設）
健康保険法による保健 医療機関指定	神奈川県知事	健康保険法第66号	H29.3.28 指定期間 R5.4.1～R11.3.31	保険医療機関記号番号 金医330 医療機関コード 医科 0803304 歯科 0863308
生活保護法による医療 扶助担当機関指定	横浜市長	生活保護法第49条 中国残留邦人等の円 滑な帰国の促進並びに 永住帰国した中国残留 邦人等及び特定配偶 者の自立の支援に關す る法律第14条第4項	H29.4.28 横浜市健生支指 令第30002号 指定期間 R5.4.1～R11.3.31	指定番 202200018

件 名	申 請 先	関 係 法 規	許認可年月日 および 番 号	備 考
労働者災害補償保険 法による医療機関	神奈川県労働基準 局長	労働者災害補償保険 法 第12条及び第13条	H3.7.1 神基収第504号	指定病院等の番号 1410377
指定難病医療費助成 制度にかかる指定医 療機関指定	神奈川県知事	難病の患者に対する医 療等に関する法律第14 条第1項	R2.11.16 健保事第2677号 指定期間 R3.1.1～R8.12.31	
母子保健法による養育 指定医療機関	横浜市長	母子保健法第20条 同法施行規則第58条 第1項、第59条第1項	H3.7.1 横浜市衛健指令 第19号	
障害者自立支援法第 60条第1項の規定によ る指定自立支援医療 機関(育成医療・厚生 医療)	横浜市長	障害者自立支援法第 60条第1項	H22.2.1 H22.3.30 H25.3.25	< 指定医療の種類 > 小腸・肝臓移植・眼科・耳鼻咽喉科・口腔・ 整形外科・形成外科・中枢神経・脳神経外 科・心臓脈管外科・腎臓・免疫
障害者自立支援法第 60条第1項の規定によ る指定自立支援医療 機関(精神通院医療)	横浜市長	障害者自立支援法第 60条第1項	H24.11.1 横浜市健障企指 令第11170号	
原子爆弾被爆者の医 療等に関する法律によ る医療指定機関	厚生大臣	原子爆弾被爆者等の 医療等に関する法律第 9条第1項	H4.12.1 厚生省収健医 第236号	認定疾病医療給付
向精神薬試験研究施 設設置者登録	神奈川県知事	麻薬及び向精神薬取 締法 第50条の5第1項	H11.4.1 第0302号	
公職選挙法による不在 者投票指定施設	神奈川県 選挙管理委員会 委員長	公職選挙法施行令第 55条第2項、第4項2号	H3.10.1 選管178号	病院内において入院患者の不在者投票を 実施するための施設
神奈川DMAT-L指定 病院	神奈川県知事	神奈川DMAT-L運営要綱	H28.3.31	
神奈川DMAT指定病院	神奈川県知事	日本DMAT活動要領	H26.3.27	
管理栄養士を置かな ければならない特定給 食施設	横浜市長	健康増進法第21条第1 項	R3.5.31 指定番号第30号	
国立成育医療研究セ ンター妊娠と薬情報セ ンター拠点病院	妊娠と薬情報セ ンター長		R5.4.1～R8.3.31	

3 基本診療料、特掲診療料等施設基準一覧（令和6年6月1日時点）

(1) 基本診療料

届 出 施 設 基 準 項 目	受 理 番 号	算定開始年月日
情報通信機器を用いた診療に係る基準	(情報通信) 第366号	令和4年4月1日
初診料(歯科)の注1に掲げる基準	(歯初診) 第4298号	平成30年10月1日
歯科外来診療医療安全対策加算1	(外安全1) 第1997号	令和6年6月1日
歯科外来診療感染対策加算2	(外感染2) 第142号	令和6年6月1日
特定機能病院入院基本料 一般病棟 7対1 結核病棟 7対1 精神病棟 7対1	(特定入院) 第1013号	平成30年10月1日
救急医療管理加算	(救急医療) 第153号	令和2年4月1日
超急性期脳卒中加算	(超急性期) 第5号	平成20年4月1日
診療録管理体制加算1	(診療録1) 第4号	令和6年6月1日
医師事務作業補助体制加算2 20対1	(事補2) 第187号	令和6年4月1日
急性期看護補助体制加算 25対1(看護補助者5割以上)	(急性看補) 第95号	令和3年10月1日
夜間100対1急性期看護補助体制加算	-	令和3年10月1日
夜間看護体制加算	-	令和3年10月1日
看護職員夜間配置加算 12対1配置加算1	(看夜配) 第9号	令和元年5月1日
療養環境加算	(療) 第64号	平成24年10月1日
重症者等療養環境特別加算	(重) 第161号	平成24年12月1日
無菌治療室管理加算1	(無菌1) 第6号	平成24年10月1日
無菌治療室管理加算2	(無菌2) 第10号	平成24年4月1日
放射線治療病室管理加算(治療用放射性同位元素による場合)	(放射治療) 第1号	令和4年4月1日
放射線治療病室管理加算(密封小線源による場合)	(放射密封) 第2号	令和4年4月1日
緩和ケア診療加算	(緩診) 第9号	平成23年4月1日
精神科身体合併症管理加算	(精合併加算) 第5号	平成20年4月1日
精神科リエゾンチーム加算	(精リエ) 第3号	平成24年4月1日
摂食障害入院医療管理加算	(摂食障害) 第1号	平成22年4月1日
栄養サポートチーム加算	(栄養チ) 第130号	令和元年6月1日
医療安全対策加算1	(医療安全1) 第2号	平成20年4月1日
感染対策向上加算1	(感染対策1) 第16号	令和4年4月1日
指導強化加算	-	令和4年4月1日
抗菌薬適正使用加算	-	令和6年6月1日
患者サポート体制充実加算	(患サポ) 第142号	平成24年5月1日
重症患者初期支援充実加算	(重症初期) 第9号	令和4年4月1日
報告書管理体制加算	(報告管理) 第24号	令和4年10月1日
褥瘡ハイリスク患者ケア加算	(褥瘡ケア) 第23号	平成19年7月1日
ハイリスク妊娠管理加算	(ハイ妊娠) 第12号	平成21年4月1日
ハイリスク分娩管理加算	(ハイ分娩) 第3号	平成21年4月1日
呼吸ケアチーム加算	(呼吸チ) 第33号	平成28年11月1日
術後疼痛管理チーム加算	(術後疼痛) 第25号	令和5年10月1日
後発医薬品使用体制加算1	(後発使1) 第185号	令和4年4月1日
バイオ後続品使用体制加算	(バ後使) 第2号	令和6年6月1日
病棟薬剤業務実施加算1	(病棟薬1) 第85号	令和4年4月1日
病棟薬剤業務実施加算2	(病棟薬2) 第7号	平成28年4月1日
データ提出加算2	(データ提) 第35号	平成24年10月1日

届 出 施 設 基 準 項 目	受 理 番 号	算定開始年月日
入退院支援加算1	(入退支) 第13号	令和2年5月1日
地域連携診療計画加算	-	平成30年6月1日
入院時支援加算	-	平成30年6月1日
認知症ケア加算3	(認ケア) 第275号	令和5年11月1日
せん妄ハイリスク患者ケア加算	(せん妄ケア) 第94号	令和2年5月1日
精神疾患診療体制加算	(精疾診) 第13号	平成28年4月1日
精神科急性期医師配置加算	(精急医配) 第40号	令和2年9月1日
地域医療体制確保加算	(地医確保) 第49号	令和2年4月1日
特定集中治療室管理料1	(集1) 第6号	平成31年4月1日
早期離床・リハビリテーション加算	-	平成31年4月1日
早期栄養介入管理加算	-	令和4年4月1日
算定上限日数に係る施設基準	-	令和4年4月1日
特定集中治療室遠隔支援加算	-	令和6年6月1日
ハイケアユニット入院医療管理料1	(ハイケア1) 第7号	平成28年10月1日
早期離床・リハビリテーション加算	-	令和4年10月1日
新生児特定集中治療室管理料1	(新1) 第31号	平成27年5月1日
小児入院医療管理料2	(小入2) 第32号	令和5年2月1日
プレイルーム加算ロ	-	令和6年6月1日
無菌治療室管理加算1	-	令和4年4月1日
無菌治療室管理加算2	-	令和4年4月1日
養育支援体制加算	-	令和4年4月1日

(2) 特掲診療料

届 出 施 設 基 準 項 目	受 理 番 号	算定開始年月日
歯科疾患管理料の注11に掲げる総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料	(医管) 第483号	平成18年4月1日
ウイルス疾患指導料	(ウ指) 第6号	平成21年12月1日
心臓ペースメーカー指導管理料の注5に掲げる遠隔モニタリング加算	(遠隔ペ) 第57号	令和2年6月1日
糖尿病合併症管理料	(糖管) 第108号	平成21年12月1日
がん性疼痛緩和指導管理料	(がん疼) 第4号	平成22年4月1日
がん患者指導管理料イ	(がん指イ) 第3号	平成22年4月1日
がん患者指導管理料ロ	(がん指ロ) 第50号	平成26年6月1日
がん患者指導管理料ハ	(がん指ハ) 第32号	平成27年12月1日
がん患者指導管理料ニ	(がん指ニ) 第18号	令和2年4月1日
外来緩和ケア管理料	(外緩) 第5号	平成24年4月1日
移植後患者指導管理料(臓器移植後)	(移植管臓) 第12号	令和4年4月1日
移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	(移植管造) 第7号	平成26年3月1日
糖尿病透析予防指導管理料	(糖防管) 第23号	平成24年4月1日
小児運動器疾患指導管理料	(小運指管) 第72号	令和2年4月1日
乳腺炎重症化予防ケア・指導料	(乳腺ケア) 第8号	平成30年4月1日
婦人科特定疾患治療管理料	(婦特管) 第182号	令和2年4月1日
腎代替療法指導管理料	(腎代替管) 第4号	令和2年4月1日
二次性骨折予防継続管理料1	(二骨管1) 第36号	令和4年4月1日
二次性骨折予防継続管理料3	(二骨継3) 第84号	令和4年4月1日
下肢創傷処置管理料	(下創管) 第9号	令和4年9月1日
夜間休日救急搬送医学管理料の注3に掲げる救急搬送看護体制加算1	(救搬看体) 第88号	令和3年3月1日
外来放射線照射診療料	(放射診) 第11号	平成24年4月1日

届 出 施 設 基 準 項 目	受 理 番 号	算定開始年月日
外来腫瘍化学療法診療料1	(外化診1) 第37号	令和4年4月1日
連携充実加算	(外化連) 第82号	令和4年4月1日
ニコチン依存症管理料	(ニコ) 第508号	平成29年7月1日
療養・就労両立支援指導料の注3に掲げる相談支援加算	(両立支援) 第29号	令和3年12月1日
がん治療連携計画策定料	(がん計) 第1号	平成22年4月1日
肝炎インターフェロン治療計画料	(肝炎) 第4号	平成22年4月1日
ハイリスク妊産婦連携指導料1	(ハイ妊連1) 第26号	平成30年5月1日
薬剤管理指導料	(薬) 第25号	平成22年4月1日
医療機器安全管理料1	(機安1) 第13号	平成20年4月1日
医療機器安全管理料2	(機安2) 第4号	平成20年4月1日
医療機器安全管理料(歯科)	(機安歯) 第1号	平成20年4月1日
精神科退院時共同指導料2	(精退共) 第6号	令和2年4月1日
在宅腫瘍治療電場療法指導管理料	(在電場) 第6号	平成30年9月1日
在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料の注2	(在看) 第60号	令和3年3月1日
持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定	(持血測) 第8号	平成26年4月1日
持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)	(持血測2) 第21号	令和2年5月1日
遺伝学的検査の注1に規定する基準	(遺伝検1) 第7号	平成28年4月1日
遺伝学的検査の注2に規定する基準	(遺伝検2) 第1号	令和6年6月1日
染色体検査の注2に規定する基準	(染色体) 第6号	令和4年4月1日
精密触覚機能検査	(精密触覚) 第15号	平成30年11月1日
骨髄微小残存病変量測定	(骨髄測) 第11号	令和元年8月1日
BRCA1/2遺伝子検査	(BRCA) 第5号	令和2年4月1日
がんゲノムプロファイリング検査	(がんプロ) 第20号	令和4年4月1日
先天性代謝異常検査	(先代異) 第29号	令和4年8月1日
抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)	(抗HLA) 第7号	令和4年1月1日
HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	(HPV) 第3号	平成26年4月1日
ウイルス・細菌核酸多項目同時検出(SARS-CoV-2核酸検出を含まないもの)	(ウ細多同) 第11号	令和4年11月1日
検体検査管理加算(I)	(検I) 第70号	平成20年4月1日
検体検査管理加算(IV)	(検IV) 第2号	平成22年4月1日
国際標準検査管理加算	(国標) 第2号	平成28年4月1日
遺伝カウンセリング加算	(遺伝力) 第8号	平成24年11月1日
遺伝性腫瘍カウンセリング加算	(遺伝腫力) 第3号	令和2年4月1日
心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	(血内) 第5号	平成17年4月1日
胎児心エコー法	(胎心エコ) 第2号	平成22年4月1日
時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	(歩行) 第21号	平成24年4月1日
ヘッドアップティルト試験	(ヘッド) 第13号	平成24年4月1日
人工臓器検査、人工臓器療法	(人臓) 第6号	平成17年4月1日
長期継続頭蓋内脳波検査	(長) 第5号	平成17年4月1日
長期脳波ビデオ同時記録検査1	(脳ビ) 第1号	令和2年7月1日
脳波検査判断料1	(脳判) 第11号	平成30年11月1日
遠隔脳波診断	(遠脳) 第3号	令和3年8月1日
単線維筋電図	(単筋電) 第5号	令和2年5月1日
神経学的検査	(神経) 第23号	平成20年4月1日
補聴器適合検査	(補聴) 第8号	平成17年4月1日
黄斑局所網膜電図	(黄網電) 第4号	令和2年7月1日

届 出 施 設 基 準 項 目	受 理 番 号	算定開始年月日
全視野精密網膜電図	(全網電) 第9号	令和2年7月1日
ロービジョン検査判断料	(ロー検) 第6号	平成24年4月1日
コンタクトレンズ検査料1	(コン1) 第109号	平成28年4月1日
内服・点滴誘発試験	(誘発) 第3号	平成22年4月1日
経頸静脈的肝生検	(肝生検) 第1号	令和6年6月1日
CT透視下気管支鏡検査加算	(C気鏡) 第6号	平成24年4月1日
経気管支凍結生検法	(経気凍) 第6号	令和4年4月1日
画像診断管理加算1	(画1) 第56号	平成28年5月1日
画像診断管理加算4	(画4) 第3号	令和6年6月1日
遠隔画像診断	(遠画) 第93号	令和4年8月1日
ポジトロン断層撮影	(ポ断) 第32号	平成22年5月1日
ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	(ポ断コ複) 第32号	平成22年5月1日
CT撮影及びMRI撮影	(C・M) 第538号	平成27年11月1日
冠動脈CT撮影加算	(冠動C) 第23号	平成20年8月1日
心臓MRI撮影加算	(心臓M) 第35号	平成20年8月1日
乳房MRI撮影加算	(乳房M) 第15号	平成28年4月1日
頭部MRI撮影加算	(頭部M) 第10号	令和3年5月1日
肝エラストグラフィ加算	(肝エラ) 第2号	令和4年4月1日
抗悪性腫瘍剤処方管理加算	(抗悪処方) 第4号	平成22年4月1日
外来化学療法加算1	(外化1) 第58号	平成27年3月1日
無菌製剤処理料	(菌) 第12号	平成20年4月1日
心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)	(心Ⅰ) 第73号	平成30年4月1日
脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)	(脳Ⅰ) 第5号	平成24年4月1日
運動器リハビリテーション料(Ⅰ)	(運Ⅰ) 第4号	平成24年4月1日
呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	(呼Ⅰ) 第9号	平成24年4月1日
摂食機能療法の注3に掲げる摂食嚥下機能回復体制加算2	(摂嚥回2) 第1号	令和4年4月1日
がん患者リハビリテーション料	(がんリハ) 第19号	平成24年9月1日
歯科口腔リハビリテーション料2	(歯リハ2) 第24号	平成26年4月1日
児童思春期精神科専門管理加算	(児春専) 第2号	平成28年4月1日
療養生活継続支援加算	(療活継) 第40号	令和4年8月1日
早期診療体制充実加算	(早充実) 第1号	令和6年6月1日
救急患者精神科継続支援料	(急精支) 第7号	令和5年7月1日
認知療法・認知行動療法1	(認1) 第46号	平成30年12月1日
精神科ショート・ケア「小規模なもの」	(ショ小) 第1号	平成18年4月1日
抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	(抗治療) 第5号	平成24年4月1日
医療保護入院等診療料	(医療保護) 第43号	平成17年4月1日
静脈圧迫処置(慢性静脈不全に対するもの)	(静圧) 第40号	令和4年12月1日
硬膜外自家血注入	(血入) 第6号	平成28年4月1日
エタノールの局所注入(甲状腺)	(エタ甲) 第37号	平成17年4月1日
エタノールの局所注入(副甲状腺)	(エタ副甲) 第7号	平成17年4月1日
人工腎臓1	(人工腎臓) 第71号	平成30年4月1日
導入期加算2及び腎代替療法実績加算	(導入2) 第6号	令和2年4月1日
透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	(透析水) 第65号	平成24年5月1日
下肢末梢動脈疾患指導管理加算	(肢梢) 第93号	平成28年6月1日
難治性高コレステロール血症に伴う重度尿蛋白を呈する糖尿病性腎症に対するLDLアフェレシス療法	(難重尿) 第6号	令和4年4月1日

届 出 施 設 基 準 項 目	受 理 番 号	算定開始年月日
移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法	(移後拒) 第3号	令和4年4月1日
手術用顕微鏡加算	(手顕微加) 第734号	令和5年1月1日
CAD／CAM冠及びCAD／CAMインレー	(歯CAD) 第1048号	平成26年9月1日
皮膚悪性腫瘍センチネルリンパ節生検加算	(皮セ節) 第1号	平成22年4月1日
組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)	(組再乳) 第22号	平成27年1月1日
四肢・軀幹軟部悪性腫瘍手術及び骨悪性腫瘍手術の注に掲げる処理骨再建加算	(処骨) 第1号	令和2年4月1日
骨悪性腫瘍、類骨骨腫及び四肢軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法	(骨悪ウ) 第1号	令和6年6月1日
骨移植術(軟骨移植術を含む。)(同種骨移植(非生体)(同種骨移植(特殊なものに限る。)))	(同種) 第4号	平成29年4月1日
骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	(自家) 第1号	平成26年3月1日
人工股関節置換術(手術支援装置を用いるもの)	(人関支) 第1号	令和6年6月1日
椎間板内酵素注入療法	(椎酵注) 第41号	令和2年5月1日
緊急穿頭血腫除去術	(緊穿除) 第2号	令和6年6月1日
内視鏡下脳腫瘍生検術及び内視鏡下脳腫瘍摘出術	(内脳腫) 第7号	令和4年5月1日
脳刺激装置植込術及び脳刺激装置交換術	(脳刺) 第8号	平成17年4月1日
頭蓋内電極植込術(脳深部電極によるもの(7本以上の電極による場合)に限る。)	(頭深電) 第1号	令和5年12月1日
脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	(脊刺) 第17号	平成17年4月1日
癒着性脊髄くも膜炎手術(脊髄くも膜剥離操作を行うもの)	(癒脊膜) 第6号	令和4年4月1日
角結膜悪性腫瘍切除手術	(角結悪) 第4号	令和4年4月1日
羊膜移植術	(羊膜移) 第10号	令和5年7月1日
緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	(緑内イ) 第4号	平成26年4月1日
緑内障手術(流出路再建術(眼内法)及び水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)	(緑内眼ド) 第13号	平成30年4月1日
緑内障手術(濾過胞再建術(needle法))	(緑内ne) 第21号	令和4年4月1日
網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)	(硝切) 第2号	平成24年4月1日
網膜再建術	(網膜再) 第10号	平成26年5月1日
経外耳道的内視鏡下鼓室形成術	(経内鼓) 第7号	令和4年4月1日
植込型骨導補聴器(直接振動型)植込術、人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術	(植補聴) 第6号	平成25年3月1日
内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)及び経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術(頭蓋底郭清、再建を伴うものに限る。)	(内鼻V腫) 第3号	平成26年4月1日
鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)	(鏡咽悪) 第3号	令和2年4月1日
鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)及び鏡視下喉頭悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	(鏡咽喉悪) 第1号	令和4年4月1日
内喉頭筋内注入術(ボツリヌス毒素によるもの)	(内筋ボ) 第4号	令和4年4月1日
鏡視下喉頭悪性腫瘍手術	(鏡喉悪) 第3号	令和2年4月1日
喉頭形成手術(甲状軟骨固定用器具を用いたもの)	(喉頭形成) 第3号	令和4年5月1日
上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)	(歯顎移) 第20号	令和6年5月1日
顎関節人工関節全置換術	(顎人工) 第5号	令和4年1月1日
内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術、内視鏡下バセドウ甲状腺全摘(亜全摘)術(両葉)、内視鏡下副甲状腺(上皮小体)腺腫過形成手術	(内下) 第4号	平成30年6月1日
内視鏡下甲状腺悪性腫瘍手術	(内甲悪) 第1号	平成30年6月1日
頭頸部悪性腫瘍光線力学療法	(頭頸悪光) 第3号	令和4年4月1日
頭頸部悪性腫瘍光線力学療法(歯科)	(歯頭頸悪光) 第1号	令和6年6月1日
乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)	(乳セ1) 第4号	平成25年4月1日

届 出 施 設 基 準 項 目	受 理 番 号	算定開始年月日
乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)	(乳セ2) 第4号	平成25年4月1日
乳腺悪性腫瘍手術(乳頭乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳頭乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))	(乳腫) 第20号	平成28年5月1日
ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	(ゲル乳再) 第22号	平成27年1月1日
胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	(胸腔拡胸支) 第3号	令和2年8月1日
胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	(胸腔縦悪支) 第2号	平成31年4月1日
胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	(胸腔縦支) 第2号	平成31年4月1日
胸腔鏡下肺切除術(区域切除及び肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	(胸腔肺支) 第1号	令和6年6月1日
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除で内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	(胸腔肺悪区) 第3号	令和元年8月1日
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	(胸腔肺悪) 第3号	令和元年8月1日
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(気管支形成を伴う肺切除)	(胸腔形成) 第6号	令和4年4月1日
胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	(胸腔食悪支) 第6号	令和4年8月1日
食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)	(穿瘻閉) 第14号	平成30年4月1日
経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)	(経特) 第49号	令和2年4月1日
経カテーテル弁置換術(経皮的肺動脈弁置換術)	(カ肺弁置) 第1号	令和6年1月1日
不整脈手術 左心耳閉鎖術(胸腔鏡下によるもの)	(不整胸腔) 第5号	令和4年5月1日
経皮的中隔心筋焼灼術	(経中) 第36号	平成20年4月1日
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	(ぺ) 第91号	平成17年4月1日
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)	(ペリ) 第4号	平成30年4月1日
両心室ペースメーカー移植術(心筋電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(心筋電極の場合)	(両ぺ心) 第8号	令和2年5月1日
両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)	(両ぺ静) 第17号	平成18年4月1日
植込型除細動器移植術(心筋リードを用いるもの)及び植込型除細動器交換術(心筋リードを用いるもの)	(除心) 第11号	令和2年5月1日
植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極抜去術	(除静) 第7号	平成17年4月1日
両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(心筋電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(心筋電極の場合)	(両除心) 第11号	令和2年5月1日
両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)	(両除静) 第2号	平成20年4月1日
大動脈バルーンパンピング法(IABP法)	(大) 第48号	平成17年4月1日
経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)	(経循補) 第6号	平成30年8月1日
補助人工心臓	(補心) 第4号	平成17年4月1日
植込型補助人工心臓(非拍動流型)	(植補心非) 第2号	平成30年4月1日
経皮的下肢動脈形成術	(経下肢動) 第7号	令和2年4月1日
腹腔鏡下リンパ群郭清術(側方)	(腹リ傍側) 第14号	令和4年4月1日
腹腔鏡下小切開骨盤内リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術、等	(腹小切) 第1号	平成26年4月1日
腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)	(腹十二局) 第16号	令和4年7月1日
腹腔鏡下胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))	(腹胃切支) 第2号	平成30年4月1日

届 出 施 設 基 準 項 目	受 理 番 号	算定開始年月日
腹腔鏡下噴門側胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下噴門側胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))	(腹側胃切支) 第2号	平成30年4月1日
腹腔鏡下胃全摘術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下胃全摘術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))	(腹胃全) 第2号	平成30年4月1日
バルーン閉塞下経静脈的塞栓術	(バ経静脈) 第2号	平成30年4月1日
腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢床切除を伴うもの)	(腹胆床) 第14号	令和4年4月1日
胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)	(胆腫) 第12号	平成28年4月1日
体外衝撃波胆石破砕術	(胆) 第2号	平成17年4月1日
腹腔鏡下肝切除術	(腹肝) 第1号	平成29年1月1日
生体部分肝移植術	(生) 第1号	平成17年4月1日
腹腔鏡下膵腫瘍摘出術	(腹膵腫瘍) 第7号	平成30年4月1日
腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	(腹膵切) 第8号	平成24年4月1日
腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	(腹膵切支) 第4号	令和5年7月1日
腹腔鏡下膵中央切除術	(腹膵中切) 第1号	令和6年6月1日
腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術	(腹膵頭) 第2号	平成30年7月1日
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	(早大腸) 第12号	平成24年4月1日
腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	(腹結悪支) 第2号	令和4年7月1日
腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	(腹直腸切支) 第1号	平成30年4月1日
腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	(腹腎形支) 第3号	令和2年4月1日
体外衝撃波腎・尿管結石破砕術	(腎) 第19号	平成17年4月1日
腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)	(腎凝固) 第6号	平成30年4月1日
腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)及び腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	(腹腎尿支器) 第4号	平成28年11月1日
膀胱水压拡張術及びハンナ型間質性膀胱炎手術(経尿道)	(膀胱ハ間) 第41号	令和4年4月1日
腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	(腹膀胱悪支) 第3号	平成30年7月1日
腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	(腹膀) 第4号	平成24年4月1日
腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術	(腹小膀悪) 第6号	平成26年4月1日
尿道狭窄グラフト再建術	(尿狭再) 第1号	令和6年6月1日
人工尿道括約筋植込・置換術	(人工尿) 第8号	平成28年4月1日
精巣温存手術	(精温) 第1号	令和6年6月1日
腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	(腹前) 第8号	平成26年4月1日
腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	(腹前支器) 第10号	平成26年5月1日
腹腔鏡下仙骨腫固定術	(腹仙骨固) 第17号	令和元年5月1日
腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	(腹腔子宮内支) 第15号	令和4年12月1日
腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術 (子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	(腹子宮悪内支) 第4号	令和2年10月1日
腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)	(腹子宮) 第4号	平成26年4月1日
腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)	(腹子宮頸) 第16号	令和元年5月1日
腹腔鏡下子宮瘢痕部修復術	(腹瘢痕修) 第10号	令和4年4月1日
体外式模型人工肺管理料	(体膜肺) 第19号	令和6年2月1日
医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術 (遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。)	(乳切遺伝) 第21号	令和4年4月1日
医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術 (遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術)	(子宮附遺伝) 第16号	令和4年4月1日
輸血管理料Ⅰ	(輸血Ⅰ) 第52号	平成24年4月1日
輸血適正使用加算	(輸適) 第127号	平成30年4月1日
コーディネート体制充実加算	(コ体充) 第5号	令和元年7月1日

届 出 施 設 基 準 項 目	受 理 番 号	算定開始年月日
自己生体組織接着剤作成術	(自生接) 第2号	平成24年4月1日
自己クリオプレシピテート作製術(用手法)	(自己ク) 第3号	平成30年4月1日
同種クリオプレシピテート作製術	(同種ク) 第1号	令和2年4月1日
人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	(造設前) 第22号	平成24年4月1日
歯周組織再生誘導手術	(GTR) 第36号	平成20年4月1日
広範囲顎骨支持型装置埋込手術	(人工歯根) 第11号	平成24年4月1日
歯根端切除手術の注3	(根切顕微) 第668号	令和5年1月1日
麻酔管理料(Ⅰ)	(麻管Ⅰ) 第3号	平成17年4月1日
麻酔管理料(Ⅱ)	(麻管Ⅱ) 第22号	平成22年6月1日
放射線治療専任加算	(放専) 第18号	平成17年4月1日
外来放射線治療加算	(外放) 第4号	平成20年4月1日
高エネルギー放射線治療	(高放) 第84号	平成17年4月1日
1回線量増加加算	(増線) 第11号	平成26年4月1日
強度変調放射線治療(IMRT)	(強度) 第1号	平成20年4月1日
画像誘導放射線治療(IGRT)	(画誘) 第2号	平成30年10月1日
体外照射呼吸性移動対策加算	(体対策) 第6号	平成24年4月1日
定位放射線治療	(直放) 第12号	平成20年10月1日
定位放射線治療呼吸性移動対策加算	(定対策) 第7号	平成24年4月1日
画像誘導密封小線源治療加算	(誘密) 第7号	令和4年10月1日
病理診断管理加算2	(病理診2) 第6号	平成24年4月1日
悪性腫瘍病理組織標本加算	(悪病組) 第8号	平成30年4月1日
クラウン・ブリッジ維持管理料	(補管) 第639号	平成17年4月1日
歯科矯正診断料	(矯診) 第147号	平成22年4月1日
顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る。)の手術前後における歯科矯正に係るもの)	(顎診) 第108号	平成18年4月1日
看護職員処遇改善評価料68	(看処遇68) 第2号	令和4年10月1日
外来・在宅ベースアップ評価料(Ⅰ)	(外在ベ1) 第1608号	令和6年6月1日
歯科外来・在宅ベースアップ評価料(Ⅰ)	(歯外在ベ1) 第1018号	令和6年6月1日
入院ベースアップ評価料98	(入ベ98) 第2号	令和6年6月1日
酸素の購入単価	(酸単) 第43192号	平成31年4月1日
通院対象者通院医学管理料	(通処医管) 第206号	令和4年2月14日

(3) 入院時食事療養

届 出 施 設 基 準 項 目	受 理 番 号	算定開始年月日
入院時食事療養(Ⅰ)	(食) 第486号	平成17年4月1日

(4) 選定療養費

届 出 施 設 基 準 項 目	受 理 番 号	算定開始年月日
入院医療に係る特別の療養環境の提供	－	平成26年4月1日
特定機能病院及び地域医療支援病院(一般病床200以上)の初診	－	平成28年7月1日
特定機能病院及び地域医療支援病院(一般病床200以上)の再診	－	平成28年7月1日
入院期間が180日を超える入院	－	平成19年8月1日
白内障に罹患している患者に対する水晶体再建術に使用する眼鏡装着率の軽減効果を有する多焦点眼内レンズの支給	－	令和2年7月1日

※手術の通則で定められている掲示が必要な手術の実施件数

区 分	手術実施件数(1～12月実績)				
	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
区分1に分類される手術					
(ア) 頭蓋内腫瘍摘出術等	123	130	143	144	153
(イ) 黄斑下手術等	274	250	185	217	176
(ウ) 鼓室形成手術等	31	29	50	35	43
(エ) 肺悪性腫瘍手術等	114	121	152	122	34
(オ) 経皮的カテーテル心筋焼灼術	197	147	161	116	155
区分2に分類される手術					
(ア) 靱帯断裂形成手術等	24	41	51	41	57
(イ) 水頭症手術等	52	59	38	64	64
(ウ) 鼻副鼻腔悪性腫瘍手術等	8	5	1	4	3
(エ) 尿道形成手術等	2	1	2	2	2
(オ) 角膜移植術	0	0	0	0	0
(カ) 肝切除術等	137	134	118	118	108
(キ) 子宮附属器悪性腫瘍手術等	36	40	41	40	33
区分3に分類される手術					
(ア) 上顎骨形成術等	39	58	48	74	130
(イ) 上顎骨悪性腫瘍手術等	59	62	81	65	59
(ウ) バセドウ甲状腺全摘(亜全摘)術(両葉)	1	3	4	9	11
(エ) 母指化手術等	14	9	17	12	9
(オ) 内反足手術等	0	1	1	1	0
(カ) 食道切除再建術等	7	7	5	13	2
(キ) 同種死体腎移植術等	0	0	0	0	0
区分4に分類される手術の件数	736	733	746	810	650
その他の区分に分類される手術					
人工関節置換術	172	226	220	244	270
乳児外科施設基準対象手術	1	2	1	2	0
ペースメーカー移植術及び ペースメーカー交換術	70	74	73	92	86
冠動脈、大動脈バイパス移植術(人工 心肺を使用しないものを含む。)及び 体外循環を要する手術	105	100	113	107	102
経皮的冠動脈形成術					
急性心筋梗塞に対するもの	1	0	2	4	1
不安定狭心症に対するもの	4	1	4	5	3
その他のもの	24	10	15	16	11
経皮的冠動脈粥腫切除術	6	3	1	0	0
経皮的冠動脈ステント留置術					
急性心筋梗塞に対するもの	10	4	3	2	7
不安定狭心症に対するもの	14	13	12	10	8
その他のもの	100	69	67	68	64

4 先進医療（令和6年4月1日現在）

医 療 技 術 名	承認年月日(番号)	実施承認診療科
S-1内服投与並びにパクリタキセル静脈内及び腹腔内投与の併用療法 膵臓がん(遠隔転移しておらず、かつ、腹膜転移を伴うものに限る)	2. 4. 1 (先-294) 第1号	消化器外科
自家骨髄単核球移植による血管再生治療(全身性強皮症(難治性皮膚潰瘍を伴うものに限る))	3. 7. 1 (先-341) 第1号	血液・リウマチ・感染症内科

5 学会認定研修施設等（令和6年5月1日現在）

認 定 内 容	
1	日本医学放射線学会放射線科専門医総合修練機関(画像診断・IVR, 核医学, 放射線治療)
2	日本麻酔科学会麻酔科認定病院
3	日本脳神経外科学会専門医研修プログラム基幹施設
4	日本口腔外科学会専門医制度認定研修施設
5	日本病理学会研修認定施設
6	日本整形外科学会認定研修施設
7	日本泌尿器科学会専門医教育施設
8	日本リハビリテーション医学会研修施設
9	日本消化器病学会認定施設
10	日本呼吸器学会認定施設
11	日本糖尿病学会認定教育施設
12	日本核医学会専門医教育病院
13	日本腎臓学会認定教育施設
14	日本アレルギー学会認定アレルギー専門医教育研修施設(呼吸器内科)
15	日本眼科学会専門医制度眼科研修プログラム施行施設
16	日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会専門研修プログラム基幹施設
17	日本リウマチ学会教育施設
18	日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設
19	日本皮膚科学会認定専門医主研修施設
20	日本人類遺伝学会・日本遺伝カウンセリング学会認定臨床遺伝専門医制度研修施設
21	日本輸血・細胞治療学会認定医制度指定施設
22	日本消化器外科学会専門医修練施設
23	日本外科学会外科専門医制度修練施設
24	日本消化器内視鏡学会認定指導施設
25	日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
26	日本老年医学会認定施設
27	日本超音波医学会認定超音波専門医制度研修施設
28	日本透析医学会認定医制度認定施設
29	日本血液学会認定専門研修認定施設
30	日本小児科学会小児科専門医研修施設
31	日本集中治療医学会専門医研修施設
32	日本内科学会専門医研修プログラム基幹施設
33	日本老年精神医学会専門医制度認定施設
34	日本アフェシス学会認定施設

認 定 内 容	
35	日本神経学会専門医制度認定教育施設
36	呼吸器外科専門研修基幹施設
37	日本臨床細胞学会認定施設
38	心臓血管外科専門医認定機構基幹施設
39	日本脳卒中学会認定研修教育病院
40	日本内分泌学会認定教育施設
41	日本周産期・新生児医学会基幹認定施設(母体・胎児)
42	日本東洋医学会研修施設
43	日本婦人科腫瘍学会専門医制度指定修練施設
44	日本精神神経学会精神科専門医制度研修施設
45	日本気管食道科学会認定気管食道科専門医研修施設(咽喉系)
46	日本臨床腫瘍学会認定研修施設
47	認定輸血検査技師制度指定施設
48	日本感染症学会認定研修施設
49	日本手外科学会認定研修施設
50	日本がん治療認定医機構認定研修施設
51	日本小児循環器学会専門医修練施設
52	日本高血圧学会専門医認定施設
53	日本肝胆膵外科学会肝胆膵外科高度技能専門医修練施設A
54	日本ステントグラフト実施基準管理委員会認定腹部大動脈瘤実施施設
55	日本緩和医療学会認定研修施設
56	日本臨床細胞学会教育研修施設
57	日本頭頸部外科学会認定頭頸部がん専門医研修施設
58	日本認知症学会教育施設
59	日本心血管インターベンション治療学会研修施設
60	日本ステントグラフト実施基準管理委員会認定胸部大動脈瘤実施施設
61	認定臨床微生物検査技師制度研修施設
62	日本小児血液・がん学会認定小児血液・がん専門医研修施設
63	日本脊髄外科学会認定訓練施設
64	日本胆道学会認定指導施設
65	日本口腔診断学会認定研修機関
66	日本肝臓学会認定施設
67	日本不整脈心電学会認定不整脈専門医研修施設
68	日本アレルギー学会認定アレルギー専門医教育研修施設(皮膚科)
69	日本脈管学会認定研修指定施設
70	日本食道学会食道外科専門医認定施設
71	日本カプセル内視鏡学会認定指導施設
72	心臓血管麻酔専門医認定施設
73	日本消化管学会胃腸科指導施設
74	日本口腔腫瘍学会口腔がん専門医制度指定研修施設
75	日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会 インプラント実施施設
76	日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会 エキスパンダー実施施設
77	日本産科婦人科内視鏡学会認定研修施設
78	日本甲状腺学会認定専門医施設
79	日本大腸肛門病学会認定関連施設

認 定 内 容	
80	日本医療薬学会認定がん専門薬剤師研修施設
81	日本内分泌外科学会専門医制度認定施設
82	神奈川県医師会母体保護法指定医師研修機関
83	日本乳癌学会認定施設
84	日本病院薬剤師会がん薬物療法認定薬剤師研修施設
85	日本口腔科学会認定研修施設
86	日本放射線腫瘍学会認定施設A
87	日本脊椎脊髄病学会脊椎脊髄外科専門医基幹研修施設
88	日本浅大腿動脈ステントグラフト実施施設
89	日本女性医学学会認定研修施設
90	日本造血・免疫細胞療法学会(血液・リウマチ・感染症内科)
91	日本造血・免疫細胞療法学会(小児科)
92	植込型補助人工心臓治療関連学会協議会認定施設
93	日本脳神経血管内治療学会認定研修施設
94	遺伝性乳癌卵巣癌総合診療基幹施設
95	日本遺伝性腫瘍学会遺伝性腫瘍研修施設
96	日本呼吸器内視鏡学会認定施設
97	日本アレルギー学会認定アレルギー専門医教育研修施設(血液・リウマチ・感染症内科)
98	日本てんかん学会認定准研修施設
99	日本作業療法士協会臨床実習指導施設
100	日本膀胱学会認定指導施設
101	日本呼吸療法医学会専門医研修施設認定
102	日本成人先天性心疾患学会認定成人先天性心疾患専門医総合修練施設
103	日本先天性心疾患インターベンション学会施設認定(経皮心房中隔欠損閉鎖術)
104	日本先天性心疾患インターベンション学会施設認定(経皮動脈管閉鎖術)
105	日本臨床神経生理学会認定施設(脳波分野、筋電図・神経伝導分野)
106	日本血液学会認定専門研修認定施設(血液・リウマチ・感染症内科)
107	日本血液学会認定専門研修認定施設(小児科)
108	日本臨床薬理学会専門医制度研修施設
109	日本IVR学会専門医修練施設
110	日本緩和医療薬学会認定緩和医療専門薬剤師研修施設
111	日本脊椎脊髄病学会椎間板酵素注入療法実施可能施設
112	日本神経病理学会認定施設
113	日本病態栄養学会認定栄養管理・NST実施施設
114	日本耳科学会耳科手術認可研修施設
115	日本循環器学会トランスサイレチン型心アミロイドーシスに対するビンダゲル導入施設
116	日本救急医学会指導医指定施設
117	日本免疫不全・自己炎症学会連携施設
118	日本鼻科学会認定手術指導医制度認可施設
119	日本医学放射線学会画像診断管理認証施設
120	日本アレルギー学会認定アレルギー領域専門研修基幹施設
121	こどものこころ専門医研修施設
122	日本臨床腫瘍薬学会がん診療病院連携研修施設
123	日本胃癌学会認定施設
124	日本脳卒中学会認定一次脳卒中センター(PSC)

認 定 内 容	
125	日本腹部救急医学会認定施設
126	国立成育医療研究センター妊娠と薬情報センター拠点病院
127	日本病院薬剤師会HIV感染症薬物療法認定薬剤師養成研修施設
128	経皮的肺動脈弁システム実施施設
129	日本顎変形症学会研修施設
130	日本核医学会認証(Ⅰ)PET撮影施設
131	日本総合病院精神医学会一般病院連携精神医学専門医特定研修施設
132	日本専門医機構形成外科専門研修プログラム基幹施設
133	日本専門医機構麻酔科領域専門研修プログラム認定施設
134	日本専門医機構救急科領域専門研修プログラム認定施設
135	日本専門医機構病理領域専門研修プログラム基幹施設
136	日本専門医機構臨床検査専門研修プログラム基幹施設
137	日本専門医機構総合診療専門研修プログラム基幹施設
138	日本専門医機構放射線科領域専門研修プログラム基幹施設
139	日本専門医機構整形外科領域専門研修プログラム基幹施設
140	日本専門医機構皮膚科領域専門研修プログラム基幹施設

3 施 設 概 要

用地および建物

(1) 用 地

病 院 棟 等	金沢区福浦三丁目9番地	27,296㎡ (全体敷地:94,470㎡)
看護職員宿舎	金沢区柴町379番地1メゾン白バラ	8,117㎡

(2) 建物名称および竣工年月日

建 物 名	延床面積(㎡)	竣工年月日	構 造
病 院 棟	57,115	平成3年3月30日	S造(1部SRC造)
エネルギーセンター棟	2,361	平成3年3月30日	RC造
立 体 駐 車 場	3,371	平成19年12月28日	S造
研 修 棟	1,528	平成21年7月31日	RC造
看 護 職 員 宿 舎	6,991	平成3年2月28日	RC造
合 計	71,366		

(3) 部門別面積

(㎡)

病	病	病 室	5,306	管	心 理 検 査 室	外来に含む
		看 護 諸 室	4,832		血 液 浄 化 セ ン タ ー	544
		分 娩 室	362		小 計	13,426
棟	棟	N I C U	129	管	事 務 室	1,534
		院 内 学 級	118		会 議 室	同上に含む
		廊 下 ・ 機 械 室 等	6,798		倉 庫	同上に含む
外	来	小 計	17,545	理	保 育 所	414
		各 科 外 来 診 療 科	4,424		医 療 情 報 部	393
		救 急 ・ 外 来 手 術 室	638		病 歴 室	160
中	来	小 計	5,062	部	防 災 セ ン タ ー	108
		検 査 部 門	1,513		看 護 師 更 衣 室	198
		緊 急 検 査	同上に含む		治 験 薬 事 務 室 ・ 管 理 室	55
央	診	生 理 検 査	548	門	そ の 他	450
		小 計	2,061		小 計	3,312
		病 院 病 理 部	312		物品管理部門 (SPD・ME・ベッド)	1,049
療	部	放 射 線 部 門	1,929	サ	栄 養 部 門	820
		診 断 (MRI共)	1,463		洗 濯 リ ネ ン 部 門	215
		治 療 ・ R I	1,463		食 堂 ・ 売 店 ・ 理 容 ・ 郵 便 局	799
部	門	小 計	3,392	ビ	電 気 ・ 機 械 室	3,024
		中 央 手 術 室	2,593		コ ン ビ ニ 等	219
		I C U	642		そ の 他	408
門	門	C C U	225	ス	小 計	6,534
		A C U	236		教 室 等	医学部
		H C U	176		臨 床 講 堂	417
部	門	内 視 鏡 セ ン タ ー	576	部	学 生 更 衣 室 ・ 控 室	医学部
		化 学 療 法 セ ン タ ー	289		研 究 室	医学部
		薬 剤 部	925		図 書 室	医学部
門	門	滅 菌 室	632	門	小 計	417
		リ ハ ビ リ 部 門	625		共 用 部 門 (廊 下 ・ 階 段 ・ ホ ー ル ・ 便 所 ・ PS)	10,819
		輸 血 ・ 細 胞 治 療 部	147		合 計	57,115
部	門	再 生 細 胞 治 療 セ ン タ ー	51	門		

4 診 療 体 制

1 診 療 科 目 （令和6年6月1日現在）

血液・リウマチ・感染症内科、呼吸器内科、循環器内科、腎臓・高血圧内科、内分泌・糖尿病内科、脳神経内科、脳卒中科、消化器内科、臨床腫瘍科、緩和医療科、総合診療科、精神科、児童精神科、小児科、心臓血管外科・小児循環器、消化器・一般外科、消化器外科、呼吸器外科、乳腺・甲状腺外科、乳腺外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、放射線治療科、放射線診断科、核医学診療科、歯科・口腔外科・矯正歯科、麻酔科、脳神経外科、形成外科、リハビリテーション科、病理診断科、救急科、がんゲノム診断科、遺伝子診療科、難病ゲノム診断科

2 外来診療時間

午前9時から午後4時まで(休診日を除く)
(休診日)

- (1) 日曜日および土曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日
- (3) 1月2日、1月3日および12月29日から12月31日まで

3 病床数 671床 （令和6年6月1日現在）

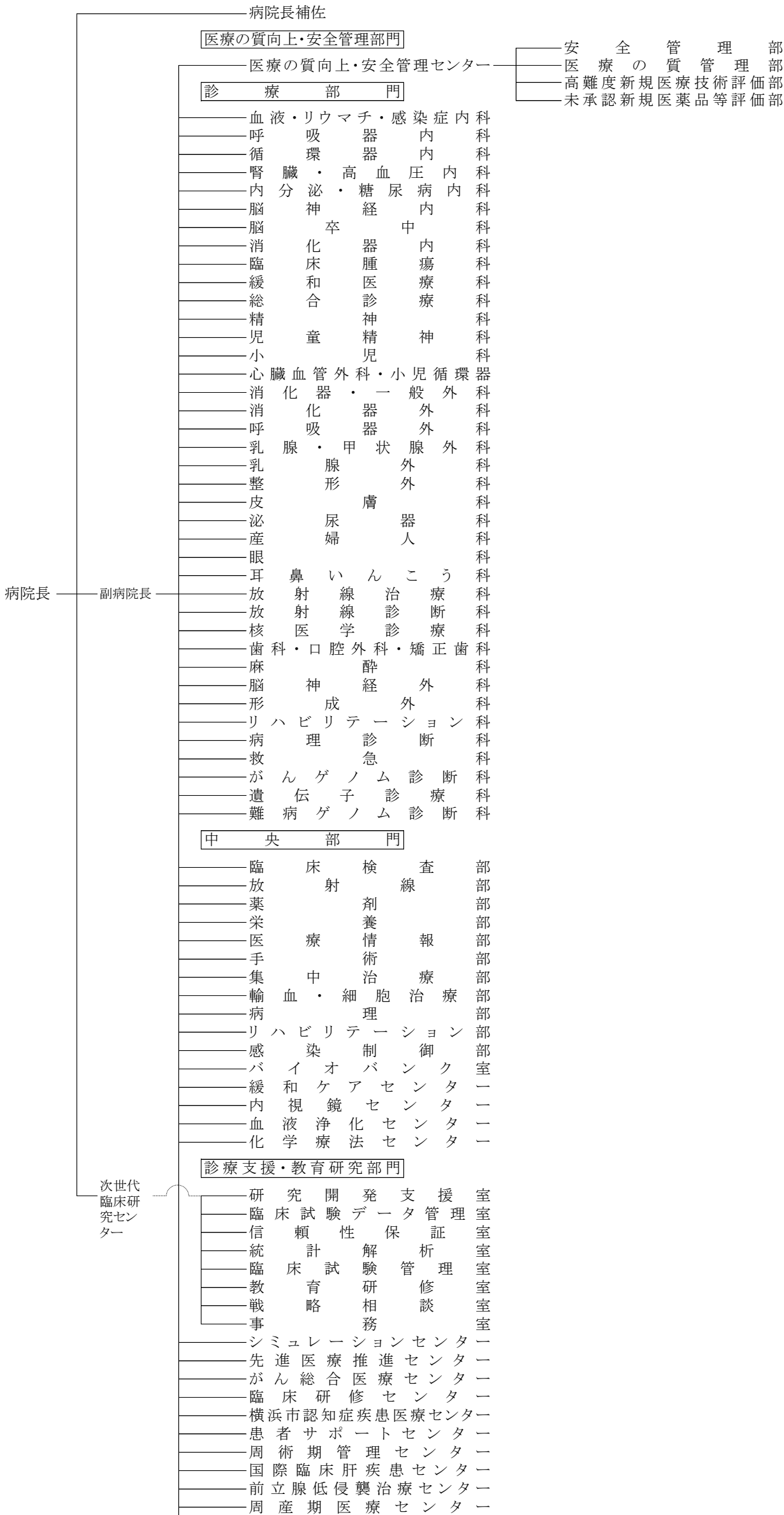
一般病床 632床、精神病床 23床、結核病床 16床

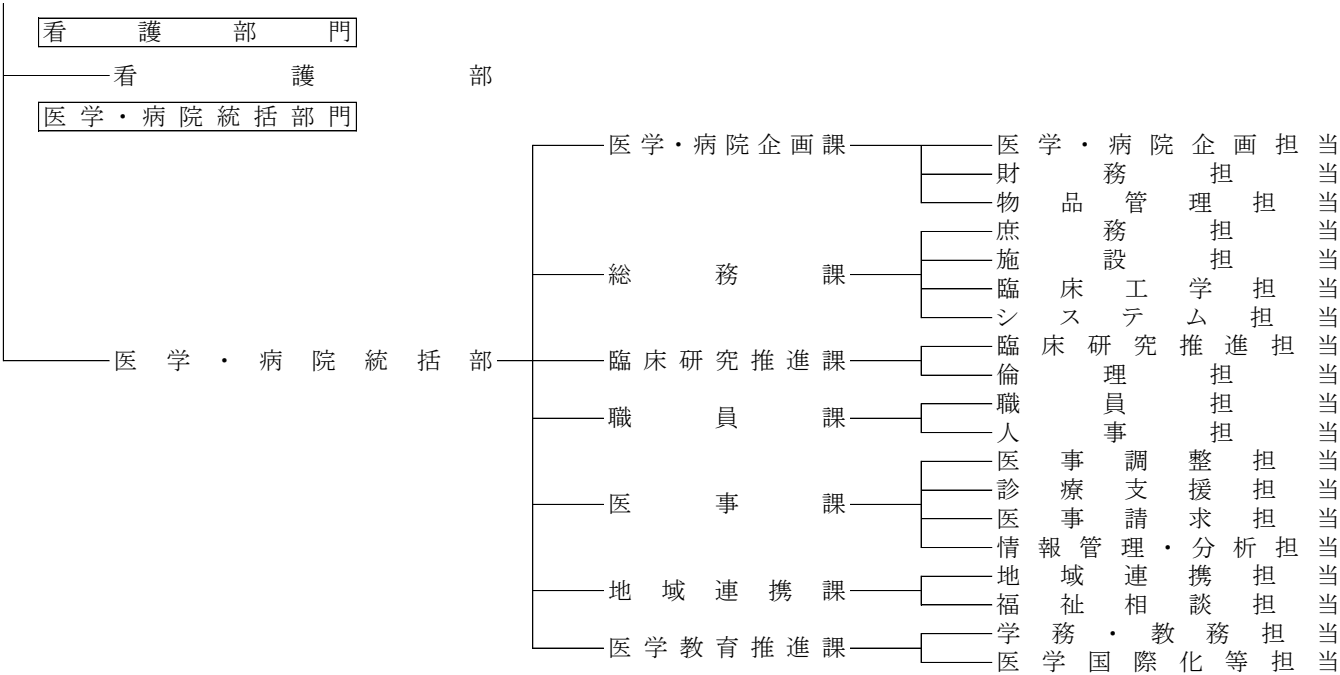
※一般病床には、ICU、HCU、CCU、NICU、ACU、臨床試験専用病床20床を含む。

科 名	病 床 数	科 名	病 床 数	科 名	病 床 数
血 液 ・ リ ウ マ チ ・ 感 染 症 内 科	32	消 化 器 外 科	33	救 急 科	7
呼 吸 器 内 科	20	呼 吸 器 外 科	6	結 核	16
循 環 器 内 科	20	乳 腺 ・ 甲 状 腺 外 科	4	感 染 症	5
腎 臓 ・ 高 血 圧 内 科	14	乳 腺 外 科	3	個 室	29
内 分 泌 ・ 糖 尿 病 内 科	11	整 形 外 科	45	共 用	80
脳 神 経 内 科	15	皮 膚 科	13	無 菌 室	5
脳 卒 中 科	6	泌 尿 器 科	26	I C U (集 中 治 療 室)	8
消 化 器 内 科	40	産 婦 人 科	36	H C U (ハ イ ケ ア ユ ニ ッ ト)	8
臨 床 腫 瘍 科	9	眼 科	13	C C U (冠 動 脈 疾 患 集 中 治 療 室)	0
緩 和 医 療 科	1	耳 鼻 い ん こ う 科	17	A C U (急 性 期 ケ ア ユ ニ ッ ト)	0
精 神 科	23	歯 科 ・ 口 腔 外 科 ・ 矯 正 歯 科	14	N I C U (新 生 児 特 定 集 中 治 療 室)	9
小 児 科	24	脳 神 経 外 科	21	臨 床 試 験 専 用	20
心 臓 血 管 外 科 ・ 小 児 循 環 器	14	形 成 外 科	9		
消 化 器 ・ 一 般 外 科	14	リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 科	1		

5 組 織

1 組 織 図 (令和6年6月1日現在)





2 病院の管理職員（令和6年6月1日現在）

病院長	遠藤格
副病院長	稲葉裕
副病院長	山本哲哉
副病院長	金子猛
副病院長	鈴木久美子
病院長補佐（兼）	菊地龍明
病院長補佐（兼）	藤井誠志
病院長補佐（兼）	西井鉄平
病院長補佐（兼）	日下部明彦

医療の質向上・安全管理部門

医療の質向上・安全管理センター長（統括安全管理者）（兼）	稲葉裕
安全管理部長（安全管理指導者）	菊地龍明
安全管理部担当課長	友田安政
安全管理部課長代理	佐々木琢也
安全管理部課長補佐	秋元若菜
安全管理部担当係長	川邊桂里
安全管理部担当係長	伊東香里
医療の質管理部長	西井鉄平
医療の質管理部担当課長	川口真澄
医療の質管理部担当課長	高橋幸男
医療の質管理部担当係長	田橋啓順
高難度新規医療技術評価部長	山本啓哉
未承認新規医薬品等評価部長	金子猛

診療部門

○診療科

血液・リウマチ・感染症内科	部	長	中島秀明
呼吸器内科	部	長	金子比子
循環器内科	部	長	日比村功
腎臓・高血圧内科	部	長（兼）	田村内中
内分泌・糖尿病内科	部	長	寺田中
脳神経内科	部	長	田中章
脳卒中中	科	長（兼）	田中章
消化器内科	部	長（兼）	前中島
消化器内科（肝胆膵消化器病学）	部	長	中市島
臨床腫瘍科	部	長	市川靖
緩和医療科	部	長	柳川亮
総合診療科	部	長	太田光
精神科	部	長	浅田見
児童精神科	部	長（兼）	浅見秀
小児科	部	長	伊藤秀
心臓血管外科・小児循環器	部	長	齋藤一綾

[illegible]

○緩和ケアセンター	センター長(兼)	市川靖史
○内視鏡センター	センター長	窪田賢輔
○血液浄化センター	センター長	涌井広道
○化学療法センター	センター長	堀田信之
診療支援・教育研究部門		
○次世代臨床研究センター	センター長(兼)	山本哲哉
	副センター長	田野島玲大
	研究開発支援室長	瀬貫孝太郎
	臨床試験データ管理室長	國分
	信頼性保証室長(兼)	友田安政
	信頼性保証室担当係長	後藤洋仁
	統計解析室長	三枝祐輔
	臨床試験管理室長	柳田洋一
	CRC担当係長	土屋美枝
	教育研修室長(兼)	田野島玲大
	戦略相談室長	小林雄祐
	事務室長代理(兼)	小浅野貴志
	事務室担当課長補佐(兼)	浅野貴志
	同(兼)	長安省吾
○シミュレーションセンター	センター長	秋山浩利
○先進医療推進センター	センター長(兼)	折館伸彦
	副センター長(兼)	前田
○がん総合医療センター	センター長(兼)	市川靖史
	副センター長(兼)	堀田信之
	副センター長(兼)	畑千秋
	副センター長(兼)	川邊桂彦
○臨床研修センター	センター長	稲森正彦
	副センター長(兼)	前田
	同	日下部明彦
○横浜市認知症疾患医療センター	センター長	浅見
○患者サポートセンター	センター長(兼)	金子
	副センター長(兼)	來生
	同(兼)	日下部明彦
	同	湯川寛夫
	同(兼)	鈴木久美子
○周術期管理センター	センター長(兼)	水野祐介
	副センター長	杉山聡美
	同	新井悠介
○国際臨床肝疾患センター	センター長 兼 担当部長	米田正人
○前立腺低侵襲治療センター	センター長(兼)	榎山和秀
○周産期医療センター	センター長	今井雄一

看護部門		
○看護部	看護部長(兼)	鈴木久美子
	副看護部長	館脇美由紀
	同	加藤弘美
	同	立石由佳
	同	畑千秋
	同	友永知恵
	同	川口真澄
	同	島田朋子
	同	玉井ゆう子
	課長補佐・看護師長	三浦友也
	同	川合淑子
	同	斉藤佳代
	同	金井静絵
	同	秋元若菜
	同	櫻井美恵子
	同	疊家章子
	同	前原則子
	同	古川裕子
	同	中村上純奈子
	看護師長	井上純子

[illegible]

6 教 職 員

1 現 員

(令和6年4月1日現在)

		職 員																																							
		教 授		准 教 授	講 師	助 教（助手）	事 務 職 員		技 術 職 員		ソ ー シ ャ ル ワ ー カ ー		臨 床 工 学 技 士		栄 養 士		言 語 聴 覚 士		心 理 療 法 士		歯 科 衛 生 士		歯 科 技 工 士		視 能 訓 練 士		理 学 療 法 士		作 業 療 法 士		放 射 線 技 師		臨 床 検 査 技 師		薬 剤 師		看 護 師		そ の 他		合 計
常勤	常勤	常勤	常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤				
病 院 長		1																																				1			
医 療 の 質 ・ 安 全 管 理 部			1			1	1																							1		1					5				
臨 床 研 修 セ ン タ ー				1	1																																2				
医 学 ・ 病 院 統 括 部 長						1																															1				
医 学 ・ 病 院 企 画 課						14	3																														17				
総 務 課						11	9	4			17																										41				
臨 床 研 究 推 進 課						5	6																														11				
次 世 代 臨 床 研 究 セ ン タ ー				3	5	24	10																							1					2	45					
職 員 課						14	11																									4	1		8	38					
医 事 課						12	63																									1			2	78					
地 域 連 携 課						5	6			10	0																					1	1		1	24					
臨 床 検 査 部				2	4		1																				45	11				9				72					
放 射 線 部							1																				46	5					1			53					
薬 剤 部							6																										45	17		68					
栄 養 部							1					11	2																							14					
手 術 部			1																																	1					
集 中 治 療 部			4		4																															8					
輸 血 ・ 細 胞 治 療 部				1	1																							5	2							9					
病 理 部							2																					9	4							15					
リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 部							1							4	1										16		7									29					
看 護 部							4																									778	24		59	865					
そ の 他 診 療 部 門							4									2	5	2	4	1		5	2											4	29						
教 員			14	12	125																														151						
病 院 職 員 計		1	20	19	140	216		4		10		17		13		5		7		6		1		7		16		7		51		76		65	820	76	1,577				
教 員 （ 講 座 ）		45	37	39	84																														205						
内 訳	基 礎 系	18	12	11	26																														67						
	臨 床 系	27	25	28	58																														138						
合 計		46	57	58	224	216		4		10		17		13		5		7		6		1		7		16		7		51		76		65	820	76	1,782				

※非常勤職員：病院専門職、一般職、有期雇用、アルバイト職員

2 診療科別医師・歯科医師数

(令和6年4月1日現在)

診療科	医学部教員	病院教員	診療医			初期研修医
			指導診療医	後期研修医	非常勤	
病院長		1				
医療の質・安全管理部		1				
血液・リウマチ・感染症内科	7	4	3	4	12	
呼吸器内科	4	4	3		8	
循環器内科	5	4	4		3	
腎臓・高血圧内科	4	2	2	2	12	
内分泌・糖尿病内科	3	3		4	4	
脳神経内科	6	4	4	4	5	
脳卒中科						
消化器内科	7	4	4	2	12	
臨床腫瘍科	3	3	1			
緩和医療科		3	1			
総合診療科	1			1		
精神科	3	5		6	8	
児童精神科		2	1		3	
小児科	6	6	7	4	13	
心臓血管外科・小児循環器	2	3	1	2		
消化器・一般外科	4	4	1	1		
呼吸器外科	1	1		2		
乳腺・甲状腺外科	1	1	1			
消化器外科	7	4	7	2	5	
乳腺外科	1	2			1	
整形外科	6	8	6		13	
皮膚科	6	3	1	5	13	
泌尿器科	5	4	3	4		
産婦人科	7	5	4	8	3	
眼科	6	3	1	4	14	
耳鼻いんこう科	6	4		6	5	
放射線治療科	3	2	1	2		
放射線診断科	5	7	3	6	1	
核医学診療科		2				
歯科・口腔外科・矯正歯科	6	3	4	3	6	
麻酔科	9	12	2	16	6	
脳神経外科	5	3	2	4	3	
形成外科	2	2	1	5	1	
リハビリテーション科	2	3	1	2		
病理診断科	2	3	3	2		
救急科	4	6		2		
がんゲノム診断科		1	1			
遺伝子診療科		2			3	
難病ゲノム診断科		2			1	
臨床検査部		6				
医療情報部	1					
手術部		1				
集中治療部		8	2	2		
輸血・細胞治療部		2				
感染制御部		3				
バイオバンク室		1				
内視鏡センター		4	1	1		
血液浄化センター		1	1	1	1	
化学療法センター		1				
C C U		2	2			
中央無菌室		1				
次世代臨床研究センター		8			1	
臨床研修センター		2				74
周術期管理センター		1				
国際臨床肝疾患センター		3				
前立腺低侵襲治療センター		1				
合計	140	181	79	107	(※※)157	74

(※※)常勤換算 31.55名

3 看護体制・部署構成表

令和6年4月1日現在

部 署	病床数	許可病床数	夜勤体制	診療科構成等
6－1病棟	34	34	4：3	小児科、心臓血管外科・小児循環器
N I C U	9	9	3：3	NICU9
6－2病棟	46	48	6：6	産婦人科、脳神経内科
中央無菌室	5	5		中央無菌病室、救急無菌室
6－3病棟	28	28	6：6	HCU15
6－4病棟	23	23	2：2	精神科
7－1病棟	42	42	3：4	心臓血管外科・小児循環器、消化器・一般外科、乳腺・甲状腺外科 呼吸器外科、呼吸器内科
7－2病棟	45	47	3：3	整形外科、リハビリテーション科、脳卒中科
7－3病棟	40	40	3：3	脳神経外科、形成外科、脳卒中科、整形外科、救急科
7－4病棟	42	44	4：3	消化器外科、乳腺外科、救急科
8－1病棟	44	44	3：3	皮膚科、泌尿器科、脳神経内科
8－2病棟	43	45	3：3	内分泌・糖尿病内科、消化器内科、臨床腫瘍科
8－3病棟	45	45	4：3	血液・リウマチ・感染症内科、消化器内科、緩和医療科
8－4病棟	43	45	3：4	循環器内科、腎臓・高血圧内科、内分泌・糖尿病内科
9－1病棟	21	21	4：4	結核、感染症（COVID-19）
9－4病棟	15	15		個室病棟
9－2病棟	44	46	3：3	眼科、歯科・口腔外科・矯正歯科、耳鼻いんこう科、臨床腫瘍科
9－3病棟	38	44	3：3	呼吸器内科、歯科・口腔外科・矯正歯科、脳神経内科、個室病棟
I C U	8	8	4：4	
H C U	8	8	6：6	
手 術 部	中央手術室14 手術室(15番、16番)2 小線源治療室		3：3 (準夜深夜連続) 土日祝日 2:2	
外 来				血液・リウマチ・感染症内科、呼吸器内科、循環器内科、腎臓・高血圧内科、内分泌・糖尿病内科、脳神経内科、脳卒中科、消化器内科、臨床腫瘍科、緩和医療科、総合診療科、精神科、児童精神科、小児科、心臓血管外科・小児循環器、消化器・一般外科、消化器外科、呼吸器外科、乳腺・甲状腺外科、乳腺外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、放射線治療科、放射線診断科、核医学診療科、歯科・口腔外科・矯正歯科、麻酔科、脳神経外科、形成外科、リハビリテーション科、病理診断科、救急科、がんゲノム診断科、遺伝子診療科、難病ゲノム診断科、放射線部、血液浄化センター、内視鏡センター、化学療法センター
救 急 外 来			2：2	
患者サポートセンター				入退院支援、病床管理
看 護 部 看護管理室	看護部長(副病院長、YCU看護キャリア開発支援センター長)、副看護部長(総務・人事担当・YCU看護キャリア開発支援センター副センター長、教育担当・YCU看護キャリア開発支援センター副センター長、専門領域・特定行為担当・YCU看護キャリア開発支援センター副センター長、がん領域総括・緩和ケアセンタージェネラルマネジャー、患者サービス総括担当・患者サポートセンター兼地域連携担当課長、業務・ケアプロセス担当、相談支援担当兼地域連携担当課長、看護の質担当兼医療の質担当課長)、看護師長(教育担当、YCU看護キャリア開発支援センター担当、教育担当看護学科教員支援担当、業務推進担当、業務担当、安全管理担当、感染管理担当、看護師採用確保育成担当(兼)看護職員確保、診療情報・分析担当係長看護部兼務)、看護師(医療の質向上センター担当、教育担当、YCU看護キャリア開発支援センター担当、褥瘡管理者、皮膚排泄ケア担当、がん相談支援センター専従、緩和ケアチーム専従、感染管理担当、就業支援担当、看護学科派遣)、事務職員			

7経理

予算決算比較（令和5年度）

(単位:円)

	R5決算		R5予算		予算比較 ①－②
	①	医業収入比率(%)	②	医業収入比率(%)	
業務費	33,294,035,787	109.2%	33,694,026,000	109.0%	▲ 399,990,213
教育研究経費	193,334,886	0.6%	206,031,000	0.7%	▲ 12,696,114
診療経費	18,688,401,012	61.3%	18,725,498,000	60.6%	▲ 37,096,988
診)材料費	13,548,416,365	44.4%	13,324,198,000	43.1%	224,218,365
診)医薬品費	9,316,465,592	30.6%	8,929,968,000	28.9%	386,497,592
診)診療材料費	4,058,371,254	13.3%	4,204,387,000	13.6%	▲ 146,015,746
診)給食用材料費	173,579,519	0.6%	189,843,000	0.6%	▲ 16,263,481
診)委託費	2,668,129,257	8.8%	2,731,052,000	8.8%	▲ 62,922,743
診)設備関係費	1,202,689,669	3.9%	1,303,226,000	4.2%	▲ 100,536,331
診)機器賃借料	152,647,861	0.5%	158,265,000	0.5%	▲ 5,617,139
診)修繕費	249,247,676	0.8%	298,296,000	1.0%	▲ 49,048,324
診)機器保守費	800,704,906	2.6%	846,565,000	2.7%	▲ 45,860,094
診)その他の設備関係費	89,226	0.0%	100,000	0.0%	▲ 10,774
診)研究研修費	5,833,179	0.0%	10,832,000	0.0%	▲ 4,998,821
診)経費	1,263,332,542	4.1%	1,356,190,000	4.4%	▲ 92,857,458
診)水道光熱費	669,928,942	2.2%	846,294,000	2.7%	▲ 176,365,058
診)その他	592,084,856	1.9%	495,273,000	1.6%	96,811,856
診)徴収不能引当金繰入額	1,318,744	0.0%	14,623,000	0.0%	▲ 13,304,256
受託研究費	424,117,673	1.4%	477,618,000	1.5%	▲ 53,500,327
人件費	13,988,182,216	45.9%	14,284,879,000	46.2%	▲ 296,696,784
教員人件費	2,222,761,783	7.3%	2,430,671,000	7.9%	▲ 207,909,217
職員人件費	11,765,420,433	38.6%	11,854,208,000	38.3%	▲ 88,787,567
減価償却費	2,166,997,253	7.1%	2,178,767,000	7.0%	▲ 11,769,747
一般管理費	261,249,527	0.9%	257,820,000	0.8%	3,429,527
財務費用	27,152,658	0.1%	25,407,000	0.1%	1,745,658
長期借入金支払利息等	909,103	0.0%	522,000	0.0%	387,103
ファイナンスリース支払利息	26,243,555	0.1%	24,885,000	0.1%	1,358,555
雑損	6,722,361	0.0%	2,401,000	0.0%	4,321,361
経常費用計 A	35,756,157,586	117.3%	36,158,421,000	117.0%	▲ 402,263,414
運営交付金収益	2,767,624,000	9.1%	2,767,624,000	9.0%	0
附属病院収益	32,531,483,593	106.7%	32,758,557,000	106.0%	▲ 227,073,407
医業収益 <a+b+c+d+e>	30,488,437,268	100.0%	30,914,612,000	100.0%	▲ 426,174,732
入院診療収益 <a>	18,831,487,410	61.8%	19,966,856,000	64.6%	▲ 1,135,368,590
患者 延べ数(人)	197,714人	0.0%	203,459人	0.0%	▲ 5,745人
患者 1日平均(人)	540人	0.0%	556人	0.0%	▲ 16人
診療単価(円)	94,745円	0.0%	97,697円	0.0%	▲ 2,952円
病床稼働率(%)	82.6%	0.0%	85.0%	0.0%	▲ 2.4%
室料差額収益 	387,576,400	1.3%	316,026,000	1.0%	71,550,400
外来診療収益 <c>	11,320,747,483	37.1%	10,654,565,000	34.5%	666,182,483
患者 延べ数(人)	451,904人	0.0%	441,640人	0.0%	10,264人
患者 1日平均(人)	1,860人	0.0%	1,810人	0.0%	50人
診療単価(円)	24,962円	0.0%	24,052円	0.0%	910円
診療日数(日)	243日	0.0%	244日	0.0%	▲ 1日
その他医業収益 <d>	88,250,413	0.3%	98,758,000	0.3%	▲ 10,507,587
諸証明手数料	83,571,823	0.3%	92,701,000	0.3%	▲ 9,129,177
その他医業収益	4,678,590	0.0%	6,057,000	0.0%	▲ 1,378,410
保険等査定減(▲) <e>	▲ 139,624,438	▲ 0.5%	▲ 121,593,000	▲ 0.4%	▲ 18,031,438
受託研究収入	427,811,434	1.4%	477,618,000	1.5%	▲ 49,806,566
寄付金収益	25,789,185	0.1%	20,000,000	0.1%	5,789,185
その他補助金収益(戻入) (R4まで:資産見返負債戻入)	476,069,260	1.6%	477,023,000	1.5%	▲ 953,740
雑益	1,113,376,446	3.7%	869,304,000	2.8%	244,072,446
補助金収益等	322,076,116	1.1%	182,956,000	0.6%	139,120,116
臨床研修費補助金	34,201,000	0.1%	30,550,000	0.1%	3,651,000
運営費補助金	287,875,116	0.9%	152,406,000	0.5%	135,469,116
その他雑益	791,300,330	2.6%	686,348,000	2.2%	104,952,330
不用物品売払収入	0	0.0%	0	0.0%	0
業務運営手数料収入	51,312,209	0.2%	38,794,000	0.1%	12,518,209
駐車場利用料収入	77,496,871	0.3%	72,698,000	0.2%	4,798,871
保育料収入	6,709,944	0.0%	3,337,000	0.0%	3,372,944
職員宿舎(看護)使用料収入	28,443,250	0.1%	33,254,000	0.1%	▲ 4,810,750
その他雑益	627,338,056	2.1%	538,265,000	1.7%	89,073,056
経常収益計 B	35,299,107,593	115.8%	35,526,181,000	114.9%	▲ 227,073,407
経常損益 C=B－A	▲ 457,049,993		▲ 632,240,000		175,190,007
臨時損失 D	83,854,159		0		83,854,159
臨時利益 E	2,652,468,701		295,043,000		2,357,425,701
当期純損益 F=C-D+E	2,111,564,549		▲ 337,197,000		2,448,761,549
目的積立金取崩額(収益的分) G	24,289,809		337,197,000		▲ 312,907,191
純損益 F+G	2,135,854,358		0		2,135,854,358

医 事 統 計

1 外来・入院患者数

(令和5年度)

科 名	外 来 患 者 数				実日数 243 日					入 院 患 者 数								実日数 365 日		
	初診患者	再診患者	計	病棟併診	一日平均患者数		救急外来患者数			新入院	退 院	延入院数	一日平均患者数	平均在院日数	病床数	稼働率	緊急入院患者数			
					総数	併診外	時間内(再掲)	時間外	合 計								時間内	時間外	合 計	
血液・リウマチ・感染症内科	1,062	27,938	29,000	391	119.3	117.7	346	204	550	776	795	14,424	39.5	18.4	36	109.5%	245	36	281	
呼吸器内科	1,159	14,723	15,882	493	65.4	63.3	214	133	347	710	723	8,010	21.9	11.2	13	168.3%	189	34	223	
循環器内科	1,309	14,029	15,338	504	63.1	61.0	188	221	409	869	901	8,350	22.9	9.4	19	120.1%	213	35	248	
腎臓・高血圧内科	549	11,177	11,726	372	48.3	46.7	120	91	211	505	519	6,720	18.4	13.1	14	131.1%	214	39	253	
内分泌・糖尿病内科	1,251	15,751	17,002	1,098	70.0	65.4	58	72	130	441	430	4,543	12.4	10.4	13	95.5%	32	8	40	
脳神経内科	920	11,189	12,109	287	49.8	48.7	154	155	309	367	380	6,321	17.3	16.9	17	101.6%	150	35	185	
脳卒中科	24	25	49	－	0.2	0.2	53	70	123	145	143	2,831	7.8	19.7	7	110.5%	105	33	138	
消化器内科	2,790	31,935	34,725	790	142.9	139.7	255	365	620	1,983	1,953	16,118	44.2	8.2	35	125.8%	432	114	546	
臨床腫瘍科	98	5,126	5,224	96	21.5	21.1	63	49	112	376	387	3,467	9.5	9.1	11	86.1%	95	21	116	
緩和医療科	349	3,385	3,734	2,535	15.4	4.9	－	－	－	－	－	－	－	－	2	－	－	－	－	
総合診療科	187	780	967	14	4.0	3.9	1	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
精神科	1,043	9,532	10,575	577	43.5	41.1	62	130	192	213	251	7,078	19.4	30.5	26	74.4%	26	2	28	
児童精神科	245	4,424	4,669	11	19.2	19.2	9	7	16	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
小児科	263	6,747	7,010	14	28.8	28.8	180	88	268	663	672	9,778	26.8	14.6	27	98.9%	207	17	224	
心臓血管外科・小児循環器	173	2,572	2,745	2	11.3	11.3	37	22	59	233	214	2,521	6.9	11.3	8	86.1%	31	5	36	
心臓血管外科	206	2,550	2,756	57	11.3	11.1	36	42	78	151	150	2,750	7.5	18.3	8	93.9%	36	10	46	
消化器・一般外科	287	5,449	5,736	144	23.6	23.0	55	79	134	432	454	5,948	16.3	13.4	12	135.4%	113	23	136	
消化器外科	458	11,418	11,876	248	48.9	47.9	198	222	420	836	871	12,662	34.7	14.8	37	93.5%	239	61	300	
呼吸器外科	191	1,720	1,911	44	7.9	7.7	7	13	20	191	193	1,975	5.4	10.3	7	77.1%	16	6	22	
乳腺・甲状腺外科	570	5,919	6,489	70	26.7	26.4	33	23	56	196	195	1,618	4.4	8.3	4	110.5%	14	4	18	
乳腺外科	292	5,019	5,311	64	21.9	21.6	34	25	59	148	138	1,235	3.4	8.6	2	168.7%	27	3	30	
整形外科	2,417	31,556	33,973	945	139.8	135.9	191	212	403	1,455	1,462	17,165	47.0	11.8	34	137.9%	112	26	138	
皮膚科	1,910	18,704	20,614	1,751	84.8	77.6	79	95	174	483	494	4,266	11.7	8.7	15	77.7%	119	13	132	
泌尿器科	1,183	16,792	17,975	389	74.0	72.4	137	146	283	1,248	1,251	10,633	29.1	8.5	25	116.2%	102	19	121	
産婦人科	1,259	20,370	21,629	117	89.0	88.5	213	389	602	1,507	1,522	13,983	38.3	9.2	41	93.2%	279	84	363	
眼科	2,305	28,982	31,287	1,815	128.8	121.3	142	120	262	662	654	4,138	11.3	6.3	21	53.8%	59	9	68	
耳鼻いんこう科	1,680	17,247	18,927	1,141	77.9	73.2	79	81	160	798	790	6,153	16.9	7.7	26	64.7%	107	21	128	
放射線治療科	646	17,148	17,794	4,877	73.2	53.2	1	2	3	－	－	－	－	－	4	－	－	－	－	
歯科・口腔外科・矯正歯科	4,388	16,198	20,586	2,519	84.7	74.3	60	119	179	769	770	5,483	15.0	7.1	14	107.0%	14	4	18	
麻酔科	4,630	1,852	6,482	1,043	26.7	22.4	－	1	1	－	－	－	－	－	3	－	－	－	－	
脳神経外科	750	3,804	4,554	140	18.7	18.2	88	111	199	687	691	10,998	30.1	16.0	22	136.6%	122	28	150	
形成外科	907	6,041	6,948	277	28.6	27.5	37	37	74	322	338	3,427	9.4	10.4	11	85.1%	－	－	－	
リハビリテーション科	2,211	41,652	43,863	39,593	180.5	17.6	2	2	4	14	17	221	0.6	14.3	5	12.1%	2	－	2	
病理診断科	－	3	3	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
救急科	442	263	705	11	2.9	2.9	862	1,127	1,989	461	372	4,122	11.3	9.9	－	－	242	154	396	
がんゲノム診断科	104	419	523	19	2.2	2.1	2	－	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
遺伝子診療科	600	588	1,188	－	4.9	4.9	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
難病ゲノム診断科	3	9	12	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
再掲)心臓血管外科・小児循環器	379	5,122	5,501	59	22.6	22.4	73	64	137	－	－	－	－	－	16	－	67	15	82	
再掲)消化器・一般外科、呼吸器外科、 乳腺・甲状腺外科	1,048	13,088	14,136	258	58.2	57.1	95	115	210	－	－	－	－	－	23	－	143	33	176	
再掲)臨床腫瘍科・乳腺外科	390	10,145	10,535	160	43.4	42.7	97	74	171	－	－	－	－	－	13	－	122	24	146	
計	38,861	413,036	451,897	62,449	1,859.7	1,602.7	3,996	4,453	8,449	17,641	17,730	196,938	539.6	11.5	519	81.2%	3,542	844	4,386	

*救急外来受診患者のうち時間内の各診療科で診察した患者については、通常の外来患者としてカウントしております。
*緊急入院患者数について、令和4年度から「入院オーダが緊急入院だった患者」をカウントするよう定義を変更いたしました。

2 病棟別入院患者数

※診療科および病床数は令和6年3月末時点

(令和5年度)

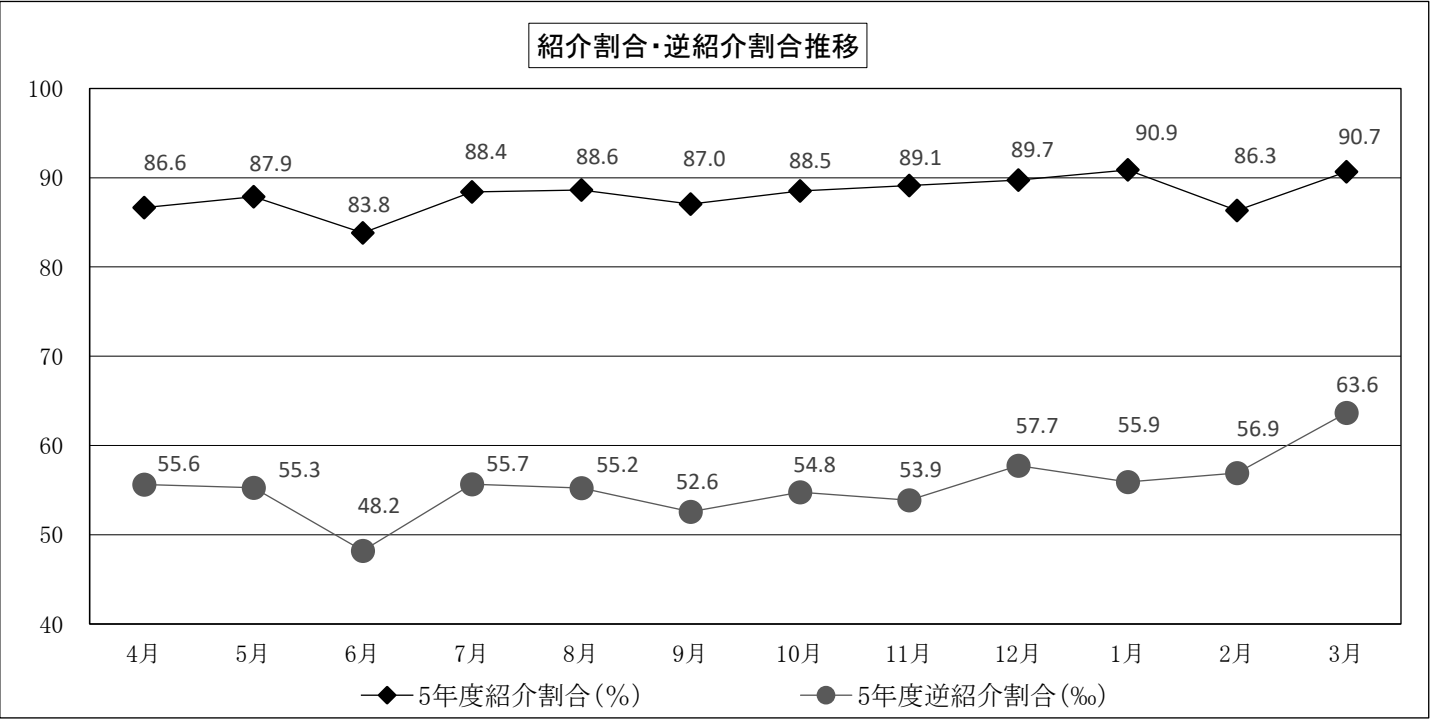
病棟別	診 療 科	病床数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	平 均 患者数	年度稼働率 %	新入院数	新退院数	平 均 在棟日数
4－I	I C U	8	206	182	186	223	210	216	208	210	229	207	208	198	2,483	7	84.8%	89	29	3.1
4－H	H C U	8	208	177	202	229	228	212	221	216	234	230	218	224	2,599	7	88.8%	227	23	2.9
4－C	C C U	4	112	82	110	102	115	111	98	93	101	100	104	109	1,237	3	84.5%	152	25	3.5
4－A	A C U	6	82	52	70	100	106	110	111	103	114	113	107	108	1,176	3	53.6%	300	70	1.9
6－S	無 菌 室	5	105	129	123	111	123	123	125	127	115	87	115	140	1,423	4	77.8%	0	18	26.6
6－1・N	N I C U	9	89	139	153	256	234	163	177	198	233	209	132	179	2,162	6	65.6%	57	63	28.6
	小 児 科 心臓血管外科・小児循環器	34	861	795	875	921	894	819	851	876	747	677	812	854	9,982	27	80.2%	811	827	11.2
6－2	産 婦 人 科	46	1,344	1,100	1,125	1,165	1,165	1,262	1,349	1,063	1,223	1,108	1,105	1,185	14,194	39	80.8%	1,572	1,593	8.4
6－3	脳 神 経 内 科 血液・リウマチ・感染症内科	28	795	767	764	795	811	802	807	739	793	665	755	551	9,044	25	88.3%	461	601	12.6
6－4	精 神 科	26	538	580	664	696	698	659	660	656	611	403	465	504	7,134	20	75.0%	210	251	28.0
7－1	心臓血管外科・小児循環器、消化器・ 一般外科、呼吸器外科、循環器内科	42	1,203	1,047	1,099	1,166	1,093	1,108	1,007	1,142	1,197	1,065	1,092	1,244	13,463	37	85.3%	1,204	1,297	8.8
7－2	整 形 外 科 リハビリテーション科	47	1,290	1,254	1,300	1,314	1,317	1,303	1,330	1,245	1,314	1,228	1,286	1,389	15,570	43	90.5%	1,231	1,242	11.3
7－3	脳 神 経 外 科 形 成 外 科、脳 卒 中 科	40	1,105	1,066	985	1,026	1,082	1,120	1,097	1,015	1,071	910	1,082	1,167	12,726	35	86.9%	950	995	9.4
7－4	消化器外科、臨床腫瘍科、 乳腺外科、乳腺・甲状腺外科	44	1,184	1,069	1,019	1,101	1,052	1,059	1,199	1,040	1,190	1,133	1,124	1,184	13,354	37	82.9%	1,064	1,138	9.6
8－1	泌尿器科、皮膚科、歯科・口 腔外科・矯正歯科、放射線科	44	1,130	1,184	1,193	1,081	1,225	1,189	1,263	1,112	1,153	1,156	1,139	1,198	14,023	38	87.1%	1,680	1,656	7.7
8－2	消化器内科、内分泌・糖尿病 内 科、緩 和 医 療 科	45	1,176	1,140	1,193	1,180	1,121	1,236	1,287	1,165	1,251	1,216	1,174	1,334	14,473	40	87.9%	1,556	1,616	8.5
8－3	血液・リウマチ・感染症内科 呼 吸 器 内 科	45	919	1,125	1,287	1,270	1,305	932	1,327	1,150	1,310	1,294	1,239	1,328	14,486	40	88.0%	1,156	1,176	11.0
8－4	循環器内科、腎臓・高血圧内 科、内 分 泌・糖 尿 病 内 科、 呼 吸 器 内 科	45	1,220	1,219	1,150	1,193	1,256	1,196	1,257	1,192	1,238	1,227	1,213	1,274	14,635	40	88.9%	1,198	1,399	9.5
9－1	結 核	16	261	164	242	221	326	245	167	50	61	213	221	156	2,327	6	39.7%	146	155	7.2
	感 染	5	94	95	54	59	44	87	53	100	96	113	68	119	982	3	53.7%	61	59	10.1
9－2	眼科、歯科・口腔外科・矯正歯 科、耳鼻いんこう科、臨床腫瘍科	46	1,178	1,052	1,157	1,036	1,200	1,150	984	1,146	1,185	1,085	852	1,164	13,189	36	76.3%	1,693	1,662	6.9
9－3	共 用	44	976	831	916	880	1,028	992	1,011	909	1,042	962	849	1,060	11,456	31	71.1%	1,346	1,340	7.7
9－4	個 室	15	421	413	404	393	386	387	395	415	414	384	383	425	4,820	13	87.8%	477	495	8.9
合 計		652	16,497	15,662	16,271	16,518	17,019	16,481	16,984	15,962	16,922	15,785	15,743	17,094	196,938	540	82.0%	17,641	17,730	8.7
診 療 日 数 (日)			30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365					

3 紹介割合・逆紹介割合推移

紹介割合

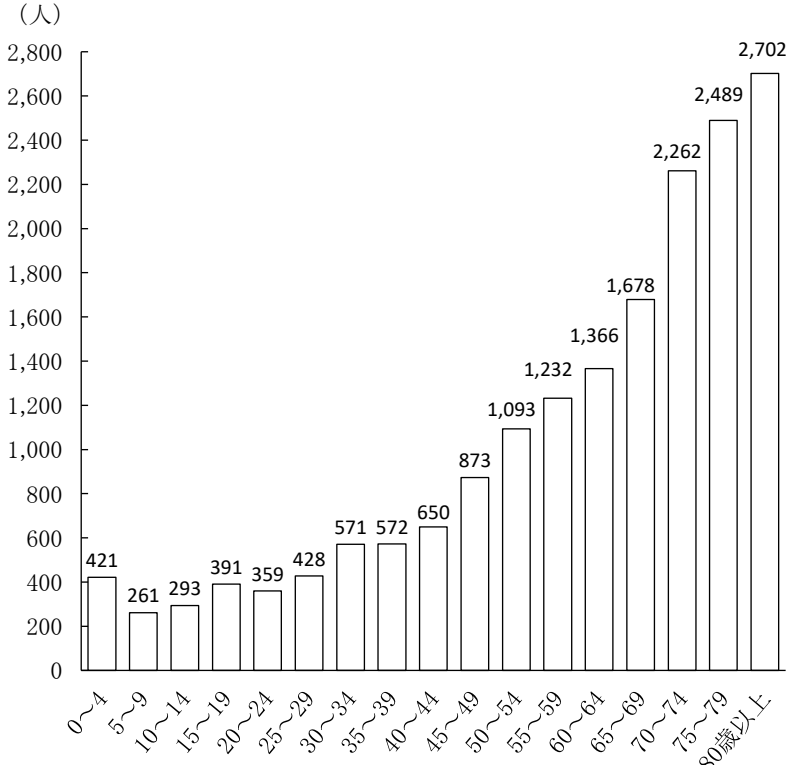
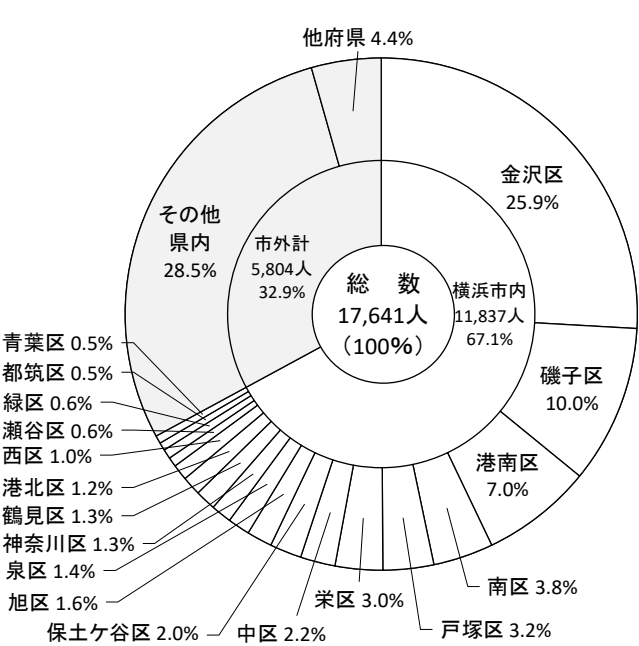
(令和5年度)

	紹介患者数 A	他医療機関 紹介患者数 B	初診救急車搬送数 C	初診患者数 (夜間・休日・救急 車搬送を除く) D	再診患者数 (夜間・休日・救急 車搬送を除く) E	紹介割合 (A+C)/D	逆紹介割合 B/D
4月	1,325	1,481	173	1,729	24,889	86.6%	55.6‰
5月	1,303	1,499	166	1,672	25,447	87.9%	55.3‰
6月	1,420	1,392	160	1,885	26,990	83.8%	48.2‰
7月	1,240	1,510	179	1,605	25,521	88.4%	55.7‰
8月	1,306	1,548	189	1,687	26,346	88.6%	55.2‰
9月	1,296	1,429	155	1,667	25,518	87.0%	52.6‰
10月	1,305	1,563	183	1,681	26,864	88.5%	54.8‰
11月	1,284	1,463	167	1,628	25,536	89.1%	53.9‰
12月	1,247	1,689	215	1,629	27,620	89.7%	57.7‰
1月	1,208	1,544	215	1,566	26,042	90.9%	55.9‰
2月	1,242	1,573	167	1,632	26,011	86.3%	56.9‰
3月	1,309	1,923	219	1,685	28,530	90.7%	63.6‰
合計	15,485	18,614	2,188	20,066	315,314	88.1%	55.5‰



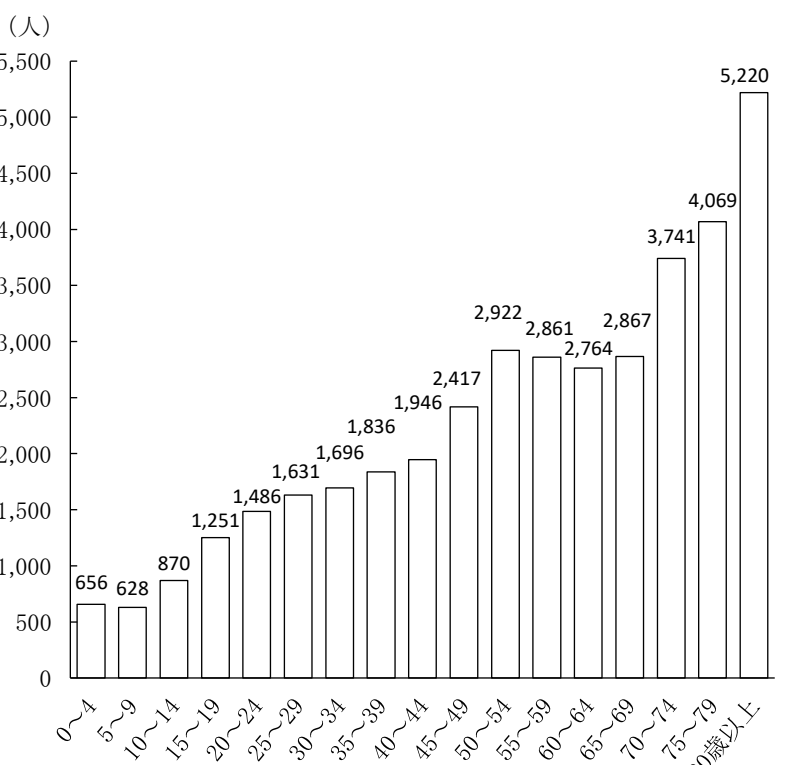
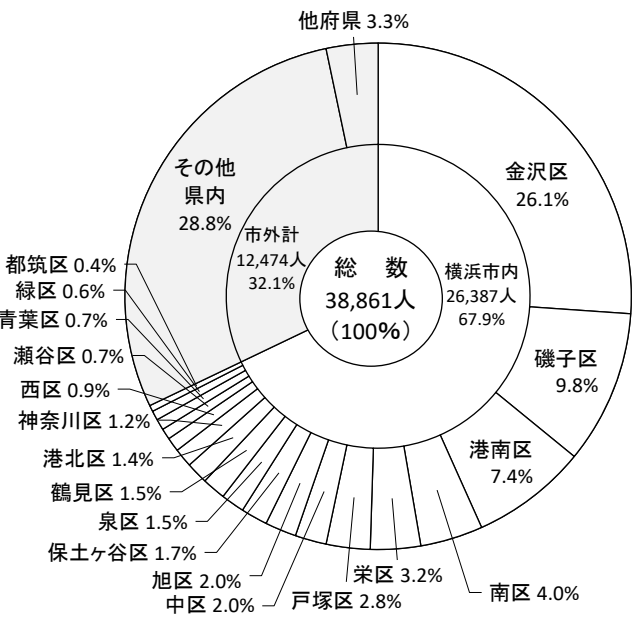
4 新入院患者の診療圏別割合（令和5年度）

6 年齢階層別新入院患者数比較（令和5年度）



5 初診患者の診療圏別割合（令和5年度）

7 年齢階層別初診患者数比較（令和5年度）



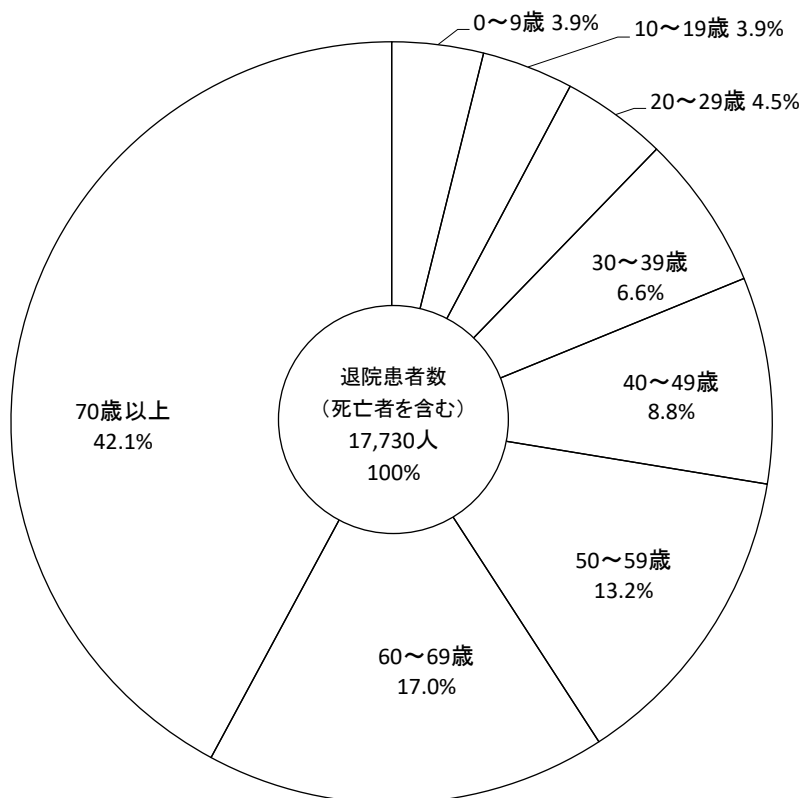
8
年齢別・疾患別転科・退院患者数（死亡を含む）および割合（令和5年度）

年 齢		0～9歳		10～19歳		20～29歳		30～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70歳以上		合 計		男		女		男性退院患者に対する疾患別割合	女性退院患者に対する疾患別割合
		患者数	比 率	患者数	比 率	患者数	比 率	患者数	比 率	患者数	比 率	患者数	比 率	患者数	比 率	患者数	比 率	患者数	比 率	患者数	比 率				
疾 患																									
感 染 症 お よ び 寄 生 虫 症		5	0.7%	3	0.4%	9	1.1%	9	0.8%	25	1.5%	43	1.7%	59	1.9%	109	1.4%	262	1.4%	137	52.3%	125	47.7%	1.4%	1.4%
新 生 物	悪 性 ・ 上 皮 内	208	29.7%	138	19.0%	57	6.9%	124	10.3%	444	27.1%	844	34.2%	1,374	43.3%	3,113	39.3%	6,302	33.8%	3,810	60.5%	2,492	39.5%	38.9%	28.1%
	そ の 他	53	7.6%	45	6.2%	65	7.8%	84	7.0%	186	11.4%	191	7.7%	186	5.9%	268	3.4%	1,078	5.8%	513	47.6%	565	52.4%	5.2%	6.4%
血 液 ・ 造 血 器 系 疾 患 ・ 免 疫 機 構 障 害		26	3.7%	34	4.7%	6	0.7%	7	0.6%	11	0.7%	14	0.6%	15	0.5%	50	0.6%	163	0.9%	89	54.6%	74	45.4%	0.9%	0.8%
内 分 泌 ・ 栄 養 お よ び 代 謝 障 害		1	0.1%	10	1.4%	17	2.1%	30	2.5%	58	3.5%	108	4.4%	118	3.7%	270	3.4%	612	3.3%	343	56.0%	269	44.0%	3.5%	3.0%
精 神 お よ び 行 動 の 障 害		1	0.1%	38	5.2%	64	7.7%	30	2.5%	36	2.2%	51	2.1%	22	0.7%	35	0.4%	277	1.5%	75	27.1%	202	72.9%	0.8%	2.3%
神 経 系 疾 患		3	0.4%	37	5.1%	41	4.9%	42	3.5%	64	3.9%	94	3.8%	99	3.1%	195	2.5%	575	3.1%	304	52.9%	271	47.1%	3.1%	3.1%
眼 お よ び 付 属 器 の 疾 患		5	0.7%	13	1.8%	5	0.6%	15	1.3%	34	2.1%	78	3.2%	119	3.7%	354	4.5%	623	3.3%	320	51.4%	303	48.6%	3.3%	3.4%
耳 お よ び 乳 様 突 起 の 疾 患		22	3.1%	12	1.7%	3	0.4%	9	0.8%	5	0.3%	14	0.6%	8	0.3%	26	0.3%	99	0.5%	59	59.6%	40	40.4%	0.6%	0.5%
循 環 器 系 疾 患	心 疾 患	25	3.6%	38	5.2%	6	0.7%	11	0.9%	22	1.3%	84	3.4%	92	2.9%	381	4.8%	659	3.5%	447	67.8%	212	32.2%	4.6%	2.4%
	脳 血 管 性 疾 患	6	0.9%	3	0.4%	5	0.6%	3	0.3%	4	0.2%	34	1.4%	47	1.5%	163	2.1%	265	1.4%	140	52.8%	125	47.2%	1.4%	1.4%
	高 血 圧 性 疾 患	0	0.0%	3	0.4%	7	0.8%	16	1.3%	20	1.2%	44	1.8%	38	1.2%	70	0.9%	198	1.1%	69	34.8%	129	65.2%	0.7%	1.5%
	そ の 他	1	0.1%	12	1.7%	8	1.0%	19	1.6%	40	2.4%	74	3.0%	79	2.5%	199	2.5%	432	2.3%	198	45.8%	234	54.2%	2.0%	2.6%
呼 吸 器 系 疾 患		10	1.4%	7	1.0%	23	2.8%	37	3.1%	25	1.5%	45	1.8%	102	3.2%	360	4.5%	609	3.3%	372	61.1%	237	38.9%	3.8%	2.7%
消 化 器 系 疾 患	口腔・唾液腺・顎の疾患	4	0.6%	64	8.8%	142	17.1%	122	10.2%	100	6.1%	91	3.7%	46	1.4%	42	0.5%	611	3.3%	202	33.1%	409	66.9%	2.1%	4.6%
	食道・胃・腸の疾患	0	0.0%	5	0.7%	6	0.7%	9	0.8%	22	1.3%	35	1.4%	76	2.4%	225	2.8%	378	2.0%	225	59.5%	153	40.5%	2.3%	1.7%
	肝・胆・膵臓の疾患	0	0.0%	1	0.1%	17	2.1%	29	2.4%	61	3.7%	130	5.3%	142	4.5%	404	5.1%	784	4.2%	511	65.2%	273	34.8%	5.2%	3.1%
	そ の 他	0	0.0%	11	1.5%	1	0.1%	0	0.0%	9	0.6%	9	0.4%	24	0.8%	64	0.8%	118	0.6%	75	63.6%	43	36.4%	0.8%	0.5%
皮 膚 お よ び 皮 下 組 織 の 疾 患		4	0.6%	13	1.8%	25	3.0%	18	1.5%	37	2.3%	32	1.3%	24	0.8%	94	1.2%	247	1.3%	139	56.3%	108	43.7%	1.4%	1.2%
筋 骨 格 系 お よ び 結 合 組 織 の 障 害		71	10.1%	101	13.9%	45	5.4%	47	3.9%	97	5.9%	203	8.2%	226	7.1%	483	6.1%	1,273	6.8%	516	40.5%	757	59.5%	5.3%	8.5%
腎 ・ 尿 路 系 の 疾 患		0	0.0%	5	0.7%	15	1.8%	16	1.3%	27	1.7%	49	2.0%	71	2.2%	269	3.4%	452	2.4%	262	58.0%	190	42.0%	2.7%	2.1%
男 性 生 殖 器 の 疾 患		0	0.0%	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.0%	3	0.1%	4	0.1%	9	0.0%	9	100.0%	0	0.0%	0.1%	0.0%
女 性 骨 盤 臓 器 ・ 生 殖 器 の 疾 患		0	0.0%	1	0.1%	7	0.8%	22	1.8%	45	2.8%	23	0.9%	6	0.2%	14	0.2%	118	0.6%	0	0.0%	118	100.0%	0.0%	1.3%
妊 娠 、 分 娩 お よ び 産 褥	分 娩	0	0.0%	2	0.3%	72	8.7%	178	14.8%	32	2.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	284	1.5%	0	0.0%	284	100.0%	0.0%	3.2%
	妊 娠 、 産 褥 等	0	0.0%	0	0.0%	32	3.9%	137	11.4%	31	1.9%	1	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	201	1.1%	0	0.0%	201	100.0%	0.0%	2.3%
周 産 期 に 発 生 し た 病 態		124	17.7%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	125	0.7%	66	52.8%	59	47.2%	0.7%	0.7%
先 天 奇 形 、 変 形 、 染 色 体 異 常		109	15.6%	44	6.1%	23	2.8%	18	1.5%	31	1.9%	16	0.6%	13	0.4%	18	0.2%	272	1.5%	128	47.1%	144	52.9%	1.3%	1.6%
症 状 、 徴 候 お よ び 異 常 臨 床 所 見 、 異 常 検 査 所 見		5	0.7%	11	1.5%	14	1.7%	13	1.1%	39	2.4%	37	1.5%	29	0.9%	96	1.2%	244	1.3%	111	45.5%	133	54.5%	1.1%	1.5%
損 傷 、 中 毒 お よ び そ の 他 の 外 因 の 影 響	骨 折	3	0.4%	14	1.9%	16	1.9%	14	1.2%	29	1.8%	27	1.1%	26	0.8%	120	1.5%	249	1.3%	119	47.8%	130	52.2%	1.2%	1.5%
	そ の 他	11	1.6%	54	7.4%	59	7.1%	53	4.4%	68	4.2%	82	3.3%	102	3.2%	355	4.5%	784	4.2%	416	53.1%	368	46.9%	4.2%	4.2%
健 康 状 態 に 影 響 を 及 ぼ す 要 因 お よ び 保 健 サ ー ビ ス の 利 用		0	0.0%	4	0.6%	36	4.3%	85	7.1%	29	1.8%	4	0.2%	11	0.3%	29	0.4%	198	1.1%	48	24.2%	150	75.8%	0.5%	1.7%
2019年新型コロナウイルス急性呼吸器疾患		3	0.4%	3	0.4%	3	0.4%	2	0.2%	5	0.3%	8	0.3%	19	0.6%	113	1.4%	156	0.8%	98	62.8%	58	37.2%	1.0%	0.7%
合 計		700	100.0%	727	100.0%	829	100.0%	1,200	100.0%	1,636	100.0%	2,466	100.0%	3,176	100.0%	7,923	100.0%	18,657	100.0%	9,801	52.5%	8,856	47.5%	100.0%	100.0%

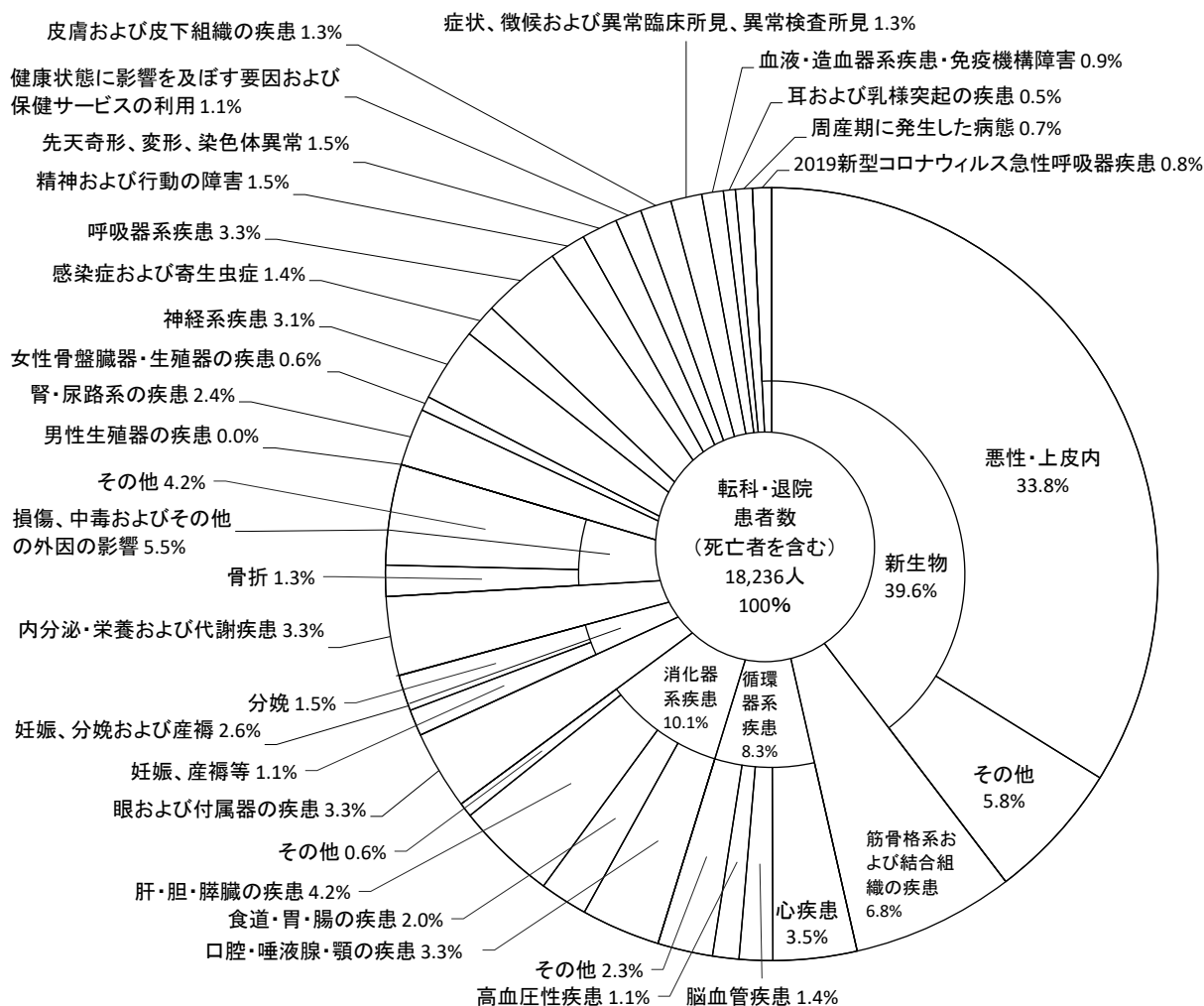
* 退院サマリから年齢別・疾患別の患者数を算出しているため、入院中に転科した患者数が含まれています。

* 入院中に転科した場合は、転科前・転科後それぞれの疾患を計上しています。

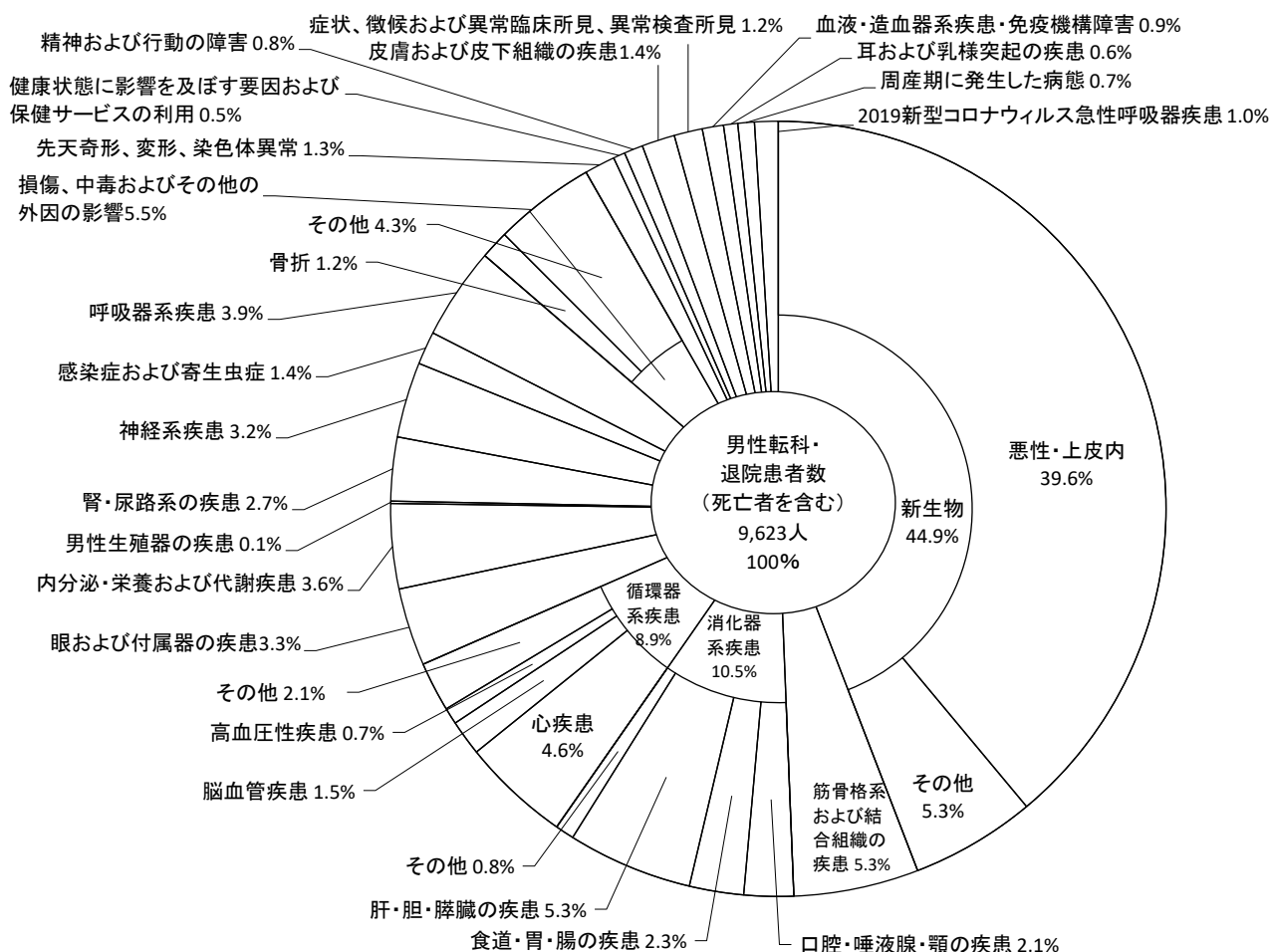
9 年齢別退院患者数の割合 (令和5年度)



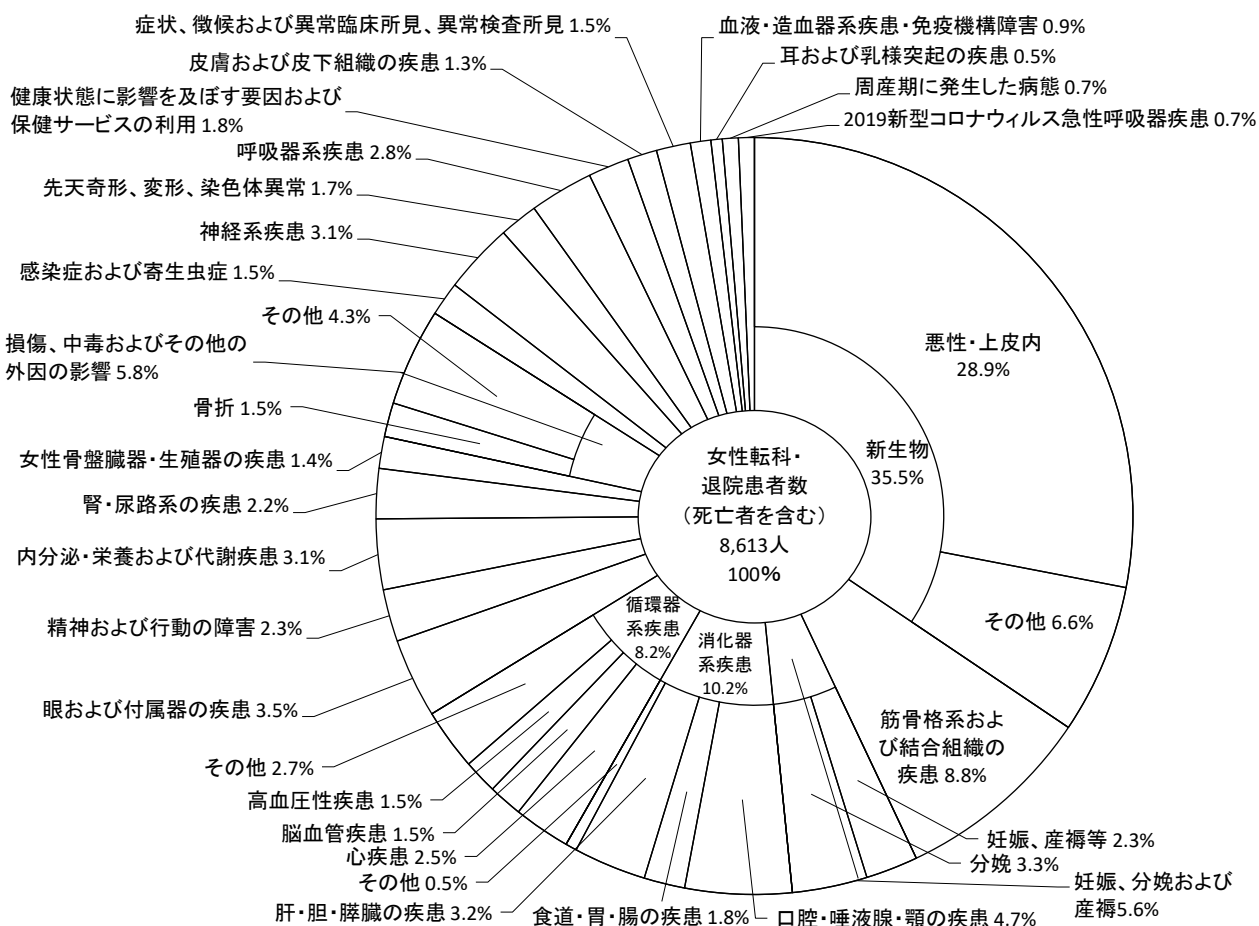
10 疾患別転科・退院患者数の割合 (令和5年度)



1 1 疾患別男性転科・退院患者数の割合（令和5年度）



1 2 疾患別女性転科・退院患者数の割合（令和5年度）



1 3 月別・診療科別・入退院患者数

(令和5年度)

診 療 科 別	新 入 院 患 者 数													退 院 患 者 数												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
血液・リウマチ・感染症内科	63	55	68	69	61	59	59	73	70	68	57	74	776	71	56	72	66	68	59	62	72	73	64	60	72	795
呼 吸 器 内 科	60	67	67	60	56	55	61	57	57	59	62	49	710	61	63	72	51	57	69	56	52	69	55	60	58	723
循 環 器 内 科	88	66	68	70	63	72	74	77	76	94	61	60	869	89	58	76	75	70	81	74	70	92	84	66	66	901
腎 臓 ・ 高 血 圧 内 科	37	35	49	38	56	41	48	35	46	42	35	43	505	31	39	43	44	58	45	44	38	54	33	36	54	519
内分泌・糖尿病内科	46	40	42	36	42	19	37	32	28	41	38	40	441	45	39	46	34	40	27	30	33	31	30	36	39	430
脳 神 経 内 科	21	35	35	46	34	26	29	31	26	28	24	32	367	26	33	28	45	33	34	36	33	25	28	25	34	380
脳 卒 中 科	19	14	13	12	13	9	5	15	11	15	7	12	145	17	16	12	9	10	10	9	12	17	7	7	17	143
消 化 器 内 科	167	148	159	171	161	152	186	148	169	175	174	173	1,983	157	148	155	177	148	157	180	153	173	149	155	201	1,953
臨 床 腫 瘍 科	24	32	29	34	36	35	33	28	29	33	32	31	376	29	25	34	31	33	37	33	28	38	31	31	37	387
緩 和 医 療 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
精 神 科	17	20	20	22	22	16	20	23	14	18	9	12	213	21	18	23	25	27	19	22	26	28	16	12	14	251
児 童 精 神 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小 児 科	57	44	66	62	48	50	55	56	59	66	48	52	663	58	46	61	61	52	52	49	56	75	56	50	56	672
心臓血管外科・小児循環器	18	16	21	27	24	18	13	23	17	15	21	20	233	15	17	18	20	24	15	14	21	17	15	18	20	214
心 臓 血 管 外 科	7	8	10	18	18	13	9	14	11	14	12	17	151	10	13	10	14	17	12	10	13	11	11	13	16	150
消化器・一般外科	29	35	44	39	46	33	36	50	27	35	29	29	432	34	35	33	44	42	42	38	40	52	30	29	35	454
消 化 器 外 科	78	73	70	66	61	67	79	59	67	71	64	81	836	77	80	72	65	71	70	75	67	77	69	67	81	871
呼 吸 器 外 科	16	12	15	17	22	16	19	19	19	8	14	14	191	23	8	14	18	18	15	22	18	20	10	13	14	193
乳 腺 ・ 甲 状 腺 外 科	12	17	14	18	14	19	19	18	14	16	17	18	196	12	15	16	15	14	19	15	20	17	17	14	21	195
乳 腺 外 科	13	12	10	4	12	11	15	15	14	17	14	11	148	13	12	9	5	8	10	15	10	18	14	13	11	138
整 形 外 科	112	118	124	115	118	115	125	118	121	121	132	136	1,455	111	110	126	113	124	117	116	124	143	98	138	142	1,462
皮 膚 科	34	33	34	34	48	31	45	54	48	46	34	42	483	42	35	37	38	41	35	45	46	59	37	37	42	494
泌 尿 器 科	118	116	126	102	125	90	107	100	86	102	85	91	1,248	108	109	130	117	104	104	100	96	108	84	91	100	1,251
産 婦 人 科	128	125	118	128	113	125	160	130	129	121	117	113	1,507	137	118	113	136	111	125	157	131	137	123	106	128	1,522
眼 科	51	66	56	53	55	51	64	72	48	48	50	48	662	43	66	64	47	62	40	62	68	61	46	50	45	654
耳 鼻 い ん こ う 科	59	57	68	59	76	80	63	66	67	70	60	73	798	55	59	64	57	75	80	72	57	78	67	56	70	790
放 射 線 治 療 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歯 科 ・ 口 腔 外 科 ・ 矯 正 歯 科	74	63	66	64	59	52	69	65	63	70	60	64	769	77	54	65	71	55	63	56	64	73	65	60	67	770
麻 酔 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脳 神 経 外 科	50	68	55	52	57	67	53	48	52	65	57	63	687	60	59	56	57	51	57	62	49	62	49	56	73	691
形 成 外 科	17	19	31	28	37	21	25	23	27	35	31	28	322	24	20	25	31	34	31	24	23	32	29	32	33	338
リハビリテーション科	0	1	1	0	1	1	1	1	1	4	1	2	14	0	2	1	0	1	0	2	0	2	3	4	2	17
救 急 科	34	38	32	36	36	41	26	28	52	46	46	46	461	24	32	27	27	33	30	16	22	44	36	35	46	372
再掲)心臓血管外科・小児循環器	31	28	32	31	36	30	30	33	30	40	38	37	396	29	30	36	34	31	35	32	29	37	29	38	38	398
再掲)消化器・一般外科、呼吸器外科、乳腺・甲状腺外科	53	73	62	61	60	58	55	63	55	64	74	70	748	56	61	70	59	63	53	60	63	66	52	73	71	747
再掲)臨床腫瘍科・乳腺外科	47	47	55	50	55	62	45	55	41	50	44	47	598	47	50	55	51	57	57	53	46	49	37	48	48	598
合 計	1,449	1,433	1,511	1,480	1,514	1,385	1,535	1,478	1,448	1,543	1,391	1,474	17,641	1,470	1,385	1,502	1,493	1,481	1,455	1,496	1,442	1,686	1,356	1,370	1,594	17,730
診 療 日 数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
1 日 平 均 数	48.3	46.2	50.4	47.7	48.8	46.2	49.5	49.3	46.7	49.8	49.7	47.5	48.3	49.0	44.7	50.1	48.2	47.8	48.5	48.3	48.1	54.4	43.7	48.9	51.4	48.6

1 4 月別・診療科別・死亡退院患者数

(令和5年度)

診 療 科 別	死 亡 退 院 患 者 数												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
血液・リウマチ・感染症内科	3	4	3	1	3	2	2	2	1	2	2	5	30
呼 吸 器 内 科	0	2	2	1	5	2	4	1	4	4	4	5	34
循 環 器 内 科	2	0	0	1	3	1	1	1	2	1	2	1	15
腎 臓 ・ 高 血 圧 内 科	0	1	0	0	1	1	2	2	3	0	0	1	11
内 分 泌 ・ 糖 尿 病 内 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脳 神 経 内 科	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	1	0	5
脳 卒 中 科	2	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4
消 化 器 内 科	5	2	2	2	2	1	4	2	4	2	2	4	32
臨 床 腫 瘍 科	2	0	1	2	1	3	2	1	0	2	1	4	19
緩 和 医 療 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
精 神 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小 児 科	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	3
心臓血管外科・小児循環器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
心 臓 血 管 外 科	0	0	0	0	2	0	0	1	0	1	0	1	5
消 化 器 ・ 一 般 外 科	0	0	0	0	0	0	4	0	1	2	2	0	9
消 化 器 外 科	1	3	0	1	0	2	1	2	1	4	2	2	19
呼 吸 器 外 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
乳 腺 ・ 甲 状 腺 外 科	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	4
乳 腺 外 科	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	3
整 形 外 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
皮 膚 科	0	2	1	2	1	0	1	2	0	1	0	1	11
泌 尿 器 科	2	1	4	0	2	2	2	2	1	4	1	2	23
産 婦 人 科	1	0	1	1	0	2	2	1	0	0	0	0	8
眼 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
耳 鼻 い ん こ う 科	0	0	0	0	1	1	1	0	2	1	0	0	6
放 射 線 治 療 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歯 科 ・ 口 腔 外 科 ・ 矯 正 歯 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
麻 酔 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脳 神 経 外 科	0	1	1	0	0	1	1	2	2	0	1	1	10
形 成 外 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
リハビリテーション科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
救 急 科	2	1	3	0	1	1	1	2	0	2	4	2	19
再掲)心臓血管外科・小児循環器	0	0	0	0	2	0	0	1	0	1	0	1	5
再掲)消化器・一般外科、呼吸器外科、乳腺・甲状腺外科	0	1	0	0	2	0	4	0	1	2	2	1	13
再掲)臨床腫瘍科・乳腺外科	2	0	1	2	1	3	3	1	2	2	1	4	22
合 計	20	21	18	12	25	20	30	21	23	29	22	30	271
診 療 日 数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
1 日 平 均 数	0.7	0.7	0.6	0.4	0.8	0.7	1.0	0.7	0.7	0.9	0.8	1.0	0.7

1 5 月別分娩件数

(令和5年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
分 娩 件 数	59	42	44	42	28	46	53	38	57	37	33	36	515
方 法	正 常 分 娩	30	31	31	27	16	31	37	24	39	26	18	337
	鉗子吸引分娩	14	4	3	3	1	7	6	4	6	1	6	58
	骨盤位経膈分娩	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	帝王切開(予定)	5	2	7	6	6	4	7	6	5	3	3	57
	帝王切開(緊急)	10	5	3	6	5	4	3	4	7	7	6	63
分娩件数に含む	早 産	2	2	5	7	2	4	4	3	3	4	2	41
	多 胎	2	0	1	2	0	0	2	1	1	0	0	9
	麻 酔 分 娩	34	21	17	19	13	22	28	20	25	16	18	251
	死 産	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2

1 6 救急患者数

(令和5年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
救 急 車	354	363	374	398	416	346	338	299	403	393	310	382	4,376
(内 訳)	(うち入院)	157	166	173	199	179	171	149	153	189	194	159	2,093
	(うち外来)	197	197	201	199	237	175	189	146	214	199	151	2,283
ウォークイン		305	350	345	387	415	362	323	317	373	338	277	4,100
(内 訳)	(うち入院)	84	91	95	90	76	95	84	91	99	93	74	1,069
	(うち外来)	221	259	250	297	339	267	239	226	274	245	203	3,031
合 計		659	713	719	785	831	708	661	616	776	731	587	8,476

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
二次輪番日救急患者数	51	49	53	48	51	42	58	55	69	58	37	49	620
(うち入院)		(20)	(15)	(19)	(19)	(16)	(15)	(18)	(17)	(24)	(19)	(16)	(218)
(内 訳)	内 科	13	18	10	21	16	18	18	13	20	13	12	189
	(うち入院)	(6)	(6)	(7)	(11)	(6)	(8)	(5)	(6)	(12)	(6)	(7)	(89)
	外 科	13	5	9	4	6	5	5	9	7	9	5	81
	(うち入院)	(6)	(0)	(3)	(4)	(6)	(1)	(4)	(3)	(3)	(4)	(3)	(38)
	そ の 他	25	26	34	23	29	19	35	33	42	36	20	350
	(うち入院)	(8)	(9)	(9)	(4)	(4)	(6)	(9)	(8)	(9)	(9)	(6)	(91)
輪番回数(夜間)		3	3	4	2	3	3	3	3	3	3	3	36
輪番回数(休日昼間)		1	1	0	2	1	1	1	1	1	1	1	12

17 病歴貸出・閲覧件数

(令和5年度)

区 分 \ 項 目		外来カルテ	退院カルテ	エックス線写真	その他の資料
4 月	件 数	24	7	3	2
	冊 数	44	19	3	2
5 月	件 数	20	10	6	1
	冊 数	35	25	8	1
6 月	件 数	24	11	8	2
	冊 数	57	35	9	2
7 月	件 数	19	10	2	1
	冊 数	62	43	3	1
8 月	件 数	21	7	0	1
	冊 数	53	19	0	1
9 月	件 数	30	9	1	2
	冊 数	70	34	1	2
10 月	件 数	35	14	7	0
	冊 数	94	37	7	0
11 月	件 数	18	9	0	1
	冊 数	68	48	0	1
12 月	件 数	23	9	5	1
	冊 数	55	26	5	1
1 月	件 数	19	6	0	0
	冊 数	69	8	0	0
2 月	件 数	20	3	3	0
	冊 数	50	14	5	0
3 月	件 数	19	0	0	0
	冊 数	43	0	0	0
合 計	件 数	272	95	35	11
	冊 数	700	308	41	11

18 じよくそう 褥瘡対策チーム

活動目的

院内の褥瘡(予防)対策の体制を整えチーム内の専門性を発揮し褥瘡(予防)対策の推進・管理、評価を行う
活動体制

医療安全に関する基本指針に定められた組織横断的医療チームとして褥瘡対策チームを設置する

構成メンバー

皮膚科・形成外科医師、栄養士、薬剤師、理学療法士、皮膚・排泄ケア認定看護師、事務局(看護部・医事課)

活動内容

病院における褥瘡予防、褥瘡に関するケア全般に関すること(週1回 褥瘡対策チームラウンド)

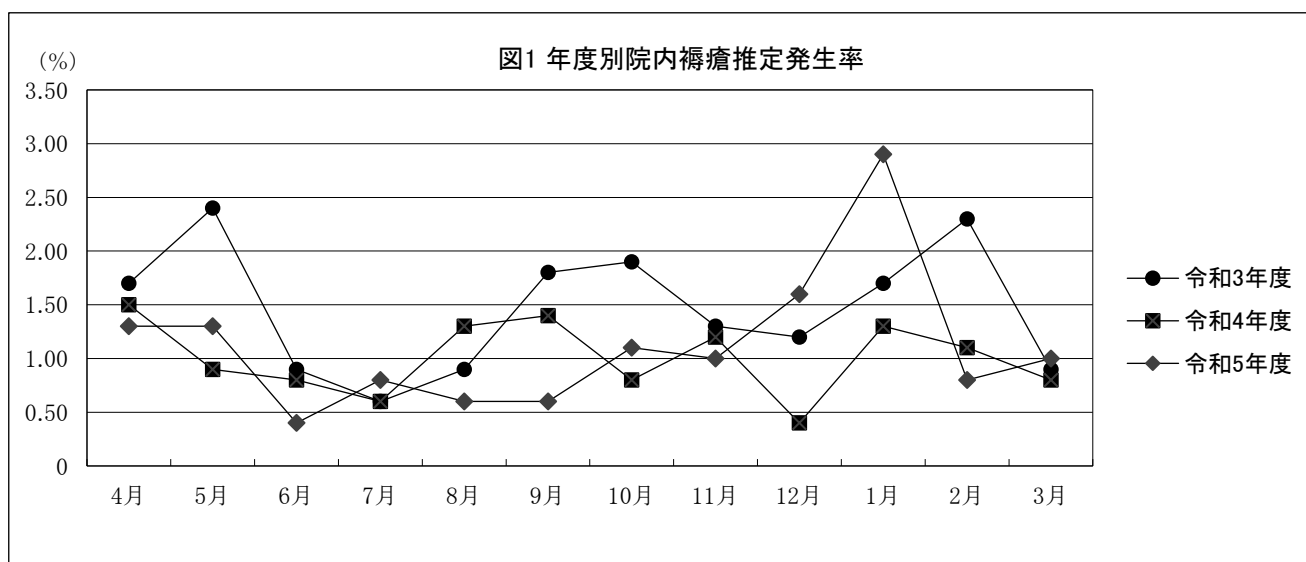
褥瘡予防、ケアを実施するうえでの各診療科、部門の調整に関すること

病院職員に対する褥瘡予防、ケアについての教育活動に関すること

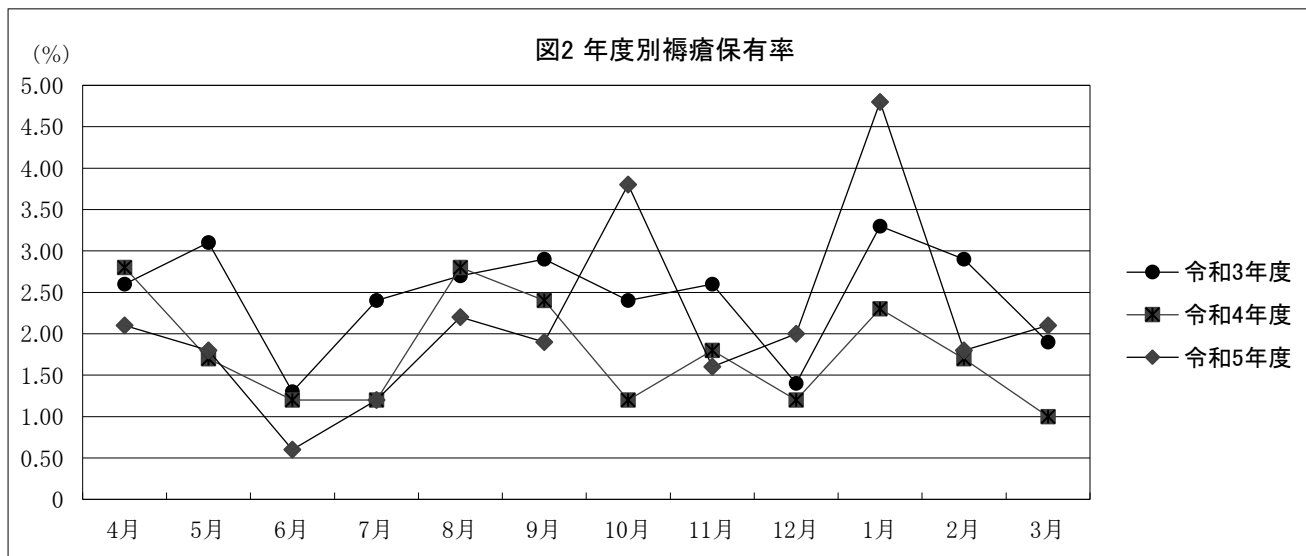
(年3回の院内勉強会実施、院内看護部教育研修での講義活動)

活動実績(令和5年度)

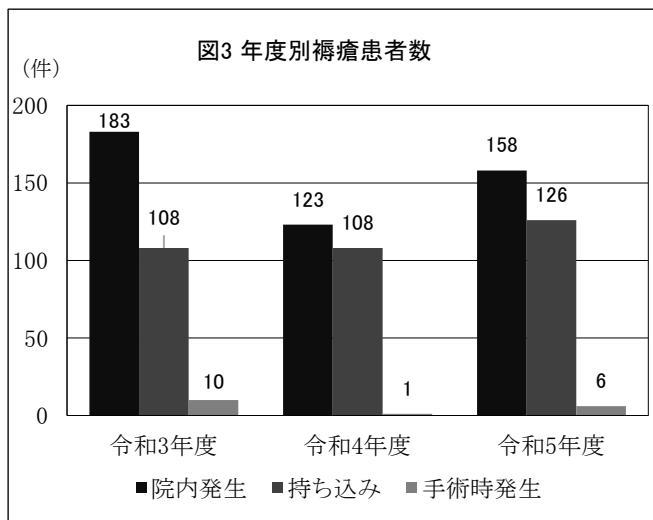
1. 年度別院内褥瘡推定発生率:日本褥瘡学会指標(図1)



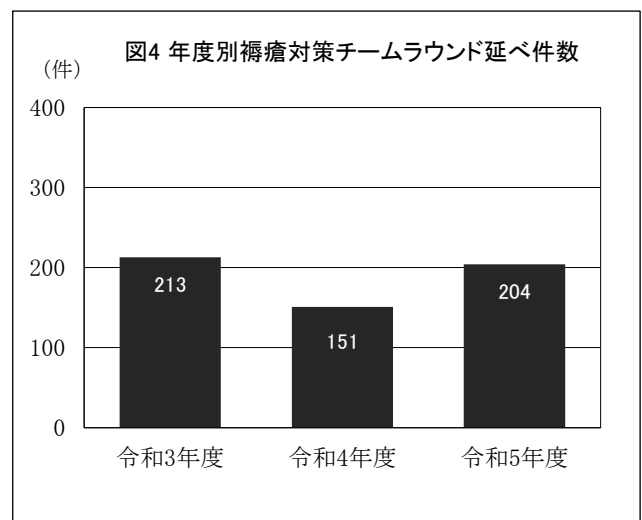
2. 年度別褥瘡保有率(図2)



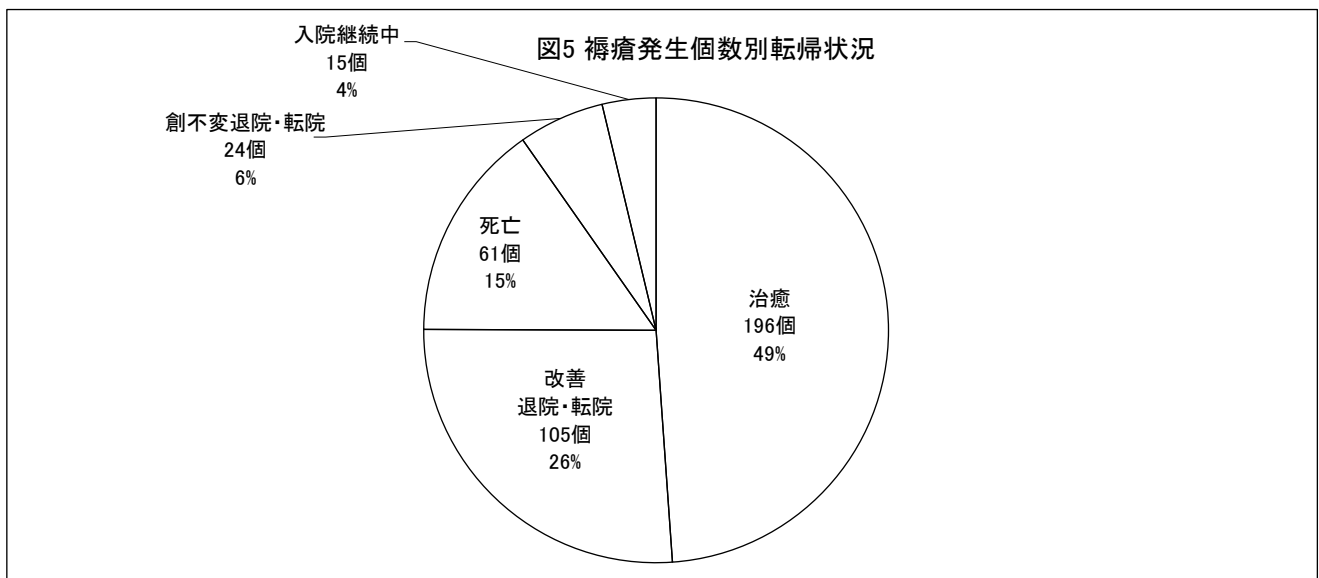
3. 年度別発生場所別褥瘡患者数(図3)



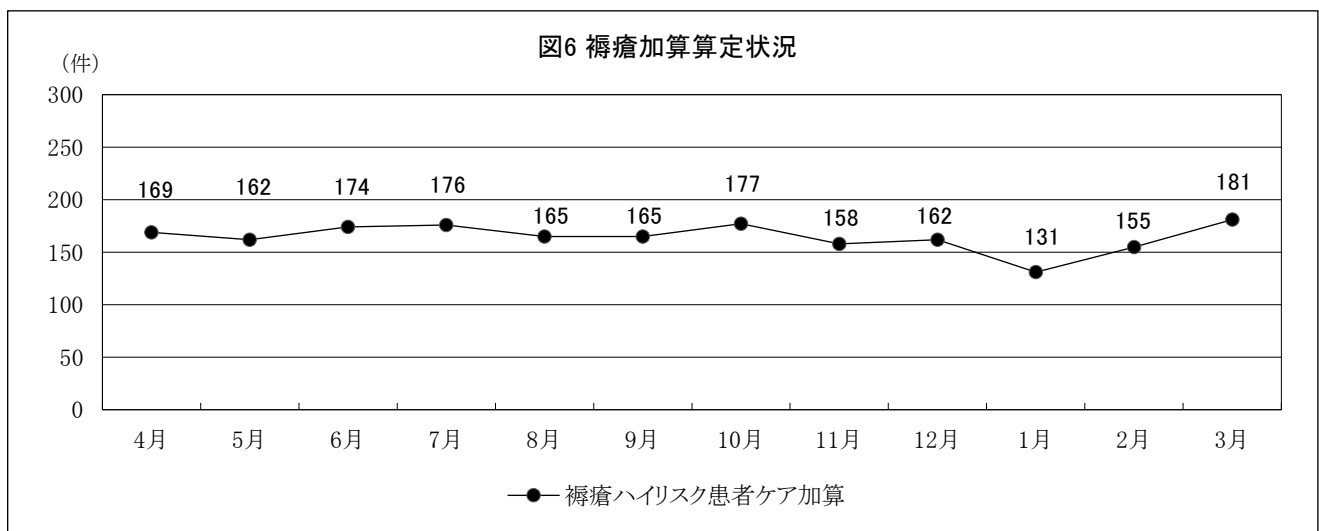
4. 年度別褥瘡対策チームラウンド延べ件数(図4)



5. 褥瘡発生個数別転帰状況(図5)



6. 褥瘡加算算定状況(図6)



19 諸法事務受付業務

病気やケガをしたとき、健康保険により診療を受けることができます。この健康保険制度のほかに公費負担制度があります。この制度は、特定の病気を対象とし、公衆衛生の向上を図るためのものと、経済的弱者を救済する社会福祉的なものとに大別され、その診療費の全額または一部を負担するものです。

諸法事務受付は、このような公費負担制度の院内の窓口として、主に次のような業務を行っています。

令和5年度医療事務相談取り扱い件数

受付事務および医療費請求	件数	受付事務および医療費請求	件数
医療費領収証明事務	801	労働災害補償保険法	839
生活保護法	11,250	国家・地方公務員災害補償法	97
公害認定患者	15	感染症37-1条・37-2条	48
横浜市・神奈川県妊婦健診	5,944	結核患者連絡票手続き	42
横浜市乳幼児精密健診	392	新生児聴覚検査	373
横浜市1歳6カ月・3歳児精密健診	3	育成医療	3
横浜市麻疹等の予防接種	39	養育医療	32
横浜市学校心臓病・糖尿病・腎臓病関連健診	13	更生医療	198
神奈川県原子爆弾被爆者等健康診断	3	介護保険主治医意見書	2,096
高齢者インフルエンザ予防接種	21	出産育児一時金直接支払制度利用手続き	538
高齢者肺炎球菌予防接種	5	障害者施設通所者交通費	17
横浜市子宮がん検診	213	合 計	22,982

9 患者サポートセンター

1 入院サポート

診療科別対応件数

(令和5年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
血液・リウマチ・感染症内科	21	29	33	30	23	34	37	33	36	32	25	37	370
呼 吸 器 内 科	40	48	47	36	22	41	39	37	43	44	33	33	463
循 環 器 内 科	43	34	58	48	51	51	66	56	44	53	46	55	605
腎 臓 ・ 高 血 圧 内 科	20	13	18	23	19	21	18	26	23	21	15	17	234
内 分 泌 ・ 糖 尿 病 内 科	38	38	35	35	27	32	30	25	38	31	41	34	404
脳 神 経 内 科	11	14	22	15	14	15	10	10	15	13	14	14	167
脳 卒 中 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消 化 器 内 科	120	118	117	127	118	106	124	110	138	117	128	104	1,427
臨 床 腫 瘍 科	14	23	22	19	23	24	16	19	19	19	24	23	245
精 神 科	3	7	6	4	9	4	7	17	8	8	7	9	89
児 童 精 神 科	1	0	0	0	1	1	1	0	0	1	0	0	5
小 児 科	7	2	5	6	6	7	6	14	14	11	11	8	97
心臓血管外科・小児循環器	12	6	12	14	12	11	12	9	8	10	11	13	130
心 臓 血 管 外 科	5	7	13	5	10	9	7	8	10	10	21	3	108
消 化 器 ・ 一 般 外 科	23	30	36	29	35	26	25	27	24	21	23	22	321
消 化 器 外 科	58	52	58	47	39	45	57	45	42	64	48	67	622
呼 吸 器 外 科	12	9	14	11	22	13	14	17	8	16	19	14	169
乳 腺 ・ 甲 状 腺 外 科	11	12	11	18	17	12	18	14	18	13	18	18	180
乳 腺 外 科	9	12	10	7	7	8	13	16	14	16	9	21	142
整 形 外 科	114	136	112	116	137	136	137	120	125	139	146	107	1,525
皮 膚 科	36	21	21	28	33	28	49	27	30	28	35	22	358
泌 尿 器 科	107	96	106	112	92	121	99	115	117	110	118	131	1,324
産 婦 人 科	55	60	72	77	66	65	77	81	74	70	67	84	848
眼 科	54	56	59	45	62	48	54	61	38	66	44	53	640
耳 鼻 い ん こ う 科	46	52	56	70	59	61	69	54	71	60	56	71	725
放 射 線 治 療 科	0	0	1	0	2	0	2	0	0	0	0	0	5
歯科・口腔外科・矯正歯科	65	77	54	64	68	54	68	62	70	80	65	78	805
麻 酔 科	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
脳 神 経 外 科	45	34	39	35	48	47	33	35	32	40	40	42	470
形 成 外 科	26	32	40	32	30	27	37	38	38	34	29	31	394
リハビリテーション科	0	1	0	2	0	1	1	1	3	1	2	1	13
合 計	996	1,019	1,078	1,055	1,052	1,048	1,126	1,077	1,100	1,128	1,095	1,112	12,886

対応内容

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
患 者 情 報 収 集	831	809	845	849	895	879	934	865	829	848	1,095	762	10,441
入退院支援スクリーニング	831	809	908	702	849	840	866	836	784	787	666	931	9,809
栄 養 ス ク リ ー ニ ン グ	831	809	908	702	849	840	866	836	784	787	666	931	9,809
転倒転落スクリーニング	831	809	908	702	849	840	866	836	784	787	666	931	9,809
せん妄リスクスクリーニング	831	809	908	702	849	840	866	836	784	787	666	931	9,809
周術期管理センター案内	190	149	173	173	163	161	168	129	178	172	155	166	1,977
DA代理入力と検査説明	69	38	55	53	69	72	63	44	62	88	91	68	772
入 院 案 内	998	1,022	1,078	1,055	1,052	1,048	1,126	1,077	1,100	1,128	1,094	1,112	12,890
月 別 合 計	5,412	5,254	5,783	4,938	5,575	5,520	5,755	5,459	5,305	5,384	5,099	5,832	65,316
患 者 対 応 実 数	996	1,019	1,078	1,055	1,052	1,048	1,126	1,077	1,100	1,128	1,095	1,112	12,886

2 患者相談窓口

(令和5年度)

内 容	件 数
診療内容・接遇に関すること	100件
医療費・助成に関すること	3件
施設・院内環境に関すること	3件
その他	39件
合 計	145件

3 地域連携業務

①地域連携にかかる主な実績

(令和5年度)

項 目	
紹介割合	88.1%
紹介患者数	15,485件
逆紹介割合	55.5%
逆紹介患者数	18,614件
セカンドオピニオン外来	128件
紹介患者初診時予約(予約件数)	8,055件
かかりつけ医案内コーナー対応件数	1,029件

②登録医・連携病院制度

(令和5年度)

登録医(医療機関数)	1,048件
連携病院	22件

※令和4年度より紹介割合と逆紹介割合の算出方法を変更しております。

③研修等開催実績

(令和5年度)

市民向け医療講座(エクステンション講座含)		医療従事者向け研修会等	
日 付	項 目	日 付	項 目
7月 10日	脳神経外科治療の最先端 てんかん外科・頭蓋内視鏡手術	5月 26日	HIV診療研修会
7月 31日	知ろう！乾癬とその合併症について	6月 26日	①メラノーマの診断から治療まで ②メラノーマに対する外科的治療
11月 29日	子宮頸がん予防2023 ～日本の立ち位置は？～	6月 29日	第2回YCU横浜早期膀胱癌診断プロジェクト2023 最新の膀胱癌診断・進捗状況も含めて
2月 1日	認知症疾患医療センター市民講座	8月 31日	当院における前立腺がん治療の現状
		9月 21日	「症状の発生には理由がある」 病歴分析を中心とした診断的推論
		10月 14日	看護職向け認知症ケア対応力向上研修
		11月 11日	
		11月 13日	HIV感染者・エイズ患者の在宅医療・介護の環境 整備事業「実地研修」
		11月 17日	
		1月 13日	看護職向け認知症ケア対応力向上研修
		2月 20日	
		1月 25日	クリニックから地域中核病院、そして大学病院へ ～早期診断、治療、がんゲノム診断まで～
		2月 2日	かかりつけ医認知症対応の向上研修
		2月 22日	保険診療で行う運動療法 心臓リハビリテーションについて
		3月 28日	第3回YCU横浜早期膀胱癌診断プロジェクト2023 当院における膀胱癌診療の現状 ～早期治療開始を目指して～

4 ソーシャルワーク業務

患者や家族のかかえる経済的、心理的・社会的問題の解決、調整のため社会福祉の立場から相談・援助を行っている。

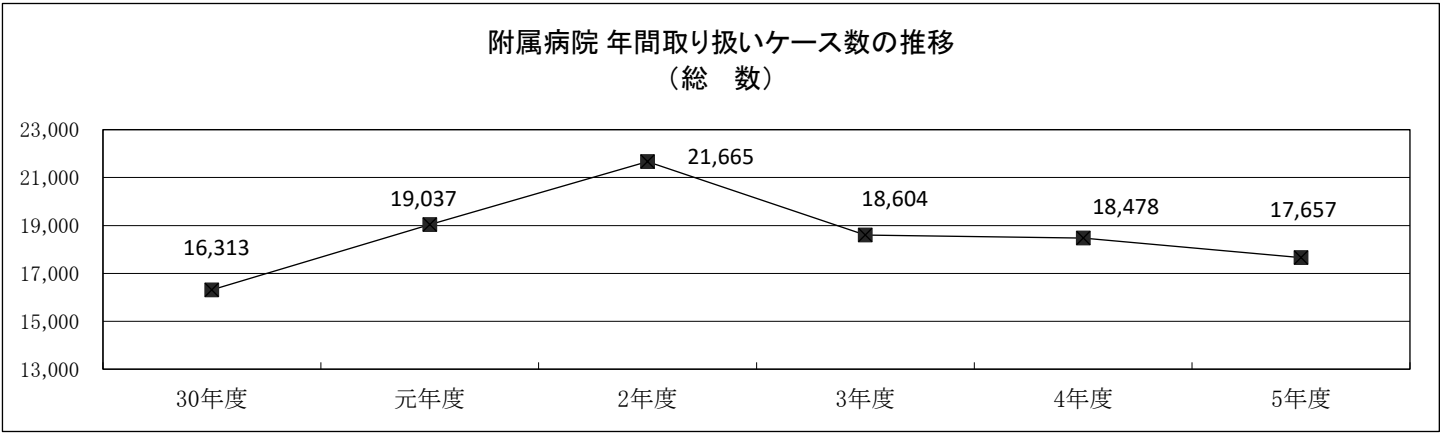
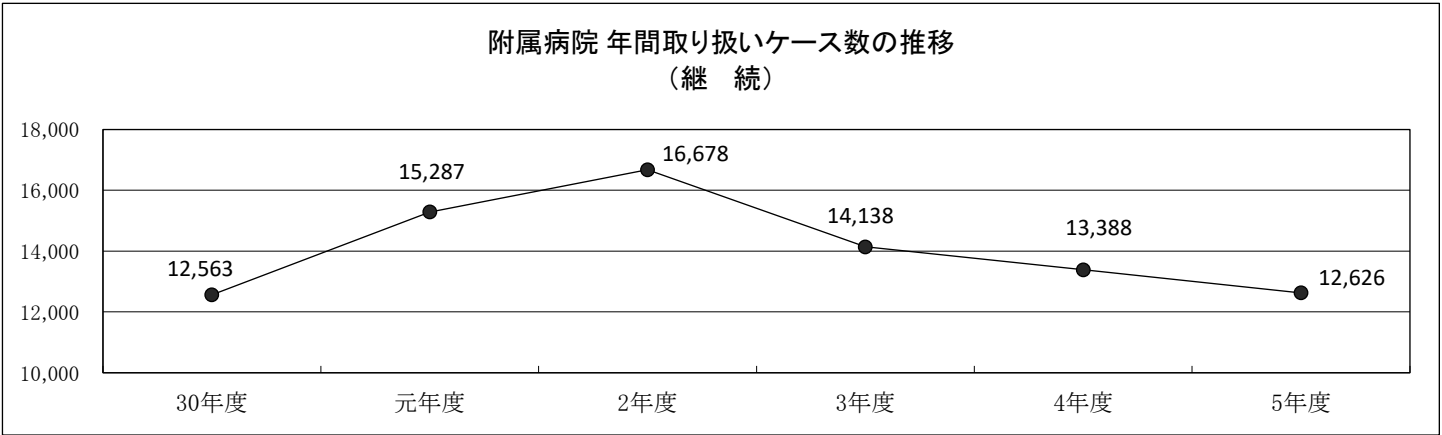
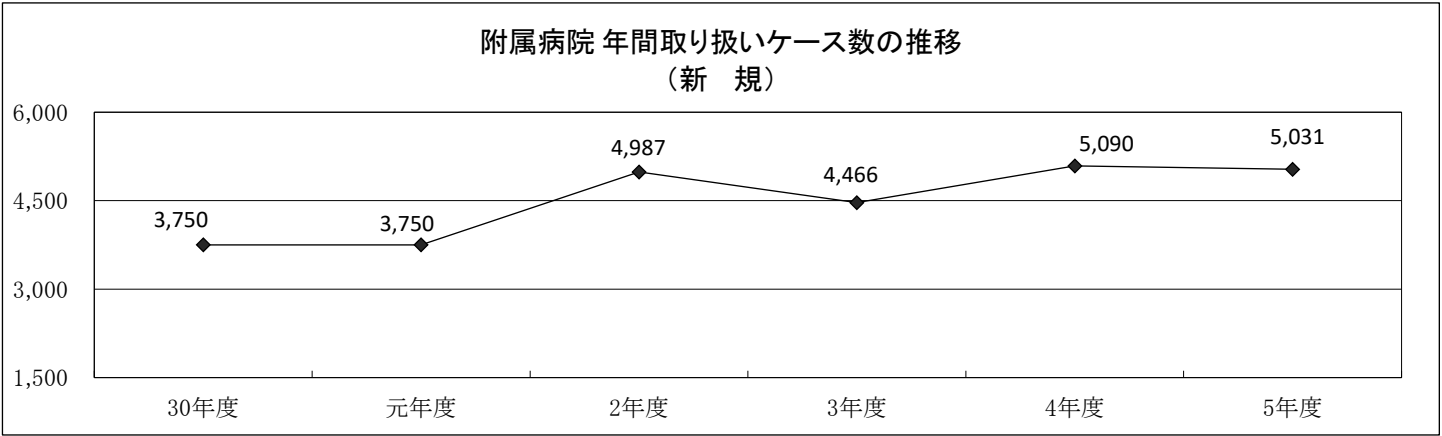
(1) 直接的援助業務

面接や電話などで、療養生活上の問題や社会復帰に関することなど多岐に渡る相談を受けている。また、必要に応じて地域の関係機関や医療機関等と連携して援助を行っている。

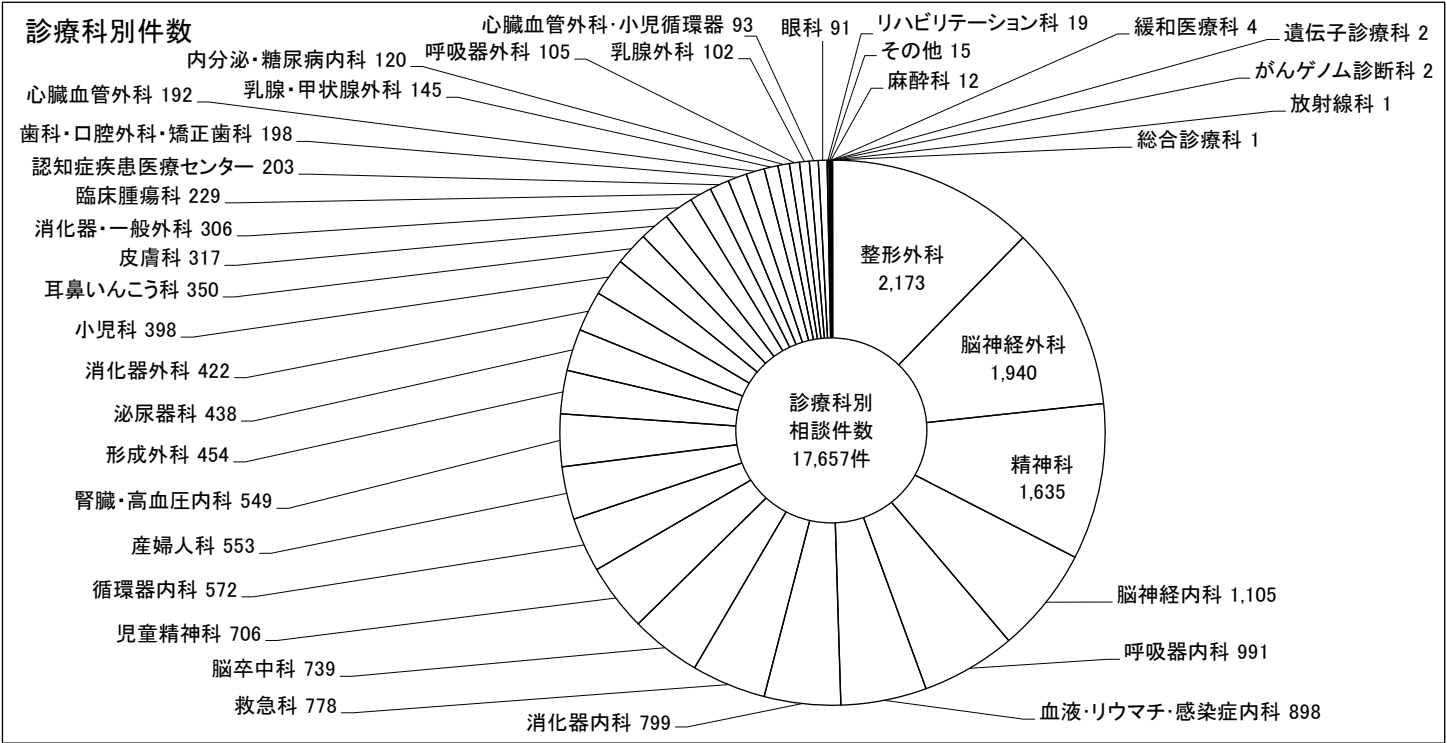
<相談件数>

(ア) 相談件数

	新 規	継 続	総 数
令和5年度	5,031	12,626	17,657



(イ) 診療科別相談件数

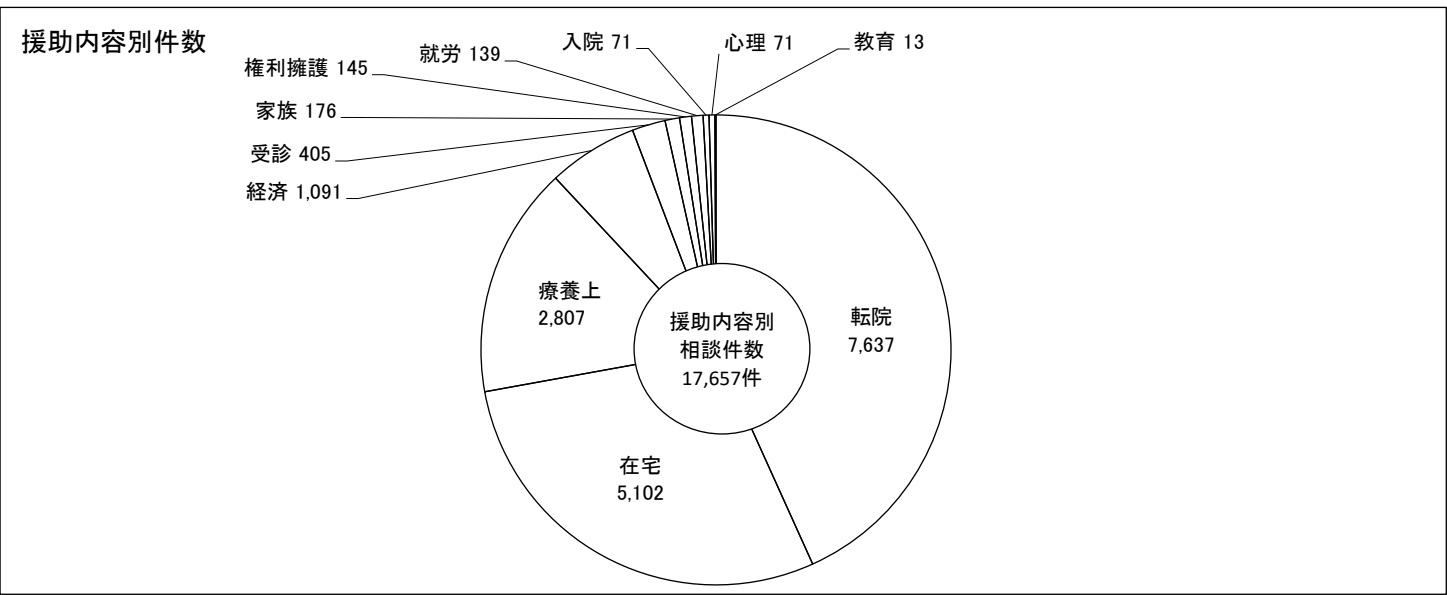


(ウ) 援助方法別相談件数

援助方法	電 話	面 接	文 書	退院支援計画書	カンファレンス	※転院調整システム	合 計
回 数	25,878	7,616	1,353	1,940	3,015	4,648	44,450

※転院調整のDXに伴い、導入したシステム(ケアブックコネクト)への入力作業を集計

(エ) 援助内容別相談件数



- ① 転 院 … リハビリ病院や療養型病院、ホスピス、一般病院、施設への転院(入所)調整援助(外来患者の調整含む)
- ② 療 養 上 … 臓器移植提供、治療の選択、死後事務手続き等に関する相談援助(医療通訳の手配)
- ③ 在 宅 … 往診医や訪問看護、ヘルパーや福祉用具などのサービス調整を含む在宅援助
- ④ 経 済 … 医療費や生活費などの経済問題に対し、社会保障・福祉制度を用いての援助
- ⑤ 受 診 … 当院受診に係る、受診以前の相談や受診に関する相談、受診に支援を要する患者に対しての援助
- ⑥ 入 院 … 当院への入院調整援助
- ⑦ 権 利 擁 護 … 患者の権利擁護、児童・高齢者虐待やDV被害者、ハイリスク妊産婦への援助
- ⑧ 心 理 … 病気の受容促進、精神療法的援助
- ⑨ 家 族 … 家族状況の把握、家族の介護や育児等に関する問題に対しての援助
- ⑩ 就 労 … 障害者職業センターや作業所、ハローワーク等の紹介等、就労、休職、復職に関する援助
- ⑪ 教 育 … 就学・復学等に関する連絡調整等の援助

(2) 間接的援助業務および関連業務

① カンファレンス等への参加

各科、各病棟との連携の強化、ソーシャルハイリスク患者への早期介入などを目的に、診療科カンファレンス(脳神経外科、精神科等)や各病棟での退院支援カンファレンスに定期的に参加している。

② 神奈川県エイズ治療中核拠点病院に関する業務

ソーシャルワーカーは、医師や歯科医師、看護師、薬剤師やカウンセラー等と協働して、中核拠点病院としての役割である「拠点病院等に対する研修事業および医療情報の提供」や「拠点病院等との連携」等の一翼を担っている。

③ がん相談支援センターに関する業務

地域がん診療連携拠点病院として、がん患者に対する療養上の相談支援に加え、がんサロンの運営等、間接的な支援を提供している。また、がん患者のニーズを充足できるよう他機関との情報共有や、がん相談の技術向上に資するため「がん相談支援センター相談支援部会」や「横浜市小児がん連携病院連絡会」等の研修会・会議等へ参加している。

④ 横浜市認知症疾患医療センターに関する事業

平成25年1月に横浜市から事業運営を受託し認知症疾患医療センターを開設した。地域における認知症疾患の保健医療水準の向上を図ることを目的として、保健医療・介護機関等と連携を図りながら、かかりつけ患者に限定することなく認知症疾患に関する鑑別診断、周辺症状と身体合併症に対する急性期治療、専門医療相談等を実施している。また令和4年12月からは若年性認知症支援コーディネーター事業を受託し、ソーシャルワーカーを中心に若年性特有の仕事との両立や経済不安などの相談に対応している。

⑤ 地域との連携

高齢者、障害者、子育て支援および虐待対応等に係る連絡会に出席し、地域関係者(行政やケアマネジャー、他病院ソーシャルワーカー)との顔の見える連携体制を構築している。

⑥ 地域貢献・社会貢献

利用者や市民にソーシャルワーカーとしての実践を伝えることで地域に貢献すると共に、ソーシャルワーカーの認知度や社会的信用を高めるため、各種講演会・研修会の講師や実習生の受け入れ等を行っている。

10 医療の質向上・安全管理センター

1 安全管理研修の開催状況

名 称	対 象	内 容	回 数
新採用・転入者 入職時研修 (e-Learning)	新採用・転入職員、 前期研修医2年目、 大学院生	・医療安全に関する院内のルールについて	1
復職者研修 (e-Learning)	復職者	・医療安全に関する院内のルールについて	1
第1回医療安全講演会 (e-Learning)	全職員	・附属病院の医療安全の歩み	1
第2回医療安全講演会 (e-Learning)	全職員	・安全な鎮静管理に役立つ知識とその実践 ・医療事故の再発防止に向けた提言第16号の紹介	1
第3回医療安全講演会 (e-Learning)	全職員	・ラピッドレスポンスチームの活動 ・2022年12月実施 執刀前タイムアウト見直しの効果測定について	1
第4回医療安全講演会 (e-Learning)	全職員	・医療放射線安全研修 ・医薬品安全管理研修	1
TeamSTEPPS研修	全職員	・チームでの働き方を考える参加型研修	3
中心静脈カテーテル 講習会	医師・研修医	・講義、シミュレーターを使用した実技演習	2

2 インシデント報告数（ヒヤリハット報告数）

年 度	報 告 件 数
令和3年度	5,853件
令和4年度	5,758件
令和5年度	5,519件

3 高難度新規医療技術・未承認新規医薬品等申請、承認状況

(1) 高難度新規医療技術申請、承認件数

年 度	申請件数	承認件数
令和4年度	9件	8件
令和5年度	13件	12件

※申請件数は申請日の年度で集計しています。承認件数は令和6年5月時点の件数です。

(2) 高難度新規医療技術申請一覧(令和5年度)

申請診療科	申請名	申請	承認
脳神経外科	小児頭蓋内動静脈シャント疾患に対する血管内塞栓術	○	○
形成外科	神経麻痺性角膜症に対する自家神経移植による角膜知覚再建術	○	○
脳神経外科	脊髄変性疾患に対する脊髄内視鏡下手術	○	申請 取下
放射線診断科	仙骨椎弓根スクリュー入れ替え術(右側)における腸骨静脈損傷、出血時に対する右総腸骨静脈ステントグラフト留置術	○	○
脳神経外科	椎骨動脈血栓化巨大動脈瘤に対する開頭脳動脈瘤内血栓摘出術	○	○
形成外科/眼科	神経麻痺性角膜症に対する自家神経移植による角膜知覚再建術	○	○
脳神経外科	脳動脈瘤治療用フローダイバーターシステム、瘤内留置型 留置術	○	○
脳神経外科	てんかん焦点ラジオ波温熱凝固術(RFTC)	○	○
消化器外科/ 放射線診断科	肝静脈塞栓術	○	○
小児循環器科	開窓フォンタン術後に対するカテーテル的デバイス開窓閉鎖術	○	○
小児循環器科	肺動脈閉鎖不全症に対する経皮的肺動脈弁置換術TPVI	○	○
脳神経外科	視床下部過誤腫に伴う笑い発作に対する定位温熱凝固術 (L-RFTC)	○	○
泌尿器科	再発した筋層非浸潤性膀胱癌に対するTULA(経尿道的膀胱腫瘍蒸散術)	○	○

(3) 未承認新規医薬品等申請、承認件数

年度	申請件数	承認件数
令和4年度	50件	42件
令和5年度	43件	32件

※申請件数は申請日の年度で集計しています。承認件数は令和6年5月時点の件数です。

(4) 未承認新規医薬品等申請内訳(令和5年度)

	申請件数	承認件数
未承認医薬品の使用	0件	0件
院内製剤	1件	1件
医薬品の適応外使用	37件	27件
医療機器の適応外使用	5件	4件

4 当院の組織横断的医療チーム（令和5年度）

■栄養サポートチーム(NST)

介入件数	ラウンド回数	NSTニュース発行	NST加算算定 (200点+歯科連携50点)
366件	197回	6回	339件

NSTは、各職種が専門的な知識を持ち寄り、治療が円滑に進むよう、栄養面からサポートを行っているチームです。以下を目的に活動を行っています。

- (1)適切な栄養管理の提案
- (2)栄養療法に関する合併症の予防及び対策による安全な医療の支援
- (3)病院経費及び医療費削減への貢献
- (4)病院スタッフのレベルアップを目的とした栄養管理に関わる知識の啓蒙
- (5)他の医療チーム及び院外の地域医療との連携

今後、高齢の入院患者さんの増加により一層栄養面からのサポートが必要になると考えられます。

■褥瘡対策チーム

介入患者数	ラウンド回数	研修開催件数	褥瘡対策ニュース発行
204 名	48回	3回	7回

褥瘡対策チームでは、医師・看護師・理学療法士・薬剤師・栄養士・医事課職員も含めた多職種でのカンファレンスを行い、褥瘡発生予防や、褥瘡のケアに努めています。主な活動は以下の通りとなります。

- ・院内をラウンド(週1回)し、褥瘡患者さんのケア方法を提案
- ・褥瘡定例会を通じた褥瘡発生率や改善率の共有、発生要因や対応策の検討・実施
- ・院内勉強会の開催や院内ニュースレターの作成を通しての啓蒙活動

患者さんにより良いケアができるように、最終的には院内褥瘡発生率(日本褥瘡学会の褥瘡発生率の計算式を活用)1%以下となることを目標に活動しています。

■呼吸サポートチーム(RST)

介入患者数	ラウンド回数	研修開催件数	RST NEWS	RST加算算定
81件	198回	3回	3回	93件

RSTは、医師・看護師・臨床工学技士・理学療法士の4職種が専門的な知識を持ち寄り、人工呼吸療法中もしくは呼吸ケアを必要とする患者さんの安全管理と、呼吸器装着期間の短縮、効果的な呼吸療法に関するスタッフ教育、院内の呼吸療法の質の維持と向上を目的としている専門チームです。人工呼吸器の最適な設定、口腔ケアや排痰ケア、筋力維持や改善を目的とした早期離床や運動療法の導入などのサポートを行います。

主な活動の一つが、人工呼吸器を装着中の患者さんの状態を把握し、適切なアドバイスや支援を行うためのチームラウンドです。令和5年度はHCU・CCU・6-3病棟・7-1病棟・7-3病棟・8-4病棟・9-3病棟など計12病棟にラウンドを行いました。週1回、全ての職種がそれぞれの領域の専門知識や技術を十分に活用し、患者さんが治療を安全に、安心して受けられるように病棟の看護師や主治医と連携をしています。また、病院スタッフに講習会を開催して、呼吸ケアの質の向上に努めています。

■精神科リエゾンチーム

介入患者数	ラウンド回数	精神科リエゾン チーム加算 (300点)	救急患者精神科 継続支援料 (900or300点)	精神科急性期 医師配置加算2 (500点)	せん妄症状 発症報告シート 提出件数	研修 開催件数
325名	1,657回	808件	21件	7,132件	476件	2件

「リエゾン」とはフランス語で「つなぐ」「連携」を意味します。身体的疾患は患者さんの体だけではなく心にも影響を与えます。精神科リエゾンチームは、身体科医療と精神科医療をつなぎ、患者さんが身体科医療に向き合えるために活動するチームです。当院では自殺企図や自殺念慮、認知症や精神疾患、身体疾患や身体疾患の治療薬剤によって起こる精神症状、身体疾患の心理的影響に伴う抑うつ、不眠、せん妄などに精神科医、精神看護専門看護師、公認心理士でチームを組み、薬剤師や精神保健福祉士などの協力も得ながら、患者さんへの介入を行っています。

■摂食嚥下支援チーム

介入件数	ラウンド回数	研修開催件数	摂食機能療法	摂食嚥下支援加算
710件	685回	35回	559回	147回

摂食嚥下支援チームが立ち上がってから4年が経過しました。近年の高齢人口の急速な増加により、嚥下機能低下を訴える患者さんが増え、当院でも新患件数ならびに介入件数も多くなり、チームの需要は年々高まっています。

今年から歯科口腔外科医師主導のチーム運営に戻りましたが、入院早期から退院・転院までの切れ目のない多職種によるリハビリ・口腔管理、栄養管理を目指し、引き続き全身管理を行った上での包括的な嚥下リハビリテーション治療を行って参ります。チームの実績としては、嚥下フローを作成し、全入院患者の嚥下スクリーニングを実施するようになりました。また病棟看護師に摂食嚥下についての研修を行い、今年から脳卒中患者に対して一部病棟での看護師に摂食機能療法を実施しており、徐々に院内に拡大していく方針です。引き続き、チーム活動を継続することにより、医療の質の向上を目指しています。

■緩和ケアチーム

介入件数	ラウンド回数	研修開催件数	その他
1,592件 * 入院＋外来介入(延べ)	4,244回	緩和ケア研修会 2回 看護部がん看護研修 8回	地域カンファレンス 4回

緩和ケアチームはがん患者さんが経験する痛み、しびれ、吐き気などの体の症状や、不安感や不眠という心の症状の原因を主治医や病棟スタッフと連携してサポートするチームです。緩和ケアというと、以前はがんの治療が終わった後の患者さんが対象のように考えられていましたが、現在では、がんの治療と並行して必要に応じた緩和ケアが開始されることが大切だと考えられています。当院の緩和ケアチームは、診断時の患者さんから、様々な治療段階にある患者さんまで、幅広く緩和ケアを行っています。緩和ケアチームは、入院中または外来に通院中の患者さんに対し、主治医や病棟のスタッフの治療とケアをサポートする体制で診療を行っています。診療をご希望の患者さんは主治医までお話しください。

■ラピッドレスポンスチーム(RRT)

介入件数	ラウンド回数
114件	138回

院内の急変事例が増えてきたことをきっかけに、集中治療部、救急科、麻酔科、認定看護師らが中心となって、2019年1月にRRTを立ち上げました。病棟へのラウンドを積極的に行い、認知度が徐々に上がってきたことで、コール件数も年々増加しています。現在、24時間365日の運用体制をとっており、医療の質向上に貢献しています。RRTの導入前後を比較すると、敗血症死亡率の改善も見られており、重症患者への早期介入の意義を結果として認めています。今後も、病棟のラウンドをしながら、スタッフへの教育を行ない、周知活動を続けていきます。RRTへのコールを増やしていくことが、予後改善の成果に繋がると考えています。

■臨床倫理コンサルテーションチーム(CECT)

依頼件数	研修開催件数	CECT新聞発行	学会発表
36件	11回	5回	1回

臨床倫理委員会の下部組織として位置づけられ、2020年11月16日より活動を開始しました。メンバーは、11診療科14人の医師、精神看護・がん看護・慢性疾患看護などの専門看護師を含む看護師10人、社会福祉士8人、薬剤師1人で構成されています。

当院の医療従事者が診療・ケアに関して日常的に遭遇する倫理的な価値判断が難しいケースや倫理的な問題・悩みについて、共に考え、検討する支援を行っています。日常的な課題においては、定期的な広報「CECT新聞」を通じて全職員への共有を行い、さらに倫理教育・研修の実施を通して、質の向上に努めています。

■HIV診療チーム

通院患者数	新規患者数	カンファレンス回数	配布資料作成	研修開催件数
314名	23名/年	12回/年	1回/年回	3回/年回

HIV感染症は疾患に特化した問題や制度があり、それらに柔軟に対応するため、多職種による診療体制の構築が必要です。当院では、医師、看護師、薬剤師、社会福祉士、カウンセラー、事務職員をメンバーとするHIV診療チームで活動しています。また、当院はエイズ治療中核拠点病院として、診療だけでなく他施設への研修を行いHIV感染者の受け入れを勧奨しています。近年、HIV感染者の高齢化・合併症の増加が問題となっており、今まで以上に他科や行政との連携が必要と考えられます。

■暴言・暴力対応支援チーム

相談対応件数	研修開催件数
8回	2回

職員に対する暴言・暴力等被害報告の増加を受けて調査した結果、対応整備、環境調整、職員教育等の課題が明らかになりました。これらに対する対策を検討するため、令和4年6月に「暴言・暴力対応支援チーム」が設置されました。令和5年度は、困難事案への支援や介入、職員研修(実地研修・E-learning研修)の実施等の取り組みを行うことで、暴言・暴力等に対する対応力強化に取り組みました。職員に対する暴言・暴力等は、患者さんに医療を提供する上での妨げとなります。今後もこれらの取り組みを継続しながら、暴言・暴力等に対しては毅然と対応できるよう、病院全体の対応力強化に取り組んでいきます。

■術後疼痛管理チーム

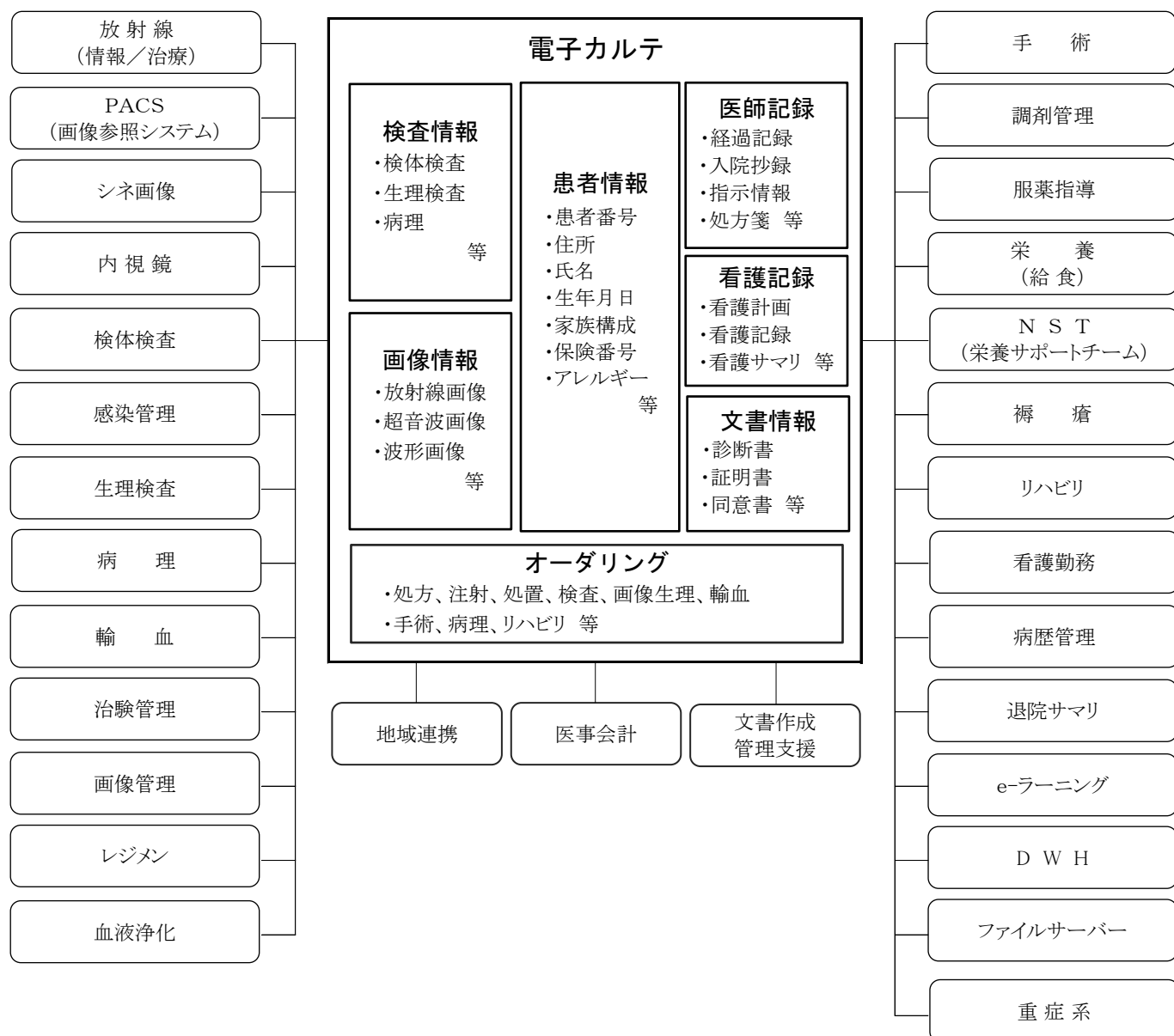
介入患者数	ラウンド実施 延べ患者件数	術後疼痛管理 チーム加算
155名	286件	166件

術後疼痛管理チームは、2023年6月からチーム活動を開始しました。麻酔科医師・看護師・薬剤師が、全身麻酔により手術を受けた患者さんのうち、手術後の痛みに対して特別な診療が必要な患者に対し介入する体制です。麻酔に従事する専任の常勤医師、手術を担当する麻酔科医師、術後疼痛管理に係る研修を終了した専任の看護師・薬剤師、術後疼痛管理に係る研修を終了した臨床工学技士等で構成されています。今後は介入件数を増やすとともに、術後患者さんに対する質の高い疼痛管理を推進していきます。

1 1 医 療 情 報 部

人と人を繋げる、組織と組織を繋げる医療情報をモットーに、医療情報部の教員1名(医師)が医学・病院統括部総務課システム担当と医事課情報管理・分析担当と連携して、組織横断的な取り組みを行っている部門です。主な仕事は、電子カルテをはじめとする医療情報システムに関することと、カルテ記載や説明同意文書などの診療情報の管理です。電子カルテについては、基幹システムと各種部門システム(医事会計、放射線、臨床検査など)を構築するための企画・調整と運用を担当しています。また、診療情報管理においては、診療情報管理士が専任として配置され、診療録(カルテ)記載や各種文書など診療情報の、質の高い管理・運用・分析に努めています。

病院情報システム



関連システム

このほか、患者サービスの向上を目的に以下のシステムを導入しています。

DPC分析システム、自動精算機システム、会計待番号表示システム、患者案内表示板システム、アンブルピッカーシステム、インシデントレポートシステム、がん登録システム等

また、安全性向上のため、電子カルテのオフラインバックアップの採取を行うとともに、以下のツールを導入しています。

ウィルス対策ソフト、資産管理ソフト(端末管理、USBメモリ等のデバイス管理)等

1 2 臨 床 検 査 部

[ISO15189認定 臨床検査室:認定番号RML00520] (第3回更新日:2022年2月1日～2026年1月31日)

部門別、月別検査件数

(令和5年度)

部 門			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	
検 体	一 般		件 数	17,023	17,026	18,813	17,779	19,309	17,672	18,255	18,818	19,726	18,221	17,256	18,231	218,129
	血 液		件 数	53,437	54,096	56,463	55,050	57,200	54,791	56,946	55,201	58,080	56,202	54,268	57,455	669,189
	臨床化学免疫血清		件 数	340,533	347,065	364,378	349,157	363,994	351,408	361,221	351,226	367,411	358,969	346,004	369,053	4,270,419
	COVID-19 PCR		件 数	1,541	1,399	1,494	1,716	1,929	1,713	719	652	680	790	727	771	14,131
	医 生 物	一 般 細 菌	件 数	4,253	4,431	4,759	4,271	4,589	4,434	4,391	4,270	5,048	4,755	4,301	4,470	53,972
		抗 酸 菌	件 数	317	282	326	318	306	334	289	268	310	284	180	275	3,489
		計	件 数	4,570	4,713	5,085	4,589	4,895	4,768	4,680	4,538	5,358	5,039	4,481	4,745	57,461
検 体 検 査 合 計		件 数	417,104	424,299	446,233	428,291	447,327	430,352	441,821	430,435	451,255	439,221	422,736	450,255	5,229,329	
生 理	循 環 器		件 数	2,156	2,149	2,168	2,165	2,223	2,066	2,241	2,016	2,051	2,119	1,978	2,189	25,521
	呼 吸 機 能		件 数	178	207	234	216	201	195	196	192	175	176	183	200	2,353
	筋 電 図		件 数	86	82	80	75	86	57	74	71	73	69	75	72	900
	脳 波		件 数	46	56	48	52	57	52	55	51	61	45	51	54	628
	超 音 波		件 数	1,206	1,181	1,329	1,187	1,379	1,232	1,303	1,222	1,251	1,216	1,226	1,319	15,051
	ガ ス 分 析		件 数	229	175	231	179	185	133	214	249	186	189	170	169	2,309
	生 理 検 査 合 計		件 数	3,901	3,850	4,090	3,874	4,131	3,735	4,083	3,801	3,797	3,814	3,683	4,003	46,762
総 合 計			件 数	421,005	428,149	450,323	432,165	451,458	434,087	445,904	434,236	455,052	443,035	426,419	454,258	5,276,091
外 部 委 託 検 査			件 数	7,667	8,271	9,596	8,224	8,609	8,129	8,113	7,899	7,990	8,211	7,621	8,431	98,761
外 来 採 血 患 者 数				11,469	11,614	12,452	11,549	12,019	11,818	12,004	11,774	12,091	11,910	11,560	12,472	142,732
簡 易 血 糖 器 指 導 ・ 保 守 ・ 管 理				384	341	404	347	393	381	376	403	376	385	416	4,585	
P O C T 新 規 指 導				38	34	43	42	45	31	54	43	32	42	41	41	486
臨床試験支援室 臨床検査関係支援業務係数				862	1,022	797	804	1,072	943	1,074	830	636	1,015	467	687	10,209
法 医 学 検 査 （ 検 体 ）				101	111	34	62	75	53	41	51	58	104	30	56	776
法 医 学 検 査 （ 細 菌 ）				8	10	4	18	8	10	4	4	6	32	4	8	116

注1 免疫血清稼動は臨床化学に含まれる
注2 緊急検査室稼動は各該当部門に含まれる
注3 院内委託業務は日常検査以外に感染管理に必要な細菌学的な検査を行なう
注4 平成29年度から血液件数集計方法を変更(5DIFFの個別項目を白血球分類1項目として集計)

1 3 放 射 線 部

1 X線・C T・M R・核医学検査月別業務量

(令和5年度)

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
X 線 検 査	胸 部	人 数	3,197	3,339	3,539	3,360	3,474	3,317	3,335	3,331	3,563	3,384	3,269	3,495	40,603
	腹 部	人 数	868	844	968	989	896	844	943	887	859	809	858	924	10,689
	骨 部	人 数	2,723	2,818	3,056	2,698	2,896	2,686	2,806	2,753	2,752	2,519	2,316	2,857	32,880
	パ ン ト モ	人 数	295	282	305	291	307	306	279	287	275	297	320	329	3,573
	そ の 他	人 数	111	106	114	104	88	120	104	117	117	102	91	136	1,310
	小 計		7,194	7,389	7,982	7,442	7,661	7,273	7,467	7,375	7,566	7,111	6,854	7,741	89,055
	血 管 造 影	人 数	166	129	148	148	178	153	174	154	168	150	144	128	1,840
	消化器造影	人 数	106	86	120	103	103	97	114	107	105	95	111	108	1,255
	泌尿器造影	人 数	112	107	141	109	120	128	139	117	118	131	140	121	1,483
	その他造影	人 数	87	86	100	83	88	79	88	97	79	58	87	70	1,002
	小 計		471	408	509	443	489	457	515	475	470	434	482	427	5,580
	(ポータブル)		2,132	2,056	1,976	2,053	2,265	2,178	2,095	1,950	2,248	2,127	2,279	2,159	25,518
	(時 間 外)		80	45	56	87	65	52	103	68	99	62	84	114	915
	合 計	人 数	7,665	7,797	8,491	7,885	8,150	7,730	7,982	7,850	8,036	7,545	7,336	8,168	94,635
C T	頭 頸 部	人 数	682	725	637	629	753	712	667	579	736	740	663	730	8,253
	(造 影)		70	79	62	62	80	79	86	58	73	78	70	78	875
	そ の 他	人 数	2,361	2,521	2,717	2,524	2,644	2,533	2,613	2,538	2,614	2,538	2,493	2,674	30,770
	(造 影)		658	746	789	761	830	729	758	718	753	717	737	759	8,955
	合 計	人 数	3,043	3,246	3,354	3,153	3,397	3,245	3,280	3,117	3,350	3,278	3,156	3,404	39,023
M R	頭 頸 部	人 数	408	384	404	453	431	375	403	348	386	350	325	391	4,658
	(造 影)		144	129	132	147	150	150	177	118	141	138	138	154	1,718
	そ の 他	人 数	545	547	641	504	562	569	601	567	568	550	543	526	6,723
	(造 影)		92	86	113	112	108	122	119	110	107	103	113	125	1,310
	合 計	人 数	953	931	1,045	957	993	944	1,004	915	954	900	868	917	11,381
核 医 学	体 外 測 定	人 数	189	173	155	158	150	147	158	141	151	136	149	160	1,867
		(SPECT)	110	95	97	91	93	89	98	93	100	83	84	91	1,124
	P E T	人 数	193	231	243	208	241	232	216	198	183	231	228	238	2,642

2 放射線治療月別業務量

(令和5年度)

放 射 線 治 療			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
	高エネルギー X線	人 数	770	578	737	603	636	648	707	665	589	512	654	772	7,871
		部 位 数	773	584	772	633	636	657	728	671	589	512	654	778	7,987
		照 射 数	2,175	1,523	2,149	1,826	1,725	1,786	2,227	2,037	1,799	1,556	1,970	2,167	22,940
	電 子 線	人 数	18	21	58	12	13	19	8	30	29	24	30	13	275
		部 位 数	22	21	58	12	13	19	8	30	29	24	30	13	279
		照 射 数	22	21	58	12	13	19	8	30	29	24	30	13	279
	中エネルギー X線	人 数	387	508	591	468	481	442	416	420	321	367	384	426	5,211
		部 位 数	406	515	629	501	537	468	456	445	365	367	428	461	5,578
		照 射 数	1,535	1,759	1,807	1,810	1,846	1,559	1,937	1,817	1,225	1,359	1,485	1,674	19,813
	(IMRT) 新 患	人 数	19	14	16	14	14	13	17	17	10	12	20	22	188
	(I M R T)	総 人 数	541	487	499	498	449	452	491	538	454	341	462	657	5,869
	(T B I)	人 数	3	5	4	0	0	8	3	2	1	3	0	0	29
	外 部 照 射 合 計	人 数	1,175	1,107	1,386	1,083	1,130	1,109	1,131	1,115	939	903	1,068	1,211	13,357
	R A L S	人 数	18	18	5	9	19	13	18	21	7	0	7	6	141
	合 計	人 数	1,193	1,125	1,391	1,092	1,149	1,122	1,149	1,136	946	903	1,075	1,217	13,498

1 4 薬 剤 部

1 処方箋統計 (令和5年度)

			年 間	1 日 平 均
調 剤	処方箋枚数	入 院	161,418	441
		外 来	2,849	12
		計	164,267	453
	処方箋件数	入 院	224,363	613
		外 来	2,854	12
		計	227,217	625
	処方箋剤数	入 院	1,344,471	3,673
		外 来	65,713	270
		計	1,410,184	3,943
注 射	処方箋枚数	入 院	174,203	476
		外 来	27,442	113
		計	201,645	589
	処方箋件数	入 院	413,320	1,129
		外 来	66,723	275
		計	480,043	1,404
	処方箋剤数	入 院	605,823	1,655
		外 来	102,349	421
		計	708,172	2,076
院 外 処 方 箋 枚 数			202,795	835
院 外 処 方 箋 発 行 率			98.6%	
調 剤 数 算 定 方 式			文部科学省方式	
注 射 薬 払 出 方 法			個人別セット、定数配置、請求伝票	

取扱日数

入院 366日

外来 243日

2 麻薬処方箋枚数 (令和5年度)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	
1,457	1,364	1,392	1,275	1,326	1,325	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
1,431	1,278	1,286	1,343	1,542	1,418	16,437

4 TDM実施件数 (令和5年度)

薬 品 名	件 数
バンコマイシン	1,045件
ポリコナゾール	10件
その他	10件

3 無菌製剤処理料算定件数 (令和5年度)

	入 院	外 来	合 計
T P N	879件	0件	879件
抗 が ん 剤 *	6,535件	13,148件	19,683件
小 児 科 外 来	-	483件	483件

(*抗リウマチ薬等で、外来化学療法加算を算定しているものを含む)

5 薬剤部取扱品目数

内 用 剤	626品目
外 用 剤	246品目
注 射 剤	700品目
合 計	1,572品目

(令和6年3月末時点)

6 薬剤管理指導料算定件数 (令和5年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	前期合計
指 導 料 1 (380点)	530	560	587	528	546	534	3,285
指 導 料 2 (325点)	1,123	1,121	1,232	1,194	1,201	1,027	6,898
麻 薬 加 算 (50点)	55	45	41	47	37	35	260
退院時指導料 (90点)	532	496	593	545	567	522	3,255
保 険 点 数 合 計	617,005	624,015	678,880	640,090	650,685	585,425	3,796,100

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	後期合計	年度合計
指 導 料 1 (380点)	579	621	529	513	418	449	3,109	6,394
指 導 料 2 (325点)	1,144	1,000	1,048	840	951	1,038	6,021	12,919
麻 薬 加 算 (50点)	40	30	36	48	27	35	216	476
退院時指導料 (90点)	575	551	631	429	481	556	3,223	6,478
保 険 点 数 合 計	645,570	612,070	600,210	508,950	512,555	559,760	3,439,115	7,235,215

指導料1:特に安全管理が必要な医薬品(抗悪性腫瘍剤、免疫抑制剤など)が投薬または注射されている患者

指導料2:指導料1以外の患者

7 治験薬管理業務 (令和5年度)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
処方箋枚数	外 来	66	83	60	55	62	65	60	62	49	46	44	49	701
	入 院	4	2	1	3	6	4	1	0	0	17	0	0	38
	計	70	85	61	58	68	69	61	62	49	63	44	49	739
管理品目数		163	161	164	156	160	155	145	145	138	140	136	131	

8 院内製剤（令和5年度）

(1) 調製実績(全体)

区 分	取 扱 品 目	調 製 件 数
内 用 剤	3品目	19件
外 用 剤	19品目	92件
注 射 剤	2品目	10件
試 薬	3品目	27件
そ の 他	2品目	82件
合 計	29品目	230件

(2) 調製実績(品目別)

製 剤 品 名	規 格	調 製 量
アドレナリン外用液0.02%	30mL／本	1,268本
ヨウ素液・検査用	100mL／本	420本
コルポスコピー用酢酸液・検査用	500mL／本	196本
パテントブルー注5%	2mL／V	149本
内視鏡用メチレンブルー液・検査用0.2%	15mL／本	42本

9 実習生等受入実績（令和5年度）

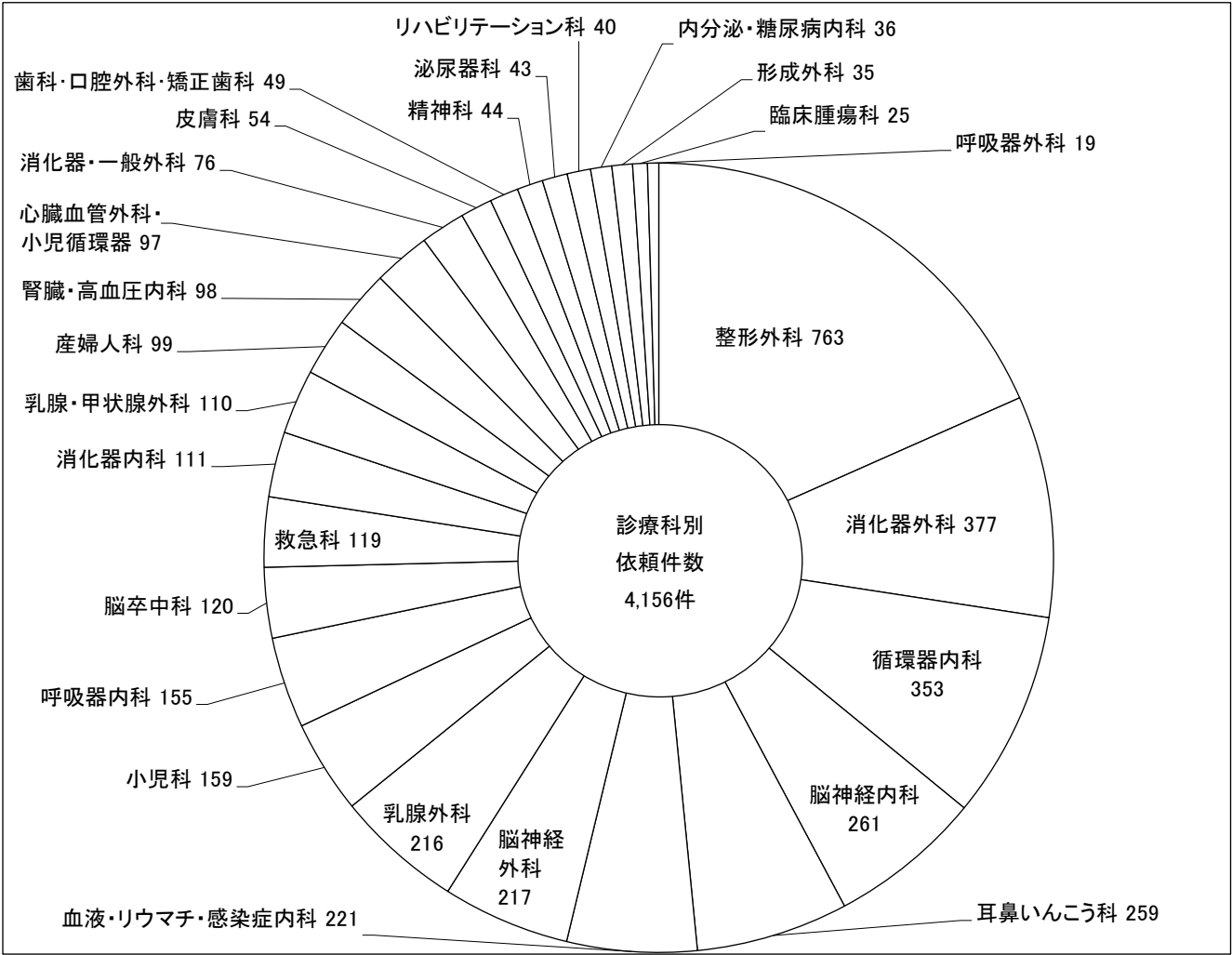
区 分	受 入 期 間	受入人数(延べ)
薬学部学生(病院実務実習)	11週間	36人

10 専門薬剤師等認定取得状況（令和5年度）

資 格 等 の 名 称	人 数
がん指導薬剤師(日本医療薬学会)	1人
がん専門薬剤師(日本医療薬学会)	1人
医療薬学専門薬剤師(日本医療薬学会)	1人
がん薬物療法専門薬剤師(日本病院薬剤師会)	1人
がん薬物療法認定薬剤師(日本病院薬剤師会)	3人
感染制御専門薬剤師(日本病院薬剤師会)	1人
感染制御認定薬剤師(日本病院薬剤師会)	4人
HIV感染症薬物療法認定薬剤師(日本病院薬剤師会)	1人
妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師(日本病院薬剤師会)	2人
精神科薬物療法認定薬剤師(日本病院薬剤師会)	1人
日病薬病院薬学認定薬剤師(日本病院薬剤師会)	33人
外来がん治療専門薬剤師(日本臨床腫瘍薬学会)	2人
外来がん治療認定薬剤師(日本臨床腫瘍薬学会)	2人
緩和医療暫定指導薬剤師(日本緩和医療薬学会)	1人
緩和薬物療法認定薬剤師(日本緩和医療薬学会)	2人
抗菌化学療法認定薬剤師(日本化学療法学会)	5人
NST専門療法士(日本臨床栄養代謝学会)	3人
救急認定薬剤師(日本臨床救急医学会)	1人
医薬品情報専門薬剤師(日本医薬品情報学会)	1人
医薬品情報認定薬剤師(日本医薬品情報学会)	1人
高血圧・循環器病予防療養指導士(日本高血圧学会)	1人
認定CRC(日本臨床薬理学会)	2人
GCPパスポート(日本臨床試験学会)	1人
老年薬学認定薬剤師(日本老年薬学会)	1人
心電図検定1級(日本不整脈心電学会)	1人
心電図検定4級(日本不整脈心電学会)	3人
日本不整脈心電学会認定心電図専門士(日本不整脈心電学会)	1人
植込み型心臓不整脈デバイス認定士(日本不整脈心電学会)	1人
周術期管理チーム認定薬剤師	3人
抗酸菌症エキスパート(日本結核病学会)	3人
心不全療養指導士(日本循環器学会)	2人
神奈川DMAT-L隊員	1人
肝疾患コーディネーター	4人

15 リハビリテーション部

1 診療科別依頼件数 （令和5年度）



2 耳鼻いんこう科検査・療法件数 （令和5年度）

標準純音	2,169	耳音響放射	98	ことばの聞き取り	200
簡易気道	360	耳管機能	154	音響分析	81
標準語音	250	重心動揺	55	音声機能	81
ティンパノメトリー	537	聴性定常反応	49	嚥下内視鏡診療補助	141
あぶみ骨筋反射	59	脳誘発電位	52	補聴器適合	90
中耳機能(バッチ)	8	内耳機能	60	高度難聴指導	314
遊戯聴力	328	耳鳴	18	疾患別リハ	1,996

3 診療報酬別実施患者数・単位数（令和5年度）

		病 棟		訓練室※		併 用	
		単 位	件 数	単 位	件 数	単 位	件 数
理学療法	脳血管	5,639	4,844	4,575	3,662	20	16
	運動器	3,556	2,818	9,248	5,668	35	23
	呼吸器	3,559	3,170	1,220	1,161	11	8
	心大血管	1,646	1,557	1,466	1,223	23	22
	が ん	5,250	5,037	2,458	2,294	27	24
	廃 用	2,081	1,909	1,109	995	11	11
	合 計	21,731	19,335	20,076	15,003	127	104
作業療法	脳血管	4,711	4,025	5,112	3,543	28	23
	運動器	1,257	1,084	2,142	1,686	10	9
	呼吸器	1,123	955	255	226	1	1
	心大血管	415	403	275	259	0	0
	が ん	1,559	1,455	1,302	1,167	2	2
	廃 用	730	702	409	337	0	0
	合 計	9,795	8,624	9,495	7,218	41	35
言語聴覚療法	脳血管	982	840	684	451	0	0
	呼吸器	624	518	28	27	0	2
	が ん	77	70	24	23	0	0
	廃 用	89	76	11	10	0	0
	合 計	1,772	1,504	747	511	0	2
疾患別合計	脳血管	11,332	9,709	10,371	7,656	48	39
	運動器	4,813	3,902	11,390	7,354	45	32
	呼吸器	5,306	4,643	1,503	1,414	12	11
	心大血管	2,061	1,960	1,741	1,482	23	22
	が ん	6,886	6,562	3,784	3,484	29	26
	廃 用	2,900	2,687	1,529	1,342	11	11
合 計		33,298	29,463	30,318	22,732	168	141

※ 耳鼻いんこう科外来言語聴覚室を含む

4 実習受け入れ状況（令和5年度）

(人数)

	見学実習	評価実習	総合実習
理学療法部門	1	3	9
作業療法部門	0	6	9
言語聴覚療法部門	0	0	1

見学実習:3日間の実習、施設見学および患者とのコミュニケーションの方法を学ぶ
評価実習:3-4週間の実習、患者の評価および治療プログラムの立案まで行う
総合実習:7-8週間の実習、患者の評価および訓練の実習を行う

5 認定、専門理学・作業療法士取得状況

(人数)

専門理学療法士	運動器 2
認定理学療法士	循環 1, 脳卒中 1
専門作業療法士	がん 1
認定作業療法士	2
3学会合同呼吸療法認定士	6
心臓リハビリテーション指導士	3
NST専門療法士	4

16 栄 養 部

1 食種別給食数 (令和5年度)

食 種		1日当たり		総 数	
		人 数(人)	食 数(食)	人 数(人)	食 数(食)
一 般 食	成 人 食 常 食	199	597	72,579	217,736
	全 粥 食	39	116	14,072	42,216
	五 分 粥 食	10	30	3,710	11,131
	三 分 粥 食	5	14	1,683	5,049
	流 動 食	5	15	1,822	5,465
	高 学 児 食 (常食・全粥食)	5	15	1,884	5,651
	学 童 食 (常食・全粥食)	9	28	3,380	10,140
	小 児 食 (常食・全粥食)	9	26	3,165	9,494
	幼 児 食 (常食・全粥食)	3	10	1,238	3,715
	変 則 食 (常食・全粥食・5・3・流)	8	24	2,899	8,697
	離 乳 食 (全・五分・流)	1	4	504	1,512
	そ の 他 食	19	58	7,117	21,350
	小 計	312	937	114,052	342,156
特 別 食	エネルギーコントロール食(常・全)	40	119	14,480	43,440
	タンパクコントロール食(常・全)	13	38	4,610	13,830
	エネルギー・タンパクコントロール食(常・全)	8	25	3,087	9,261
	脂質コントロール食(常・全)	6	19	2,324	6,972
	術 後 食	3	8	1,017	3,051
	検 査 食	1	4	451	1,354
	口腔外科食(全・5分)	3	10	1,183	3,548
	濃厚流動食	14	43	5,212	15,637
	特別指示食	0	0	30	90
	そ の 他 食	0	0	40	120
	小 計	88	266	32,434	97,303
合 計		400	1,203	146,486	439,459

2 調 乳 数 (令和5年度)

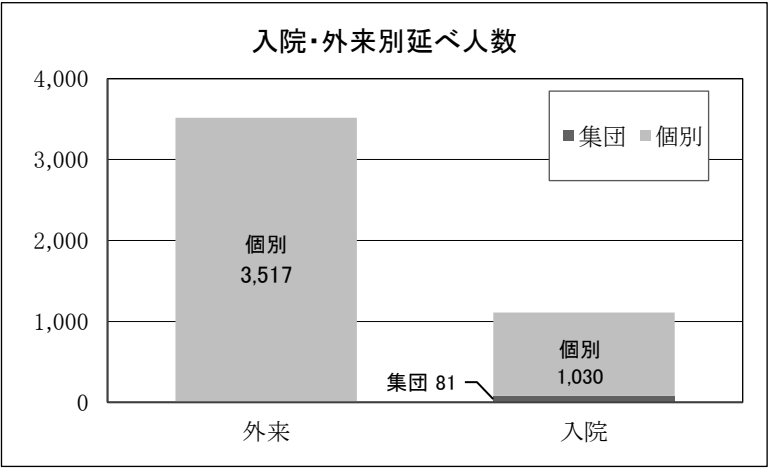
区 分	小 児 科	産 科	そ の 他	合 計
調 乳 件 数	3,771	1,212	275	5,258
調 乳 本 数	32,956	15,894	2,108	50,958

3 栄養相談業務 （令和5年度）

(1) 入院・外来別延べ人数

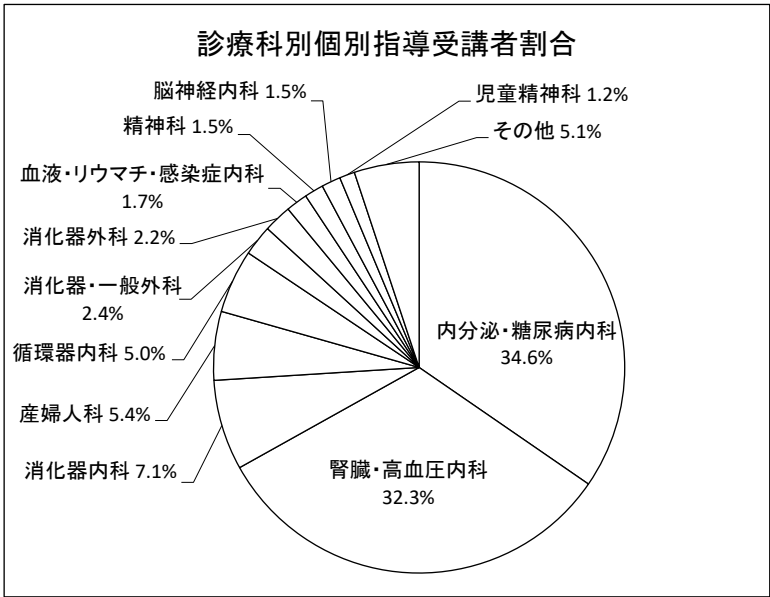
指導形態	外 来	入 院	総 計
集 団	0	81	81
個 別	3,517	1,030	4,547
総 計	3,517	1,111	4,628

※新型コロナウイルスの影響により集団指導実施なし



(2) 診療科別個別指導受講者延べ人数

診 療 科	計
血液・リウマチ・感染症内科	79
呼 吸 器 内 科	63
循 環 器 内 科	228
腎 臓 ・ 高 血 圧 内 科	1,470
内 分 泌 ・ 糖 尿 病 内 科	1,574
脳 神 経 内 科	68
脳 卒 中 科	5
消 化 器 内 科	322
臨 床 腫 瘍 科	3
総 合 診 療 科	1
精 神 科	67
児 童 精 神 科	53
小 児 科	9
心臓血管外科・小児循環器	27
消 化 器 ・ 一 般 外 科	111
消 化 器 外 科	102
呼 吸 器 外 科	2
乳 腺 ・ 甲 状 腺 外 科	3
乳 腺 外 科	8
整 形 外 科	20
皮 膚 科	6
泌 尿 器 科	14
産 婦 人 科	246
眼 科	1
耳 鼻 い ん こ う 科	22
歯科・口腔外科・矯正歯科	20
麻 酔 科	14
脳 神 経 外 科	3
形 成 外 科	1
リハビ'リテーション科	4
救 急 科	1
総 計	4,547



(3) 月別NST介入件数 （令和5年度延べ件数）

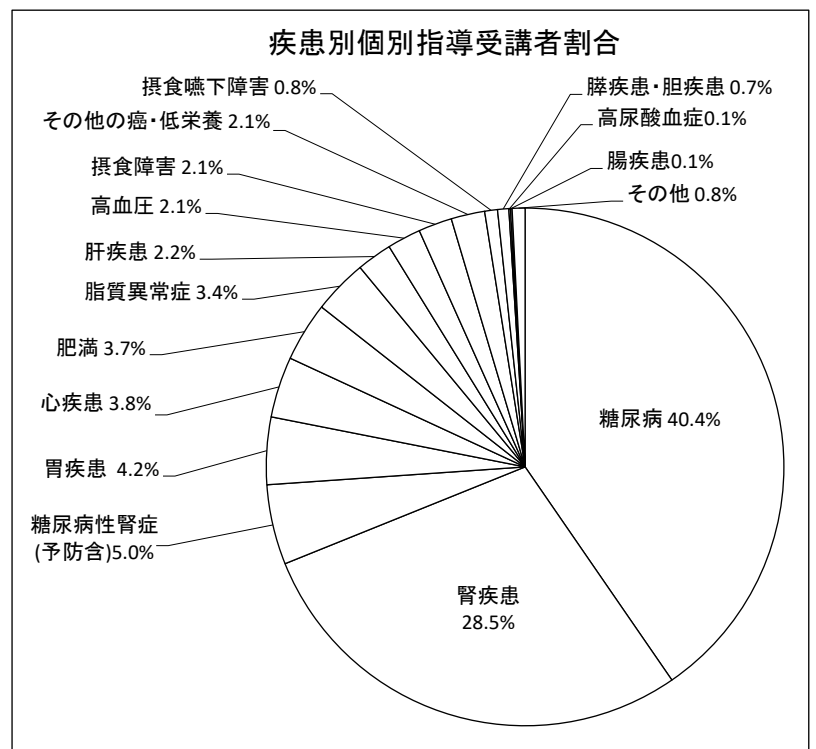
	依頼件数	ラウンド介入件数	総件数
4月	50	15	65
5月	38	15	53
6月	30	14	44
7月	18	12	30
8月	26	18	44
9月	16	18	34
10月	36	14	50
11月	33	24	57
12月	28	12	40
1月	22	12	34
2月	38	27	65
3月	31	16	47
合 計	366	197	563

※依頼件数は主治医からの介入依頼件数

※ラウンド介入件数はNSTからの介入件数

(4) 疾患別個別指導受講者延べ人数

分 類	人数(延べ)	月平均数
糖 尿 病	1,839	153
腎 疾 患	1,297	108
糖尿病性腎症(予防含)	228	19
胃 疾 患	191	16
脂 質 異 常 症	153	13
肥 満	169	14
心 疾 患	175	15
摂 食 障 害	95	8
高 血 圧	94	8
肝 疾 患	100	8
項目外の癌・低栄養	97	8
膵疾患・胆疾患	34	3
摂食嚥下障害	38	3
腸 疾 患	1	0
高 尿 酸 血 症	6	1
そ の 他	30	3
総 計	4,547	380



(5) NST介入診療科別集計 (令和5年度延べ件数)

診 療 科	依頼件数	ラウンド介入件数	総件数
血液・リウマチ・感染症内科	52	11	63
呼 吸 器 内 科	24	15	39
循 環 器 内 科	43	17	60
腎 臓 ・ 高 血 圧 内 科	10	16	26
内 分 泌 ・ 糖 尿 病 内 科	5	0	5
脳 神 経 内 科	4	35	39
脳 卒 中 科	6	29	35
消 化 器 内 科	15	9	24
臨 床 腫 瘍 科	3	5	8
緩 和 医 療 科	0	0	0
精 神 科	24	8	32
児 童 精 神 科	0	0	0
小 児 科	0	0	0
心臓血管外科・小児循環器	41	5	46
消 化 器 ・ 一 般 外 科	10	0	10
消 化 器 外 科	4	3	7
呼 吸 器 外 科	0	1	1
乳 腺 外 科	3	0	3
整 形 外 科	35	1	36
皮 膚 科	12	0	12
泌 尿 器 科	31	2	33
産 婦 人 科	15	4	19
眼 科	0	0	0
耳 鼻 い ん こ う 科	8	2	10
歯科・口腔外科・矯正歯科	5	0	5
脳 神 経 外 科	13	3	16
形 成 外 科	3	0	3
リハビリテーション科	0	4	4
救 急 科	0	27	27
合 計	366	197	563

1 7 手 術 部

1 診療科別・月別手術件数

(令和5年度)

	4月				5月				6月				7月				8月				9月				10月				11月				12月				1月				2月				3月				合 計				
	定時	臨時	外来	計	定時	臨時	外来	計	定時	臨時	外来	計	定時	臨時	外来	計	定時	臨時	外来	計	定時	臨時	外来	計	定時	臨時	外来	計	定時	臨時	外来	計	定時	臨時	外来	計	定時	臨時	外来	計	定時	臨時	外来	計									
血液・リウマチ・感染症内科	0	4	0	4	0	1	0	1	1	2	0	3	0	0	0	0	0	4	0	4	0	0	0	0	2	4	0	6	1	7	0	8	0	9	0	9	0	5	0	5	1	3	0	4	0	4	5	43	0	48			
呼吸器内科	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	2	0	2	0	1	0	1	0	1	0	1	0	9	0	9				
循環器内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2	0	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	4				
腎臓・高血圧内科	6	1	2	9	8	1	1	10	3	0	1	4	6	1	3	10	5	2	5	12	6	1	2	9	3	1	1	5	4	3	3	10	9	0	2	11	2	1	1	4	6	1	5	12	6	1	1	8	64	13	27	104	
内分泌・糖尿病内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1					
脳神経内科	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	0	0	0	0	1	0	1	2	0	1	0	1	0	1	1	2	1	1	0	2	0	0	1	1	0	0	0	2	1	3	3	5	6	14			
脳卒中科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2				
消化器内科	0	6	0	6	0	1	0	1	0	2	0	2	1	2	0	3	1	4	0	5	2	1	0	3	0	3	0	3	0	1	0	1	0	1	0	1	1	2	0	3	0	0	0	0	2	0	2	5	25	0	30		
臨床腫瘍科	0	1	0	1	0	2	0	2	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2	0	0	0	0	0	11	0	11			
精神科	7	0	0	7	11	0	0	11	17	1	0	18	14	0	0	14	21	0	0	21	4	0	0	4	4	0	0	4	17	0	0	17	9	0	0	9	13	0	0	13	22	0	0	22	20	0	0	20	159	1	0	160	
小児科	1	1	1	3	2	1	0	3	2	2	0	4	1	1	0	2	1	3	0	4	2	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	1	0	3	0	3	2	0	0	2	1	2	0	3	0	1	0	1	12	15	1	28	
心臓血管外科・小児循環器	8	13	0	21	10	3	0	13	10	2	0	12	10	4	0	14	12	9	3	24	11	5	0	16	15	7	1	23	9	8	0	17	11	7	0	18	10	4	0	14	9	5	0	14	17	7	0	24	132	74	4	210	
消化器・一般外科	16	5	0	21	18	2	0	20	24	9	0	33	18	8	0	26	25	3	1	29	16	1	0	17	17	4	0	21	17	8	1	26	13	2	0	15	11	6	0	17	13	4	0	17	13	6	0	19	201	58	2	261	
消化器外科	35	19	1	55	36	6	0	42	40	7	0	47	34	3	0	37	40	9	1	50	30	6	0	36	31	13	0	44	27	11	0	38	32	11	0	43	33	5	0	38	32	6	0	38	35	13	0	48	405	109	2	516	
呼吸器外科	15	2	0	17	10	0	0	10	14	2	0	16	14	1	1	16	18	2	0	20	14	5	0	19	18	0	0	18	15	1	0	16	15	4	0	19	8	1	0	9	13	1	0	14	15	0	0	15	169	19	1	189	
乳腺・甲状腺外科	10	1	0	11	14	0	0	14	11	1	1	13	14	1	2	17	11	1	1	13	16	0	0	16	14	2	1	17	17	0	1	18	14	1	0	15	15	0	0	15	14	2	0	16	18	0	1	19	168	9	7	184	
乳腺外科	11	0	2	13	12	0	0	12	7	0	0	7	5	0	0	5	9	1	0	10	7	0	0	7	9	0	1	10	11	0	1	12	8	0	1	9	10	0	0	10	11	0	0	11	10	0	0	10	110	1	5	116	
整形外科	75	11	6	92	88	12	6	106	75	17	8	100	72	9	11	92	77	15	11	103	69	17	9	95	77	16	10	103	76	11	17	104	69	25	16	110	74	13	14	101	73	10	15	98	77	9	18	104	902	165	141	1,208	
皮膚科	10	2	4	16	8	1	4	13	7	0	4	11	7	0	3	10	8	1	4	13	8	0	2	10	9	2	4	15	12	0	4	16	12	0	1	13	11	0	0	11	9	0	3	12	9	0	0	9	110	6	33	149	
泌尿器科	70	4	0	74	75	3	0	78	87	4	5	96	74	3	0	77	83	4	0	87	70	2	0	72	74	0	0	74	71	3	0	74	62	1	0	63	62	3	0	65	70	2	3	75	65	5	0	70	863	34	8	905	
産婦人科	39	13	0	52	33	8	0	41	37	8	0	45	44	9	0	53	43	7	1	51	41	6	0	47	48	12	0	60	44	7	0	51	43	12	0	55	42	12	0	54	42	9	0	51	41	7	0	48	497	110	1	608	
眼科	35	7	2	44	54	9	7	70	45	9	2	56	44	4	7	55	48	3	4	55	35	7	3	45	45	6	6	57	51	12	5	68	32	10	7	49	36	8	2	46	40	8	6	54	30	10	5	45	495	93	56	644	
耳鼻いんこう科	27	3	0	30	23	1	0	24	29	3	0	32	28	4	0	32	35	4	0	39	36	7	0	43	36	7	0	43	34	4	0	38	32	1	0	33	26	9	0	35	33	8	0	41	36	5	1	42	375	56	1	432	
歯科・口腔外科・矯正歯科	58	4	0	62	56	0	0	56	59	2	0	61	60	1	0	61	47	4	0	51	55	2	0	57	55	1	2	58	62	3	1	66	61	4	1	66	64	2	2	68	50	4	1	55	60	5	1	66	687	32	8	727	
麻酔科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
脳神経外科	21	10	0	31	18	8	0	26	25	9	0	34	19	5	0	24	23	14	0	37	25	11	0	36	22	8	0	30	17	4	0	21	21	7	0	28	16	12	0	28	21	11	0	32	21	6	0	27	249	105	0	354	
形成外科	21	1	9	31	15	5	14	34	24	5	10	39	23	2	6	31	28	2	10	40	24	5	10	39	19	1	4	24	22	3	9	34	25	2	9	36	28	1	9	38	28	2	10	40	23	1	10	34	280	30	110	420	
合 計	465	109	28	602	491	64	32	587	517	85	31	633	489	61	34	584	535	95	41	671	472	80	27	579	499	89	30	618	507	92	43	642	469	102	37	608	464	87	29	580	488	81	43	612	496	85	38	619	5,892	1,030	413	7,335	

2 年度別手術件数

年 度	定 時	臨 時	外 来	合 計
令和5年度	5,892	1,030	413	7,335
令和4年度	5,812	1,157	338	7,307

年 度	定 時	臨 時	外 来	合 計
令和3年度	5,221	1,160	195	6,576
令和2年度	5,264	1,008	234	6,506

年 度	定 時	臨 時	外 来	合 計
令和元年度	5,454	1,017	225	6,696
平成30年度	5,373	972	276	6,621

年 度	定 時	臨 時	外 来	合 計
平成29年度	5,016	921	302	6,239
平成28年度	4,634	941	352	5,927

18 ICU（集中治療室）

ICU入室状況など（入室日基準）（令和5年度）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
患者数		66	73	82	69	78	69	69	56	48	64	62	73	809
男		36	47	48	43	49	38	40	33	32	40	37	48	491
女		30	26	34	26	29	31	29	23	16	24	25	25	318
術後入室		48	56	63	41	56	42	51	32	31	29	36	54	539
院内急変入室		16	15	4	16	9	15	13	10	13	12	12	13	148
救急搬送		5	8	7	7	8	11	2	10	2	15	7	7	89
1歳未満		7	3	6	5	0	0	3	2	2	1	1	2	32
5歳未満		0	0	1	0	2	2	4	0	0	2	2	0	13
15歳未満		3	3	1	5	2	1	0	3	1	5	4	3	31
死亡数		0	2	1	2	2	0	3	2	1	3	1	1	18
平均在室日数		3.1	3.6	2.3	3.2	2.7	3.1	3.1	3.8	4.7	3.3	3.5	2.7	3.2
病床利用率		85.8	73.0	77.1	89.5	84.7	90.0	83.9	87.5	92.3	83.5	89.7	79.8	84.7
入室時間帯	日勤	22	28	25	28	26	21	29	19	15	26	18	29	286
	準夜	39	37	52	34	45	43	37	33	27	31	38	39	455
	深夜	5	8	5	8	6	6	3	4	6	3	6	5	65
退室時間帯	日勤	62	72	77	59	72	61	61	50	45	55	55	69	738
	準夜	2	2	2	6	5	9	3	6	4	7	5	5	56
	深夜	1	2	0	3	1	1	3	0	3	0	1	1	16
人工呼吸器療法／(人)		33	24	33	27	30	30	30	33	28	29	27	29	353
血液浄化療法／(回)		27	16	28	27	43	44	5	7	27	29	25	25	303
補助循環療法／(人)		3	0	2	2	3	0	0	1	2	2	1	4	20

19 CCU（冠動脈疾患集中治療室）

CCU入室状況など（入室日基準）（令和5年度）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
患者数		30	30	30	30	18	35	25	27	45	28	40	24	362
男		16	14	18	17	12	21	17	18	26	13	26	11	209
女		14	16	12	13	6	14	8	9	19	15	14	13	153
平均在室日数		6.7	4.8	4.4	4.0	5.2	10.8	16.1	4.2	7.3	0.0	6.3	6.5	3.6
病床利用率		93.3	66.1	90.8	81.5	92.7	92.5	72.9	77.5	81.5	80.6	92.9	87.9	85.0
死亡数		0	1	2	0	0	1	0	2	0	0	0	1	7
人工呼吸器（延べ）		15	0	37	32	44	57	26	26	26	41	21	43	368
入室時間帯	日勤	15	15	18	16	11	14	15	15	15	10	21	10	175
	準夜	12	13	10	8	5	18	9	9	23	14	16	9	146
	深夜	3	2	2	6	2	3	1	0	7	5	3	5	39
退室時間帯	日勤	28	30	24	27	19	29	22	25	40	23	37	21	325
	準夜	0	1	5	2	0	4	3	2	6	1	1	1	26
	深夜	2	2	1	1	0	1	0	0	2	2	2	1	14

20 HCU（ハイケアユニット）

HCU入室状況など（入室日基準）（令和5年度）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
患者数		68	78	78	68	76	99	68	76	77	92	68	73	921
男		36	50	46	44	50	64	36	51	42	59	36	41	555
女		32	28	32	24	26	35	32	25	35	33	32	32	366
術後入室		6	3	6	3	3	46	30	26	1	2	2	6	134
平均在室日数		2.4	2.4	3.1	2.6	2.0	2.0	3.1	2.2	3.1	2.9	2.2	3.2	2.9
病床利用率		86.7	71.4	84.2	91.9	91.5	89.1	84.3	90.1	94.4	92.7	97.3	90.3	89.3
死亡数		1	0	0	0	0	1	1	1	0	1	2	0	7
入室時間帯	日勤	39	44	50	41	56	54	47	53	43	61	46	54	588
	準夜	19	30	24	22	19	43	20	21	29	24	20	18	289
	深夜	10	4	6	5	2	4	1	2	5	7	2	2	50
退室時間帯	日勤	67	73	72	63	70	88	66	71	70	79	65	66	850
	準夜	3	5	4	3	8	7	1	2	6	4	4	3	50
	深夜	0	1	1	1	0	5	1	3	3	4	2	2	23
人工呼吸器療法／(延べ人数)		21	10	13	69	71	15	57	51	79	41	69	21	517
血液浄化療法／(回)		18	1	6	5	14	3	3	12	12	11	9	17	111

21 ACU（急性期ケアユニット）

ACU入室状況など（入室日基準）（令和5年度）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
患者数		43	30	43	46	57	59	47	40	56	65	66	38	590
男		23	14	17	26	24	36	30	21	31	35	33	20	310
女		20	16	26	20	33	23	17	19	25	30	33	18	280
手術数		0	0	1	7	5	4	2	1	1	0	2	4	27
緊急入院		18	13	11	16	25	23	25	25	26	30	32	12	256
平均在室日数		2.2	2.2	2.1	1.7	1.6	1.8	1.6	2.8	2.2	2.6	2.2	2.8	2.2
病床利用率		45.6	56.5	38.9	53.2	57.0	61.1	59.7	56.7	61.3	60.8	63.7	58.1	53.6
死亡数		0	1	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	5
入室時間帯	日勤	30	15	22	20	22	25	23	28	27	33	35	19	299
	準夜	12	13	20	24	31	32	20	9	20	24	9	15	229
	深夜	1	2	1	2	4	2	4	3	9	10	27	4	69
退室時間帯	日勤	41	30	40	43	56	49	47	39	53	57	60	33	548
	準夜	2	1	1	2	3	8	2	2	3	7	5	3	39
	深夜	1	2	0	1	0	2	0	0	3	1	3	0	13
人工呼吸器療法／(延べ人数)		1	0	4	1	5	1	1	30	32	0	12	16	103

2 2 輸血・細胞治療部

[ISO15189認定：認定番号RML00520]

1 各科別輸血用血液使用状況

(令和5年度)

	赤血球製剤		新鮮凍結血漿		血小板製剤		貯血式 自己血	アルブミン	輸血管理料
	使用 単位数	使用 人数	使用 単位数	使用 人数	使用 単位数	使用 人数	使用 単位数	使用量 (g)	人 数
血液・リウマチ・感染症内科	3,230	169	334	22	13,685	118	13	3,012.5	702
呼 吸 器 内 科	126	20	48	2	255	8	0	425.0	25
循 環 器 内 科	226	43	46	5	200	6	0	150.0	55
腎 臓 ・ 高 血 圧 内 科	456	74	458	8	175	5	0	1,750.0	134
内 分 泌 ・ 糖 尿 病 内 科	18	3	0	0	0	0	0	0.0	2
脳 神 経 内 科	92	14	276	13	110	3	0	7,025.0	25
脳 卒 中 科	20	6	2	1	0	0	0	162.5	6
消 化 器 内 科	826	116	916	27	1,120	13	0	11,562.5	265
臨 床 腫 瘍 科	458	53	12	3	420	6	0	1,850.0	103
緩 和 医 療 科	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0
精 神 科	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0
小 児 科	611	45	36	4	8,790	44	7	1,925.0	192
心臓血管外科・小児循環器	60	12	35	2	110	1	0	2,075.0	31
心 臓 血 管 外 科	1,519	103	1,349	83	1,595	54	4	3,487.5	112
消 化 器 ・ 一 般 外 科	174	39	34	5	100	5	0	1,462.5	41
消 化 器 外 科	948	118	778	44	1,040	18	0	10,112.5	210
呼 吸 器 外 科	154	10	116	5	120	3	0	475.0	8
乳 腺 ・ 甲 状 腺 外 科	28	7	6	1	20	1	0	0.0	9
乳 腺 外 科	4	2	0	0	35	1	0	0.0	5
整 形 外 科	606	108	76	12	90	5	727	687.5	308
皮 膚 科	142	21	56	2	130	3	0	800.0	31
泌 尿 器 科	546	55	144	4	525	6	0	987.5	83
産 婦 人 科	784	125	164	25	130	6	101	2,062.5	232
眼 科	0	0	84	2	0	0	0	1,287.5	3
耳 鼻 い ん こ う 科	174	26	16	3	340	3	0	1,075.0	34
歯科・口腔外科・矯正歯科	128	19	33	6	0	0	178	1,287.5	115
麻 酔 科	0	0	0	0	0	0	0	0.0	29
脳 神 経 外 科	162	25	84	11	160	5	18	612.5	40
形 成 外 科	58	10	58	3	50	1	4	162.5	13
リハビリテーション科	2	1	0	0	0	0	0	0.0	1
救 急 科	206	37	86	9	210	10	0	1,175.0	48
合 計	11,758	1,165	5,247	291	29,410	309	1,052	55,612.5	2,862

☆ 1単位=200mL採血由来

2 稼働実績

(令和5年度)

項目	血液型検査 ABO.Rh-D	Rh-D陰性	抗原チェック	製剤 血液型	不規則抗体 スクリーニング	間接クームス 試験	直接クームス 試験	交差試験 (本数)	DNAマイクロ サテライト法
		D陰性確認試験	製剤数						
件数	9,400	33	323	5,943	6,581	838	126	400	113

項 目	自 己 血	細胞採取等			FFP比	アルブミン比
	貯血本数	移植用細胞 保存処理	末梢血単核球採取			
			冷蔵	凍結保存		
件 数	560	23	9	5	0.35	1.19

3 時間外稼働実績

(令和5年度)

赤血球		新鮮凍結血漿		濃厚血小板		アルブミン	
件数	本数	件数	本数	件数	本数	件数	本数
962	1,738	316	966	740	814	407	1,018

2 3 病理診断科・病理部

月別検査件数および点数

(令和5年度)

項目 月別	組織診断 件数 点数	迅速診断 件数 点数	細胞診断 件数 点数	電 顕 件数 点数	病理解剖 体数	合 計
4月	1,007	64	641	6	0	1,718
	1,939,350	127,360	316,532	12,000	－	2,395,242
5月	992	62	701	4	0	1,759
	1,926,260	123,380	332,456	8,000	－	2,390,096
6月	1,080	70	754	7	0	1,911
	2,090,910	139,300	367,094	14,000	－	2,611,304
7月	964	52	627	3	3	1,649
	1,864,650	103,480	303,688	6,000	－	2,277,818
8月	1,064	57	645	5	2	1,773
	2,042,870	113,430	304,062	10,000	－	2,470,362
9月	990	67	718	2	0	1,777
	1,904,680	133,330	342,566	4,000	－	2,384,576
10月	1,111	59	781	6	0	1,957
	2,165,240	117,410	394,458	12,000	－	2,689,108
11月	1,013	51	652	2	0	1,718
	2,037,420	101,490	314,164	4,000	－	2,457,074
12月	1,007	77	728	8	3	1,823
	2,027,810	153,230	349,798	16,000	－	2,546,838
1月	1,027	64	692	4	2	1,789
	1,988,900	127,360	352,128	8,000	－	2,476,388
2月	968	64	662	5	1	1,700
	1,902,310	127,360	318,256	10,000	－	2,357,926
3月	1,043	73	751	5	0	1,872
	2,068,790	145,270	369,188	10,000	－	2,593,248
合 計	12,266	760	8,352	57	11	21,446
	23,959,190	1,512,400	4,064,390	114,000	－	29,649,980

24 遺伝子診療科/妊娠と薬外来

■診療概要

日常診療に遺伝診療が取り入れられるようになってきており、院内の横断的遺伝診療部門として2002年に発足しました。
妊娠と薬外来は2010年より国立成育医療研究センター妊娠と薬情報センターと連携して遺伝子診療科とともに診療をしています。
遺伝カウンセリング、遺伝子検査、遺伝診療、遺伝子解析研究、妊娠中/前に服用した薬の相談を行っています(予約制)。

■診療責任者・スタッフ

兼任部長	松本 直通 (遺伝学教授 臨床遺伝認定登録医)
医師	宮武 聡子 (脳神経内科 臨床遺伝専門医・指導医) 浜之上 はるか (産婦人科 臨床遺伝専門医・指導責任医 遺伝性腫瘍専門医) 須郷 慶信 (産婦人科 臨床遺伝専門医) 鈴木 理絵 (産婦人科 臨床遺伝専門医)
遺伝カウンセラー	栗城 紘子 (認定遺伝カウンセラー 胚培養士) 高塚 美衣 (認定遺伝カウンセラー 臨床検査技師) 坂口 智博 (遺伝カウンセラー)
その他の臨床遺伝専門医	各科より多数
妊娠と薬外来 薬剤師	川邊 桂 (妊婦授乳婦薬物療法認定薬剤師) 関 雅子 (妊婦授乳婦薬物療法認定薬剤師) 成田 由紀 (薬剤師)

■令和5年度実績

- ・出生前診断に関する遺伝カウンセリング (新型出生前診断、妊娠初期コンバインドテスト含) 初診 411例 再診 428例
 - ・遺伝カウンセリング (各種の遺伝性疾患、先天性疾患、家族性腫瘍、妊娠と感染等) 初診150例 再診 272例
 - ・妊娠と薬外来相談 23例
- 延べ 1,284例に対応しました。
- * 網羅的解析の実績数 50件 (先進推進事業として3件、未診断疾患の遺伝子網羅的解析研究として47件)

■遺伝子診療科カンファレンス

院内外医療職 (医師、薬剤師、看護師、中央部門スタッフ)、実習生等を対象に定期的にオンラインカンファレンスを行い、毎回30名ほど集まります。症例報告以外にも遺伝診療にかかわる重要な情報提供、小講演、討議も行われています。
ご参加希望の方は遺伝子診療科へご連絡ください。

【日程】周産期遺伝: 毎月第2水曜日 17時～17時半 / 左記以外: 毎月第4水曜日 16時半～17時半

25 感染制御部

感染対策は健全な病院機能を維持のために重要な業務であり、当院では全国に先立って2007年9月1日から活動をしています。現在は病院内外でのあらゆる事例に対応するために医師・歯科医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師・事務職員からなる多職種で構成されています。MRSAやESBL産生菌、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌など薬剤耐性菌や、新型コロナウイルス、インフルエンザ、感染性胃腸炎、麻疹、風疹、水痘、結核菌など院内で広まると問題となる感染症の発生状況の掌握や検出時の対策を行っています。感染症発症時期の早期診断・隔離予防策、治療の実施指導等の対応を行うとともに、感染症の伝播を防ぐため定期的に院内ラウンドを行い、院内の環境整備を行っています。各診療科、部署に感染リンクドクター、感染リンクナースを配置し病院全体で連携した感染対策に取り組んでいるほか、HIV・輸入感染症、結核、麻疹・風疹等の対策には各診療科と連携して対応しています。職員の職務環境整備としてはワクチン接種、健康管理、針刺し血液曝露対策等を行っています。また院外においては新型コロナウイルス対策、インフルエンザ対策、薬剤耐性菌検出例の対応では横浜市・金沢区の担当部署と連携して対応しており、感染対策向上加算1を取得し、地域病院との情報交換、感染症対策支援も行っています。国全体の組織としては国公立大学附属病院感染対策協議会に参加しています。2017年度からは厚生労働省AMR(薬剤耐性)アクションプランを受けて抗菌薬適正使用支援チームを立ち上げ、抗微生物薬の適正使用支援と耐性菌抑止の取り組みを行っています。2020年初頭からの新型コロナウイルス感染症では、入院・外来を含め感染者の診療や感染制御を行っているほか、集中治療室・感染症病床、外来等の施設整備、個人防護具の管理、感染対策指導を行っています。

【当院における医療関連感染対策のための各種サーベイランスの取り組み】

院内における感染症発生の実態等を把握することで、感染率を改善する糸口となります。厚生労働省は2000年より院内感染サーベイランス事業を展開しており、当院は積極的にこのサーベイランス事業のうち、SSI/NICU/耐性菌の各サーベイランス事業に協力しています。2007年度より全外科領域診療科のSSIサーベイランスを実施し集計結果の報告が開始されています。その他にも感染対策の効果の検証と改善のために下表のような関連のサーベイランスを実施し、ベンチマークとしています。これらサーベイランスの結果の多くは感染対策委員会ならびに感染対策推進部会で報告しています。PDCAサイクルをまわし、感染率の低下につなげるために役立てられています。感染制御部では、これら医療関連感染サーベイランスの情報を集約的に監視し、他施設との比較も行いながら当院における感染対策に結びつけています。

医療関連感染サーベイランスの種類		実施時期	対 象 者	評価方法(基準)
1	中心静脈ライン関連血流感染(CLABSI)	通 年	全中心静脈ライン挿入患者	NHSN
2	人工呼吸器関連事象(VAE)	通 年	全集中治療部門人工呼吸管理下患者	NHSN
3	尿路カテーテル関連尿路感染(CAUTI)	通 年	全尿路カテーテル挿入患者	NHSN
4	外科手術部位感染(SSI)	通 年	全手術患者	厚労省JANIS形式
5	NICU	通 年	全NICU入室患者	厚労省JANIS形式
6	臨床分離菌/薬剤耐性菌	通 年	全臨床分離菌	厚労省JANIS形式
7	針刺し・切創、血液・体液曝露	通 年	全院内申告例	日本版エピネット形式
8	抗菌薬使用届け出	通 年	全届け出対象抗菌薬処方症例	院内基準による
9	<i>C. difficile</i> 感染症(CDI)	通 年	全院内発生例	症候と検査陽性例
10	季節性インフルエンザ	流行期	全発生例	検査陽性例や曝露者
11	症候(有熱者)サーベイランス	通 年	全患者入院例	問診票と検温
12	感染性胃腸炎	冬季流行期	全院内発生例	症候に基づく調査
13	手指衛生	通 年	全職員	払い出し量に基づく調査
14	発熱・感染性胃腸炎	通 年	全職員	症候に基づく調査
15	抗菌薬使用量	通 年	全院内抗菌薬使用患者	AUD, DOT

※ NHSN: 米国疾病制御予防センター(CDC)の公開している医療関連サーベイランスの基準。NHSN=national healthcare safety network

※ 日本版エピネット形式=日本職業感染制御研究会の提供している針刺し・切創・体液曝露時の報告・集計。

※ JANIS: Japan Nosocomial Infection Surveillance Systemは厚生労働省が実施している感染サーベイランス事業。

※ AUD: 抗菌薬使用密度 AUD=antimicrobial use density

※ DOT: 抗菌薬使用日数 DOT=days of therapy

26 緩和ケアセンター

1 緩和ケアセンター

緩和ケアセンターとは、がんおよび心不全の患者やその家族等に対して、診断時からより迅速かつ適切な緩和ケアを切れ目なく提供するために「緩和ケアチーム」「緩和ケア外来」「緊急緩和ケア病床」を統括し、医師・看護師・薬剤師を中心とした多職種が連携した緩和ケアに関する院内組織です。

2 組織と構成員（令和6年5月現在）

緩和ケアセンター長 医師1名（臨床腫瘍科部長）

緩和ケアセンタージェネラルマネージャー 専従1名（がん領域総括副看護部長）

【緩和ケアチームメンバー】

身体症状担当医師 専従リーダー1名（緩和医療科）

専従1名（緩和医療科）

専任1名（麻酔科）

兼任1名（総合診療科）

精神症状担当医師 専従1名（緩和医療科・精神科）

看護師 専従2名、兼任4名（がん性疼痛看護認定看護師、慢性心不全看護認定看護師、がん看護専門看護師）

薬剤師 専任1名、兼任1名

コメディカル 臨床心理士1名、作業療法士1名、ソーシャルワーカー2名

3 具体的な活動内容

- | | |
|----------------|---|
| 1) 緩和ケアチーム活動 | 専門的緩和ケアに関するチーム医療提供（病棟ラウンド）
緩和ケアチームカンファレンス（1回/週）、病棟・外来スタッフとのカンファレンス
緩和ケアセンター運営会議（1回/月） |
| 2) 緩和ケア外来 | 専門的緩和ケアの提供 |
| 3) 緊急緩和ケア病床の運営 | 緊急緩和ケア病床への入院による専門的症状緩和治療の実施 |
| 4) 地域連携活動 | 地域との連携協力に関するカンファレンスの実施（1回/1～2か月） |
| 5) 相談支援活動 | 緩和ケアに関する院内・外の医療スタッフからのコンサルテーション対応 |
| 6) 教育活動 | 緩和ケア研修会など医療従事者に対する研修会の運営
医学・看護・薬学の学生実習および見学対応 |
| 7) 看護活動 | がん看護相談や緩和ケアチーム担当看護師による看護業務の支援・強化 |
| 8) 診療情報の集約・分析 | 苦痛のスクリーニング、医療用麻薬の処方量の把握と評価 |
| 9) がん診療連携病院関連 | 神奈川緩和ケア部会への参加（2回/年） |

4 診療および活動実績（令和5年度）

- 緩和ケアチーム対応患者数 入院472件（新規273件）、非がん35件（新規32件）、外来1,085件（新規87件）
- 依頼内容
 - ① 疼痛治療・ケア
医療用麻薬調整、メサドン導入、副作用対策、患者・家族教育
骨転移症例に関する放射線治療の提案、調整、神経ブロックの提案とマネジメント
 - ② 疼痛以外の症状治療・ケア
呼吸困難、消化器症状、鎮静への対応
 - ③ 精神症状治療
抑うつ、不安、せん妄、心理的反応に対する精神療法、薬物療法
 - ④ 末期心不全の症状コントロール 4件
 - ⑤ 在宅・転院に向けた調整
PCAポンプの導入・指導 31件
退院前カンファレンス 4件
- 緊急緩和ケア病床入院患者数 27件
- 地域連携カンファレンス 4回/年
- 緩和ケア診療加算算定件数（次頁参照）
- 緩和ケア外来診療件数（次頁参照）

5 緩和ケア診療加算の算定状況 (390点)

(令和5年度)

	合 計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
血液・リウマチ・感染症内科	548	29	14	35	36	37	35	48	82	70	46	52	64
呼 吸 器 内 科	449	45	63	17	1	27	25	21	16	32	62	91	49
循 環 器 内 科	19			2			6	1					10
腎臓・高血圧内科	13					3	5	5					
内分泌・糖尿病内科	0												
脳 神 経 内 科	9										1	7	1
脳 卒 中 科	0												
消 化 器 内 科	197	8	16	19	19	10	13	34	9	4	20	11	34
臨 床 腫 瘍 科	619	34	45	43	49	77	63	66	44	32	69	19	78
緩 和 医 療 科	0												
精 神 科	0												
小 児 科	0												
心 臓 血 管 外 科	0												
消化器・一般外科	76				8	1	20	8	8	17	7	6	1
消 化 器 外 科	327	55	11	28	36	19	10	31	26	31	59	10	11
呼 吸 器 外 科	0												
乳 腺 ・ 甲 状 腺 外 科	52	5	5	10	3						7	15	7
乳 腺 外 科	123		8			1	13	6	13	41	11	20	10
整 形 外 科	83	20	8		14		18	23					
皮 膚 科	222	41	32	14	4	17	32	42	14	3	8		15
泌 尿 器 科	496	50	60	75	46	45	12	42	11	19	47	59	30
産 婦 人 科	508	78	60	68	21	32	22	24	15	3	54	84	47
眼 科	0												
耳 鼻 い ん こ う 科	293	3	10	19	16	28	35	18	16	19	35	59	35
放 射 線 治 療 科	0												
歯科・口腔外科・矯正歯科	135								10	46	9	19	51
麻 酔 科	0												
脳 神 経 外 科	70	20	21	10	10	9							
形 成 外 科	5					5							
リハビリテーション科	0												
がんゲノム診断科	0												
合 計 件 数	4,244	388	353	340	263	311	309	369	264	317	435	452	443
緩和ケア診療加算(点数)→	390												
合 計 算 定 点 数	1,655,160	151,320	137,670	132,600	102,570	121,290	120,510	143,910	102,960	123,630	169,650	176,280	172,770

6 緩和ケア外来診療件数状況

(令和5年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
緩和身体 緩和ケア外来新患併診	6	6	7	7	3	11	9	7	3	4	7	8
緩和身体 緩和ケア外来再診	83	70	77	89	92	85	67	91	96	86	62	75
緩和精神 緩和ケア外来新患	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0
緩和精神 緩和ケア外来再診	3	4	6	6	4	5	5	2	3	5	7	5
合 計 件 数	92	80	90	102	99	102	81	101	102	95	76	88

27 がん相談支援センター

1 がん相談支援センター

がん相談支援センターとは、院内および地域の医療従事者の協力を得て、院内外のがん患者とその家族、地域の住民および医療機関等からの相談に対応する体制を整備し、がん診療や患者支援の充実を、全病院的に推進している組織です。

個別の相談支援においては、相談者の権利を守り、がんと向き合うすべての段階において信頼できる情報を提供することを目指しています。そして、相談者に寄り添い、困りごとの本質をともに考え、相談者が十分な情報に基づいた自己決定ができるよう支援しています。納得して治療を受けることは元より、患者が望む社会生活が送れるよう目指しています。

2 がん相談支援センター構成員（令和6年4月現在）

- 1) 責任者: 医師1名(血液リウマチ感染症内科)
- 2) 副責任者: 医師1名(がんゲノム診断科)
- 3) がん専門相談員
看護師: 専従1名(がん性疼痛看護認定看護師)
兼任6名(がん看護専門看護師3名、がん性疼痛看護認定看護師2名、がん化学療法看護認定看護師1名)
ソーシャルワーカー: 専任1名、兼任8名
- 4) その他
診療科医師、がん領域認定・専門看護師、ソーシャルワーカー、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、作業療法士
- 5) 事務局: 医学・病院統括部地域連携課地域連携担当

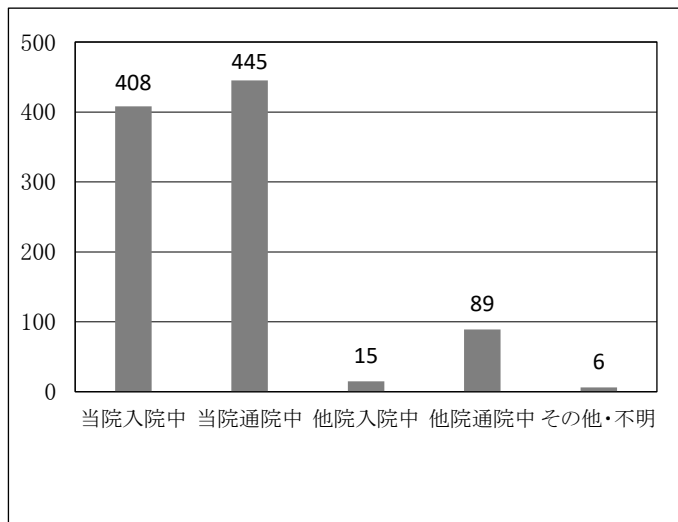
3 具体的な活動内容

- 1) 相談支援(患者および家族相談)
- 2) がん相談支援センタースタッフミーティング 12回/年
- 3) がん相談・がん患者支援会議 2回/年
- 4) はまかぜサロン企画・運営 11回/年(4月～3月オンライン開催)(9月は台風により中止)計139名参加
- 5) アピアランスケア相談会 7回/年 計5名参加
- 6) ピアサポーターによる個別相談 0名/年(コロナにより開催せず)
- 7) 社会保険労務士相談 5名/年
- 8) 教育活動
緩和ケア研修会講義 2回/年
看護部教育委員会がん看護勉強会 10回/年、院内看護研修2回/年
- 9) 広報活動
がん相談支援センターを「入院のご案内」に掲載
- 10) 地域連携活動 地域医療機関とカンファレンス 4回/年
- 11) 地域がん診療連携拠点病院関連
神奈川県相談支援部会参加 2回/年
神奈川県相談支援部会研修会参加 4回/年
神奈川県相談支援部会就労ワーキング活動 5回/年、神奈川県相談支援部会教育ワーキング研修会企画10回/年

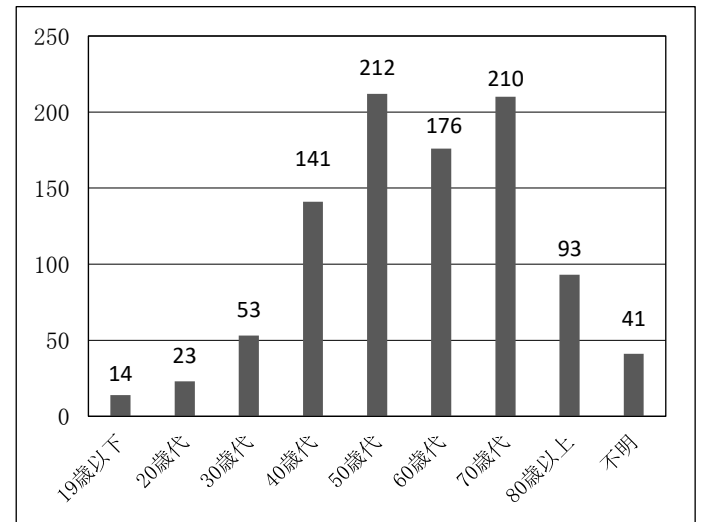
【相談件数】

対応者	ソーシャルワーカー	看護師	合計
件数	388	575	963

【患者カテゴリー】



【患者年齢構成】



【相談内容】(複数カウント)

相談内容	件数	相談内容	件数
がんの治療	249	食事・服薬・入浴・運動・外出など	19
がんの検査	5	介護・看護・養育	92
症状・副作用・後遺症	7	社会生活(仕事・就労・学業)	62
セカンドオピニオン(一般)	19	医療費・生活費・社会保障制度	189
セカンドオピニオン(他へ紹介)	5	不安・精神苦痛	298
転院	127	告知(がん患者指導管理料イ算定72件)	32
医療機関の紹介	27	医療者との関係・コミュニケーション	76
在宅医療	87	患者・家族間の関係・コミュニケーション	49
ホスピス・緩和ケア	130	友人・知人・職場の人間関係・コミュニケーション	2
患者会・家族会(ピア情報)	8	アピアランスケア	126
妊孕性	3	がん患者スクリーニングより看護面談	113
その他	111		

【はまかぜサロン(4月～3月オンライン開催)】

	ミニ医療講座	担当	参加者
4月	「知っておこう! お金のこと」	ソーシャルワーカー	6名
5月	「低栄養予防と対策の食事について」	管理栄養士	14名
6月	「重要な面談に臨まれる患者さんご家族へ」	看護師 がん相談支援センター看護師	14名
7月	「フレイルとサルコペニア」	理学療法士	12名
8月	「院外薬局との連携 最近の取り組み」	薬剤師	10名
9月	(台風のため中止)		
10月	「がんと生活習慣病」	看護師 慢性疾患看護専門看護師	14名
11月	「検査結果の見方～腫瘍マーカーを中心に～」	臨床検査技師	15名
12月	「今年のインフルエンザと新型コロナウイルス対策」	感染制御部 医師	15名
1月	「人生会議ははじめました」	緩和ケアチーム 医師	12名
2月	「便秘症治療薬のいろいろ」	緩和ケアチーム 薬剤師	10名
3月	「がんゲノム検査について」	がんゲノム診断科 医師	17名

28 内視鏡センター

1 内視鏡検査件数

項	目	計
気管支内視鏡		9
上部内視鏡		5,586
下部内視鏡		2,506
経鼻内視鏡		299
カプセル内視鏡		20
他院カプセル内視鏡読影		16
内視鏡的逆行性膵胆管造影(ERCP)		943
小腸(バルーン)内視鏡		14
気管支内視鏡(放射線室分)		104
	(術中内視鏡)	(17)
	(病棟内視鏡)	(23)
	(夜間・休日内視鏡)	(480)
合	計	10,017

2 内視鏡処置・手術内容

項	目	計
超音波内視鏡		782
超音波内視鏡的穿刺吸引術(EUS-FNA)		185
ポリペクトミー	上 部	3
	下 部	33
内視鏡的粘膜切除術(EMR)	上 部	39
	下 部	53
内視鏡下粘膜下層剥離術(ESD)	上 部	186
	下 部	135
胃ろう造設		80
胃ろう交換		152
静脈瘤結さつ術(EVL)		24
硬化療法(EIS)		0
拡張術		50
アルゴンプラズマ凝固療法(APC)		20
気管内洗浄・BAL		0
異物除去		9
内視鏡的止血術		184
その他		212
胆膵関連手技		871
ステント留置術	Plastic Stent	403
	Metallic Stent	30
内視鏡的乳頭バルーン拡張術(EPBD)		30
内視鏡的乳頭括約筋切開術(EST)		155
胆管腔内超音波検査(IDUS)		10
経口胆道鏡(POCS)		56
結石除去術		123
十二指腸ステント留置術		18
内視鏡的乳頭切除術		5
超音波内視鏡下胆道ドレナージ術(EUS-BD)		36
超音波内視鏡下膵仮性嚢胞ドレナージ術(EUS-CD)		3
超音波内視鏡下膵管ドレナージ術(EUS-PD)		2

29血液浄化センター

科別取扱件数

(令和5年度)

項目 科目	血液透析 慢性腎不全導入	血液透析 慢性腎不全維持	急性 腎不全	血交 漿換	二重濾過 血漿交換	免疫 吸着	LDL 吸着	GCAP	LCAP	血液 吸着	CAPD	PD/HD 併用	療法 選択	幹細胞 採取	ECUM	OHDF	その他	合計
血液・リウマチ・ 感染症内科	0	77	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	89
呼吸器内科	0	58	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	65
循環器内科	0	105	1	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	11	0	0	120
腎臓・高血圧内科	288	1,671	167	10	1	0	28	8	0	0	439	546	102	0	59	330	128	3,777
内分泌・ 糖尿病内科	0	46	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	46
脳神経内科	0	3	1	37	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	43
脳卒中科	1	71	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	74
消化器内科	0	94	14	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	7	6	0	131
臨床腫瘍科	0	21	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32
精神科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小児科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
心臓血管外科	2	2	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	22
消化器・一般外科	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11
消化器外科	0	60	19	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	85
呼吸器外科	0	9	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13
乳腺・甲状腺外科	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
乳腺外科	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
整形外科	0	109	1	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	4	0	0	118
皮膚科	0	31	0	2	6	0	0	3	0	0	0	0	0	0	1	1	0	44
泌尿器科	4	62	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	71
産婦人科	0	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13
眼科	0	24	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	38
耳鼻いんこう科	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
放射線治療科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歯科・口腔外科・ 矯正歯科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脳神経外科	0	9	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19
形成外科	0	74	0	0	0	0	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	87
リハビリテーション科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
救急科	0	25	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26
合計	297	2,581	260	71	8	0	43	21	0	0	440	550	102	0	94	337	128	4,932

30 化学療法センター

1 化学療法業務（一日平均）

（令和5年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
化学療法実施件数	50.4	53.5	51.7	52.5	54.0	55.7	53.6	54.5	54.0	56.2	56.8	57.8	54.2
化学療法実施件数 （小児科外来分）	1.0	1.0	0.9	1.1	1.2	1.2	1.2	1.0	1.3	1.5	1.5	1.8	1.2

※化学療法実施件数には自己免疫疾患等治療（バイオ製剤投与）を含む。

2 化学療法実施件数

（令和5年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
血液・リウマチ・感染症内科	200	205	217	216	244	220	208	221	224	207	207	236	2,605
呼吸器内科	43	57	63	51	54	59	60	56	56	53	40	53	645
腎臓・高血圧内科	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
脳神経内科	0	2	0	1	1	1	0	2	0	1	1	2	11
消化器内科	90	90	102	77	102	84	83	76	77	82	100	93	1,056
臨床腫瘍科	165	161	162	163	177	180	192	155	150	139	146	153	1,943
小児科	3	3	2	2	3	2	3	3	2	2	3	1	29
消化器・一般外科	97	104	120	98	152	115	112	100	91	99	116	87	1,291
消化器外科	80	79	90	82	90	92	97	99	99	88	90	96	1,082
呼吸器外科	2	1	2	1	2	1	1	2	1	1	2	1	17
乳腺・甲状腺外科	44	40	39	35	42	47	47	44	46	41	63	46	534
乳腺外科	64	80	76	89	71	89	90	85	107	97	89	115	1,052
整形外科	9	13	15	5	12	13	14	15	10	12	15	11	144
皮膚科	28	29	30	27	24	27	29	28	31	33	36	39	361
泌尿器科	77	86	82	86	93	72	73	80	74	77	83	83	966
産婦人科	60	79	89	74	77	66	73	75	81	90	104	102	970
耳鼻いんこう科	35	26	34	31	38	38	33	42	30	41	36	32	416
歯科・口腔外科・矯正歯科	3	12	9	11	6	7	6	6	1	4	5	6	76
脳神経外科	7	2	5	1	1	1	3	1	0	0	0	0	21
合計	1,007	1,069	1,137	1,050	1,189	1,114	1,125	1,090	1,080	1,067	1,136	1,156	13,220

※自己免疫疾患等治療（バイオ製剤投与 1,358件）を含む。

3 1 中 央 無 菌 室

月別入室件数

(令和5年度)

	血液・リウマチ・感染症内科			小 児 科			合 計
	同種移植	自家移植	化学療法	同種移植	自家移植	化学療法	
4月	2	0	1	3	0	0	6
5月	1	1	0	1	0	0	3
6月	1	0	3	0	0	0	4
7月	1	1	3	0	0	0	5
8月	2	0	1	1	0	2	6
9月	3	1	1	1	0	0	6
10月	1	1	1	0	1	0	4
11月	2	0	1	0	0	0	3
12月	0	0	3	1	0	0	4
1月	3	1	0	1	0	0	5
2月	0	0	2	0	0	0	2
3月	1	1	3	1	0	0	6
合 計	17	6	19	9	1	2	54
総合計	42			12			54

3 2 滅 菌 室

滅菌室業務

(令和5年度稼働日数 299日)

項目 月	AC 滅菌※	EOG 滅菌※	STR 滅菌※	病棟・外来器材滅菌件数			手術器材滅菌件数				滅菌依頼件数		臨時 請求件数
				セット	単品	その他	コンテナ	セット	単品 その他	借用	病棟・ 外来・ 他部門	物流	
4月	387	38	197	675	11,283	0	583	1,311	7,819	620	3,304	1,572	530
5月	402	40	194	638	12,703	0	490	1,119	6,324	604	3,092	1,292	374
6月	429	38	231	635	12,267	0	586	1,500	8,385	769	3,694	1,733	331
7月	387	40	209	575	10,565	0	566	1,251	7,490	704	3,070	1,491	506
8月	438	40	239	664	11,461	0	622	1,524	8,683	719	3,379	1,389	610
9月	414	40	205	624	10,003	0	603	1,448	7,753	758	3,201	1,470	325
10月	417	38	204	624	11,047	0	637	1,404	7,863	713	3,542	1,513	416
11月	403	39	194	656	10,998	0	578	1,428	7,267	670	3,547	1,454	438
12月	426	39	206	628	10,844	0	685	1,498	8,004	713	3,528	1,597	774
1月	376	37	189	639	10,175	0	513	1,314	6,829	656	3,293	1,374	464
2月	395	39	192	532	9,174	0	602	1,471	7,569	736	3,041	1,447	371
3月	405	37	206	603	10,772	0	633	1,450	8,552	684	3,295	1,360	608
合計	4,879	465	2,466	7,493	131,292	0	7,098	16,718	92,538	8,346	39,986	17,692	5,747
1日平均	16.3	1.6	8.2	25.1	439.1	0.0	23.7	55.9	309.5	27.9	133.7	59.2	19.2

(※ AC:高圧蒸気滅菌 EOG:エチレンオキシドガス滅菌 STR:過酸化水素低温プラズマ滅菌)

3 3 シミュレーションセンター

シミュレーションセンター利用状況 (令和5年度)

	医 師		研修医		看護師		医学科		看護学科		その他		合 計		
	センター利用	物品貸出	センター利用	物品貸出	センター利用	物品貸出	センター利用	物品貸出	センター利用	物品貸出	センター利用	物品貸出	センター利用	物品貸出	計
4月	55	1	97	70	30	206	194	0	30	1	110	0	516	278	794
5月	111	2	100	0	28	29	167	8	39	224	27	0	472	263	735
6月	88	14	35	6	91	101	209	116	35	0	50	3	508	240	748
7月	85	12	17	8	132	15	168	50	103	35	134	26	639	146	785
8月	10	8	13	6	133	15	24	8	15	30	31	96	226	163	389
9月	84	4	28	0	93	58	197	13	3	6	43	82	448	163	611
10月	86	42	39	0	202	3	440	108	10	9	74	43	851	205	1,056
11月	115	32	71	9	278	52	545	854	9	109	304	28	1,322	1,084	2,406
12月	40	107	27	5	265	137	602	755	8	119	13	92	955	1,215	2,170
1月	95	4	31	0	447	31	67	13	5	0	78	10	723	58	781
2月	61	7	47	0	135	73	204	22	16	2	59	11	522	115	637
3月	34	5	47	5	42	45	109	7	28	0	34	1	294	63	357
合 計	864	238	552	109	1,876	765	2,926	1,954	301	535	957	392	7,476	3,993	11,469
	1,102		661		2,641		4,880		836		1,349				

3 4 先進医療推進センター

1 目 的

高度かつ先進的な医療を行うための研究および技術開発の支援を行い、その成果を厚生労働省の「先進医療」に結実させ、患者さんに還元します。

2 学内先進支援事業審査会の開催状況 (令和5年度)

学内先進支援事業審査会	申 請 件 数	備 考
第50回(令和5年4月14日～20日開催)	1件	変更申請1件
第51回(令和5年7月24日～31日開催)	5件	変更申請5件
第52回(令和5年9月4日開催)	1件	新規申請1件
第53回(令和5年10月4日～10日開催)	2件	変更申請2件
第54回(令和5年11月6日開催)	9件	令和4年度承認済研究再審査9件
第55回(令和5年11月8日～15日開催)	1件	変更申請1件
第56回(令和6年2月28日開催)	8件	令和6年度支援分(新規申請4件、変更申請2件、継続審議2件)

3 承 認 件 数 (令和6年4月現在)

	承認件数	終了件数	合 計
重 点 型	1件	0件	1件
一 般 型	15件	14件	1件
新 制 度	15件	2件	13件

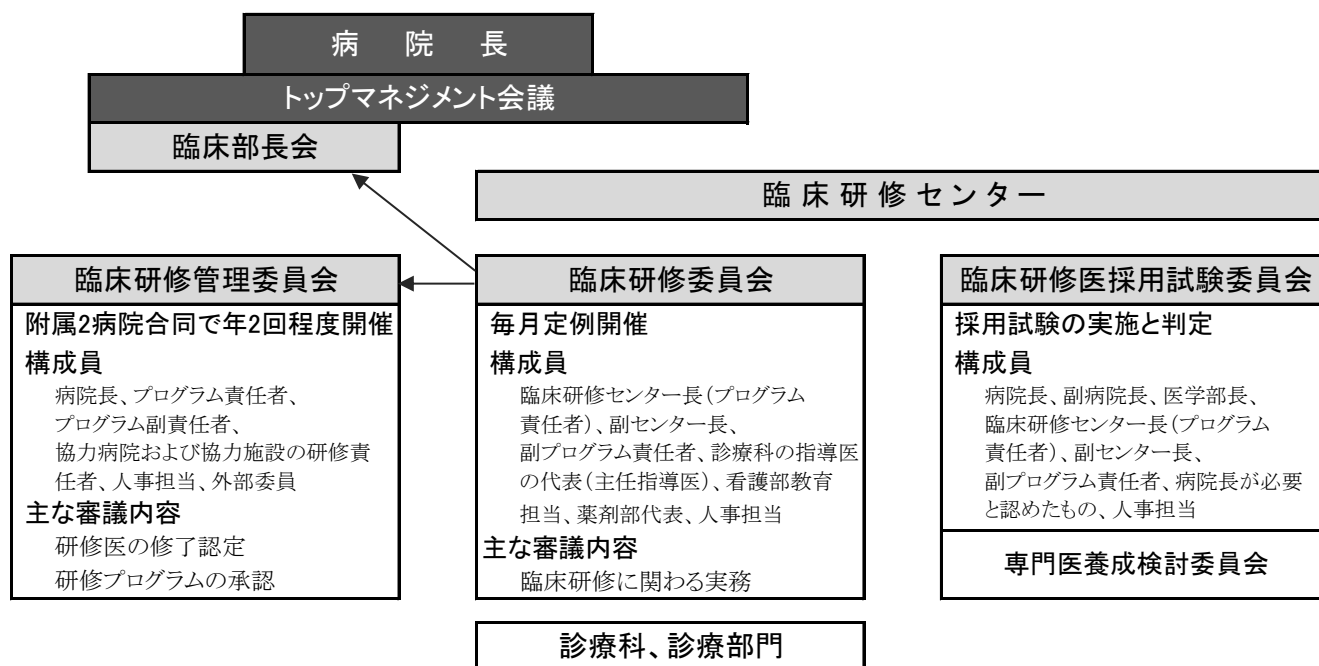
※重点型:厚生労働省の定める先進医療の承認を得られる可能性が高いもの。
※一般型:先進医療の承認又は保険適用を目指す、実現の可能性が未確定なもの。
※新制度:令和5年度より実現の可能性が高く対象疾患を「がん」に限る「特定臨床研究」。支援期間を最長3年間とする。
※新制度13件のうち、3件はセンター病院で実施する研究。
※一般型1件は令和4年3月末迄に承認済であるがん以外の「特定臨床研究」であり、被験者保護の観点から特例措置として研究終了まで支援する。
※支援期間継続中の【重点型】研究は支援期間令和7年3月末まで支援する。

4 厚生労働省の定める先進医療への申請および承認状況 (令和5年度)

申 請 件 数	0件	承 認 件 数	0件
---------	----	---------	----

35 臨床研修センター

臨床研修センター長 稲森正彦（教授 プログラム責任者 医学教育学 兼任）
 副センター長 前田 慎（教授 消化器内科学 兼任）
 副センター長 日下部 明彦（准教授 副プログラム責任者 総合診療医学 兼任）
 事務局 職員課 人事担当



臨床研修医マッチング状況（直近5年間）

マッチング実施年	令和元年	令和2年	令和3年度	令和4年度	令和5年度
基本臨床研修プログラム	35	50	43	45	43
（定員）	50	50	47	45	43
産科・小児科プログラム	2	4	2	4	4
（定員）	4	4	4	4	4
合計	37	54	45	49	47

臨床研修医および後期研修医採用状況（直近5年間）

採用年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
臨床研修医	41	52	43	49	49
後期研修医（シニア・レジデント、専攻医）	127	123	104	116	107

※各年度4月1日現在

1 主な業務

令和6年度 臨床研修関連年間計画

センター病院との共通予定

マッチング日程 ★日程未定

	1年次研修医	2年次研修医	医科採用関連		歯科採用関連	専攻医関連	委員会・講演会・セミナー
4月	1年次オリエンテーション 看護体験実習 麻疹等4種ワクチン接種 B型肝炎ワクチン接種① T-SPOT採血	2年次オリエンテーション 新人職員医療安全研修 麻疹等4種ワクチン接種(新採用) B型肝炎ワクチン接種①(新採用) T-SPOT採血(新採用)	臨床研修委員会 第3火曜日(8月休会)			プログラム変更届を専門医機構に提出	
5月	B型肝炎ワクチン接種② 1年次研修医面談	B型肝炎ワクチン接種②(新採用) 2年次研修医面談	レジナビ(福岡)				
6月	麻疹等4種抗体等確認検査 (6～9月 夏季休暇 5日間)	麻疹等4種抗体等確認検査(全員) B型肝炎抗原・抗体等検出検査 T-SPOT採血(既採用)	第1回臨床研修医採用試験委員会				
7月		麻疹等4種ワクチン接種申請(既採用) 麻疹等4種ワクチン接種(既採用) B型肝炎ワクチン接種申請(既採用)	マッチング参加登録開始 レジナビ(東京) R7年度採用者募集開始		マッチング参加登録開始 R7年度度研修医募集説明会(オンライン)	7月～12月頃まで 各医局にて教室説明会の実施	病理解剖症例総検査(ミニCPC) 外科寺子屋(毎月第3土曜日) 中心静脈カテーテル講習会 人工呼吸講習会(レベルⅠ、レベルⅡ) 栄養療法勉強会 がんサード 医療安全講演会 感染対策講演会 チームSTEPPS研修
8月	8～10月 健康診断		マッチング参加登録締切 臨床研修医採用試験(オンライン)		マッチング参加登録締切		
9月	B型肝炎ワクチン接種③	麻疹等4種抗体等確認検査(既採用) B型肝炎ワクチン接種①(既採用) B型肝炎ワクチン接種③(新採用)	マッチング参加順位登録受付開始 マッチング希望順位登録中間発表前締切 ★第2回臨床研修医採用試験委員会		マッチング参加順位登録受付開始	専攻医のプログラム割り付け	
10月		B型肝炎ワクチン接種②(既採用)	マッチング中間発表 マッチング登録最終締め切り マッチング決定		マッチング登録最終締め切り マッチング決定		
11月	★2年次研修の選択科説明会 インフルエンザワクチン接種	インフルエンザワクチン接種	★R7年度新採用者説明会 新採用者コース希望アンケート			★R7年度専攻医募集開始	
12月	選択科アンケート締め切り 第1回臨床研修管理委員会		新採用者コース決定			★専攻医募集締め切り ★R7年度専攻医合格発表	
1月	1年次研修医面談(2年次ローテートの確認) 選択科アンケート締め切り	2年次研修医面談					
2月	2年次ローテート決定	B型肝炎ワクチン接種③(既採用)	FⅠ・FⅡコースのローテート決定		新採用者のローテート決定	専攻医修了判定 専門研修管理委員会開催	
3月	★第2回臨床研修管理委員会	B型肝炎抗体定着確認検査(既採用) ★研修修了証書授与	国家試験結果発表		国家試験結果発表	専門医養成プログラム改訂	

令和5年度の業務と実績

- (1) 臨床研修医の募集と採用
 - ① 臨床研修説明会の学内開催、Web開催、学外説明会の出席・参加
 - ② 病院見学学生の受入れ(メールでの問い合わせ・見学申し込み対応)
年間120名程度(シニア・レジデント応募のための研修医の見学および歯科を含む)
 - ③ 研修医の採用業務
臨床研修マッチング参加
募集要項作成
採用試験委員会開催
採用試験作成・実施・採点
- (2) 臨床研修委員会の開催(毎月第3火曜日に開催)
- (3) 臨床研修管理委員会(協力病院、協力施設の研修責任者による委員会)の開催(年2回、12・3月に開催)
- (4) 臨床研修プログラムの企画・運営
 - ① 研修医のローテーション決定
 - ② 研修評価のためのEPOC2(オンライン評価システム)利用のための各種手続き
 - ③ 厚生労働省に研修実績の報告、新規・更新プログラムの申請
 - ④ 臨床研修手帳作成
 - ⑤ 研修実施要項作成
 - ⑥ 地域医療研修に関する冊子の作成
 - ⑦ 研修医対象のオリエンテーション・セミナー・研究会・講習会等の企画および開催・研修医出席の管理
オリエンテーション : 医療安全演習、感染管理演習、医療倫理、個人情報管理、電子カルテ操作演習、
採血実習、麻薬講義、健康管理、災害対策、薬剤管理
C P C : 病理総検査(ミニCPC)を月2回程度開催
手技トレーニング : 中心静脈カテーテル、人工呼吸、外科基本手技など
外科寺子屋
 - ⑧ 研修協力病院・地域医療研修の研修施設との連携
- (5) 講演会(医療安全研修、がんサージカルボード、感染対策講演会等)への研修医出席の管理
- (6) 研修医のサポート
健康管理(ワクチン接種を含む)
研修医との個別面接
協力病院研修医訪問
研修医へ医療安全情報や医薬品情報等を周知
各種イベント時のアンケート集計
研修医の進路相談・調査
- (7) 臨床研修指導医養成講習会の企画(開催はできず)
- (8) 後期研修医の募集と採用、プログラム管理
- (9) 臨床研修センターホームページ、Facebookページ運営
- (10) 日本救急医学会認定 ICLSコース受講(研修医)

3 6 次世代臨床研究センター

横浜市立大学附属2病院と医学部は、再生医療など先進的な医療の実現に向け、基礎研究から臨床応用に向けた橋渡し研究（トランスレーショナルリサーチ）を行う体制を構築するとともに、横浜市の支援の下、平成27年4月に次世代臨床研究センター（Y-NEXT）を設立し、臨床研究支援体制の充実を図ってきました。

Y-NEXT は、最先端の治療をいち早く患者さんに届けることを目標とした臨床研究を推進するための専門家集団で、その活動は活発かつ多岐にわたり、国への承認申請や保険収載などの“出口”を見据えた新しい治療法や診断法の開発研究を複数展開しています。

現在、横浜市立大学附属2病院・医学部の各教室・診療科に所属する医師や看護師等の医療従事者は、臨床研究の推進に向けて一丸となって臨床研究・治験に取り組んでいます。この活動を通じて横浜市および神奈川県における医療機関等の臨床研究・治験の活性化を図るとともに、医療機関同士の有機的な連携を構築し、質の高い先進的な地域医療の提供を図っていきます。

1 組織体制

（令和6年4月1日現在）

室 名	主な業務	主な構成員
研究開発支援室	臨床研究（臨床試験および医師主導治験）のプロジェクト管理、研究デザイン支援および相談業務など	・薬剤師、看護師、臨床検査技師、事務
臨床試験データ管理室	臨床研究（臨床試験および医師主導治験）のデータ管理、中央モニタリングおよび登録センター業務など	・薬剤師、看護師、事務
信頼性保証室	臨床研究の監査又は調査を実施し、臨床研究の品質を保証する業務など	・薬剤師、事務
統計解析室	臨床研究（臨床試験および医師主導治験）のデザイン立案、症例数設計、解析計画書作成および統計解析など	・生物統計家
臨床試験管理室	臨床研究（臨床試験および治験）のCRC業務、治験・IRB事務局業務など	・薬剤師、看護師、臨床検査技師、事務
教育研修室	臨床研究（臨床試験および医師主導治験含む）の教育・研修の実施、プロトコルの作成支援および臨床研究事務局業務など	・医師、看護師、臨床検査技師、事務
戦略相談室	本学研究者と企業、他大学の産学連携支援や基礎研究から臨床研究への橋渡し研究の支援業務など	・医師、弁理士、看護師、事務
事務室	Y-NEXT運営統括、先進医療事務局、医学系倫理委員会事務局および利益相反管理業務など	・事務

2 各室紹介

(1) 研究開発支援室

臨床研究の遂行には、被験者はもちろんのこと、参加施設の医師や事務部門など、極めて多数の人が関わるため、個々の臨床研究を「ひとつのプロジェクト」として運営・進捗管理していくという視点が必要になります。

研究開発支援室は、次世代臨床研究センターの各部署（戦略相談室/臨床試験データ管理室/統計解析室/CRC/監査/事務部門等）が一体となった支援活動を行うための調整役として、プロジェクトマネジメントを中心に、臨床試験の準備段階からまとめまで（試験立案から出口戦略まで）、臨床試験のプロジェクトに係わる様々な側面からの支援を実施いたします。

今後は、臨床研究に精通した医療専門職や規制当局経験者の立場から、法令順守のために助言するだけでなく、実用化に向けた承認申請資料作成において、開発期間を短縮、規制当局と研究者・開発者との相互理解の促進に努めるよう積極的な支援を展開していきます。

【業務実績】

◇研究開発支援室の支援実績

(件)

	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	学内	学外	学内	学外	学内	学外
医師主導治験	5	5	5	5	8	5
特定臨床研究	17	3	15	5	16	5
人を対象とする医学系研究に関する倫理指針に基づく研究(手術手技含)	9	4	5	4	5	2
合 計	31	12	25	14	29	12

(注) 学外は、支援契約の締結件数。

(2) 臨床試験データ管理室

臨床研究の有効性・有害事象のデータの「品質」を確保することは、研究結果の信頼性の確保および被験者の安全の確保のために必要です。次世代臨床研究センターの臨床試験データ管理室は、臨床研究のデザインに合わせたデータ収集方法(紙媒体でのデータ収集では臨床試験データマネジメントシステム(CDMS)の利用、電子媒体でのデータ収集ではEDC(Electronic Data Capture)を利用し、監査証跡をはじめとするICH-GCP、GCPおよび臨床研究法を念頭においたデータ管理体制を提供しています。

臨床現場のスタッフとは異なる第三者的な専門のスタッフが臨床研究データを扱うことで、臨床研究データの質がより向上し、導かれる結果の信頼性をより高めております。

臨床研究の質の向上、エビデンス発信に役に立てるよう臨床研究を支援いたします。

【業務実績】

◇臨床試験データ管理室の支援実績

(件)

	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	学内	学外	学内	学外	学内	学外
医師主導治験	2	2	2	1	1	1
特定臨床研究	10	4	14	2	10	4
人を対象とする医学系研究に関する倫理指針に基づく研究(手術手技含)	4	13	4	8	3	5
合 計	16	19	20	11	14	10

(注) 学外は、支援契約の締結件数。

(3) 信頼性保証室

臨床研究(医師主導治験、特定臨床研究、生命・医学系研究など)には、被験者保護、科学的合理性、法令・諸規則や研究計画等の遵守が求められます。信頼性保証室は、それらが適切に実施されているか、確認(治験は監査が必須、その他の研究は必要に応じて)を行い、臨床研究の信頼性を保証する役割を担っています。

また、臨床研究の倫理的妥当性・科学的合理性が保たれているかを監査又は調査し、臨床研究の品質を保証するとともに是正すべき問題を把握した場合には、それらの改善を図るための活動およびその活動の支援を行います。

そのために本学で実施される臨床研究が適正に行われているか定期的に調査(システム調査)を実施しています。また、必要に応じ、病院長、倫理委員会委員長の指示のもと、何らかの理由(不適合事案等)で、臨床研究の信頼性について確認が必要となった場合には、臨時的に調査(原因究明調査)を実施し、その結果報告と改善を図っています。

【業務実績】

(件)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
システム調査	0	5	0
原因究明調査	1	1	0
監査(契約数)	1	2	2
合 計	2	8	2

(4) 統計解析室

臨床試験は通常、計画立案から始まり、詳細なプロトコル作成を経て試験を実施し、データ収集・解析、報告書作成、さらに論文作成というプロセスを経ます。そのため、最終的なゴールを見据えてプロトコルを作成していくことが重要であり、その際には試験の計画段階からの生物統計家の関与が必須です。統計解析室では、簡単な統計相談から、試験デザイン作成、症例数設計、解析計画策定、データ解析、報告書および論文作成の支援を行っており、とくに重要な試験計画立案の初期段階ではコンセプトレビューという形で関与いたします。

次世代臨床研究センター統計解析室には、一般社団法人日本計量生物学会認定の試験統計家が複数在籍しています。

(5) 臨床試験管理室

臨床試験は、臨床研究法、あるいは、「GCP(医薬品の臨床試験の実施の基準)」や「人を対象とした医学系研究の倫理指針」に従って、倫理的かつ科学的に実施することが求められます。

臨床試験管理室は、治験が円滑かつ適正に実施できるように医師や被験者をサポートする臨床研究コーディネーター(Clinical Research Coordinator)業務、治験事務局等の重要な役割を担っています。

また、市販後の薬剤・医療機器、あるいは手術手技等にかかるUnmet Medical Needsを埋めていく自主臨床試験のCRC業務も積極的に展開していく予定です。

大学全体の「臨床試験」の質の向上を通じて、横浜市大発の新しい治療の提供に貢献することを目指します。

【業務実績】

(件)

IRB審査件数の推移(新規のみ)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
企業治験	24	24	28	25	32
医師主導治験(主:YCU)	2	0	1	0	1
医師主導治験(主:他院)	2	2	1	6	1
治験の合計	28	26	30	31	34

(件)

CRCが支援した臨床研究の試験数 (年度毎の新規試験数)		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
企業治験	YCU※1	0	2	10	3	11
	SMO※2	24	22	18	22	21
医師主導治験	YCU	3	1	1	6	2
	SMO	1	1	1	0	0
特定臨床研究	YCU	1	2	0	0	1
非・特定臨床研究※3		1	2	2	2	0

※1 YCU:横浜市立大学附属病院の職員

※2 SMO:治験施設支援機関(Site Management Organization)の略

※3 非・特定臨床研究:特定臨床研究を除く臨床研究(観察研究など)

(6) 教育研修室

臨床研究は、最初の研究計画立案が非常に重要です。研究計画立案の為には疫学(研究デザイン学)や統計学の知識に加えて、倫理指針や臨床研究法、治験に関する様々な知識が必要になります。

教育研修室では臨床研究の実施者および研究をサポートする方々や倫理委員会の委員を対象として、臨床研究の理論・知識・方法・実践スキルや臨床研究の適正実施、質の高い倫理審査に必要な倫理委員の知識やスキルを身につけていただくため講習会やセミナーを企画・開催しています。また、横浜市立大学のみならず、地域全体における臨床研究のさらなる浸透・推進を目指しています。

研究者を対象に臨床研究に関する支援業務も行っております。特に、介入研究においては研究コンセプト作成やその前の立案段階から、科学性を確保した質の高い臨床研究の遂行のため、コンセプトシートのチェックや対面相談などの支援業務を行っています。

【業務実績】

研修会の開催実績

(件)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
臨床研究を実施する者を対象とする研修会の開催件数	22	17	5
臨床研究を支援する者を対象とする研修会の開催件数	27	23	11
倫理審査委員会委員等を対象とする研修会の開催件数	4	4	2
合 計	53	44	18

(7) 戦略相談室

優れた基礎研究の成果や、臨床研究で得られた知見から革新的な医薬品や医療機器を創出して患者さんにいち早く届けるためには、基礎研究から臨床研究・治験への橋渡し研究が重要な役割を担います。戦略相談室では、学内研究者と企業、他アカデミア、行政等との産学官連携を支援し、また次世代臨床研究センターの各室・学内外の専門家との連携により、薬事戦略・事業開発戦略・知的財産戦略を考慮して総合的・戦略的に橋渡し研究を支援しています。この総合的・戦略的支援によって研究シーズの強みを最大限に引き出し、革新的医療技術をできるだけ早く社会実装する事を目指していきます。

(8) 事務室

事務室は、次世代臨床研究センター全体の運営を統括するとともに、他機関から依頼される支援の窓口として契約等の渉外部門を担当しています。また、横浜臨床研究ネットワークの事務局として協定を結んでいる15病院の臨床研究や治験の推進を図るとともに、適正実施に向けた様々な支援活動を行っています。

また、令和3年4月には指針統合に合わせてヒトゲノム・遺伝子研究等倫理委員会と人を対象する医学系研究倫理委員会を統合して、新たに人を対象する生命科学・医学系研究倫理委員会を設置し、厚労省から認定された臨床研究審査委員会(CRB)とともに倫理委員会事務局を担当しています。

さらに臨床研究の利益相反委員会事務局(COI)や臨床倫理委員会事務局を担当するとともに、令和2年11月には臨床倫理コンサルトチームを新設して、医療従事者が判断に迷う倫理案件に関する相談業務を行っています。

①新規申請件数(自施設主導)

(件)

	医師主導治験	特定臨床研究
令和3年度	0	8
令和4年度	1	7
令和5年度	0	13
合 計	1	28

②英語論文数(自施設主導)

(件)

	治験・特定臨床研究
令和3年度	9
令和4年度	8
令和5年度	1
合 計	18

(注)特定臨床研究は平成30年度からは臨床研究法に基づく特定臨床研究。(注)英語論文数は臨床研究中核病院の要件に該当する件数のみ記載。

③臨床研究審査委員会における新規審査件数の推移

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
令和3年度	2	0	0	2	1	2	2	0	0	0	3	1	13
令和4年度	1	1	1	0	0	0	0	0	2	1	1	2	9
令和5年度	1	2	3	1	0	0	0	0	1	5	2	1	16

(注)平成30年度から臨床研究法に基づき設置。件数には経過措置対象研究を含む。

※ 外部機関からの申請件数を含みます。

④人を対象する生命科学・医学系研究倫理委員会における新規審査件数の推移

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
令和3年度	32	37	31	18	21	17	34	28	31	24	32	38	343
令和4年度	27	24	20	41	43	36	25	17	20	16	38	19	326
令和5年度	22	18	24	24	33	28	28	24	25	23	21	24	294

(注)件数は本審査および迅速審査の合計件数。

⑤臨床倫理委員会・高難度新規医療技術評価委員会・未承認新規医薬品等評価委員会における審査件数の推移

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
令和3年度	6	2	7	1	3	4	6	6	5	4	1	3	48
令和4年度	5	4	6	1	2	6	3	5	0	4	2	4	42
令和5年度	7	1	8	3	4	3	3	2	2	5	3	7	48

⑥臨床倫理コンサルテーションチームにおける相談件数の推移

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
令和3年度	4	1	3	5	2	2	2	3	10	2	6	2	42
令和4年度	6	3	1	7	4	3	7	2	1	4	1	7	46
令和5年度	2	2	3	4	3	0	5	3	2	4	6	2	36

3 7 看 護 部

1 看護外来・療養指導活動

(1)活動報告（令和5年4月～令和6年3月実績）

名 称	対 象	内 容	場 所	開催時期	件 数
自己注射指導 糖尿病 リウマチ	外来患者	①糖尿病患者の在宅自己注射のセルフケア実技指導生活支援に関する個人・家族指導 ②リウマチ患者の在宅自己注射のセルフケア実技指導	内科外来	随 時	①78件 ②280件
フットケア外来	外来患者	糖尿病患者のフットケア指導	内科外来	毎週金曜日 13:00～17:00	12件
HIV感染症外来	外来患者	①生活指導 ②ウイルス感染防止指導 ③内服指導	内科外来	随 時	①②③ 1,524件
糖尿病透析予防指導外来	外来患者	糖尿病性腎症患者の透析予防指導 腎症・日常生活指導・透析療法について	内科外来	毎週水・木・金曜日	89件
造血幹細胞移植後 フォロー外来	外来患者	慢性GVHDのコントロール BMT後の生活・社会適応についてなど	内科外来	第1・3火曜日 第2・4木曜日 第3水・金曜日	55件
			小児科外来	毎週水・金曜日	25件
禁煙外来	外来患者	1クール5回 禁煙状況の確認 服薬状況の確認	内科外来	毎週月・木曜日	11件
妊婦継続指導外来	妊 婦	妊娠中の生活指導 (早産・貧血・妊娠高血圧症候群予防・他)	産婦人科外来	随 時	843件
妊娠初期指導外来	初産妊婦	妊娠初期生活指導 流産予防・つわりの食事指導	産婦人科外来	予約制 第2・4水曜日	中止中
両親学級1課	妊婦・夫 育児協力者	妊娠中の指導 母乳育児について 分娩教育 新生児について	WEB開催	第1水曜日	238件
助産外来	妊娠26～27週 34～35週、38週の 妊婦	妊婦健診	産婦人科外来	毎週火・水・金曜日	181件
母乳育児支援外来	母乳育児を行って いる母子	母乳栄養の指導 育児相談 相談・乳房ケア	産婦人科外来	予約制 火・水・金曜日 電話相談随時	375件
2週間検診	当院で出産された 褥婦と正常新生児	生後2週間前後の児の発育状況の確認と 母乳育児への支援、指導	産婦人科外来	火・水・金	328件
軟膏塗布指導(重曹法)	外来・ 入院患者	軟膏効果の増強 実技指導・相談 スキンケア	皮膚科外来	随 時	1～2件/月
プレパレーションによる説明(心臓カテーテル検査)	外来患者	児に絵本による説明	小児科外来	随 時	3件/月
未熟児育児相談	当院で 出産した患者 紹介患者	育児支援の継続 健康管理 育児実技指導	小児科外来	月曜日	3～5件/月

名 称	対 象	内 容	場 所	開催時期	件 数
育児指導	当院で 出産した患者	育児相談と支援 健康管理 育児実技指導	小児科外来	月曜日	25件/月
子育て支援	当院で出産した患者・家族 外来患者・家族	育児支援家族訪問事業に関わる支援 虐待・ネグレクトに関する相談・支援 MSWとの調整 予防注射に関する相談	小児科外来	随 時	5件/月
在宅携帯ポンプ指導	外来患者 家族	在宅でのセルフ支援、在宅使用物品 管理・援助	小児科外来	随 時	3件/月
吸引指導	外来患者 家族	吸引に関する実技指導・セルフケア支援・ 管理指導在宅使用物品管理・援助	小児科外来	随 時	3件/月
ストーマケア	ストーマ造設患者と家族	在宅でのセルフ支援 実技指導 家族相談	外科外科 泌尿器科外来	随 時	90件
					5件/月
自己注射指導	外来患者	①乾癬患者の在宅自己注射の実技指導 ②リウマチ・骨粗しょう症の自己注射指導	①皮膚科外来 ②整形外科外来	随 時	①5件/月 ②5件/月
膀胱内留置カテーテル 自己管理指導	外来患者	膀胱内留置カテーテル自己管理の実技 指導	泌尿器科外来	随 時	1件/月
自己導尿指導	外来・ 入院患者	自己導尿の実技指導	泌尿器科外来	随 時	1件/月
腹膜透析外来	外来患者	腹膜透析患者の日常生活・合併症予防 指導	血液浄化 センター	火・木 9:00～12:00	425件
腎代替療法選択支援 腎不全療法選択外来	①入院患者・家族 ②外来患者・家族	腎代替療法の意思決定支援	血液浄化 センター	木 13:30～	①5件 ②97件
在宅携帯ポンプ指導	外来患者・ 家族	在宅でのセルフケア支援・実技指導 家族相談	化学療法 センター	随 時	70件
化学療法の副作用に関する 指導	外来患者・ 家族	化学療法の副作用に関する患者のセルフ ケア支援	化学療法 センター	随 時	3.807件
在宅中心静脈栄養 (HDN)患者指導	外来患者・ 家族	在宅中心静脈栄養について実技指導 注入ポンプ使用方法など	外科外来 内科外来	随 時	4件 0件
リンパ浮腫の患者指導	外来患者	生活指導(ストッキング・スキンケア・保清 など)	形成外来 外科外来	随 時	292件
					96件
在宅療養支援	在宅経腸栄養・在宅 中心静脈栄養など、 医療機器を使用し在宅 療養をしている患者・ 家族	在宅経腸栄養・在宅中心静脈栄養患者・ 家族および在宅でドレーン管理をしてい る患者・家族への管理指導(物品の払い 出し含む)	外科外来	随 時	600件
がん性疼痛患者指導	外来患者・ 家族	服薬指導・薬剤管理指導・疼痛チェックリ スト活用方法の指導など	外科外来	随 時	150件
創傷患者指導	外来患者・ 家族	各創傷に応じた処置方法の指導(物品購 入等含む)	外科外来	随 時	400件
小児科自己注射指導	外来および入院患者 ・家族	若年性関節リウマチとクローン病の在宅 自己注射の実技指導	小児科外来	随 時	70件
がん看護相談	院内・院外 がん患者・家族	がん治療の意思決定 がん治療の有害事象のセルフケア支援 アピランスケアなど	緩和ケア センター	月～金	院内:522件 院外: 70件
緩和ケア相談	緩和ケア外来 患者・家族	服薬・薬剤管理指導・自記式痛み日誌の 活用方法の説明、療養の場の選択など	緩和ケア センター	月～金	725件

(2) 専門看護師の活動実績(令和5年4月～令和6年3月実績)

1) 精神看護専門看護師(1名)

役割機能・内容等		件 数
実 践	精神科リエゾンチーム活動	2,349件
	専門看護実践活動	62件
相 談	患者中心(症状マネジメント等)	157件
	コンサルティ中心(スタッフ・CN等)	65件
	管理・プログラム中心(CECT含む)	116件
調 整	コーディネーション	39件
教 育	院内講師、委員会役割等	18件
	院外講師、学会・会議役割等	10件
研 究	学会発表	4件
職員支援	看護師のメンタルヘルス支援	23件

2) がん看護専門看護師(5名)

役割機能・内容等		件 数
実 践	専門看護実践活動	64件
	緩和ケアチーム活動	214件
相 談	患者中心(症状マネジメント等)	13件
	コンサルティ中心(スタッフ・CN等)	35件
	管理・プログラム中心	11件
調 整	コーディネーション	22件
教 育	院内講師、委員会役割等	14件
	院外講師、学会・会議役割等	12件
研 究	学会発表	6件

3) 家族支援専門看護師(1名)

役割機能・内容等		件 数
実 践	専門看護実践活動	278件
相 談	患者中心	75件
	コンサルティ中心	52件
	管理・プログラム中心(CECT含む)	3件
調 整	コーディネーション	21件
教 育	院内講師、委員会役割等	18件
	院外講師、学会・会議役割等	21件
研 究	学会発表	6件

4) 慢性疾患看護専門看護師(1名)

役割機能・内容等		件 数
実 践	専門看護実践活動	15件
相 談	患者中心	29件
	コンサルティ中心	6件
	管理・プログラム中心	35件
調 整	コーディネーション	30件
教 育	院内講師、委員会役割等	16件
	院外講師、学会・会議役割等	11件
研 究	学会発表	4件

5) 老人看護専門看護師(1名)(令和4年4月より看護学科派遣)

役割機能・内容等		件 数
実 践	専門看護実践活動	0件
相 談	患者中心	0件
	コンサルティ中心	0件
	プログラム中心	0件
調 整	コーディネーション	0件
教 育	院内講師	6件
	院外講師、学会・会議役割等	3件
研 究	学会発表	0件

(3) 認定看護師の活動実績(令和5年4月～令和6年3月実績)

1) 皮膚・排泄ケア認定看護師(3名)

役割機能・内容等		延べ件数
実 践	ストーマケア・ストーマサイトマーキング	176件
	失禁ケア	100件
	褥瘡・創傷ケア:個別介入	1,015件
	褥瘡対策チーム対応	233件
相 談	コンサルテーション	984件
	調整(継続看護、医師など)	80件
指 導	院内研修・勉強会講師・委員会内講師	18件
	院外講師、関連研究会委員など	6件

2) がん性疼痛看護認定看護師(6名)

役割機能・内容等		件 数
実 践	緩和ケアチーム対応	4,840件
	緩和ケア外来対応	1,085件
	がん患者スクリーニング	1,409件
	がん相談	522件
相 談	疼痛・症状マネジメント等	20件
指 導	院内講師・勉強会実施	22件
	院外講師、外部機関委員など	2件

3) がん化学療法看護認定看護師(2名)

役割機能・内容等		件 数
実 践	院内における実践モデル等	48件
相 談	コンサルテーション	8件
指 導	院内講師等	5件
	院外講師等	1件

4) 集中ケア認定看護師(3名)

役割機能・内容等		件 数
実 践	院内における実践モデル	107件
	RST・RRTにおけるチーム活動	409件
相 談	コンサルテーション	13件
指 導	院内講師等	21件
	院外講師等	3件

5) 感染管理認定看護師(2名)

役割機能・内容等		件 数
実 践	院内における実践モデル等	490件
相 談	コンサルテーション	2,094件
指 導	院内講師等	6件
	院外講師、外部機関の委員等	7件

6) 乳がん看護認定看護師(1名)

役割機能・内容等		件 数
実 践	院内における実践モデル等	42件
相 談	コンサルテーション	3件
指 導	院内講師等	0件
	院外講師、外部機関の委員等	3件

7) 新生児集中ケア認定看護師(1名)

役割機能・内容等		件 数
実 践	院内における実践モデル等	0件
相 談	コンサルテーション	0件
指 導	院内講師	2件
	外部機関の委員等	0件

8) 救急看護認定看護師(2名)

役割機能・内容等		件 数
実 践	院内における実践モデル等	23件
相 談	コンサルテーション	12件
指 導	院内講師等	17件
	院外講師等	13件

9) 慢性心不全看護認定看護師(1名)
心不全看護認定看護師(1名)

役割機能・内容等		件 数
実 践	院内における実践モデル等	51件
相 談	コンサルテーション	3件
指 導	院内講師等	3件
	院外講師、学会発表等	1件

10) 透析看護認定看護師(1名)

役割機能・内容等		件 数
実 践	院内における実践モデル等	28件
相 談	コンサルテーション	10件
指 導	院内講師等	3件
	院外講師等	1件

11) 摂食・嚥下障害看護認定看護師(1名)

役割機能・内容等		件 数
実 践	摂食嚥下支援チーム活動	135件
	NSTにおける実践活動	338件
	院内における実践モデル等	30件
相 談	コンサルテーション	2件
指 導	院内講師等	2件
	院外講師等	0件

12) 緩和ケア認定看護師(1名)

役割機能・内容等		件 数
実 践	院内における実践モデル等	2件
相 談	コンサルテーション	1件
指 導	院内講師	5件
	院外講師	0件

13) がん放射線療法看護認定看護師(1名)

役割機能・内容等		件 数
実 践	院内における実践モデル等	210件
相 談	コンサルテーション	3件
指 導	院内講師	2件
	院外講師	1件

14) 小児救急看護認定看護師(1名)

役割機能・内容等		件 数
実 践	院内における実践モデル等	68件
相 談	コンサルテーション	32件
指 導	院内講師	15件
	院外講師等	0件

15) 糖尿病看護認定看護師(1名)

役割機能・内容等		件 数
実 践	院内における実践モデル	54件
	専門看護実践(専門外来)	0件
相 談	コンサルテーション	10件
指 導	院内講師	3件
	院外講師・学会座長等	3件

16) 手術看護認定看護師(2名)

役割機能・内容等		件 数
実 践	院内における実践モデル等	222件
	術後疼痛管理	36件
	周術期管理チーム(周術期外来)	32件
相 談	コンサルテーション	2件
指 導	院内講師	4件
	院外講師	6件

17) 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師(1名)

役割機能・内容等		件 数
実 践	院内における実践モデル等	112件
相 談	コンサルテーション	7件
指 導	院内講師	10件
	院外講師	1件

(4) 特定・認定看護師の活動実績(令和5年4月～令和6年3月実績)

1) クリティカルケア認定看護師(2名)

役割機能・内容等		件 数
実 践	直接ケア	334件
相 談	コンサルテーション	42件
指 導	院内講師等	12件
	院外講師等	1件

2) 摂食嚥下障害看護認定看護師(1名)

役割機能・内容等		件 数
実 践	認定看護師関連	529件
	特定行為関連(栄養水分／胃瘻)	313件
相 談	認定看護師関連	284件
	特定行為関連	62件
指 導	院内講師等	20件
	院外講師等	6件

(5) 特定行為研修修了者の活動実績(令和5年4月～令和6年3月実績)

1) 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連(2名)

役割機能・内容等		件 数
実 践	直接ケア	43件
	RRT活動	10件
	NSTチーム活動	73件
指 導	院内研修、勉強会講師等	26件

(6) 患者サポートセンター担当看護師の活動実績(令和5年4月～令和6年3月実績)

役割機能・内容等		件 数
実 践	入院支援対応件数	10,441件
	周術期管理センター対応件数	1,977件
	入退院支援加算算定件数	9,814件
	入院時支援加算算定件数	5,271件
	介護支援連携指導料算定件数	96件
	退院時共同指導料算定件数	77件
	退院前、後訪問指導料算定件数	4件
指 導	院内教育(指導・教育・研修活動)	1件
	院外教育(指導・教育・研修講師)	2件

2 教育・研修実績

(令和5年度)

院外教育機関・研修会・講習会名称	人 数
23重症度、医療・看護必要度評価者及び院内指導者研修	7
50歳からのキャリアの再構築	1
ELNEC-J コアカリキュラム指導者養成プログラム2023	1
PALS provider Course	1
がんのリハビリテーション研修	1
がん看護専門コースがん放射線療法看護	1
チーム運営に必要なリーダーシップ②	2
チーム力向上のための業務改善研修	1
リーダーズ・ガレッジ「心理的安全性がチームを育てる」	1
医療メディエーター養成講座 導入・基礎編	2
院内自殺の予防と事後対応のための研修会	1
学会認定・臨床輸血看護師制度における施設研修	1
看護師のエンバーマーが教えるエンゼルケア&メイク	1
看護補助者の活用推進のための看護管理者研修②	2
公開がん看護専門コース(緩和ケア)	1
国公立大学附属病院感染対策協議会 令和5年度教育作業部会ブロック別研修会	1
神奈川県における地域包括ケア病棟の現状およびプレコンセプションについて考える	1
第10回日本糖尿病医療学学会	1
第17回 関東甲信越HIV感染症 看護基礎研修会	1
第18回医療の質・安全学会学術集会	2
第19回日本クリティカルケア看護学会学術集会	2
第1回アジア嚥下学会	1
第20回日本クリティカルケア看護学会学術集会	1
第20回日本循環器看護学会学術集会	2
第23回日本クリニカルパス学会学術集会	8
第23回日本抗加齢医学会総会	1
第25回国公立大学附属病院感染対策協議会総会	1
第25回神奈川看護学会	5
第25回日本医療マネジメント学会学術集会	1
第25回日本救急看護学会学術集会	1
第25回日本褥瘡学会学術集会	1
第26回日本腎不全看護学会学術集会	2
第27回日本看護管理学会学術集会	5
第28回日本緩和医療学会学術大会	4
第28回日本糖尿病教育・看護学会学術集会	1
第29回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会	1
第32回日本創傷・オストミー失禁管理学会学術集会	1
第37回日本エイズ学会学術集会	3
第38回神奈川ストーマリハビリテーション講習会	2
第38回日本臨床栄養代謝学会	1
第45回 全国国公立大学救急部協議会	1
全国国公立大学集中治療部協議会	1
第59回日本周産期・新生児医学会学術集会	1
第64回日本母性衛生学会総会・学術集会	1

院外教育機関・研修会・講習会名称	人 数
第65回日本小児血液・がん学会学術集会 第21回日本小児がん看護学会学術集会	3
第68回日本透析医学会学術集会	1
第71回日本輸血・細胞治療学会学術総会	1
第79回日本助産師学会	1
第8回日本臨床知識学会学術集会	2
同種造血細胞移植後フォローアップのための看護師研修	2
日本クリニカルパス学会 教育研修	33
日本家族看護学会 第30回学術集会	2
日本看護研究学会 第49回学術集会	4
日本放射線腫瘍学会 第36回学術大会	1
日本臨床栄養代謝学会「栄養サポートチーム専門療法士」認定規定に定める臨床実地研修	1
本人の意向を尊重した意思決定のための研修会・相談員研修会	1
明日から実践できるトリアージの実際	2
令和5年度医療安全・質向上のための相互チェック及び特定機能病院間相互ピアレビュー	3
令和5年度医療安全管理者養成研修修了者フォローアップ研修	1
医療安全管理者養成研修	1
神奈川県災害時医療救護活動研修会	14
令和5年度関東ブロックDMAT訓練	3
令和5年度大規模地震医療活動訓練	2
日本DMAT隊員養成研修	1
令和5年度関東ブロックDMAT維持研修	1
横浜市立大学保健師助産師看護師実習指導者講習会	8
令和5年度厚生労働省認定実習指導者講習会	1
神奈川県看護協会 研修	9

研 修 名 称		期 間	人 数
神奈川 県 看 護 協 会	50歳からのキャリアの再構築	1日	4
	看護補助者の活用推進のための看護管理者研修②	1日	2
	神奈川県における地域包括ケア病棟の現状およびプレコンセプションについて考える	1日	1
	令和5年度医療安全管理者養成研修修了者フォローアップ研修	1日	1
	災害時医療救護活動研修会	1日	14
	明日から実践できるトリアージの実際	1日	2
	訪問看護研修	2日	4
	第25回神奈川看護学会	1日	5
	医療安全管理者養成研修	1日	1
	チーム運営に必要なリーダーシップ②	1日	2

3 実習受け入れ実績

(1)看護基礎教育

(令和5年度)

教 育 機 関	人 数	延べ人数
横 浜 市 立 大 学 医 学 部 看 護 学 科	469人	1,578人
横 浜 市 医 師 会 聖 灯 看 護 専 門 学 校	44人	103人
神 奈 川 歯 科 大 学 短 期 大 学 部 看 護 学 科	27人	168人
神 奈 川 県 立 衛 生 看 護 専 門 学 校	51人	511人
横 浜 市 病 院 協 会 看 護 専 門 学 校	12人	108人
JCHO 横 浜 中 央 病 院 附 属 看 護 専 門 学 校	24人	220人
合 計	627人	2,688人

(2)人事交流実績

派遣・受け入れ	内 容	期 間	人数	実習・研修場所担当者
市民総合医療センターへ 派遣	附属2病院人事交流	R5.9/1～R6.2/29	1名	13-1病棟
			1名	9-2病棟
			1名	7-2病棟
			1名	12-2病棟
			1名	14-2病棟
			1名	8-1病棟
			1名	GHCU
			1名	手術室
附属病院へ受け入れ	附属2病院人事交流	R5.9/1～R6.2/28	1名	6-1病棟
			1名	6-2病棟
			1名	6-4病棟
			1名	7-1病棟
			1名	7-2病棟
			1名	8-4病棟
			1名	ハイケア
			1名	手術室

派 遣	内 容	期 間	人数	実習・研修場所担当者
横浜市立大学医学部看護学科	横浜市立大学医学部看護学科 老年看護学分野助教	R5.4/1～R6.3/31	1名	横浜市立大学医学部 看護学科 老年看護学分野
洋光台訪問看護ステーション	横浜市立大学附属病院と看護協会訪問看護ステーションとの出向事業	R5.11/1～R5.12/28	1名	横浜市立大学附属病院 看護部 看護協会 訪問看護ステーション

(3)その他

教育機関	実習生・研修生所属	日程・期間	人数	実習・研修場所担当者
茅ヶ崎セントラルクリニック	透析療法従事職員研修	11/20	1名	血液浄化センター
藤沢市民病院	特定行為研修修了者の活用に係る施設見学	8/4	1名	看護キャリア開発 支援センター
神奈川県看護協会	地域連携のための相互研修会	9/7、11/27	1名/1名	患者サポートセンター
神奈川県立保健福祉大学	認定看護管理者教育課程サードレベル統合実習Ⅲ	10/4	1名	看護部
日本看護協会	特定行為研修	3/5	1名	内視鏡センター
神奈川県立横須賀高等学校	探究活動に関する施設見学と実習	10/26、11/2	4名/12名	看護部
横浜市立笹下中学校	職場体験	11/30	3名	看護部
横浜市立富岡東中学校	職場体験	1/18	3名	看護部
横浜市立小田中学校	キャリア教育体験学習	2/8	3名	看護部
横浜市立大学看護キャリア開発支援センター	特定行為研修実習	R5. 4/1～R6. 3/31	5名	関連部署

4 院内研究発表

基礎・ 実践別	部 署	研究メンバー	テ ー マ
実 践	9-1・4病棟	宮崎 孝宏	訪問看護ステーション出向について
実 践	7-1病棟	平田 友美	神奈川県立保健福祉大学実践教育センター 教員・教育担当者養成課程 看護コースを修了して
実 践	ハイケア	藪内 崇	特定行為研修を修了して
実 践	患者サポート センター	富井 ルミ	摂食嚥下障害看護認定看護師 実践報告
実 践	看護部	齋藤 幸枝	クリニカルラダーⅤ 承認事例報告
実 践	患者サポート センター	鈴木 姿子	日本看護協会「慢性心不全患者に対する外来における療養支援のエビデンス構築のための実証事業」に関する報告
実 践	ICU	立石 由紀子	特定行為研修を修了して
実 践	8-4病棟	長嶺 希	心不全看護認定看護師教育課程を修了して
実 践	看護部	伊藤 智栄美	感染管理認定看護師教育課程を修了して
実 践	8-1病棟	関根 久美子	皮膚・排泄ケア認定看護師教育課程を修了して
基 礎	ICU	谷内 京華	重症な子どもをケアするハイケアユニット看護師の教育支援ニーズの調査
実 践	7-4病棟	三宅 祥太郎	業務改善が超過勤務削減に繋がった取り組みと今後の課題 ～看護補助者の参加型 PNS 体制を通して～
実 践	患者サポート センター	富井 ルミ	System and Achievements of Support for Eating and Swallowing at Yokohama City University Hospital (第 1 回アジア嚥下障害学会国際会議発表)

5 講師派遣等

	内 容	氏 名
横浜市立大学医学部 看護学科・看護学専攻	母性看護演習 産褥・新生児の看護技術	看護師長 近藤 佳代子 助産師 久保 嘉香
	母性看護演習 産褥・新生児の看護技術	教育担当看護学科教員支援担当 助産師 認定看護管理者 看護師長 井上 純子
	母性看護学方法論 ハイリスク妊娠・異常妊娠時の看護	助産師 長谷川 紗季
	母性看護学方法論 異常分娩・異常のある産婦への看護	助産師 工藤 未来
	母性看護学実習 学内実習、外来実習、実習前技術演習	教育担当看護学科教員支援担当 助産師 認定看護管理者 看護師長 井上 純子
	助産学演習Ⅴ 分娩介助演習	看護師長 近藤 佳代子 助産師 大久 保恵子
	助産学演習Ⅴ 分娩見学	看護師長 近藤 佳代子 実習指導者
	助産学演習Ⅳ 外来実習	看護師長 岸野 亜矢 外来実習指導者
	助産学実習Ⅰ 分娩介助実習	看護師長 近藤 佳代子 実習指導者
	助産学実習Ⅱ 継続実習(妊娠期～母児1ヵ月健診)	看護師長 近藤 佳代子 看護師長 岸野 亜矢
	助産学実習Ⅰ・Ⅱ継続実習、分娩介助実習、助産所実習サポート	教育担当看護学科教員支援担当 助産師 認定看護管理者 看護師長 井上 純子
	助産学演習Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ 事前課題への助言	
	助産学特講Ⅴ 助産管理と関係法規	
	助産学特講Ⅴ 病院における助産管理	
	助産学演習Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ 助産技術演習、技術試験補助	
	キャリア形成看護学実習ベーシックⅡ 病院実習補助	

	内 容	氏 名
横浜市立大学医学部 看護学科・看護学専攻	看護管理学 コロナ禍における附属病院の看護管理・病院管理	副看護部長 臨床教授 認定看護管理者 島田 朋子
	老年看護方法論 放射線・化学療法と看護(高齢者のがん看護)、終末期における看護(ACP、EOLケア)	がん看護専門看護師 野崎 静代
	老年看護学演習Ⅰ 国内外における老年看護学分野の研究動向や実践上の課題について	がん看護専門看護師 野崎 静代
	老年看護学演習Ⅰ 国内外における老年看護学分野の研究動向や実践上の課題について	慢性疾患看護専門看護師 鈴木 姿子
	在宅看護方法論Ⅱ 入退院支援・調整とケアマネジメント	小山内 友妃菜
	周麻酔期看護学専門実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 周麻酔期看護実習時の調整およびカンファレンスにて助言・指導	看護師長 我妻 恵
	看護栄養学 NSTとは、NSTの活動と看護師の役割、事例紹介の講義	摂食嚥下障害看護認定看護師 臨床講師 富井 ルミ
	看護形態機能学Ⅰ 口腔の形態と機能、看護ケアに焦点を当てて	摂食嚥下障害看護認定看護師 臨床講師 富井 ルミ
	周麻酔期看護学演習ⅠⅡ 課題研究周麻酔期看護学演習・特定行為研修・研究における助言・指導	集中ケア認定看護師 臨床講師 立石 由紀子
	基礎看護学方法論Ⅱ 実技試験の模擬患者	長谷川 紗希 三嶽 真希子 櫻井 萌 三角 聖奈 山口 ナナ子 大釜 友花 青野 紗奈 中沢 光 伊藤 ひとみ
	基礎看護学方法論Ⅱ 臨床判断の実際	伊藤 ひとみ
	基礎看護学特別演習 /看護プロフェッショナル教育学特別演習医療・看護の質管理・質保障	副看護部長 臨床教授 認定看護管理者 島田 朋子
	基礎看護学実習Ⅰ 学内実習:実習の学びについてのグループワーク・発表会への参加	三橋 里穂 渡邊 洋美 長谷川 紗希 原 織音 三嶽 真希子 櫻井 萌 三角 聖奈 山口 ナナ子 沼澤 未希 松川 絵梨香
	小児看護演習 子どもの看護技術の演習	看護師長 水落 直子

	内 容	氏 名
横浜市立大学医学部 看護学科・看護学専攻	小児看護学演習 子どもの看護技術の演習	看護師長 水落 直子
	小児看護学特講Ⅰ 家族の理論、家族の理論の看護実践への応用	家族支援専門看護師 臨床准教授 森川 真理
	小児看護学演習Ⅱ 周術期の状況にある子どもと家族(高度な看護実践につなげるためのケース分析:実践への理論・研究活用と評価)	集中ケア認定看護師 臨床講師 立石 由紀子
	成人看護学方法論1 慢性の栄養代謝機能障害を持つ人の看護(2):糖尿病	糖尿病看護認定看護師 野見山 映子
	成人看護学方法論1 慢性の循環機能障害を持つ人の看護:慢性心不全	慢性心不全看護認定看護師 安川 奈緒美
	成人看護学方法論1 慢性の内部環境調節機能障害を持つ人の看護:慢性腎不全	透析看護認定看護師 岩崎 和子
	成人看護学方法論1 慢性の身体防御機能の障害を持つ人の看護(5):白血病	林 美穂
	成人看護学方法論1 看護と栄養管理	特定行為研修修了看護師 今井 実
	成人看護学方法論2 統制機能(脳神経機能)の再確立が必要な人の看護:開頭腫瘍摘出術	松本 大
	成人看護演習Ⅱ 模擬演習・技術チェック	伊藤 千尋 和田 香奈 藏合 泰貴 益田 ゆず香 三角 聖奈 金子 華己 岡泉 和樹 井筒 早紀子 青野 紗奈
	成人看護学演習2 術後1日目のフィジカルアセスメント技術演習	三嶽 真希子 金子 華己
	成人看護学演習2 術後1日目の初回離床技術演習	櫻井 萌 吉野 香穂
	成人看護学演習2 術後1日目のフィジカルアセスメント技術試験	岡本 恵 平田 友美 須田 正大 内田 早紀 徳江 里美 矢部 詩穂子 浪貝 里香 伊藤 ひとみ 看護師長 今井 由香

	内 容	氏 名
横浜市立大学医学部 看護学科・看護学専攻	家族看護学 終末期にある患者とその家族への看護	がん性疼痛看護認定看護師 齋藤 幸恵
	がん看護学特講Ⅰ 家族支援に関する理論の理解、活用と事例への適応	家族支援専門看護師 臨床准教授 森川 真理
	がん看護学特講Ⅲ がん集学的治療とチーム医療	副看護部長 がん看護専門看護師 臨床教授 畑 千秋
	がん看護学演習Ⅰ 症状マネジメント	副看護部長 がん看護専門看護師 臨床教授 畑 千秋
	がん看護学演習Ⅱ がん薬物療法に関わる医療安全について	副看護部長 がん看護専門看護師 臨床教授 畑 千秋
	感染看護学 病院における感染管理を担う看護師の役割	看護師長 感染管理認定看護師 臨床准教授 中村 加奈
	先端成人看護学特講Ⅰ 臨床看護実践に基づく理論①:家族支援に関する理論の背景と概要、特徴	家族支援専門看護師 臨床准教授 森川 真理
	先端成人看護学特講Ⅱ 重症な疾患を有する患者への継続ケア:継続看護・地域連携の実際と課題	看護師長 立石 由佳
	先端成人看護学特講Ⅱ・演習Ⅰ 先端成人看護に関する高度技術と実践:ICUにおける高度実践看護師の役割と実際	クリティカルケア認定看護師 臨床講師 吉田友美
	先端成人看護学演習Ⅰ 先端成人看護に関する高度技術と実践:救急領域における高度実践看護師の役割と実際	クリティカルケア認定看護師 臨床講師 三浦 友也
	先端成人看護学演習Ⅰ 先端成人看護に関する高度技術と実践:手術室における高度実践看護師の役割と実際	手術看護認定看護師 鈴木 陽子
	先端成人看護学演習Ⅰ 先端成人看護に関する高度技術と実践:緩和ケアにおける高度実践看護師の役割と実際	副看護部長 がん看護専門看護師 臨床教授 畑 千秋
	先端成人看護学演習Ⅰ 先端成人看護に関する高度技術と実践:慢性疾患看護における高度実践看護師の役割と実際	慢性疾患看護専門看護師 鈴木 姿子
	先端成人看護学演習Ⅰ 先端成人看護に関する高度技術と実践:慢性心不全看護における高度実践看護師の役割と実際	慢性心不全看護認定看護師 安川 奈緒美
	看護コンサルテーション論 家族支援におけるコンサルテーション活動	家族支援専門看護師 臨床准教授 森川 真理

	内 容	氏 名
横浜市立大学医学部 看護学科・看護学専攻	がん看護学特講Ⅴ 婦人科がんの薬物療法と有害事象のマネジメント・療養過程の看護	副看護部長 がん看護専門看護師 臨床教授 畑 千秋
旭区訪問指導事業研修	研修講師	家族支援専門看護師 臨床准教授 森川 真理
一般社団法人日本精神科看護協会	第48回日本精神科看護学術集会座長	特定行為研修修了看護師 今井 実
一般社団法人日本造血・免疫細胞 療法学会	日本造血・免疫細胞療法学会造血細胞移植コーディネーター委員	HCTC 秋山 典子
一般社団法人横浜ACLS	AHA-BLS講師	救急看護認定看護師 小川 みずき
神奈川県看護協会	感染対策普及啓発事業 介護施設向け「吐物処理動画作成」	看護師長 感染管理認定看護師 臨床准教授 中村 加奈
	新人フォローアップ研修アドバイザー	看護師長 小山 猛
	糖尿病患者のフットケア講師	糖尿病看護認定看護師 野見山 映子
	2年目ナース交流会	精神看護専門看護師 臨床准教授 渡邊 香織
	教育研修委員	看護師長 鈴木 友美
	慢性心不全患者の看護～疾患の理解からセルフケア支援まで～講師	慢性心不全看護認定看護師 安川 奈緒美
	慢性心不全患者の看護～疾患の理解からセルフケア支援まで～講師	慢性心不全看護認定看護師 安川 奈緒美
	実地指導者研修教育研修委員	副看護部長 川口 真澄
	感染管理者のための感染予防・管理研修のインストラクター	看護師長 感染管理認定看護師 臨床准教授 中村 加奈
	看護師職能委員	慢性疾患看護専門看護師 鈴木 姿子
	横浜南支部委員	看護師長 秋元 若菜
	横浜3支部合同公演会「大人の発達障害」講師	精神看護専門看護師 臨床准教授 渡邊 香織

	内 容	氏 名
神奈川県看護協会	明日から実践！チームで育てる安全文化 ～インシデント分析から安全対策の取り組みまで～講師	副看護部長 臨床教授 認定看護管理者 島田 朋子
	「食べる」を支える～摂食嚥下障害看護のエキスパートから学ぶ誤嚥性肺炎の予防～講師	摂食嚥下障害看護認定看護師 臨床講師 富井 ルミ
	「がんばれ！新人ナース！！」講師	精神看護専門看護師 臨床准教授 渡邊 香織
神奈川県がん診療連携協議会	緩和ケア部会	がん性疼痛看護認定看護師 小林 瑞穂
		副看護部長 がん看護専門看護師 臨床教授 畑 千秋
神奈川県立衛生看護専門学校	成人看護方法論Ⅱ 血液・造血機能障害講師	江田 樹里
	成人看護方法論Ⅱ 女性生殖器機能障害講師	石川 瑳那
	成人看護方法論Ⅰ 脳神経機能障害講師	高橋 優里
神奈川県立よこはま看護専門学校	災害看護講師	看護師長 前原 則子
神奈川県立衛生看護専門学校	成人看護方法論Ⅱ 血液・造血機能障害講師	江田 樹里
神奈川県立衛生看護専門学校	成人看護方法論Ⅱ 女性生殖器機能障害講師	石川 瑳那
	成人看護方法論Ⅰ 脳神経機能障害講師	高橋 優里
神奈川県立よこはま看護専門学校	災害看護講師	看護師長 前原 則子
神奈川ストーマ研究会	第38回神奈川ストーマリハビリテーション講習会 運営委員・講師	皮膚排泄ケア認定看護師 後藤 真由美
		皮膚排泄ケア認定看護師 井潟 歩
厚生労働省「造血幹細胞移植医療体制整備事業」	造血幹細胞移植 HCTC セミナー講演	中澤 奈美枝
済生会若草病院	施設訪問による臨床実践へのアドバイス	皮膚排泄ケア認定看護師 後藤 真由美
		皮膚排泄ケア認定看護師 井潟 歩

	内 容	氏 名
社会福祉法人若竹大寿会 介護老人保健施設 リハビリゾートわかたけ	ブレイクアウェイ研修	特定行為研修修了看護師 今井 実
湘南医療大学	コンサルテーション論講師	家族支援専門看護師 臨床准教授 森川 真理
第25回日本医療マネジメント学会学術総会	一般演題座長	副看護部長 臨床教授 認定看護管理者 島田 朋子
第36回日本小児救急医学会学術集会	「わが国の小児臓器提供と移植医療—改訂ガイドラインが目指す未来像について」講演	中澤 奈美枝
第37回日本エイズ学会学術集会・総会	日本エイズ学会認定HIV感染症看護師が行う直接ケア クイック講座	松山 奈央
第46回日本造血・免疫細胞療法学会総会	HCTCワークショップ「HCTCが行う移植後再発患者の支援」	HCTC 秋山 典子
第68回日本透析医学会学術集会・総会	一般演題座長	透析看護認定看護師 岩崎 和子
東京都助産師会	東京都委託助産師教育指導講習会講師	精神看護専門看護師 臨床准教授 渡邊 香織
山梨県立大学	リエゾン精神看護講師	精神看護専門看護師 臨床准教授 渡邊 香織
横浜市医師会聖灯看護専門学校	人間関係論Ⅱ講師	精神看護専門看護師 臨床准教授 渡邊 香織
	災害看護講師	救急看護認定看護師 小川 みずき
	成人看護学Ⅲ講師	手術看護認定看護師 鈴木 陽子
横浜市医療局	「Patient Navigator養成講座」フォローアップ研修ファシリテーター	乳がん看護認定看護師 蜂巢 志乃
横浜市病院協会看護専門学校	統合科目Ⅳ(関係法規)講師	認定看護管理者 土岐 真理子
横浜中央病院附属看護専門学校	災害看護講師	救急看護認定看護師 小川 みずき
令和5年度金沢区医療救護隊活動訓練	ファシリテーター	看護師長 前原 則子
金沢区ACP人材育成研修の講師	「人生会議の普及啓発方法」講師	家族支援専門看護師 臨床准教授 森川 真理

	内 容	氏 名
金沢区個別支援学級合同宿泊学習	金沢区個別支援学級派遣	小山内 友妃菜
		貫洞 由布子
		田中 聖子
公益社団法人 神奈川県放射線技師会	造影剤を使用した検査やRI検査のために静脈路を確保する行為研修講師	がん看護専門看護師 野崎 静代
		伊藤 ひとみ
公立大学法人横浜市立大学附属市民総合医療センター	家族看護～患者家族を理解し支援につなげよう～	家族支援専門看護師 臨床准教授 森川 真理
公立大学法人横浜市立大学附属病院 認知症疾患医療センター	市民向け講座講師	老人看護専門看護師 田中 明日美
神奈川県医師会 在宅医療トレーニングセンター	基礎から学ぶ吸引の知識と技術研修講師	手術看護認定看護師 高橋 涼
	基礎から学ぶ吸引の知識と技術アドバイザー	中園 直美
		藪内 崇
		特定行為研修修了看護師 今井 実
	看護師のためのフィジカルアセスメント講師	集中ケア認定看護師 飯田 八重子
	「CVポートの管理と看護」研修講師、アドバイザー	がん化学療法看護認定看護師 中山 知
神奈川県医師会 在宅医療トレーニングセンター	「CVポートの管理と看護」研修講師、アドバイザー	がん性疼痛看護認定看護師 小林 瑞穂
		がん化学療法看護認定看護師 加藤 亮子
		乳がん看護認定看護師 蜂巢 志乃
	「採血と血管確保技術」 「筋肉注射・皮下注射と血管確保技術」講師	特定行為研修修了看護師 加藤 耕平
	「採血と血管確保技術」 「筋肉注射・皮下注射と血管確保技術」アドバイザー	渋谷 明代
		栖関 美央子
		笠原 真理

	内 容	氏 名
第17回日本慢性看護学会学術集会	実行委員	慢性疾患看護専門看護師 鈴木 姿子
第25回神奈川看護学会	「看護教育」座長	看護師長 小山 猛
第41回日本ストーマ・排泄リハビリ テーション学会総会	パネルディスカッション司会	皮膚排泄ケア認定看護師 後藤 真由美
北里大学看護キャリア開発・研究セン ター	2023年度 認定看護師教育課程「感染管理」	看護師長 感染管理認定看護師 臨床准教授 中村 加奈
		副看護部長 加藤 弘美

38 M E セ ン タ ー

1 臨床業務

(令和5年度)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
血 液 浄 化	持続緩徐式血液浄化	31	9	18	41	35	24	17	14	18	30	12	17	266
	血液透析 (HD)	33	9	26	49	53	27	42	33	40	54	30	49	445
	血液濾過透析 (HDF)	0	0	0	0	0	20	15	5	2	0	4	5	51
	血漿交換療法	23	2	24	11	8	1	19	14	14	5	9	3	133
	血液吸着 (HA)	15	14	17	5	7	10	5	2	2	6	2	3	88
	腹水濾過濃縮再静注 (CART)	2	3	5	4	1	4	3	6	6	5	1	1	41
小 計		104	37	90	110	104	86	101	74	82	100	58	78	1,024
人 工 心 肺	人工心肺手術	9	4	8	8	15	10	8	10	9	10	7	10	108
小 計		9	4	8	8	15	10	8	10	9	10	7	10	108
補 助 循 環	経皮の人工心肺(ECMO)	0	2	0	7	2	0	1	1	3	2	3	0	21
	大動脈内バルーンポンピング(IABP)	5	0	2	2	2	1	0	0	1	0	0	0	13
	ポンプカテーテル(IMPELLA)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	肝補助循環	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2
	他	10	0	1	4	8	0	0	0	8	3	2	0	36
小 計		15	2	3	13	12	2	1	1	14	5	5	0	73
呼 吸 療 法	呼吸器装着立会いおよび回路交換	3	0	0	0	1	0	0	3	4	1	0	0	12
	人工呼吸器ラウンド	63	53	61	86	131	88	58	109	160	78	102	82	1,071
	NO(一酸化窒素)装置セットアップ	2	1	8	1	2	0	2	2	2	2	1	1	24
	他	0	0	1	0	0	0	5	1	2	0	1	0	10
小 計		68	54	70	87	134	88	65	115	168	81	104	83	1,117
そ の 他	自己血回収装置操作	8	5	9	6	14	13	9	11	13	8	8	9	113
	幹細胞採取(含:幹細胞濃縮)	1	1	4	2	7	3	3	4	5	4	2	6	42
	血流測定	11	5	3	4	9	2	0	1	2	2	1	3	43
	人工臓器セットアップ	0	3	4	5	9	3	0	0	0	0	0	1	25
	カテーテル・アブレーション	14	11	18	13	14	14	12	8	13	14	10	12	153
	PCI治療補助	0	0	1	1	2	1	3	0	1	1	0	0	10
	ペースメーカー対応	501	556	522	565	661	544	680	590	595	584	510	584	6,892
	手術支援ロボット業務(da Vinci)	37	49	56	54	50	44	53	47	38	35	50	44	557
小 計		572	630	617	650	766	624	760	661	667	648	581	659	7,835
合 計		768	727	788	868	1,031	810	935	861	940	844	755	830	10,157

2 機器貸出状況

(令和5年度)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
4,059	4,289	4,579	4,366	4,603	4,345	4,400	4,258	4,221	4,227	3,893	4,263	51,503

3 機器点検業務

(令和5年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
院 内	3,971	4,246	4,494	4,259	4,524	4,244	4,324	4,169	4,333	3,972	3,821	4,186	50,543
メーカー	2	3	45	10	15	14	5	0	21	3	16	1	135
合 計	3,973	4,249	4,539	4,269	4,539	4,258	4,329	4,169	4,354	3,975	3,837	4,187	50,678

4 機器修理業務

(令和5年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
院 内	7	6	7	9	5	8	7	5	10	1	3	2	70
メーカー	8	7	3	9	9	11	7	5	3	2	4	2	70
合 計	15	13	10	18	14	19	14	10	13	3	7	4	140

5 実習・見学受け入れ実績

(令和5年度)

区 分	人 数	延 べ 人 数
臨床工学技士養成校学生臨床実習	12人	378人
他病院職員症例見学	235人	235人

6 講師派遣等

(令和5年度)

施 設 名	人 数	延 べ 人 数
東京工科大学医療保健学部臨床工学科	1人	8人
横浜市立大学大学院医学研究科看護学専攻	1人	1人
読売理工学医療福祉専門学校臨床工学科	1人	1人
神奈川臨床工学技士会開催セミナー	1人	2人

7 ベッドセンター業務

(令和5年度)

ベッド業務	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
洗 浄	258	268	261	270	269	259	279	223	269	249	235	294	3,134
清 拭	13	25	46	23	17	25	20	16	28	27	20	22	282
合 計	271	293	307	293	286	284	299	239	297	276	255	316	3,416

保育器清拭	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
閉鎖式	6	1	12	11	7	6	12	12	8	5	6	12	98
開放式	9	6	2	7	4	7	6	6	12	6	4	5	74
合 計	15	7	14	18	11	13	18	18	20	11	10	17	172

その他	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
修理受付	104	113	85	82	96	90	103	116	91	102	98	76	1,156

39 業 務 目 録

1 著 書

	著 書 名	発表者名	出 版 社 名	発表年月
薬 剤 部	やさしくわかる頻用薬	佐橋 幸子	ナツメ社	2023.10
	月刊薬事 65(13) 持参薬管理とリスク評価	井出 和男、 小池 博文	じほう	2023.10
M E セ ン タ ー	INTENSIVIST Vol.16 No.1 2024 え？知らないの？手術支援ロボットの使い方	山田 二三歩	メディカル・サイエンス・インターナショナル	2024.3
臨 床 検 査 部	Subcutaneous edema in polymyositis and dermatomyositis.	R. Yoshimi, H. Nakajima	Intern Med	2023.8
	COVID-19 Vaccination and the Development of Autoimmune Diseases	R. Yoshimi, H. Nakajima	Intern Med	2023.5
	【レジストリ,コホートを用いた疫学的研究】全身性エリテマトーデス診療におけるshared decision making.	吉見 竜介、 栗田 宜明、 矢嶋 宣幸	科学評論社	2023.6
	各種難病の最新治療情報 成人スチル病の診断, 治療, 病態および療養上の注意	吉見 竜介	日本プランニングセンター	2023.5
リ シ ハ ヨ ビ ン リ 部 テ ー	ICUが変わる！PICS診療実践マニュアル	佐伯 拓也	羊土社	2024.2
病 理 診 断 科	消化管疾患の分類 2024. 咽頭編. 咽頭癌の病理組織学的深達度を代用するtumor thickness, T分類, 肉眼分類	藤井 誠志	胃と腸 Vol. 59. No.4 医学書院	2024.
	食道ESD瘢痕による瘢痕近傍の表在性扁平上皮癌の病理組織像	藤井 誠志、 門田 智裕、 稲場 淳、 渡邊 崇、 山下 大生、 矢野 友規	胃と腸 58(3):267-273.2023 医学書院	2023.3
	臨床編 2章 創薬と臨床治験. 病理診断分類と臨床開発	藤井 誠志	がんゲノムペディア 211-213 羊土社	2023.11

	著 書 名	発表者名	出 版 社 名	発表年月
病理 診断 科	コンパニオン診断の現状と課題, コンパニオン診断としての分子病理診断	藤井 誠志	癌と化学療法 Vol. 51. 383-387. 2024	2024.4
	子宮頸がんにおけるPD-L1検査	村岡 枝里香、 藤井 誠志	産科と婦人科 Vol.91. No.3. 221-226	2024.2
看 護 部	「人体の不思議がわかる 体のトリセツ」	鈴木 姿子	株式会社法研	2024.1
	「看護展望」看護記録業務の改善策 成功例に学ぶ効率化の戦略	水落 直子	株式会社メヂカルフレンド社	2023.6

2 論 文

	題 名	発表者名	掲 載 誌 名	発表年月
薬 剤 部	Comparing the Dosing Period in Package Inserts of Antimicrobial Agents Between Japan and the United States.	T. Nishigaki, H. Kato, Y. Sakamoto, T. Suzuki, M. Kaneko, K. Ide, N. Okamura, T. Suzuki, H. Koike, Y. Sahashi	Cureus	2023.4
放 射 線 部	下肢造影法の多施設調査報告	坂野 智一	循環器画像技術研究会誌	2023.4
	血管造影領域における水晶体の被ばく管理	陣野 豊	放射線防護部会誌	2023.11
	患者の期待に応える一般撮影での取り組み	平野 祉江	日本診療放射線技師会誌	2023.4
	医療被ばく管理に寄与する線量管理システム	尾川 松義	映像情報Medical	2023.11
	医療の中の放射線 頭頸部領域のカテーテル治療について	山岡 広樹	神奈川県放射線技師会誌	2023.11
	放射線部門における緊急異常所見発見報告の取り組み	坂野 智一	安全医学	2023.2
リ シ ハ ヨ ビ ン リ 部 テ ー	発症から35年経過後の遅発性放射線脊髄症事例の生活に必要な動作への介入	稲田 雅也	作業療法ジャーナル57巻9号	2023.6
臨 床 検 査 部	M-PAST score is better than MAST score for the diagnosis of active fibrotic nonalcoholic steatohepatitis.	K. Imajo, Y. Saigusa, T. Kobayashi, K. Nagai, S. Nishida, N. Kawamura, H. Doi, M. Iwaki, A. Nogami, Y. Honda, T. Kessoku, Y. Ogawa, H. Kirikoshi, S. Yasuda, H. Toyoda, H. Hayashi, S. Kokubu, D. Utsunomiya, H. Takahashi, S. Aishima, BK Kim, N. Tamaki, S. Saito, M. Yoneda, R. Loomba, A. Nakajima	Hepatol Res	2023.9

	題 名	発表者名	掲 載 誌 名	発表年月
臨 床 検 査 部	High-intensity interval training versus moderate continuous training in patients with heart failure with preserved ejection fraction: a systematic review and meta-analysis.	TJ. Siddiqi, AM. Rashid, SS. Javaid, AK. Siddiqi, MS. Usman, O. Hervir, D. Kamimura, CJ. Lavie, RJ. Mentz, J. Butler, ME. Hall	Curr Probl Cardiol	2023.6
	Can any electrocardiographic indicators reflect myocardial Fibrosis?	D. Kamimura, ME. Hall	Am J Cardiol	2023.6
	Resting heart rate as a possible biomarker and target to prevent future cardiovascular disease in type 2 diabetes patients (HTR-2023-0066.R2).	D. Kamimura, K. Tamura	Hypertens Res	2023.6
	Effects of a high-protein diet on kidney injury under conditions of non-CKD or CKD in mice.	S. Tanaka, H. Wakui, K. Azushima, S. Tsukamoto, T. Yamaji, S. Urate, T. Suzuki, E. Abe, S. Taguchi, T. Yamada, R. Kobayashi, T. Kanaoka, D. Kamimura, S. Kinguchi, M. Takiguchi, K. Funakoshi, A. Yamashita, T. Ishigami, K. Tamura	Int J Mol Sci	2023.4
	Clinical impact of left ventricular systolic dysfunction in patients undergoing dialysis access surgery.	S. Saka, M. Konishi, D. Kamimura, H. Wakui, Y. Matsuzawa, K. Okada, J. Kirigaya, N. Iwahashi, T. Sugano, T. Ishigami, N. Hirawa, K. Hibi, T. Ebina, K. Kimura, K. Tamura	Clin Exp Nephrol	2023.4
	Number of attending physicians and accumulated organ damage in patients with systemic lupus erythematosus: LUNA registry cross-sectional study.	R. Yanai, N. Yajima, N. Oguro, Y. Shimojima, S. Ohno, H. Kajiya, K. Ichinose, S. Sato, M. Fujiwara, Y. Miyawaki, R. Yoshimi, T. Kida, Y. Matsuo, K. Nishimura, K. Sada	Rheumatol Ther	2023.4

	題 名	発表者名	掲 載 誌 名	発表年月
臨 床 検 査 部	Association of alcohol consumption and fatigue in SLE: A cross-sectional study from Lupus Registry of Nationwide Institution (LUNA) cohort.	Y. Katayama, Y. Miyawaki, K. Shidahara, S. Nawachi, Y. Asano, K. Ohashi, E. Katsuyama, T. Katsuyama, M. Narazaki, Y. Matsumoto, K. Sada, N. Yajima, Y. Shimojima, R. Yoshimi, K. Ichinose, H. Kajiyama, M. Fujiwara, S. Sato, J. Wada	Lupus	2023.4
	Incidence and risk of hematological adverse events associated with immune checkpoint inhibitors: a systematic literature review and meta-analysis.	T. Ohashi, K. Takase-Minegishi, A. Maeda, N. Hamada, R. Yoshimi, Y. Kirino, H. Teranaka, H. Kunimoto, M. Hagihara, K. Matsumoto, H. Namkoong, N. Horita, H. Nakajima	J Hematol	2023.4
	Immune checkpoint inhibitor-induced arthralgia is tightly associated with improved overall survival in cancer patients.	A. Maeda, K. Takase-Minegishi, Y. Kirino, N. Hamada, Y. Kunishita, R. Yoshimi, A. Meguro, H. Namkoong, N. Horita, H. Nakajima, YCU irAE working group	Rheumatology (Oxford)	2023.4
	Effect of communicative and critical health literacy on trust in physicians among patients with systemic lupus erythematosus (SLE): the TRUMP2-SLE project.	N. Oguro, N. Yajima, Y. Miyawaki, R. Yoshimi, Y. Shimojima, K. Sada, K. Hayashi, K. Shidahara, N. Sakurai, C. Hidekawa, D. Kishida, T. Ichikawa, Y. Ishikawa, N. Kurita	J Rheumato	2023.5
	Trust in the attending rheumatologist, health-related hope, and medication adherence among Japanese systemic lupus erythematosus patients.	N. Kurita, N. Oguro, Y. Miyawaki, C. Hidekawa, N. Sakurai, T. Ichikawa, Y. Ishikawa, K. Hayashi, K. Shidahara, D. Kishida, R. Yoshimi, K. Sada, Y. Shimojima, N. Yajima	Rheumatology (Oxford)	2023.6

	題 名	発表者名	掲 載 誌 名	発表年月
臨 床 検 査 部	Grit personality of physicians and achievement of treatment goals in patients with systemic lupus erythematosus.	K. Sada, Y. Miyawaki, K. Shidahara, S. Nawachi, Y. Katayama, Y. Asano, K. Hayashi, K. Ohashi, E. Katsuyama, T. Katsuyama, M. Takano-Narazaki, Y. Matsumoto, N. Oguro, Y. Ishikawa, N. Sakurai, C. Hidekawa, R. Yoshimi, D. Kishida, T. Ichikawa, Y. Shimojima, N. Kurita, N. Yajima	Rheumatology (Oxford)	2023.6
	Efficient detection of somatic UBA1 variants and clinical scoring system predicting patients with variants in VEXAS syndrome	A. Maeda, N. Tsuchida, Y. Uchiyama, N. Horita, S. Kobayashi, M. Kishimoto, D. Kobayashi, H. Matsumoto, T. Asano, K. Migita, A. Kato, I. Mori, H. Morita, A. Matsubara, Y. Marumo, Y. Ito, T. Machiyama, T. Shirai, T. Ishii, M. Kishibe, Y. Yoshida, S. Hirata, S. Akao, A. Higuchi, R. Rokutanda, K. Nagahata, H. Takahashi, K. Katsuo, T. Ohtani, H. Fujiwara, H. Nagano, T. Hosokawa, T. Ito, Y. Hagi, H. Yamaguchi, N. Hagino, T. Shimizu, T. Koga, A. Kawakami, G. Kageyama, H. Kobayashi, A. Aoki, A. Mizokami, Y. Takeuchi, R. Motohashi, H. Hagiwara, M. Itagane, H. Teruya, T. Kato, Y. Miyoshi, T. Kise, N. Yokogawa, T. Ishida, N. Umeda, S. Isogai, T. Naniwa, T. Yamabe, K. Uchino, J. Kanasugi, A. Takami, Y. Kondo, K. Furuhashi, K. Saito, S. Ohno, D. Kishimoto, M. Yamamoto, Y. Fujita, Y. Fujieda, S. Araki, H. Tsushima, K. Misawa, A. Katagiri, T. Kobayashi, K. Hashimoto, T. Sone, Y. Hidaka, H. Ida, R. Nishikomori, H. Doi, K. Fujimaki, K. Akasaka, M. Amano, H. Matsushima, K. Kashino, H. Ohnishi, Y. Miwa, N. Takahashi, K. Takase-Minegishi, R. Yoshimi, Y. Kirino, H. Nakajima, N. Matsumoto	Rheumatology (Oxford)	2023.5

	題 名	発表者名	掲 載 誌 名	発表年月
臨 床 検 査 部	Protective effect of hydroxychloroquine on infections in patients with systemic lupus erythematosus: an observational study using the LUNA registry.	C. Hidekawa, R. Yoshimi, Y. Saigusa, J. Tamura, N. Kojitani, N. Suzuki, N. Sakurai, Y. Yoshioka, Y. Sugiyama- Kawahara, Y. Kunishita, D. Kishimoto, K. Higashitani, Y. Sato, T. Komiya, H. Nagai, N. Hamada, A. Maeda, N. Tsuchida, L. Hirahara, Y. Soejima, K. Takase-Minegishi, Y. Kirino, N. Yajima, K. Sada, Y. Miyawaki, K. Ichinose, S. Ohno, H. Kajiyama, S. Sato, Y. Shimojima, M. Fujiwara, H. Nakajima	Front Immunol	2023.9
	The association of grit with burnout components (professional efficacy, exhaustion, and cynicism) among academic rheumatologists: the TRUMP 2 -SLE study.	Y. Miyawaki, K. Sada, K. Shidahara, S. Nawachi, Y. Asano, Y. Katayama, K. Hayashi, E. Katsuyama, T. Katsuyama, M. Takano- Narazaki, Y. Matsumoto, N. Oguro, N. Yajima, Y. Ishikawa, N. Sakurai, C. Hidekawa, R. Yoshimi, T. Ichikawa, D. Kishida, Y. Shimojima, J. Wada, N. Kurita	J Clin Rheumatol	2023.9
	Clinical and genetic features of Japanese cases of MDS associated with VEXAS syndrome.	H. Kunimoto, A. Miura, A. Maeda, N. Tsuchida, Y. Uchiyama, Y. Kunishita, Y. Nakajima, K. Takase- Minegishi, R. Yoshimi, T. Miyazaki, M. Hagihara, E. Yamazaki, Y. Kirino, N. Matsumoto, H. Nakajima	Int J Hematol	2023.10

	題 名	発表者名	掲 載 誌 名	発表年月
臨 床 検 査 部	Impact of online health information-seeking behavior on shared decision-making in patients with systemic lupus erythematosus: The TRUMP2-SLE project.	T. Ichikawa, D. Kishida, Y. Shimojima, N. Yajima, N. Oguro, R. Yoshimi, N. Sakurai, C. Hidekawa, K. Sada, Y. Miyawaki, K. Hayashi, K. Shidahara, Y. Ishikawa, Y. Sekijima, N. Kurita	Lupus	2023.10
	Risk of macrophage activation syndrome in patients with adult-onset Still's disease treated with IL-1 and IL-6 inhibitors: A meta-analysis and single-center experience.	S. Adachi, K. Takase- Minegishi, A. Maeda, H. Nagai, N. Horita, R. Yoshimi, Y. Kirino, H. Nakajima	Rheumatol Ther	2023.12
	免疫グロブリン大量静注療法とリツキシマブ併用療法が眼粘膜症状と皮膚症状に奏効した濾胞性リンパ腫に伴う腫瘍随伴性天疱瘡の1例	荒川 遥、 王 華帆、 富樫 結、 遠藤 恵、 高橋 沙希、 松倉 節子、 川崎 理加、 古賀 浩嗣、 石井 文人	皮膚科の臨床	2023.8
	肺多発結節影を呈したVEXAS症候群の一例	加藤 浩之、 水野 広輝、 東谷 佳奈、 佐藤 雄一郎、 永井 秀人、 濱田 直樹、 峯岸 薫、 吉見 竜介、 桐野 洋平、 中島 秀明	関東リウマチ	2023.12
	SARS-CoV-2 RNA測定装置Gen Padの性能評価	宮下 愛、 黒沢 貴之、 矢島 智志、 山崎 悦子	日本臨床検査医学会誌	2023.10
	さまざまな検査が増えた！臨床検査技師のCODID-19対応	佐野 加代子	NFECTION CONTROL	2023.5
	Monitoring of blood biochemical markers for periprosthetic joint infection using ensemble machine learning and UMAP embedding.	E. Kawakami, N. Kobayashi, Y. Ichihara, T. Ishikawa, H. Choe, A. Tomoyama, Y. Inaba	Orthopaedic and Trauma Surgery	2023.4

	題 名	発表者名	掲 載 誌 名	発表年月
臨床検査部	A Comparison of the Minimum Inhibitory Concentration of Antibiotics in Staphylococcus Species Isolated From Orthopedic and Respiratory Medicine Infections.	A. Tomoyama, N. Kobayashi, H. Choe, H. Ike, Y. Yukizawa, S. Higashihira, S. Takagawa, K. Kumagai, Y. Inaba	Cureus	2023.11
病 理 診 断 科	A diagnostically challenging case of inflammatory myofibroblastic tumor primary to the peritoneum.	J. Karibe, Jl. Teranishi, T. Kawahara, T. Noguchi, T. Takeshima, K. Osaka, E. Kumagai, T. Sawazumi, S. Fujii, H. Uemura	IJU Case Rep.	2024.
	Selpercatinib for treating recurrent mixed medullary and follicular cell-derived thyroid carcinoma: a case report.	M. Kadoya, N. Suganuma, Y. Matsubara, H. Takase, E. Kumagai, S. Toda, H. Yamazaki, K. Masudo, S. Fujii, A. Saito	Surg Case Rep.	2024.
	Two acute kidney injury episodes after ICI therapy: a case report.	K. Ishiga, R. Kobayashi, T. Kanaoka, J. Harada, I. Kato, S. Fujii, H. Wakui, Y. Toya, K. Tamura	CEN Case Rep.	2024.3
	Remarkable response as a new indicator for endoscopic evaluation of local efficacy of non-surgical treatments for esophageal cancer.	T. Yano, Y. Hayashi, R. Ishihara, K. Iijima, K. Iwakiri, M. Uesato, T. Oyama, C. Katada, K. Kawada, R. Kushima, Y. Tateishi, S. Fujii, N. Manabe, H. Minami, H. Kawakubo, Y. Tsubosa, S. Yamamoto, T. Kadota, K. Minashi, H. Takeuchi, Y. Doki, M. Muto	Esophagus.	2024.2

	題 名	発表者名	掲 載 誌 名	発表年月
病 理 診 断 科	Intraoperative Integrated Diagnostic System for Malignant Central Nervous System Tumors.	T. Hayashi, K. Tateishi, S. Matsuyama, H. Iwashita, Y. Miyake, A. Oshima, H. Honma, J. Sasame, K. Takabayashi, K. Sugino, E. Hirata, N. Udaka, Y. Matsushita, I. Kato, H. Hayashi, T. Nakamura, N. Ikegaya, Y. Takayama, M. Sonoda, C. Oka, M. Sato, M. Isoda, M. Kato, K. Uchiyama, T. Tanaka, T. Muramatsu, S. Miyake, R. Suzuki, M. Takadera, J. Tatezuki, J. Ayabe, J. Suenaga, S. Matsunaga, K. Miyahara, H. Manaka, H. Murata, T. Yokoyama, Y. Tanaka, T. Shuto, K. Ichimura, S. Kato, S. Yamanaka, DP. Cahill, S. Fujii, GM. Shankar, T. Yamamoto	Clin Cancer Res.	2024.
	HSD17B4 methylation enhances glucose dependence of BT-474 breast cancer cells and increases lapatinib sensitivity.	N. Arai, N. Hattori, S. Yamashita, YY. Liu, T. Ebata, C. Takeuchi, H. Takeshima, S. Fujii, H. Kondo, H. Mukai, T. Ushijima	Breast Cancer Res Treat.	2023.
	A Case of BRCA2-Pathogenic Variant Breast Cancer With Metachronous Endometrial Cancer and Pancreatic Cancer.	M. Oshi, A. Yamada, A. Kimura, T. Kataoka, N. Kobayashi, Y. Ichikawa, S. Yamanaka, S. Fujii, I. Endo	World J Oncol.	2023.

	題 名	発表者名	掲 載 誌 名	発表年月
病 理 診 断 科	Clinical outcome of endoscopic-assisted transoral surgery for superficial cancer of pharyngo-esophageal junction.	Y. Furue, K. Hori, T. Tomioka, S. Fujii, W. Okano, T. Shinozaki, T. Kadota, Y. Yoda, R. Hayashi, T. Yano	Head Neck.	2023.
	Assessment of the Impact of Alternative Fixatives on HER2 Detection in Breast Cancer and Gastric Cancer Tumor Specimens.	W. Feng, R. Inoue, T. Kuwata, N. Niikura, S. Fujii, N. Kumaki, K. Honda, LA. Xu, A. Goetz, P. Gaule, J. Cogswell, DL. Rimm, R. McGee	Appl Immunohistochem Mol Morphol.	2023.
	A Case of Myxoid Pleomorphic Liposarcoma with Rhabdoid Cells: A Diagnostic Pitfall.	T. Arai, I. Kato, Y. Kawabata, S. Tsujimoto, Y. Ishikawa, S. Kato, M. Takeyama, S. Yamanaka, K. Kohashi, Y. Oda, S. Fujii	Int J Surg Pathol.	2024.2
	Histological and immunohistochemical analyses of osteoclast maturation in giant cell tumor of bone.	R. Agawa, I. Kato, Y. Kawabata, M. Takeyama, S. Fujii	Pathol Res Pract.	2024.
	RNA Foci in Two bi-Allelic RFC1 Expansion Carriers.	T. Wada, H. Doi, M. Okubo, M. Tada, N. Ueda, H. Suzuki, W. Tominaga, H. Koike, H. Komiya, S. Kubota, S. Hashiguchi, H. Nakamura, K. Takahashi, M. Kunii, K. Tanaka, Y. Miyaji, Y. Higashiyama, E. Koshimizu, S. Miyatake, M. Katsuno, S. Fujii, H. Takahashi, N. Matsumoto, H. Takeuchi, F. Tanaka	Ann Neurol.	2024.3

	題 名	発表者名	掲 載 誌 名	発表年月
病 理 診 断 科	Endoscopic papillectomy could be rewarding to patients with early stage duodenal ampullary carcinoma?	K. Suzuki, Y. Kurita, K. Kubota, Y. Fujita, S. Tsujino, Y. Koyama, S. Tsujikawa, S. Tamura, S. Yagi, S. Hasegawa, T. Sato, K. Hosono, N. Kobayashi, ka S. Iwashita, S. Fujii, I. Endo, A. Nakajima	J Hepatobiliary Pancreat Sci.	2024.
	Genetic alterations that deregulate RB and PDGFRA signaling pathways drive tumor progression in IDH2-mutant astrocytoma.	K. Tateishi, Y. Miyake, T. Nakamura, H. Iwashita, T. Hayashi, A. Oshima, H. Honma, H. Hayashi, K. Sugino, M. Kato, K. Satomi, S. Fujii, T. Komori, T. Yamamoto, DP. Cahill, H. Wakimoto	Acta Neuropathol Commun.	2023.
	Comparative analyses define differences between BHD-associated renal tumour and sporadic chromophobe renal cell carcinoma.	R. Jikuya, TA. Johnson, K. Maejima, J. An, YS. Ju, H. Lee, K. Ha, W. Song, Y. Kim, Y. Okawa, S. Sasagawa, Y. Kanazashi, M. Fujita, S. Imoto, T. Mitome, S. Ohtake, G. Noguchi, S. Kawaura, Y. Iribe, K. Aomori, T. Tatenuma, M. Komeya, H. Ito, Y. Ito, K. Muraoka, M. Furuya, I. Kato, S. Fujii, H. Hamanoue, T. Tamura, M. Baba, T. Suda, T. Kodama, K. Makiyama, M. Yao, BM. Shuch, C.J. Ricketts, LS. Schmidt, WM. Linehan, H. Nakagawa, H. Hasumi	EBioMedicine.	2023.

	題 名	発表者名	掲 載 誌 名	発表年月
病 理 診 断 科	Mortality associated with the development of acute liver failure after a single dose of nivolumab.	A. Nogami, N. Wada, E. Muraoka, M. Iwaki, T. Kobayashi, M. Matsumura, I. Kato, S. Fujii, A. Nakajima, M. Yoneda	Clin J Gastroenterol.	2023.
	Regulation of MEK inhibitor selumetinib sensitivity by AKT phosphorylation in the novel BRAF L525R mutant.	C. Nakai, S. Mimaki, K. Matsushima, E. Shinozaki, K. Yamazaki, K. Muro, K. Yamaguchi, T. Nishina, S. Yuki, K. Shitara, H. Bando, Y. Suzuki, K. Akagi, S. Nomura, S. Fujii, M. Sugiyama, N. Nishida, M. Mizokami, Y. Koh, T. Koshizaka, H. Okada, Y. Abe, A. Ohtsu, T. Yoshino, K. Tsuchihara	Int J Clin Oncol.	2023.
	Biphenotypic Sinonasal Sarcoma: A Genetically Confirmed Case Showing Bone Invasion Accompanying a Non-neoplastic Respiratory Epithelium.	E. Muraoka, I. Kato, M. Matsumura, Y. Arai, J. Suenaga, S. Yamanaka, S. Fujii	Int J Surg Pathol.	2023.
	Establishment of experimental salivary gland cancer models using organoid culture and patient-derived xenografting.	Y. Aizawa, K. Takada, J. Aoyama, D. Sano, S. Yamanaka, M. Seki, Y. Kuze, JA. Ramilowski, R. Okuda, Y. Ueno, Y. Nojima, Y. Inayama, H. Hatakeyama, T. Hatano, H. Takahashi, G. Nishimura, S. Fujii, Y. Suzuki, H. Taniguchi, N. Oridate	Cell Oncol (Dordr).	2023.

	題 名	発表者名	掲 載 誌 名	発表年月
病 理 診 断 科	Outcomes of neoadjuvant gemcitabine plus S-1 and radiation therapy for borderline resectable pancreatic cancer.	Y. Yabushita, R. Matsuyama, K. Miyake, Y. Homma, T. Kumamoto, T. Misumi, M. Hata, S. Yamanaka, S. Fujii, I. Endo	J Hepatobiliary Pancreat Sci.	2023.
	Giant Cell Tumor of Bone Without Giant Cells with a Long Clinical Course: A Case Report.	H. Takase, I. Kato, J. Ito, Y. Kawabata, T. Okabe, M. Takeyama, S. Fujii	Int J Surg Pathol.	2023.
	Precautions When Performing Pericardiocentesis in Patients with Cardiac Tamponade-complicated Malignancy: A Case Report and Review of the Literature.	M. Nitta, K. Takano, S. Yamanaka	Intern Med.	2023.
	Parathyroid carcinoma with pancreatitis causing hypercalcaemic emergency treated with extracorporeal membrane oxygenation-assisted parathyroid resection.	M. Toyoda, N. Suganuma, A. Takahashi, T. Masuda, M. Goda, T. Yoshida, N. Yukawa, S. Yamanaka, Y. Rino, M. Masuda	Endocrinol Diabetes Metab Case Rep.	2023.
	Efficacy of concurrent chemoradiotherapy with retrograde super selective intra-arterial infusion combined with cetuximab for synchronous multifocal oral squamous cell carcinomas.	X. Chen, M. Kioi, Y. Hayashi, T. Koizumi, I. Koike, S. Yamanaka, M. Hata, K. Mitsudo	Radiat Oncol.	2023.
	IgA λ 型多発性骨髄腫を背景とした六角柱の結晶を伴う結晶蓄積性組織球症の1例	清水 久美子、 海老塚 智恵美、 本野 紀夫、 佐川 弘美、 西尾 由紀子、 江中 牧子、 山中 正二、 藤井 誠志	神奈川県臨床細胞学会誌 第28巻 第1号	2023.12
	スライドカンファレンス 症例1	海老塚 智恵美	神奈川県臨床細胞学会誌 第28巻 第1号	2023.12

	題 名	発表者名	掲 載 誌 名	発表年月
病 理 診 断 科	腎盂villous adenomaの1例	入部 康弘、 蓮見 壽史、 宇高 直子、 笹原 有紀子、 山中 正二、 伊藤 悠亮、 村岡 研太郎、 佐々木 卓、 石橋 裕香里、 林 成彦、 槇山 和秀	横浜市立大学大学院医学研究科 分子病理学泌尿器外科 36(2): 179-183	2023.2
	尿膜管由来と思われる神経内分泌癌の1例	井上 由季、 小林 良祐、 宇田川 幸一、 山中 正二、 松原 修	横浜市立大学附属病院病理診断 科, 平塚共済病院病理診断科泌 尿器外科 37(3): 246-249	2024.3
看 護 部	看護師が行うECクランプ法によるマスク換気 時のマスクフィット圧分布の傾向	瀧川 彩夏	日本救急医学会	2023.12

3 学会·研究会

	演 題 名	発表者名	学会・研究会名	発表年月
薬	保険薬局との情報連携に基づく持参薬管理体制の構築とその効果	関 雅子	第20回かながわ薬剤師学術大会	2023.5
	がん化学療法後に増悪した切除不能な進行・再発の子宮体癌に対してレンバチニブ＋ペムブロジマブ併用療法を施行した一例の副作用モニタリング	成田 由紀、 関 雅子、 小池 博文、 佐橋 幸子	第20回かながわ薬剤師学術大会	2023.5
	自己点眼困難患者に対して薬剤師が介入した一例	志村 美沙子、 横山 りさ、 鈴木 太一、 小池 博文、 佐橋 幸子	第7回日本老年薬学会学術大会	2023.5
	医薬品情報×集中治療における予防的薬物療法－集中治療担当薬剤師の頭の中－	川邊 一寛	第25回医薬品情報学会総会・学術大会	2023.6
	フォーミュラリの実際と今後～医薬品使用の標準化とその効果を考える～	小池 博文	第25回日本医薬品情報学会学術総会・学術大会	2023.6
	医薬品フォーミュラリの導入と活用事例	小池 博文	第23回台原地域医療連携公開勉強会	2023.6
	次世代の命を担う薬剤師－妊婦・授乳婦専門薬剤師－	関 雅子	日本病院薬剤師会新人研修	2023.7
	医療基礎知識 薬を知って上手に付き合おう	坂本 靖宜	令和5年度ウィリング横浜主催研修	2023.7
	新薬紹介 バレトスタット・ダリナパルシン	坂本 靖宜	日本臨床腫瘍学会 Essential Seminar Neo 2023	2023.7
	高齢者膵癌の治療戦略について	小森 智也	第3回Kanagawa GI Oncology Seminar	2023.7
部	タスクシフト・シェアの時間確保を目的とした日常業務に関する意識調査	坂本 靖宜、 川邊 一寛、 田中 利樹、 川邊 桂、 原 広司、 小池 博文、 佐橋 幸子、 後藤 隆久	日本病院薬剤師会関東ブロック第53回学術大会	2023.8
	地域フォーミュラリ導入を考える～ジェネリック及びバイオシミラー院内採用、そして病院フォーミュラリ策定における薬剤部・薬剤師としての存在意義～	小池 博文	第2回宮崎県フォーミュラリ研修会	2023.8
	治験における注射剤調製の複雑さについて	松井 周一、 後藤 洋仁、 阿部 希和、 古家 直子、 小森 智也、 小池 博文、 佐橋 幸子	第23回CRCと臨床試験のあり方を考える会議	2023.9

	演 題 名	発表者名	学会・研究会名	発表年月
薬 部	多職種連携により携帯型精密輸液ポンプを用いてプリナツモマブの外来投与が可能となった3症例	長井 絵里奈、 小森 智也、 山本 紗代、 小池 博文、 山西 純、 栗田 大輔、 林 弘明、 池田 順治、 辻本 信一、 竹内 正宣、 田野島 玲大、 柴 徳生、 伊藤 秀一、 畑 千秋、 小林 瑞穂、 歌野 智之、 佐橋 幸子	第50回日本小児臨床薬理学会学術集会	2023.9
	横浜市大病院の持参薬への取り組み―地域保険薬局との情報共有体制の構築とその効果―	関 雅子	横浜市立大学附属病院薬剤部・平塚中郡薬剤師会合同薬薬連携研修会	2023.9
	医薬品フォーミュラリの実際と今後の展開	小池 博文	横浜市立大学附属病院薬剤部・平塚中郡薬剤師会合同薬薬連携研修会	2023.9
	同種造血幹細胞移植後にボサコナゾール腸溶錠の血中濃度が低値を示した一例	島村 千陽、 坂本 靖宜、 長谷川 拓也、 榎木 裕紀、 松元 一明	第70回日本化学療法学会東日本支部総会・第72回日本感染症学会東日本地方会学術集会合同学会	2023.10
	慢性肝炎治療と薬剤部の取り組み	渡邊 直優	肝疾患コーディネーター養成講座更新者向け	2023.10
	バイオシミラーにかかる政策と院内浸透のcott	小池 博文	第77回国立病院総合医学会	2023.10
	新生児への薬剤経管投与に係る通過性評価および改善策の検討	岡野 真澄美、 小森 智也、 小池 博文、 佐橋 幸子	第33回日本医療薬学会年会	2023.11
	日常業務・キャリアプランに関する病院薬剤師の意識調査における専門・認定薬剤師の視点	坂本 靖宜、 川邊 一寛、 田中 利樹、 川邊 桂、 原 広司、 小池 博文、 佐橋 幸子	第33回日本医療薬学会年会	2023.11
	経口抗がん剤のCYP3Aの薬物相互作用に関する調査	吉友 葵、 坂本 靖宜、 川邊 一寛、 畠山 成寛、 井出 和男、 小池 博文、 佐橋 幸子	第33回日本医療薬学会年会	2023.11

	演 題 名	発表者名	学会・研究会名	発表年月
薬 部	ポサコナゾール上市後の抗真菌薬使用状況とカンジダ血症の原因菌種	重村 明香、 坂本 靖宜、 井出 和男、 長谷川 拓也、 渡邊 直優、 畠山 成寛、 西垣 哲太、 川邊 一寛、 鈴木 智代、 榎木 裕紀、 田口 和明、 小池 博文、 加藤 英明、 松元 一明、 佐橋 幸子	第33回日本医療薬学会年会	2023.11
	大腸癌における抗VEGF抗体の使用調査と医薬品費に与える影響	小泉 宏史、 宇山 佳奈、 坂本 靖宜、 川邊 一寛、 長谷川 拓也、 中村 明日香、 畠山 成寛、 清水 絢子、 井出 和男、 小池 博文、 佐橋 幸子	第33回日本医療薬学会年会	2023.11
	酸分泌抑制薬の病院フォーミュラ導入後の推移と効果の検討	川邊 一寛、 畠山 成寛、 中村 明日香、 若杉 正、 小池 博文、 佐橋 幸子	第33回日本医療薬学会年会	2023.11
	セット入力による持参薬の代替提案導入後のタスクシフト/シェアの効果	中川 ちひろ、 井出 和男、 濃野 乃文、 小池 博文、 佐橋 幸子	第33回日本医療薬学会年会	2023.11
	イノラス配合経腸用液服用における血清カリウム値上昇に関する検討	筒井 千晴、 横山 千紘、 川邊 一寛、 松本 真琴、 岡村 央、 小森 智也、 小池 博文、 佐橋 幸子	第33回日本医療薬学会年会	2023.11
	我が国における医薬品フォーミュラの展望	小池 博文	第33回日本医療薬学会年会	2023.11
	チーム医療における薬剤師の役割	荒井 幸子	JDDW2023	2023.11
	がん患者さんの処方箋をもらったら検査値を読み解くポイント	清水 絢子	外来がん化学療法の質向上の為の薬薬連携セミナーin金沢区	2023.11
	制吐薬適正使用ガイドライン2023を踏まえた制吐薬の使い分け	坂本 靖宜	CINV Web Seminar	2023.11

	演 題 名	発表者名	学会・研究会名	発表年月
薬 剤 部	我が国における医薬品フォーミュラの展望	小池 博文	第2回地域フォーミュラ研修会	2023.11
	医薬品フォーミュラの実践～バイオシミラーも含めた考え方と取組事例、そして地域へ～	小池 博文	第2回東総エリアの薬薬連携を考える	2023.12
	C型肝炎の最新薬物療法2024	渡邊 直優	C型肝炎市民講座	2024.1
	我が国における医薬品フォーミュラの実際と展望	小池 博文	全国都市立病院薬局長協議会研修会	2024.2
	トレメリムマブ＋デュルバルマブ併用療法において投与中止となった有害事象発生患者の背景調査～薬剤師からの報告～	渡邊 直優、 清水 絢子、 小森 智也、 小池 博文、 佐橋 幸子、 小林 貴、 岩城 慶大、 野上 麻子、 米田 正人	第47回神奈川ウイルス肝炎セミナー	2024.2
	我が国における医薬品フォーミュラの実際と展望	小池 博文	フォーミュラ研修会(令和5年度大阪府後発医薬品安全使用促進事業)	2024.2
	デクスラゾキサン投与後に重篤な好中球減少症を発症した2例	宇山 佳奈、 小泉 宏史、 坂本 靖宜、 清水 絢子、 長谷川 拓也、 井出 和男、 堀田 信之、 小池 博文、 佐橋 幸子	日本臨床腫瘍薬学会学術大会2024	2024.3
	アピアランスケアにおける薬薬連携推進を目指した研修会実施と保険薬局薬剤師に対するアンケート調査の分析	奥田 真優、 清水 絢子、 長谷川 拓也、 宇山 佳奈、 小泉 宏史、 坂本 靖宜、 井出 和男、 小池 博文、 佐橋 幸子	日本臨床腫瘍薬学会学術大会2024	2024.3
	海外派遣研修を通して学んだ米国医療と薬剤師のリアル～薬剤師の臨床業務・教育体制～	坂本 靖宜	日本臨床腫瘍薬学会学術大会2024	2024.3
	Trastuzumab Deruxtecan使用患者における制吐療法と悪心・嘔吐発現状況の現状調査	重村 明香、 長谷川 拓也、 坂本 靖宜、 宇山 佳奈、 小泉 宏史、 清水 絢子、 井出 和男、 小池 博文、 佐橋 幸子	日本臨床腫瘍薬学会学術大会2024	2024.3

	演 題 名	発表者名	学会・研究会名	発表年月
薬 剤 部	間歇的血液透析下でポナチニブを投与したPhiladelphia陽性急性リンパ芽球性白血病の一例	坂本 靖宜、 貫井 淳、 長谷川 拓也、 吉友 葵、 川邊 一寛、 田中 まりか、 勅使川原 晴佳、 小池 博文、 萩原 真紀、 松本 憲二、 三浦 昌朋、 佐橋 幸子、 中島 秀明	第20回日本血液学会関東甲信越 地方会	2024.3
	がん患者に対する薬剤師の緩和ケア介入の実態調査	荒井 幸子、 佐々木 涼子、 小森 智也、 若杉 正、 小池 博文、 佐橋 幸子	日本薬学会第144年会	2024.3
	地域フォーミュラの実態及び意識に関する調査	小池 博文、 田口 真穂、 山田 博章、 今井 博久	日本薬学会第144年会	2024.3
	B型肝炎の最新治療2024	渡邊 直優	B型肝炎市民講座	2024.3
M E セ ン タ 	da Vinci運用のNext Phase	山田 二三歩	東海 Executive Seminar	2023.5
	surgical smoke: Threat to our surgical environment サージカルスモークの健康影響を知ろう！ ～医療従事者への健康影響について～	山田 二三歩	第5回東北LACセミナー	2023.5
	Tele-ICUにCEがどのように関与すべきか	高木 俊介、 山田 二三歩、 鎌田 文哉	日本集中治療医学会 第7回関東甲信越支部学術集会	2023.7
	手術室の臨床工学技士 目線での災害対策	山田 二三歩	第34回手術看護学会関東甲信越 地区	2023.6
	Maximize Productivity and Increasing Utilization through block optimization	山田 二三歩	ASIA PERI OPERATIVE NURSING SUMMIT 2023	2023.8
	エアシールインテリジェントフローシステム における各モードに関する後方視的検討	山田 二三歩	第6回神奈川県臨床工学会	2023.11
	ロボット支援下手術に対応するためのビーズ陰圧方式体位固定マットの作成	山田 二三歩	第45回日本手術医学会総会	2023.11
	Surgical Smoke: Threat to our surgical environment サージカルスモークの健康影響を知ろう！ ～望まない受動喫煙のない手術室を目指して～	山田 二三歩	第45回日本手術医学会総会	2023.11

	演 題 名	発表者名	学会・研究会名	発表年月
M E セ ン タ ー	ロボット支援下手術における災害への備え	山田 二三歩	第16回日本ロボット外科学会	2023.2
	頭低位ロボット支援下手術に対応するための ビーズ陰圧方式体位固定マットの作成	山田 二三歩	第16回日本ロボット外科学会	2023.2
	電気メス教育動画シリーズ 第3回電気メスの基本②(切開と凝固)	山田 二三歩	エムクラ	2023.5
	電気メス教育動画シリーズ 第4回電気メスの基本③ (モノポーラで用いる消耗品)	山田 二三歩	エムクラ	2023.6
	電気メス教育動画シリーズ 第5回電気メスの基本④ (バイポーラ・その他特殊モード)	山田 二三歩	エムクラ	2023.7
	電気メス教育動画シリーズ 第6回電気メスの基本⑤ (対極板いろいろ)	山田 二三歩	エムクラ	2023.8
	電気メス教育動画シリーズ 第7回トラブルシューティング① (事例紹介PMDA報告)	山田 二三歩	エムクラ	2023.9
	電気メス教育動画シリーズ 第8回トラブルシューティング② (事例紹介・PMDA報告続き、その他)	山田 二三歩	エムクラ	2023.10
	電気メス教育動画シリーズ 第9回保守点検のススメ	山田 二三歩	エムクラ	2023.11
	電気メス教育動画シリーズ 第10回スモークマネジメント (サージカルスモーク対策/排煙機器・デバイス紹介)	山田 二三歩	エムクラ	2023.12
臨 床 検 査 部	he relationship between health literacy and treatment status in patients with systemic lupus erythematosus who achieved lupus low disease activity state: THE TRUMP2-SLE project.	K. Sada, Y. Miyawaki, K. Shidahara, S. Nawachi, Y. Katayama, Y. Asano, K. Hayashi, E. Katsuyama, T. Katsuyama, M. Narazaki, Y. Matsumoto, N. Oguro, Y. Ishikawa, N. Sakurai, C. Hidekawa, R. Yoshimi, D. Kishida, T. Ichikawa, Y. Shimojima, N. Kurita, N. Yajima, S. Fukuhara	EULAR European Congress of Rheumatology 2023	2023.5
	Electrocardiographic T wave inversion and cardiac structure and function.	D. Kamimura	American Heart Association Scientific Session 2023	2023.11

	演 題 名	発表者名	学会・研究会名	発表年月
臨 床 検 査 部	SLE患者におけるこれまでの外来主治医の 人数と障害度指数に関する横断的検討 LUNAレジストリ(第2報)	柳井 亮、 小黒 奈緒、 三輪 裕介、 磯島 咲子、 高橋 良、 石高 絵里子、 矢部 祐章、 櫻井 康亮、 矢嶋 宣幸、 下島 恭弘、 大野 滋、 梶山 浩、 一瀬 邦弘、 佐藤 秀三、 藤原 道雄、 宮脇 義亜、 吉見 竜介、 木田 節、 松尾 祐介、 西村 啓佑、 佐田 憲映	第67回日本リウマチ学会総会・学 術集会	2023.4
	ベーチェット病患者における新型コロナウイ ルスワクチンの有効性・安全性	副島 裕太郎、 桐野 洋平、 平原 理紗、 飯塚 友紀、 峯岸 薫、 吉見 竜介、 中島 秀明	第67回日本リウマチ学会総会・学 術集会	2023.4
	ベーチェット病疾患レジストリ研究から判明し た疾患活動性と重症病変の関連	平原 理紗、 桐野 洋平、 飯塚 友紀、 副島 裕太郎、 吉見 竜介、 藤枝 雄一郎、 渥美 達也、 東野 俊洋、 小林 大介、 中島 秀明	第67回日本リウマチ学会総会・学 術集会	2023.4
	SLE患者の心理的健康観の最小重要差と副 腎皮質ステロイド量の検討 多施設共同前向 きコホート研究(Lupus registry of Nationwide institutions:LUNA)	宮脇 義亜、 松本 和也、 廣瀬 啓、 志田原 健太、 縄稚 翔一、 中土井 崇人、 浅野 洋介、 片山 祐、 勝山 恵理、 勝山 隆行、 檜崎 真理子、 松本 佳則、 佐田 憲映、 柳井 亮、 矢嶋 宣幸、 高谷 亜由子、 一瀬 邦弘、 梶山 浩、 西村 啓佑、 木田 節、 下島 恭弘、 吉見 竜介、 大野 滋、 大西 貴久、 佐藤 秀三、 藤原 道雄、 松尾 祐介、 和田 淳	第67回日本リウマチ学会総会・学 術集会	2023.4

	演 題 名	発表者名	学会・研究会名	発表年月
臨 床 検 査 部	UBA1バリエント解析に基づく、本邦におけるVEXAS症候群疑い症例の多施設共同前向きコホート研究	前田 彩花、 土田 奈緒美、 桐野 洋平、 國下 洋輔、 岸本 大河、 峯岸 薫、 吉見 竜介、 中島 秀明	第67回日本リウマチ学会総会・学術集会	2023.4
	家族性地中海熱に伴うコルヒチン治療抵抗性の髄膜炎に対してカナキヌマブが奏効した一例	渡辺 武俊、 峯岸 薫、 吉見 竜介、 岸田 大、 前田 彩花、 土田 奈緒美、 三木 智代、 佐藤 雄一郎、 小宮 孝章、 濱田 直樹、 副島 裕太郎、 桐野 洋平、 中島 秀明	第67回日本リウマチ学会総会・学術集会	2023.4
	VEXAS症候群を疑う症状を認めたが末梢血UBA1バリエントが陰性であった一例	三木 智代、 桐野 洋平、 前田 彩花、 土田 奈緒美、 渡辺 武俊、 小宮 孝章、 佐藤 雄一郎、 濱田 直樹、 副島 裕太郎、 峯岸 薫、 吉見 竜介、 中島 秀明	第67回日本リウマチ学会総会・学術集会	2023.4
	膠原病に伴う間質性肺疾患に対するニンテダニブの継続率と有効性の検討	佐藤 雄一郎、 渡辺 武俊、 峯岸 薫、 吉見 竜介、 三木 智代、 小宮 孝章、 濱田 直樹、 桐野 洋平、 副島 裕太郎、 櫻井 菜月、 平原 理紗、 前田 彩花、 秀川 智春、 飯塚 友紀、 吉岡 裕二、 安達 聡一郎、 土田 奈緒美、 東谷 佳奈、 鈴木 直樹、 中島 秀明	第67回日本リウマチ学会総会・学術集会	2023.4
	ベーチェット病患者における超音波検査による腓付着部の評価	西崎 碧、 峯岸 薫、 平原 理紗、 飯塚 友紀、 副島 裕太郎、 吉見 竜介、 桐野 洋平、 中島 秀明	第67回日本リウマチ学会総会・学術集会	2023.4

	演 題 名	発表者名	学会・研究会名	発表年月
臨 床 検 査 部	SLE患者における光線過敏と頭痛の関連 LUNAレジストリを用いた解析研究	高松 良太、 下島 恭弘、 岸田 大、 市川 貴規、 上野 賢一、 佐田 憲映、 一瀬 邦弘、 吉見 竜介、 大野 滋、 矢嶋 宣幸、 梶山 浩、 佐藤 秀三、 藤原 道雄、 木田 節、 宮脇 義亜、 松尾 祐介、 西村 啓佑、 関島 良樹	第67回日本リウマチ学会総会・学 術集会	2023.4
	身性エリテマトーデスにおける再燃と肥満の 関連について LUNAレジストリを用いた観察 研究	鈴木 直樹、 吉見 竜介、 秀川 智春、 矢嶋 宣幸、 櫻井 菜月、 麴谷 典子、 國下 洋輔、 吉岡 裕二、 岸本 大河、 前田 彩花、 平原 理紗、 小宮 孝章、 副島 裕太郎、 濱田 直樹、 土田 奈緒美、 峯岸 薫、 桐野 洋平、 佐田 憲映、 宮脇 義亜、 一瀬 邦弘、 梶山 浩、 佐藤 秀三、 下島 恭弘、 藤原 道雄、 木田 節、 松尾 祐介、 山本 譲、 大野 滋、 中島 秀明	第67回日本リウマチ学会総会・学 術集会	2023.4
	全身性エリテマトーデスにおける共同意思決 定と医師への信頼度の関連についての前向 きコホート研究 TRUMP2-SLE研究	吉見 竜介、 矢嶋 宣幸、 栗田 宜明、 秀川 智春、 櫻井 菜月、 小黒 奈緒、 志田原 健太、 林 啓悟、 市川 貴規、 岸田 大、 宮脇 義亜、 佐田 憲映、 下島 恭弘、 石川 雄一、 吉岡 裕二、 國下 洋輔、 岸本 大河、 峯岸 薫、 桐野 洋平、 大野 滋、 中島 秀明	第67回日本リウマチ学会総会・学 術集会	2023.4

	演 題 名	発表者名	学会・研究会名	発表年月
臨 床 検 査 部	全身性エリテマトーデス患者のインターネットを用いた医療情報収集行動が共同意思決定に与える影響 TRUMP2-SLE研究	市川 貴規、 岸田 大、 下島 恭弘、 矢嶋 宣幸、 小黒 奈緒、 吉見 竜介、 櫻井 菜月、 秀川 智春、 佐田 憲映、 宮脇 義亜、 林 啓悟、 志田原 健太、 石川 雄一、 関島 良樹、 栗田 宜明	第67回日本リウマチ学会総会・学術集会	2023.4
	全身性エリテマトーデス患者の睡眠呼吸障害リスクと抑うつ状態の関係性 TRUMP2-SLE研究	石川 雄一、 小黒 奈緒、 市川 貴規、 岸田 大、 櫻井 菜月、 秀川 智春、 志田原 健太、 林 啓悟、 宮脇 義亜、 下島 恭弘、 吉見 竜介、 佐田 憲映、 矢嶋 宣幸、 栗田 宜明	第67回日本リウマチ学会総会・学術集会	2023.4
	全身性エリテマトーデス診療における共同意思決定がLLDAS達成に与える影響 TRUMP2-SLE研究	櫻井 菜月、 吉見 竜介、 矢嶋 宣幸、 栗田 宜明、 秀川 智春、 小黒 奈緒、 志田原 健太、 林 啓悟、 市川 貴規、 岸田 大、 宮脇 義亜、 佐田 憲映、 下島 恭弘、 石川 雄一、 吉岡 裕二、 國下 洋輔、 岸本 大河、 峯岸 薫、 桐野 洋平、 大野 滋、 中島 秀明	第67回日本リウマチ学会総会・学術集会	2023.4
	医師の性別・Big Five性格特性が全身性エリテマトーデス患者の主治医への信頼に与える影響TRUMP2-SLE研究	小黒 奈緒、 矢嶋 宣幸、 蒔田 淳平、 河森 一毅、 林 智樹、 柳井 亮、 磯島 咲子、 三輪 裕介、 宮脇 義亜、 吉見 竜介、 下島 恭弘、 佐田 憲映、 櫻井 菜月、 秀川 智春、 岸田 大、 市川 貴規、 林 啓悟、 志田原 健太、 石川 雄一、 栗田 宜明	第67回日本リウマチ学会総会・学術集会	2023.4

	演 題 名	発表者名	学会・研究会名	発表年月
臨 床 検 査 部	主治医とSLE患者の性格特性 (Grit) は診療の共同意思決定に影響するか? TRUMP2-SLE研究	矢嶋 宣幸、 小黒 奈緒、 多田 堯央、 三浦 瑠子、 羽多野 美香、 柳井 亮、 磯島 咲子、 三輪 裕介、 秀川 智春、 櫻井 菜月、 吉見 竜介、 市川 貴規、 岸田 大、 下島 恭弘、 志田原 健太、 林 啓悟、 宮脇 義亜、 佐田 憲映、 石川 雄一、 栗田 宜明	第67回日本リウマチ学会総会・学術集会	2023.4
	SLE患者における低補体血症と感染症合併の関連について (第2報) LUNAレジストリを用いた観察研究	麴谷 典子、 吉見 竜介、 矢嶋 宣幸、 杉山 裕美子、 鈴木 直樹、 秀川 智春、 櫻井 菜月、 吉岡 裕二、 國下 洋輔、 岸本 大河、 前田 彩花、 平原 理紗、 小宮 孝章、 副島 裕太郎、 濱田 直樹、 土田 奈緒美、 峯岸 薫、 桐野 洋平、 佐田 憲映、 宮脇 義亜、 一瀬 邦弘、 梶山 浩、 佐藤 秀三、 下島 恭弘、 藤原 道雄、 木田 節、 松尾 祐介、 西村 啓佑、 大野 滋、 中島 秀明	第67回日本リウマチ学会総会・学術集会	2023.4
	Does shared decision-making affect the quality of life in SLE patients?: the TRUMP2-SLE study.	C. Hidekawa, R. Yoshimi, N. Yajima, N. Kurita, N. Sakurai, N. Oguro, K. Shidahara, K. Hayashi, T. Ichikawa, D. Kishida, Y. Miyawaki, K. Sada, Y. Shimojima, Y. Ishikawa, Y. Yoshioka, Y. Kunishita, D. Kishimoto, K. Minegishi, Y. Kirino, S. Ohno, H. Nakajima	第67回日本リウマチ学会総会・学術集会	2023.4

	演 題 名	発表者名	学会・研究会名	発表年月
臨 床 検 査 部	肝蛭症と診断した肝腫瘍の一例	佐藤 健、 佐藤 博紀、 鈴木 悠一、 池田 礼、 池田 良輔、 金子 裕明、 入江 邦泰、 桐越 博之、 田中 美緒、 丸山 治彦、 前田 慎	第109回日本消化器病学会総会	2023.4
	造影超音波検査を行った肝細胞癌小腸転移の一例	和田 和大、 野上 麻子、 南 ひろこ、 伊藤 絢子、 岩城 慶大、 小林 貴、 桐越 博之、 藤井 誠志、 中島 淳、 米田 正人	第96回日本超音波医学会学術集会	2023.5
	心臓腫瘍で発症し多彩な臨床症状を呈した抗リン脂質抗体症候群の一例	中田 明道、 峯岸 薫、 渡辺 武俊、 佐藤 雄一郎、 吉見 竜介、 桐野 洋平、 窪田 瞬、 原 悠、 宮川 秀一、 中島 秀明	第686回日本内科学会関東地方会	2023.5
	関節リウマチの“手指”関節の手技	吉見 竜介	第51回日本関節病学会	2023.5
	関節リウマチの“手・足”関節の手技	吉見 竜介	第51回日本関節病学会	2023.5
	関節リウマチにおける抗RANKL抗体製剤の骨密度および骨代謝マーカーに対する効果	副島 裕太郎、 小宮 孝章、 吉見 竜介、 峯岸 薫、 桐野 洋平、 中島 秀明	第25回日本骨粗鬆症学会	2023.9
	ベーチェット病様症状を契機に診断に至ったトリソミー8を伴う自己炎症症候群の一例	市川 健斗、 北堀 弘大、 本多 主悦、 濱田 直樹、 副島 裕太郎、 仲野 寛人、 峯岸 薫、 吉見 竜介、 桐野 洋平、 中島 秀明	第33回日本リウマチ学会関東支部学術集会	2023.12

	演 題 名	発表者名	学会・研究会名	発表年月
臨 床 検 査 部	トシリズマブが奏効したステロイド抵抗性TAFRO症候群の一例	北堀 弘大、 市川 健斗、 本多 主悦、 濱田 直樹、 副島 裕太郎、 仲野 寛人、 峯岸 薫、 吉見 竜介、 桐野 洋平、 中島 秀明	第33回日本リウマチ学会関東支部学術集会	2023.12
	スクリーニング目的の腹部超音波検査で、進行大腸癌を発見した2症例	武藤 完、 鳥居 亜希子、 小泉 かおる、 清水 香、 田中 千春、 大原 由美子、 武田 倫明、 矢島 智志、 山崎 悦子、 桐越 博之	第48回日本超音波検査学会学術集会	2023.6
	検体検査搬送装置の更新と検査システム連携がもたらす効果	今村 駿平、 黒沢 貴之、 東 真理子、 矢島 智志、 山崎 悦子、 桐越 博之	第55回日本医療検査科学会	2023.10
	HbA1c偽低値から異常ヘモグロビン症が疑われた一症例	戸塚 健、 九笹 加菜、 東 真理子、 黒沢 貴之、 矢島 智志、 山崎 悦子、 桐越 博之	第55回日本医療検査科学会	2023.10
	自動グリコヘモグロビン分析計HLC-723 GR01を用いたHbA1c測定の基礎的検討とその有用性	九笹 加菜、 戸塚 健、 東 真理子、 黒沢 貴之、 矢島 智志、 山崎 悦子、 桐越 博之	第55回日本医療検査科学会	2023.10
	CAT-T療法における採取前CD3とアフエレーシスCD3	野村 美里、 嶋村 麻利子、 宮下 愛、 尾崎 由実、 岩瀧 麻希、 金子 紀子、 高石 祐美子、 矢島 智志、 川崎 理加、 山崎 悦子	第24回日本検査血液学会学術集会	2023.7
	末梢血幹細胞採取における採取前CD34陽性細胞数測定とプレリキサホル製剤使用についての検討	嶋村 麻利子、 野村 美里、 宮下 愛、 尾崎 由実、 岩瀧 麻希、 金子 紀子、 高石 祐美子、 矢島 智志、 川崎 理加、 山崎 悦子	第24回日本検査血液学会学術集会	2023.7

	演 題 名	発表者名	学会・研究会名	発表年月
臨 床 検 査 部	凝固スクリーニング検査にて偶発的にフィブリノゲン異常症が疑われた2症例	宮下 愛、 尾崎 由実、 高石 祐美子、 黒沢 貴之、 矢島 智志、 川崎 理加、 吉見 竜介、 桐越 博之	第70回日本臨床検査医学会学術集会	2023.11
	血液培養から分離されたCandida glabrataの発育特性についての検討	畦地 航、 佐野 加代子、 友山 瑛人、 中村 有紀、 佐藤 泰之、 矢島 智志	第59回日臨技首都圏支部・関甲信支部医学検査学会	2023.11
	臨床分離株における最小バイオフィルム破壊濃度の検討	友山 瑛人、 崔 賢民、 稲葉 裕	第46回日本骨・関節感染症学会	2023.6
	検査スキル習得と維持管理～検査データ品質保証の視点から～	矢島 智志	令和5年度日本臨床衛生検査技師会首都圏支部・関甲信支部研修会血液検査研修会	2024.1
輸血・細胞治療部	温式自己抗体と同種抗体の共存を認め判定が困難であった小児の自己免疫性溶血性貧血(AIHA)症例	菅谷 文乃、 工藤 麻衣、 瀧澤 かすみ、 黒沢 英里、 小峰 弘美、 原田 佐保、 萩原 真紀、 山崎 悦子、 柴 徳生	第71回日本輸血・細胞治療学会学術集会	2023.5
放 射 線 部	皮下腫瘍を疑った上腕二頭筋長頭腱断裂の一例	加藤 大河	南部地区放射線技師会	2023.11
	診療放射線技師による緊急異常所見発見の取り組み	坂野 智一	南関東FRT第8回研修会	2023.8
	線量測定実習 患者照射基準点における線量測定	坂野 智一	第48回IVR被ばく低減技術セミナー	2023.8
	非侵襲的画像診断と放射線被ばく	坂野 智一	日本臨床工学技士会心・血管カテーテル関連指定講習会	2023.9
	拡散強調画像における画像歪み低減に関する基礎的検討	加藤 大河	東京・関東支部合同研究発表会	2023.12
	当院における肝疾患に対する画像検査～MRI～	加藤 大河	神奈川県診療放射線技術講習会	2023.12
	超解像画像再構成法が冠動脈解析作業に及ぼす影響について	森岡 翼	日本CT技術学会	2023.7
	甲状腺外来アブレーション療法における線量測定の検討	加藤 一樹	第43回日本核医学技術学会総会学術大会	2023.11

	演 題 名	発表者名	学会・研究会名	発表年月
放 射 線 部	冠動脈の見方-基礎編-	陣野 豊	循環器画像技術研究会	2023.4
	線量測定法	陣野 豊	第48回IVR被ばく低減セミナー	2023.8
	水晶体被ばくの現状と対策	陣野 豊	CCT2023	2023.10
	血管造影領域における水晶体の被ばく管理	陣野 豊	第51回日本放射線技術学会	2023.10
	ちょっとだけ被ばくを意識してみよう RI領域	井出 健太	神奈川県診療放射線技術講習会	2023.10
	画像評価用2層球体ファントムの考案	尾川 松義	第43回日本核医学技術学会総会 学術大会	2023.11
	日本における核医学治療環境の普及について～排気および排水管理の現況と課題～	尾川 松義	ICRPサテライトイベント(第63回日本核医学学会学術総会、第43回日本核医学技術学会総会学術大会合同企画)	2023.11
	Trabecular bone scoreのトピックス	尾川 松義	横浜股関節骨粗鬆症研究会	2023.12
	基礎と安全管理2～施設概要～	尾川 松義	第23回日本核医学会春季大会	2023.4
	人工物が自動感度補正に与える影響	柳澤 秀直	関東甲信越診療放射線技術学会	2023.6
	核医学線量管理のユースケース	小野間 恵乃	第79回日本放射線技術学会	2023.4
	医療安全について	山岡 広樹	診療放射線技師のためのフレッ シャーズセミナー	2023.9
	慢性心不全患者に対するPCI	山岡 広樹	第400回循環器画像技術研究会	2023.11
	当院における肝疾患に対する画像検査～ CT・血管撮影～	山岡 広樹	神奈川県診療放射線技術講習会	2023.12
	線量測定実習 患者照射基準点における線 量測定	坂野 智一	第48回IVR被ばく低減技術セミ ナー	2024.2
	横浜市大センター病院における緊急異常所 見発見報告の取組み	坂野 智一	第20回神奈川放射線学術大会	2024.2
	アブレーション治療における被ばく低減と線 量管理	坂野 智一	第88回日本循環器学会学術集会 (JCS2024)	2024.3
	ポータブル撮影を”おもしろく”する	加藤 順二	神奈川県放射線技師会 放射線診療実践セミナー	2024.2
	進行膵がんで浸潤された門脈の再建評価に IVR-CTが有用だった症	山岡 広樹	第20回神奈川放射線学術大会	2024.2

	演 題 名	発表者名	学会・研究会名	発表年月
リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 部	コロナワクチン後の副反応により多発関節炎を呈した調査	稲田 雅也	第23回神奈川リウマチリハケア研究会	2023.1
	手関節に発症した悪性骨腫瘍治療後に右長母指屈筋腱断裂を呈した作業療法	稲田 雅也	第8回日本がんサポーターズケア学会	2023.5
	統合型視覚性失認による視知覚障害に対して意味カテゴリー分類後に呼称・模写・描写訓練が有用であった一例	稲田 雅也	第48回日本高次脳機能障害学会	2023.10
	がんの作業療法の「今」に注目し、課題解決の糸口を探る	稲田 雅也	第57回日本作業療法学会	2023.11
	病棟看護師の摂食嚥下障害援助に関する試み ～院内研修実施前後の比較検討～	村上 照美	第29回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会	2023.9
	敗血症患者に対する早期離床開始時の臨床状況	佐伯 拓也	第37回Shock学会学術集会	2023.7
	「どうする？プレハビリテーション」 周術期管理としてのプレハビリテーション	佐伯 拓也	第51回日本集中治療医学会学術集会	2024.3
	重症COVID-19患者の長期身体機能の推移(第2報)	佐伯 拓也、 折津 英幸、他	第60回日本リハビリテーション医学会学術集会	2023.6
	ハイケアユニットにおける早期離床・リハビリテーション加算の導入効果	佐伯 拓也	第7回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会	2023.11
病 理 診 断 科	シンポジウム12 PD-L1検査と免疫チェックポイント治療のバイオマーカー PD-L1 test for head and neck cancer and esophageal cancer.	藤井 誠志	第20回日本臨床腫瘍学会 JSMO2023	2023.3
	分子病理診断講習会 ゲノム医療と融和する病理学	藤井 誠志	第112回日本病理学会総会	2023.4
	ワークショップ15 HER2検査の新たなパラダイム 藤井誠志 本邦主導の国際協調と医師主導試験から創出されたコンパニオン診断”大腸癌HER2検査”	藤井 誠志	第112回日本病理学会総会	2023.4
	イブニングセミナー 新たな個別化医療となるHER2 陽性大腸癌の分子病理診断と治療 Molecular pathological diagnosis and treatment of HER2-positive colorectal cancer as a new precision medicine.	藤井 誠志	第112回日本病理学会総会	2023.4
	教育講演 Barrett dysplasiaのWHO分類	藤井 誠志、 高瀬 宙希	第14回Barrett食道研究会講演	2023.7
	IAP教育セミナー「頭頸部腫瘍病理の新基軸」口腔・上気道の粘膜病変	藤井 誠志	2023年度 IAP日本支部病理学教育セミナー	2023.11

	演 題 名	発表者名	学会・研究会名	発表年月
病 理 診 断 科	シンポジウム27 AIと歩む病理学 Prediction of genetic abnormalities from pathological morphology.	藤井 誠志	第21回日本臨床腫瘍学会 JSMO2024	2024.2
	ワークショップ7 病理医はすべてのPD-L1検査について対応すべきか？頭頸部癌におけるPD-L1検査の現状	藤井 誠志	第113回日本病理学会総会	2024.3
	デジタルポスターセッション 内視鏡切除後 pT1a-MM脈管侵襲陰性の食道扁平上皮癌の長期予後に関する多施設後向き観察研究 Long-term clinical outcome after endoscopic resection for esophageal squamous cell carcinoma invading the muscularis mucosae without lymphovascular invasion: a multicenter retrospective study	門田 智裕、 由雄 敏之、 阿部 清一郎、 永見 康明、 水野 研一、 河内 洋、 藤井 誠志、 池野 敬、 若林 将史、 矢野 友規	JDDW2023	2023.11
	Abstract-based Session. Long-term outcome after endoscopic resection for esophageal squamous cell carcinoma invading the muscularis mucosae without lymphovascular invasion: a multicenter retrospective study.	T. Kadota, T. Yoshio, S. Abe, Y. Nagami, K. Mizuno, D. Kikuchi, Y. Yamamoto, R. Ishihara, T. Oyama, T. Ikeno, M. Wakabayashi, A. Inaba, H. Kawachi, S. Fujii, T. Yano	UEGW2023	2023.10
	Poster session. Efficacy and safety of futibatinib for refractory advanced solid malignancies with FGFR alterations identified in circulating tumor DNA: TiFFANY, A GOZILA-affiliated Trial.	T. Jogo, E. Shinozaki, T. Masuishi, T. Kato, T. Nishina, T. Esaki, Y. Komatsu, K. Kato, M. Suzuki, N. Fuse, A. Sato, T. Ikeno, S. Nomura, H. Bando, J. Odegaard, S. Fujii, H. Ebi, T. Yoshino, Y. Nakamura	ASCO2023	2023.6
	Poster session. Tissue-agnostic efficacy of trastuzumab deruxtecan (T-DXd) in advanced solid tumors with HER2 amplification identified by plasma cell-free DNA (cfDNA) testing: Results from a phase 2 basket trial (HERALD/EPOC1806).	H. Taniguchi, M. Yagisawa, T. Satoh, S. Kadowaki, Y. Sunakawa, T. Nishina, Y. Komatsu, T. Esaki, D. Sakai, A. Doi, T. Kajiwara, H. Ono, M. Asano, N. Hirano, J. Odegaard, S. Fujii, S. Nomura, A. Sato, T. Yoshino, Y. Nakamura	ASCO2023	2023.6

	演 題 名	発表者名	学会・研究会名	発表年月
病 理 診 断 科	頭皮に生じた融合遺伝子FUS::TFCP2を有する横紋筋肉腫の一例	石山 貴博、 加藤 生真、 伊藤 絢子、 松村 舞衣、 斎藤 桂樹、 川端 佑介、 竹山 昌伸、 藤井 誠志	第112回日本病理学会総会	2023.4
	胃に生じたmalignant glomus tumorの一例	石山 貴博、 伊藤 絢子、 加藤 生真、 朱 美和、 三澤 昇、 利野 靖、 中島 淳、 山中 正二、 藤井 誠志	第113回日本病理学会総会	2024.3
	扁平上皮癌の形成に関わる実質と間質の連動メカニズムの解明	石山 貴博、 折館 伸彦、 鈴木 穰、 藤井 誠志	第113回日本病理学会総会	2024.3
	子宮体部および卵巣Mesonephric-like adenocarcinomaの2症例	村岡 枝里香、 山中 正二、 藺部 武、 長 たまき、 水島 大一、 藤井 誠志	第112回日本病理学会総会	2023.4
	小腸穿孔を来したSegmental absence of intestinal musculature(SAIM)の一例	村岡 枝里香、 山中 正二、 酒井 淳、 中川 和也、 石部 敦士、 藤井 誠志	第100回日本病理学会関東支部学術集会	2023.12
	多形性の高度な粘液型脂肪肉腫の一例	高瀬 宙希、 加藤 生真、 伊藤 絢子、 川端 佑介、 岡部 哲彦、 竹山 昌伸、 藤井 誠志	第112回日本病理学会総会	2023.4
	マルチオミクス解析を併用した頭頸部扁平上皮癌の代謝制御機構の解明	高瀬 宙希、 藤澤 孝夫、 林 隆一、 牧野嶋 秀樹、 鈴木 穰、 曾我 朋義、 藤井 誠志	第113回日本病理学会総会	2024.3
	小腸穿孔を来したSegmental absence of intestinal musculature(SAIM)の一例	村岡 枝里香、 山中 正二、 酒井 淳、 中川 和也、 石部 敦士、 藤井 誠志	第113回日本病理学会総会	2024.3

	演 題 名	発表者名	学会・研究会名	発表年月
病 理 診 断 科	線維腺腫を発生したLi-Fraumeni syndrome 患者の一例	上田 優加子、 原田 丈太郎、 山中 正二、 山田 顕光、 遠藤 格、 藤井 誠志	第113回日本病理学会総会	2024.3
	H3K27me3を介したtriple negative breast cancer (TNBC)のPD-L1発現制御機構	原田 丈太郎、 藤井 誠志	第113回日本病理学会総会	2024.3
	細胞診で組織型推定が困難であった甲状腺悪性リンパ腫の一例	毛利 かれん、 今井 宏樹、 小山 剛司、 中野 睦子、 牧野 純、 野崎 真仁、 石田 瑠菜、 小嶋 結、 原田 丈太郎、 河野 尚美	第62回日本臨床細胞学会秋季大会	2023.11
	上行結腸に発生したgoblet cell adenocarcinoma 様の形態像を呈する腺癌の一例	原田 丈太郎、 佐藤 博紀、 池田 良輔、 金子 裕明、 前田 慎、 藤井 誠志	第112回日本病理学会総会	2023.4
	シンポジウム:膵内分泌性腫瘍「RI内用療法後の膵内分泌性腫瘍の病理組織像」	原田 丈太郎、 市川 靖史、 藤井 誠志	第42回日本画像医学会	2023.2
	左胸水貯留を主訴とし原発臓器推定に苦慮した甲状腺癌の一例	安齋 桜子、 武田 壮登、 清水 久美子、 宇野 絵梨、 海老塚 智恵美、 本野 紀夫、 佐川 弘美、 西尾 由紀子、 山中 正二、 藤井 誠志	第64回日本臨床細胞学会総会 (春期大会)	2023.6
	子宮頸部混合型大細胞神経内分泌癌の一例	武田 壮登、 清水 久美子、 宇野 絵梨、 安齋 桜子、 海老塚 智恵美、 本野 紀夫、 佐川 弘美、 西尾 由紀子、 ルイズ横田奈朋、 山中 正二、 藤井 誠志	第37回関東臨床細胞学会学術集会	2023.9

	演 題 名	発表者名	学会・研究会名	発表年月
病 理 診 断 科	診断に苦慮難渋した中枢神経原発低悪性度B細胞リンパ腫の一例	西尾 由紀子、 佐川 弘美、 本野 紀夫、 海老塚 智恵美、 安齋 桜子、 宇野 絵梨、 清水 久美子、 武田 壮登、 岩下 広道、 原田 丈太郎、 山中 正二、 藤井 誠志	第62回日本臨床細胞学会秋季大会	2023.11
	膵Mixed serous-neuroendocrine neoplasmの一例	新井 拓真、 山中 正二、 三宅 謙太郎、 遠藤 格、 藤井 誠志	第112回日本病理学会総会	2023.4
	骨巨細胞腫における破骨細胞の形態学的および免疫組織化学的検討	阿川 莉奈、 加藤 生真、 川端 佑介、 竹山 昌伸、 藤井 誠志	第112回日本病理学会総会	2023.4
	妊娠中の子宮頸部細胞診がNILM,ASC-USであった妊娠合併子宮頸癌の3例	松永 梨沙、 水島 大一、 紙谷 菜津子、 今井 雄一、 西尾 由紀子、 佐川 弘美、 片岡 俊朗、 山中 正二、 藤井 誠志、 宮城 悦子	第64回日本臨床細胞学会総会（春期大会）	2023.6
	腹腔内腫瘍の一例	熊谷 栄太、 伊藤 絢子、 水島 大一、 中川 和也、 加藤 生真、 山中 正二、 藤井 誠志	第117回神奈川県病理医会例会	2023.7
看 護 部	外来化学療法センター看護師によるがん患者の問診に関する実践知	長田 智香	第28回日本緩和医療学会学術大会	2023.6
	交流集会「ICT化における看護の取り組みはここまできている～遠隔ICU・遠隔教育・オンライン面会の取り組み～」	吉田 友美	第19回日本クリティカルケア看護学会学術集会	2023.7
	総合病院解放病棟における無断離院の現状	柴田 朋美	第128回東京精神医学会	2023.7
	ただ行っただけのシミュレーションにしないために～高い学習効果を得るためのファシリテーターの役割を考える～	福島 真弓	TOPIC2023	2023.7

	演 題 名	発表者名	学会・研究会名	発表年月
看護部	新人看護師に関わる看護師の認識・実態の調査	近藤 佳代子	日本看護研究学会 第49回学術集会	2023.8
	ハイケアユニット勤務の経験がある看護師の身体拘束への認識の変化～「身体拘束予防ガイドライン」を参考にしたカンファレンスを通して～	溝江 ももの	日本看護研究学会 第49回学術集会	2023.8
	遠隔ICUを担うための看護師教育プログラムの開発	秋元 若菜	第27回日本看護管理学会学術集会	2023.8
	当院の看護倫理研修の実践と課題	鈴木 姿子	第27回日本看護管理学会学術集会	2023.8
	診療報酬につなげる仕組みとは？～入院時重症患者対応メディエーターの役割と課題	森川 真理	日本家族看護学会 第30回学術集会	2023.9
	摂食嚥下支援チームの活動報告	富井 ルミ	第1回アジア嚥下学会国際カンファレンス	2023.11
	糖尿病教育入院患者指導パスを開始して	田中 真奈	第23回日本クリニカルパス学会学術集会	2023.11
	膝頭十二指腸切除術パスのバリエーション分析と改訂	角田 彩夏	第23回日本クリニカルパス学会学術集会	2023.11
	遠隔ICUにおける看護師のリモートスクリーニングの実践と医療の標準化を目指して	加藤 耕平	第27回日本遠隔医療学会学術大会	2023.11
	糖尿病性腎症のか血液透析導入までの保存期間の実態と関連要因	岩崎 和子	第26回日本腎不全看護学会学術集会	2023.11
	専門外来の受診とたんばく制限の実施は糖尿病性腎症患者の血液透析導入までの保存期の期間と関連する	竹山 志津子	第26回日本腎不全看護学会学術集会	2023.11
	高難度新規医療技術実施における多職種による医療安全と臨床倫理の確保:評価部事務局担当看護師の役割	齊藤 薫苗	第18回医療の質・安全学会学術集会	2023.11
	患者確認の2段階プロセスである「同定+照合」をシミュレーション形式で調査した取り組み	齊藤 佳代子	第18回医療の質・安全学会学術集会	2023.11
	看護師が行うECクランプ法によるマスク換気時のマスクフィット圧分布の傾向	瀧川 彩夏	第51回日本救急医学会総会・学術集会	2023.11

	演 題 名	発表者名	学会・研究会名	発表年月
看護部	入院サポート業務における多職種との連携～業務内容の整理から今後の課題を考える～	小机 恵美	第25回神奈川看護学会	2023.12
	入退院支援部門看護師の現任教育の実際と課題	瀧田 緑	第25回神奈川看護学会	2023.12
	退院支援・退院調整業務を初めて担う看護師への教育的支援に関する報告	滝谷 杏美	第25回神奈川看護学会	2023.12
	業務改善が超過勤務削減に繋がった取り組みと今後の課題～看護補助者参加型のPNS体制を通して～	三宅 祥太郎	第25回神奈川看護学会	2023.12
	首都圏におけるHIV診療拠点病院のサステナブル(持続可能)なHIV看護の検討	松山 奈央	第37回日本エイズ学会学術集会	2023.12
	「化学療法(初日開始・翌日開始)R3年度パス」の使用実績と課題	小林 瑞穂	第38回日本がん看護学会学術集会	2024.2
	苦痛のスクリーニングから緩和ケア・がん相談へ連携機能の調査	齋藤 幸枝	第38回日本がん看護学会学術集会	2024.2
	AYA世代で悪性骨軟部腫瘍と診断された患者の経験	増田 菜穂子	第38回日本がん看護学会学術集会	2024.2
	がん相談支援センターにおけるがんゲノム看護実践からの役割考察	畑 千秋	第38回日本がん看護学会学術集会	2024.2
	難治性がん疼痛治療におけるメサドン導入の実践報告	町永 弘美	第38回日本がん看護学会学術集会	2024.2
	当院NICUにおけるDPCⅡ期間退院に影響を及ぼすリスク因子探索	鈴木 友美	第28回日本看護研究学会東海地方会学術集会	2024. 3

40 その他

1 年度別病院事業実績

項 目		年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
外来患者数	初 診 患 者		37,093	34,392	36,672	38,158	38,861
	再 診 患 者		423,976	390,239	403,198	406,535	413,036
	合 計		461,069	424,631	439,870	444,693	451,897
	1日平均患者数		1,921.1	1,747.5	1,817.6	1,830.0	1,859.7
	救急外来患者数		8,184	3,224	2,773	2,862	8,449
	時 間 内		1,344	1,223	1,125	1,183	3,996
	時 間 外		6,840	2,001	1,648	1,679	4,453
入院患者数	新 入 院		16,388	15,851	15,933	16,871	17,641
	退 院		16,400	15,865	15,934	16,857	17,730
	延 入 院 数		203,845	191,299	186,623	193,774	196,938
	1日平均患者数		557.0	524.1	511.3	530.9	539.6
	平均在院日数		12.4	12.1	11.7	11.5	11.5
	病 床 利 用 率		85.2	80.1	78.2	81.2	81.2
	緊急入院患者数		2,371	3,224	2,661	3,999	4,386
	時 間 内		555	1,223	914	2,352	3,542
	時 間 外		1,816	2,001	1,747	1,647	844
患者紹介率	医 療 法 上		73.8	71.4	75.8	85.1	88.1
臨床検査件数	一 般 検 査		220,408	205,157	207,687	212,196	218,129
	血 液 検 査	※	626,249	※ 595,403	※ 627,689	※ 639,224	※ 669,189
	医 生 物 検 査		52,453	52,485	54,129	52,844	57,461
	免疫血清検査	注①		注①	注①	注①	注①
	臨床化学検査		3,974,036	3,721,450	3,731,077	4,146,056	4,270,419
	生 理 機 能 検 査		47,737	42,242	44,403	46,742	46,762
	内数超音波検査		13,436	13,062	13,631	14,847	15,051
	緊 急 検 査	注②		注②	注②	注②	注②
	合 計		4,920,883	4,616,737	4,664,985	5,097,062	5,261,960
	外 部 委 託 検 査		100,124	91,458	101,389	101,388	98,761
病 理 件 数	組 織 診 断		11,885	11,613	12,508	12,236	12,266
	迅 速 診 断		845	786	824	787	760
	細 胞 診 断		8,382	8,238	8,741	8,197	8,352
	電 子 顕 微 鏡		53	42	45	51	57
	病 理 解 剖		27	32	22	18	11
	合 計		21,192	20,711	22,140	21,289	21,446

注① 臨床検査件数 免疫血清検査は臨床化学検査に含まれる。

注② 臨床検査件数 緊急検査は各該当部門に含まれる。

2 各階配置図 (令和6年4月1日現在)

										電 気 室		機 械 室				11F		
										会議室	臨床試験 管理室	臨 床 講 堂		外観広場(屋上)		10F		
9-1病棟										9-4病棟						9F		
9-2病棟										9-3病棟								
8-1病棟										8-4病棟						8F		
8-2病棟										8-3病棟								
7-1病棟										7-4病棟						7F		
7-2病棟										7-3病棟								
6-1病棟										6-4病棟(精神科病棟 23床)						6F		
6-2病棟										6-3病棟		中央無菌室(5床)						
I.S.S(設備階)														5F				
輸血・細胞 治 療 部		再 生 細胞 治療センター		がんゲノム 診断科 管理室		ICU(8床) HCU(8床) CCU(4床) ACU(6床)		手 術 部 (14室14台)		看護部		医療の質・ 安全管理部		感染 制御 部		医学・病院 統括部		4F
外 来 診 療 部 門 精神科、小児科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻いんこう科、 歯科・口腔外科・矯正歯科、麻酔科、形成外科、児童精神科 周術期管理センター								心理 検査 室	化学療法 センター	臨床試験 管理室		臨床検査部 (検体検査部門)		病理部		3F		
外 来 診 療 部 門 血液・リウマチ・感染症内科、呼吸器内科、循環器内科、 腎臓・高血圧内科、内分泌・糖尿病内科、脳神経内科、 脳卒中科、消化器内科、臨床腫瘍科、心臓血管外科、 消化器・一般外科、消化器外科、呼吸器外科、乳腺・甲状腺外科、 乳腺外科、脳神経外科、整形外科、産婦人科、病理診断科 緩和ケアセンター、緩和医療科、治験診察室								臨床 検査 部 (生 理 機 能 検 査 部 門)	中央採 血室	(放射 線 検 査 部 門)		総合案内 患者サポートセンター 医事課 治験受付		中央待合 ホール (連絡通路)		金沢シー サイドライン	2F	
理 容 室	栄養部	物流センター		滅 菌 室		薬 剤 部		郵便 局	リ ハ ビ リ テー シ ョ ン 科 外 来	売 店	防災センター		救急外来 手術室(2室) 災害・緊急時 対応スペース		玄 関 ホ ー ル		保育所 カフェ	1F
MEセンター		病歴室		内視鏡 センター		血液浄化 センター		遺伝子 診療科		放射線部 (核医学・PET・ 治療・MR部門)		放射線治療科 放射線診断科 外来		小線源 治療室		ベッド センター リネン室		B1F

臨床研修センター
(通路)

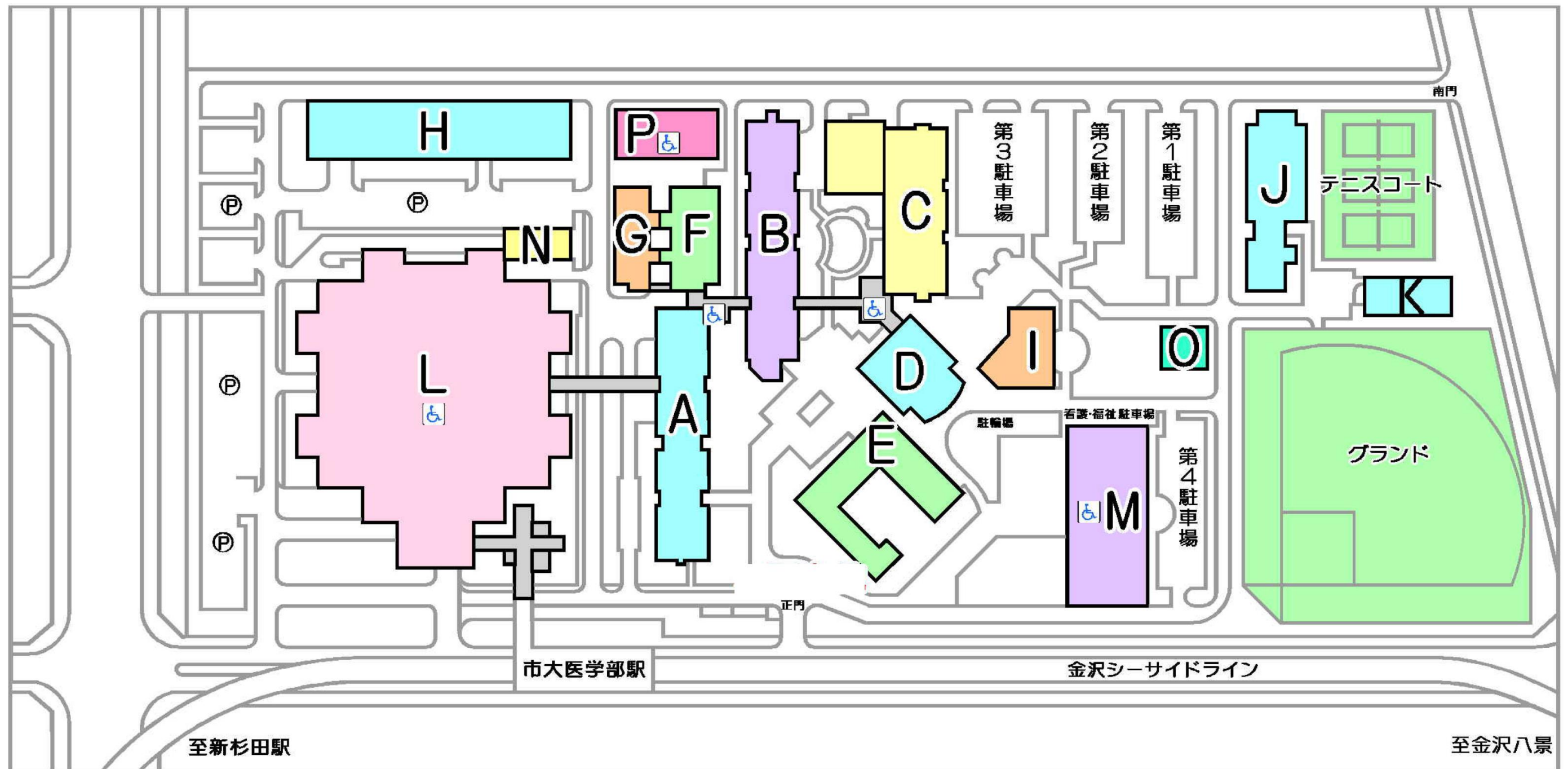
臨床薬理センター
(20床)

研修棟

調剤薬局

コンビニ

3 施設配置図



A 医学部臨床研究棟

B 医学部基礎研究棟(受付)

C 医学部実習棟

D 医学部講義棟

E 医学情報センター

F 動物実験センター

G ラジオアイソトープセンター

H エネルギーセンター

I 福利厚生棟

J 体育館

K サークル棟

L 横浜市立大学附属病院

M 看護教育研究棟

N 研修棟

O NMR棟

P 先端医科学研究センター

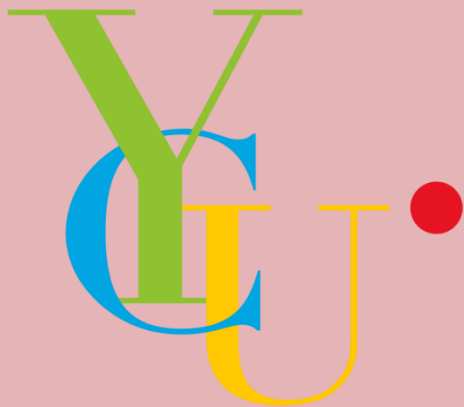
横浜市立大学附属病院

〒236-0004 横浜市金沢区福浦三丁目 9 番地

TEL 045 (787) 2800 (代表)

FAX 045 (787) 2931

令和 6 年 9 月発行



**YOKOHAMA
CITY
UNIVERSITY
HOSPITAL**